

IBM WebSphere Commerce



サンプル・ストア・ガイド

バージョン 5.5

IBM WebSphere Commerce



サンプル・ストア・ガイド

バージョン 5.5

ご注意!

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、特記事項に記載されている情報をお読みください。

本書は、以下の製品に適用されます。

- IBM WebSphere Commerce Business Edition、バージョン 5.5
- IBM WebSphere Commerce Professional Edition、バージョン 5.5
- IBM WebSphere Commerce - Express、バージョン 5.5

本書は、上記の製品、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。製品のレベルにあった版を使用していることをご確認ください。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： IBM WebSphere Commerce
Sample Store Guide
Version 5.5

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2003.10

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2003. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2003

目次

本書について	ix
本書の表記規則および用語	ix
パス変数	x
最新情報の入手先	xi

第 1 部 WebSphere Commerce サンプルの概要 1

第 1 章 WebSphere Commerce に付属しているサンプル 3
サンプル・ストア・アーカイブのアクセス制御 4
役割と MemberRegistrationAttributes XML ファイル 4

第 2 部 サンプル・ストアの規則 7

第 2 章 サンプル・ストアの規則 9
サンプルの場所とディレクトリー構造 9
消費者向け — FashionFlow 9
消費者向け — MiniFashion 10
企業向け — ToolTech 10
デマンド・チェーン — Commerce プラザ 10
デマンド・チェーン — ホストされるストア 12
デマンド・チェーン — Commerce Hosting Hub 12
サプライ・チェーン — Commerce Supplier Hub 14
Java Server Pages (JSP) の命名規則 15
変数の命名規則 16
JSP テンプレート 16
プロパティ・ファイル 17
資産 17
トラブルシューティング: すべてのストア内でのログオン ID の使用 18

第 3 部 消費者向けサンプル (FashionFlow) 19

第 3 章 消費者向けサンプル・ストア・アーカイブ 21
消費者向けストア・アーカイブおよびアクセス制御 21
組織構造およびインスタンスの作成 21
消費者向けストア・アーカイブ 23
消費者向けに動的に作成される役割 26

第 4 章 消費者向けサンプル・ストア (FashionFlow) の概要 29

第 5 章 FashionFlow サンプル・ストアを使用したストアの作成 31

第 1 部: FashionFlow に基づいたストアの発行、および構成 31
管理コンソールを使用したストアの発行 31
WebSphere Commerce アクセラレーターを使用したストアの構成 34
第 2 部: E メール・テンプレートの作成 36
前提条件 36
スクリプトの実行 37
第 3 部: 事前定義割引の構成およびアクティブ化 39
無料の配送 39
\$150.00 の購入で 15% OFF 39
イブニング・ドレスをご購入の方に、イブニング・バッグをプレゼント 40
タンクトップの購入で、2 枚目のタンクトップは 30% OFF 41
ルール・ベースの割引のアクティブ化 42
第 4 部: サンプル・ストアのスケジュールされたジョブの作成 42
第 5 部: サンプル・ストアの E メール通知の構成 44
第 6 部: マーケティング・キャンペーンの作成 46
新規の男性および女性の顧客プロフィールの作成 46
年齢別の顧客プロフィールの作成 47
シーズンオフ・セール・キャンペーンの作成 47
シーズンオフ・セール・キャンペーンのイニシアチブの作成 48
シーズンオフ・セールの e-マーケティング・スポットのスケジュール 50
ホット・セール・キャンペーンの作成 50
ホット・セール・キャンペーンのイニシアチブの作成 51
ホット・セールの e-マーケティング・スポットのスケジュール 53
ストアでの登録およびショッピング 53
第 7 部: オークションの使用可能化 53
第 8 部: ストアの WebSphere Commerce Payments のセットアップ 54
FashionFlow ストア・フロー 54

第 6 章 FashionFlow ユース・ケース 61

「ホーム」ページ 61
登録 62
ログオン 63
アカウントの管理 64
個人情報の変更 65
新規住所の追加 66
住所録の編集 67
買い物候補リストへのアイテムの追加 68
買い物候補リストの表示 68
バンドル・ページの表示 70
パッケージ表示ページ 71
商品カテゴリーの表示 72

ガイド付き販売	73
関連商品販売、上位商品販売、およびアクセサリ	74
カテゴリ・ページでの関連商品販売の表示	75
割引バナー広告の表示	75
\$100 以上お買い上げの場合の無料配送	77
1 アイテムのご購入でもう 1 つが 30% OFF	77
イブニング・ドレスの購入時に無料のプレゼントを 進呈	78
\$150 以上お買い上げの方にオーダーの 15% 割引	79
E メール・アドレスのセットアップ/Eメールの受信 オプション	79
登録顧客の E メール・アドレスの更新/Eメールの 受信オプション	80
商品ページの表示	81
ショッピング・カートの表示	82
オーダーの表示	83
クイック・チェックアウト・プロファイルの作成	84
クイック・チェックアウト	85
ショッピング・カートのチェックアウト	87
下位カテゴリ・ページのトラブルシューティング	89

第 7 章 FashionFlow チュートリアル 91

クーポンの作成と使用	91
デモンストレーション	91
前提条件	91
クーポンの作成	91
クーポンの使用	95
関連商品販売の使用	96
デモンストレーション	96
前提条件	96
関連商品販売の使用	96
X 個購入で無料のプレゼント	98
デモンストレーション	98
前提条件	98
割引の作成: イブニング・ドレスの購入時に無料 のイブニング・バッグを受け取る	98
ルール・ベース割引のアクティブ化	100
割引の使用	100
\$X 以上お買い上げで送料無料	101
デモンストレーション	101
前提条件	102
割引の作成: (\$100 以上のお買い上げで通常便で の送料無料)	102
ルール・ベース割引のアクティブ化	103
割引の使用	104
ガイド付き販売	105
デモンストレーション	105
前提条件	105
ガイド付き販売の使用	105
X を購入すると、もう 1 アイテムは割引価格	107
デモンストレーション	107
前提条件	107
割引の作成: タンクトップを購入したら、2 着目 は 30% 割引	107
ルール・ベース割引のアクティブ化	110
割引の使用	110

\$x 以上のお買い上げで y% OFF	111
デモンストレーション	111
前提条件	111
割引の作成: \$100 以上お買い上げの方は 10%	
割引	111
ルール・ベース割引のアクティブ化	113
割引の使用	113
上位商品販売の使用	115
デモンストレーション	115
前提条件	115
上位商品販売の使用	115
E メール買い物候補オプションの作成および受信	116
デモンストレーション	116
前提条件	117
E メール・テンプレートの作成	117
Eメールのアカウントとアクティビティのセ ットアップ	117
販売促進 Eメールの受信の登録	120
参照: Domino Server マシンを例として使用し て、SMTP サーバー中に Eメール・アカウント を作成する方法のサンプル	120
商品探索および商品比較の使用	121
デモンストレーション	121
前提条件	122
商品探索および商品比較の使用	122
拡張検索を使用した商品の検索	123
デモンストレーション	123
前提条件	123
拡張検索の使用	123

第 8 章 MiniFashion サンプル・ストア の概要 125

第 4 部 企業向けサンプル (ToolTech) 127

第 9 章 企業向けサンプル・ストア・ア ーカイブ 129	
企業向けストア・アーカイブおよびアクセス制御	129
組織構造およびインスタンスの作成	129
企業向けストア・アーカイブ	131
動的に作成される役割	133

第 10 章 企業向けサンプル・ストア (ToolTech) 概要 137

第 11 章 ToolTech サンプル・ストア を使用したストアの作成 139	
第 1 部: ToolTech に基づいたストアの発行および 構成	139
第 2 部: サンプル・ストアのスケジュールされたジ ョブの作成	139
第 3 部: サンプル・ストアの Eメール通知の構成	139
第 4 部: RFQ の使用可能化と使用不能化	139
第 5 部: マーケティング・キャンペーンの作成	140

顧客プロファイルの作成	140
キャンペーンの作成	140
キャンペーン・イニシアチブの作成	141
e-マーケティング・スポットの作成	141
第 6 部: ストアの WebSphere Commerce Payments のセットアップ	142
ToolTech ストア・フロー	142

第 12 章 ToolTech ユース・ケース 149

新規顧客の登録	149
登録顧客によるログオン	149
住所録の編集	150
オーダーへのアイテムの追加	151
個人情報の更新	152
バイヤー承認	152
新規要求リストの作成	153
要求リストへのアイテム追加	154
要求リストからのオーダー作成	155
SKU を使用したオーダー作成	155
全要求リストの表示	156
要求リストからのアイテム除去	156
特定の商品の検索	156
繰り返しオーダーのスケジュール	157
オーダーの送信	158
オーダー履歴の表示	159
下位カテゴリー・ページのトラブルシューティング	159

第 13 章 ToolTech チュートリアル 161

RFQ の使用	161
RFQ 要求の概要	161
RFQ 応答の概要	162
前提条件	162
WebSphere Commerce RFQ の主な機能	162
RFQ の作成	165
組織のロゴの追加	172

第 5 部 デマンド・チェーン・サンプル (Commerce プラザ) 173

第 14 章 デマンド・チェーン・サンプル・ストア・アーカイブ 175

デマンド・チェーン・ストア・アーカイブとアクセス制御	175
組織構造およびインスタンスの作成	175
デマンド・チェーン	177
SAR のデプロイメント	181
動的に作成される役割	187

第 15 章 デマンド・チェーン・サンプル・ストア (Commerce プラザ) 概要 . 189

第 16 章 Commerce プラザに基づいてストアを作成する 191

第 1 部: Commerce プラザに基づいたストアの発行 および構成	191
---	-----

第 2 部: ディストリビューター・サービス契約のインポート	191
--	-----

第 3 部: サンプル・ストアのスケジュールされたジョブの作成	192
---	-----

第 4 部: サイトに合わせた E メール構成	192
-----------------------------------	-----

第 5 部: ストアの WebSphere Commerce Payments のセットアップ	193
--	-----

Commerce プラザ・ストア・フロー	193
--------------------------------	-----

第 17 章 Commerce プラザ・チュートリアル 197

Commerce プラザの自己登録	197
-----------------------------	-----

デモンストレーション	197
----------------------	-----

前提条件	197
----------------	-----

Commerce プラザの組織および組織管理者の自己	
----------------------------	--

登録	197
--------------	-----

既存の組織の一部としての販売店ユーザーの自己	
------------------------	--

登録	198
--------------	-----

Commerce プラザでのショッピング	199
--------------------------------	-----

デモンストレーション	199
----------------------	-----

前提条件	199
----------------	-----

Commerce プラザでのショッピング - 見積もり	
-----------------------------	--

の要求とショッピング・カートの転送 (基本フロ	
-------------------------	--

ー)	199
--------------	-----

クイック・リンク・オプション	200
--------------------------	-----

お気に入りリストの作成	200
-----------------------	-----

ショッピング・カートへの複数の部品番号の追加	
------------------------	--

ホストされるストアの作成	201
------------------------	-----

デモンストレーション	201
----------------------	-----

前提条件	201
----------------	-----

ホストされるストアの作成	201
------------------------	-----

ホストされるストアの変更	202
------------------------	-----

デモンストレーション	202
----------------------	-----

前提条件	202
----------------	-----

ホストされるストアの情報の変更	202
---------------------------	-----

ホストされるストアのロゴの変更	203
---------------------------	-----

ホストされるストア・ページの変更	203
----------------------------	-----

ストア・スタイルの変更	203
-----------------------	-----

ホストされるストアのフローの変更	204
----------------------------	-----

新規のホストされるストアのオープン	204
-----------------------------	-----

デモンストレーション	204
----------------------	-----

前提条件	204
----------------	-----

ストアのオープン	204
--------------------	-----

ホストされるストアから Commerce プラザへのシ	
-----------------------------	--

ョッピング・カートの転送	205
------------------------	-----

デモンストレーション	205
----------------------	-----

前提条件	205
----------------	-----

ホストされるストアから Commerce プラザへの	
----------------------------	--

ショッピング・カートの転送	205
-------------------------	-----

下位カテゴリー・ページのトラブルシューティング	206
-------------------------	-----

第 6 部 サプライ・チェーン・サンプル (Commerce Supplier Hub) . . 207

第 18 章 サプライ・チェーン・サンプル・ストア・アーカイブ 209

サプライ・チェーン・ストア・アーカイブおよびアクセス制御	209
組織構造およびインスタンスの作成	209
サプライ・チェーン・ストア・アーカイブ	211
SAR のデプロイメント	214
動的に作成される役割	218

第 19 章 サプライ・チェーン・サンプル・ストア (サプライヤー・ハブ) の概要 221

第 20 章 Commerce Supplier Hub サンプルを使用したストアの作成 223

第 1 部: Commerce Supplier Hub に基づいたストアの発行および構成	223
第 2 部: サンプル・ストアのスケジュールされたジョブの作成	223
第 3 部: サンプル・ストアの E メール通知の構成	223
第 4 部: RFQ の使用可能化と使用不能化	223
第 5 部: オークションの使用可能化	224
第 6 部: ストアの WebSphere Commerce Payments のセットアップ	224
第 7 部: セラーがダウンロードするサンプル・ファイル catalog.csv の提供	225
Commerce Supplier Hub ストア・フロー	225

第 21 章 Commerce Supplier Hub チュートリアル 229

サイト管理者へのメッセージ (コメント、フィードバック、提案) の送信	229
デモンストレーション	229
前提条件	229
メッセージの送信	229
Commerce Supplier Hub の自己登録	229
デモンストレーション	229
バイヤー組織およびバイヤーの自己登録	229
セラー組織とセラーの自己登録	230
ホストされるストアの作成	231
デモンストレーション	231
前提条件	231
ホストされるストアの作成	231
新規カテゴリ、商品、アイテム、またはオファーのアップロード	232
デモンストレーション	232
前提条件	232
新規カテゴリ、商品、アイテム、またはオファーのアップロード	232
新規カテゴリ、商品、アイテム、またはオファーの作成	233
デモンストレーション	233
前提条件	233
新規カテゴリ、商品、アイテム、またはオファーの作成	233

サプライヤー・ハブによって所有される商品のオファーの作成	234
新規のホストされるストアの再開	235
デモンストレーション	235
前提条件	235
新規のホストされるストアの再開	235
ビジネス用ストアのオープン	235
デモンストレーション	235
前提条件	235
簡単な購入の完了	236
デモンストレーション	236
前提条件	236
バイヤーは購入を完了する	236
RFQ の使用	236
デモンストレーション	236
前提条件	237
バイヤーは複数パーティーの RFQ を作成する	237
セラーは複数パーティーの RFQ に応答する	237
オークションの使用	238
デモンストレーション	238
前提条件	238
サプライヤーはオークションを作成する	238
サプライヤーは入札ルールを作成する	239
サプライヤーはオークション・スタイルを作成する	239
バイヤーはオークションの自動入札を作成する	240
下位カテゴリ・ページのトラブルシューティング	240

第 7 部 ホスティング・サンプル (Commerce Hosting Hub). 241

第 22 章 ホスティング・ストア・アーカイブ 243

ホスティング・ストア・アーカイブおよびアクセス制御	243
組織構造およびインスタンスの作成	243
ホスティング・ストア・アーカイブ	245
SAR のデプロイメント	249
動的に作成される役割	255

第 23 章 ホスティング・サンプル・ストア (Hosting Hub) の概要 257

第 24 章 Hosting Hub に基づいてストアを作成する 259

第 1 部: ホスティング・サンプルの発行	259
第 2 部: WebSphere Commerce Payments のセットアップ	259
第 3 部: ホストされるストアに対する在庫トラッキングの使用可能化	259
第 4 部: セラー登録の承認の使用不能化	260
第 5 部: サイトのスケジュールされたジョブの作成	260
第 6 部: サイトの E メール通知の構成	262
第 7 部: セラーがダウンロードするサンプル・ファイル catalog.csv の提供	265

Commerce Hosting Hub のストア・フロー	265
第 25 章 Commerce Hosting Hub の ユース・ケース	267
新規セラーの登録	267
ホストされるストアの作成	267
第 26 章 Commerce Hosting Hub チ ュートリアル	269
サイト管理者へのメッセージ (コメント、フィード バック、提案) の送信	269
デモンストレーション	269
前提条件	269
メッセージの送信	269
Commerce Hosting Hub の自己登録	269
デモンストレーション	269
自己登録	269
空カタログを持つホストされるストアの作成	270
デモンストレーション	270
空カタログを持つホストされるストアの作成	270
共用カタログを持つホストされるストアの作成	271
デモンストレーション	271
共用カタログを持つホストされるストアの作成	271
新規のホストされるストアの再開	272
デモンストレーション	272
新規のホストされるストアの再開	272
ホストされるストアの情報の変更	272
デモンストレーション	272
前提条件	272
ホストされるストアの情報の変更	272
ホストされるストアのロック・アンド・フィールドの 変更	273
デモンストレーション	273
前提条件	273
ホストされるストアのロック・アンド・フィール の変更	273
ホストされるストアのフローの変更	274

デモンストレーション	274
前提条件	274
ホストされるストアのフローの変更	274
カタログ・データのインポートおよびロード	274
デモンストレーション	274
前提条件	274
カタログ・データのインポートおよびロード	274
ストアの商品のフィルター掛け	275
デモンストレーション	275
前提条件	275
ストアの商品のフィルター掛け	275
クーポンの作成と使用	276
デモンストレーション	276
前提条件	276
クーポンの作成	276
クーポンの使用	280
運用レポートの表示	281
デモンストレーション	281
前提条件	281
運用レポートの表示	281
ビジネス用ストアのオープン	282
デモンストレーション	282
前提条件	282
ストアのオープン	282
カタログを処理する管理者の作成	282
デモンストレーション	282
前提条件	283
管理者の作成	283
ストア・ロケーターの使用	283
デモンストレーション	283
前提条件	283
ストア・ロケーターの使用	284

第 8 部 付録 285

付録. 特記事項	287
商標	289

本書について

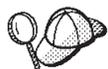
「IBM® WebSphere® Commerce サンプル・ストア・ガイド」では、WebSphere Commerce に付属の WebSphere Commerce サンプル・ストアについて説明しています。特に、以下のトピックについて詳しく説明しています。

- ビジネス・モデルおよびサンプル
- サンプル・ストアまたはサイトの規則
- 概要、セットアップ、およびフィーチャーの情報
- チュートリアルおよびユース・ケース

本書の表記規則および用語

本書では、以下のような強調表示の規則を使用しています。

太字体	コマンドまたはグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) のコントロール (フィールド、アイコン、またはメニュー選択項目の名前など) を表します。
モノスペース (Monospace)	表示どおりに入力するテキストの例、ファイル名、およびディレクトリーのパスと名前を表します。
イタリック	語を強調するために使用されます。イタリックは、ご利用のシステムで適切な値に置き換える必要がある名前も示します。



このアイコンはヒントを表します。これは、タスクを完了するのに役立つ可能性のある追加情報です。

重要

これらのセクションでは、特に重要な情報を強調しています。

注

これらのセクションでは、重要な情報を強調しています。

▶ Business

WebSphere Commerce Business Edition に固有の情報を示します。

▶ Professional

WebSphere Commerce Professional Edition に固有の情報を示します。

▶ Express

WebSphere Commerce - Express Edition に固有の情報を示します。

	WebSphere Commerce 開発環境に固有の情報を示します。 WebSphere Commerce Business Edition および WebSphere Commerce Professional Edition の場合、開発環境は WebSphere Commerce Studio バージョン 5.5 です。 WebSphere Commerce - Express の場合、開発環境は WebSphere Commerce - Developer Edition バージョン 5.5 です。
	AIX® 上で実行されるプログラムに固有の情報を示します。
	OS/400® 上で実行されるプログラムに固有の情報を示します。
	Linux for xSeries、Linux for eServer zSeries and S/390、Linux for eServer iSeries、および Linux for eServer pSeries 上で実行されるプログラムに固有の情報を示します。
	Solaris オペレーティング環境上で実行されるプログラムに固有の情報を示します。
	Windows® 2000 上で実行されるプログラムに固有の情報を示します。
	DB2 Universal Database™ に固有の情報を示します。
	Oracle9i Database に固有の情報を示します。

パス変数

このガイドでは、ディレクトリー・パスを表すために以下の変数を使用しています。

WC_installdir

これは、WebSphere Commerce のインストール・ディレクトリーです。様々なオペレーティング・システムでの WebSphere Commerce 用デフォルト・インストール・ディレクトリーを以下に示します。

	/usr/WebSphere/CommerceServer55
	/QIBM/ProdData/CommerceServer55
	/opt/WebSphere/CommerceServer55
	/opt/WebSphere/CommerceServer55
	C:\Program Files\WebSphere\CommerceServer55

WC_userdir

これは、変更可能で、ユーザーが構成する必要がある、WebSphere Commerce で使用されるすべてのデータ用のディレクトリーです。そうした

データの例として、WebSphere Commerce インスタンス情報があります。このディレクトリーは、OS/400 に固有のものです。

`WC_userdir` 変数は、次のディレクトリーを表します。

`/QIBM/UserData/CommerceServer55`

`WAS_installdir`

これは、WebSphere Application Server のインストール・ディレクトリーです。様々なオペレーティング・システムでの WebSphere Application Server 用デフォルト・インストール・ディレクトリーを以下に示します。

	<code>/usr/WebSphere/AppServer</code>
	<code>/QIBM/ProdData/WebAS5</code>
	<code>/opt/WebSphere/AppServer</code>
	<code>/opt/WebSphere/AppServer</code>
	<code>C:%Program Files%WebSphere%AppServer</code>

`WAS_userdir`

これは次のディレクトリーを表します:

`/QIBM/UserData/WebAS5/Base/WAS_instancename`

`workspace_dir`

WebSphere Commerce 開発ワークスペースのディレクトリー。デフォルトのワークスペース・ディレクトリーは `WebSphere%workspace` です。

最新情報の入手先

本書は、将来、更新される可能性があります。以下の WebSphere Commerce Web サイトで更新情報をチェックしてください。

www.ibm.com/software/webservers/library.html

更新では、新しい情報が含まれていることがあります。

第 1 部 WebSphere Commerce サンプルの概要

IBM WebSphere Commerce は、ユーザー固有のビジネス (ストアまたはサイト) の基本にできる、いくつかのサンプルを提供しています。それぞれのサンプルは、ビジネス・モデルを表しています。ビジネス・モデルは、特定の e-コマース・ソリューションをターゲットにした、組織構造、組織に割り当てる役割、アクセス制御ポリシーとポリシー・グループ、および事前定義ストアを提供するという概念です。

サンプルは、ダイレクト・セールス、バリュー・チェーン (デマンド・チェーンおよびサプライ・チェーン)、およびホスティングのシナリオを表すように作成されています。 WebSphere Commerce サンプルで表されているビジネス・モデルは以下のものです。

- 消費者向け
- 企業向け
- デマンド・チェーン
- サプライ・チェーン
- ホスティング

各サンプルは、現在の最先端のビジネス・サイトにある機能を活用するように設計されています。 WebSphere Commerce で提供されているサンプル・ストアは以下のとおりです。

- FashionFlow (オンライン消費者向けファッション・ストア)
- MiniFashion (規模を縮小したオンライン消費者向けストア)
-  ToolTech (オンライン企業向けハードウェア備品ストア)
-  Commerce プラザ (オンライン・デマンド・チェーン販売店コンピューター・ストア)
-  Commerce Hosting Hub (オンライン・ホスティング・ストア)
-  Commerce Supplier Hub (オンライン・サプライ・チェーン・ストア)
-  Express Store (オンライン消費者向けおよび企業向けストア)

注: Express Store については、「*WebSphere Commerce - Express スタートアップ・ガイド*」で説明しています。

ダイレクト・セールス・モデルおよび関連したストア・アーカイブについての情報は、19 ページの『第 3 部 消費者向けサンプル (FashionFlow)』 および 127 ページの『第 4 部 企業向けサンプル (ToolTech)』を参照してください。

バリュー・チェーン (デマンド・チェーンとサプライ・チェーンの両方) モデルおよび関連したストア・アーカイブについての情報は、173 ページの『第 5 部 デマンド・チェーン・サンプル (Commerce プラザ)』 および 207 ページの『第 6 部 サプライ・チェーン・サンプル (Commerce Supplier Hub)』を参照してください。

ホスティング・モデルおよび関連したストア・アーカイブについての情報は、 241 ページの『第 7 部 ホスティング・サンプル (Commerce Hosting Hub)』を参照してください。

第 1 章 WebSphere Commerce に付属しているサンプル

IBM WebSphere Commerce は、ユーザー固有のビジネス (ストアまたはサイト) の基本にできる、いくつかのサンプルを提供しています。それぞれのサンプルは、ビジネス・モデルを表しています。ビジネス・モデルは、特定の e-コマース・ソリューションをターゲットにした、組織構造、組織に割り当てる役割、アクセス制御ポリシーとポリシー・グループ、および事前定義ストアを提供するという概念です。モデルは開発段階で使用する必要があり、ソリューションの標準的なインプリメンテーション例としての役割を果たします。このモデルをベースとして使用し、必要に合わせ業務を反映させるように、その内容を追加、削除、または変更します。

サンプルの目的は、WebSphere Commerce をインストールしてからサイトで稼働させるまでの時間を、前のリリースと比べて短縮することです。この目的を達成するには、コマンドや JSP ファイルだけではなく、適切な組織レイアウト、承認構成、および特定のビジネス・シナリオ用の適切なアクセス制御ポリシー・グループへのサブスクリプションも必要です。サンプルは、ダイレクト・セールス、バリュー・チェーン (デマンド・チェーンおよびサプライ・チェーン)、およびホスティングのシナリオを表すように作成されています。WebSphere Commerce サンプルで表されているビジネス・モデルは以下のものです。

- 消費者向け
- 企業向け
- デマンド・チェーン
- サプライ・チェーン
- ホスティング

各ビジネス・モデルには、WebSphere Commerce ビジネス・モデルのすべての資産が入っている複合ストア・アーカイブが含まれています。このストア・アーカイブにサンプルが含まれています。それぞれのサンプル・ストアは、ストア・アーカイブとして WebSphere Commerce に付属しているため、追加のインストールは必要ありません。実動ストアを作成するために、複合ストア・アーカイブの 1 つを発行する必要があります。さらに、実動ストアを発行するために一連のコンポーネント・ストア・アーカイブを発行することもできます。ストアは管理コンソールから発行されます。「サイト」を選択し、「ストア・アーカイブ」メニューから「発行」を選択することにより、サイト管理者のみがストア・アーカイブを発行できます。発行可能なストア・アーカイブがリストされた「ストア・アーカイブ」ページが表示されます。デフォルトでは、複合ストア・アーカイブを示すページが表示されます。ストア・アーカイブの発行について詳しくは、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの発行についての説明を参照してください。

各サンプルは、現在の最先端のビジネス・サイトにある機能を活用するように設計されています。WebSphere Commerce で提供されているサンプル・ストアは以下のとおりです。

- FashionFlow (オンライン消費者向けファッション・ストア)
- MiniFashion (オンライン消費者向けストア)

- ToolTech (オンライン企業向けハードウェア備品ストア)
- Commerce プラザ (オンライン・デマンド・チェーン販売店コンピューター・ストア)
- Commerce Hosting Hub (オンライン・ホスティング・ストア)
- Commerce Supplier Hub (オンライン・サプライ・チェーン・ストア)

WebSphere Commerce がサポートするビジネス・モデルの詳細およびストア開発に関する情報は、「*IBM WebSphere Commerce ストア開発ガイド*」を参照してください。

サンプル・ストア・アーカイブのアクセス制御

それぞれのビジネス・モデルには、それに関連付けられた複合ストア・アーカイブ・ファイル (SAR) があります。ストア・アーカイブ・ファイルは、サイトまたはストアの作成に必要なすべての資産の入った圧縮ファイルです。ストア・アーカイブを発行すると、表示、ブラウズ、またはショッピングが可能なサイトまたはストアが有効になります。

小規模のストア・アーカイブのすべての資産を含む複合アーカイブを発行することもできますし、より少ない資産を含む個別またはコンポーネント・ストア・アーカイブを発行することもできます。複合ストア・アーカイブには、運用サイトを作成するために必要なすべての資産が入っています。また、対応するビジネス・モデルの組織構造、事前定義ユーザー役割、アクセス制御ポリシー、およびポリシー・グループが入っています。必要なセキュリティー資産に加えて、ビジネス・プロセスや JSP ファイルなどのセキュリティー以外の資産も入っています。複合ストア・アーカイブに含まれているすべての資産が必要でない場合は (おそらく、その一部の性質がストアにふさわしくないという理由による)、コンポーネント・ストア・アーカイブを発行できます。

ストア・アーカイブを発行すると、組織構造が作成されます。同時に、組織と組織単位、ストア固有のアクセス・ポリシーとポリシー・グループ、ポリシー・グループへのサブスクリプション、組織への役割の割り当て、組織への承認の割り当ても作成されます。

役割と MemberRegistrationAttributes XML ファイル

役割は、インスタンスを作成してストア・アーカイブを発行した後で、ユーザーまたは組織を登録するときに、動的に作成されることもあります (自己登録 とも呼ばれます)。ユーザーは、次のコマンドを使用して自己登録できます。

BuyerRegistrationAdd、 ResellerRegistrationAdd、 UserRegistrationUpdate、 および UserRegistrationAdd。登録プロセスの一部として、役割が自動的に割り当てられます。割り当ては、登録のタイプ、作成後にユーザーが属する組織、新規ユーザーを登録するストアに基づいて行われます。割り当てられる特定の役割は、MemberRegistrationAttributes.xml ファイルを使用して構成可能です。

UserRoles セクションには、ユーザー・ノードが入っています。役割の割り当てアルゴリズムは、ユーザー・ノードのリスト内で繰り返され、最初に一致するものを戻します。これは、以下に基づいて処理されます。

- registrationType (たとえば、userRegistration、ResellerRegistration、BuyerRegistration)。
- memberAncestor (ユーザーの上位ツリーを構成する組織または組織単位)。
- 上位ストア (ユーザーが登録するストアの上位ツリーを構成する組織または組織単位)。このファイルは、上位ユーザーごとに registrationType と storeAncestor に一致するユーザー・ノードを検索して、一致したものの中から最初のグループを戻します。

外部の基準に一致する役割グループが検出されると、WebSphere Commerce は、グループ内の役割をユーザーまたは組織に割り当てようとします。ユーザー役割名の例として、登録済み顧客があります。

OrganizationRoles セクションは、新しい組織の役割を定義するセクションであるという点を除けば、ユーザー役割セクションとよく似ています。主な違いは、組織の役割グループ内にリストされている役割が、名前によってのみ定義されるということです。つまり、WebSphere Commerce が一致する役割グループを見つけると、リストに定義されているすべての役割が作成されます。組織役割グループの例として、販売店登録があります。これには、セラー、セラー管理者、および登録済み顧客などの複数の役割が入っています。

このファイルの説明と、役割の作成方法についての詳細は、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

各サンプルで動的に作成される役割についての詳細は、該当するサンプル・ストアの章を参照してください。

第 2 部 サンプル・ストアの規則

WebSphere Commerce で提供されているサンプル・ストアは、類似した規則に従います。それらの規則には以下のものがあります。

- 場所とディレクトリー構造
- JavaServer Pages の命名規則
- プロパティー・ファイルの命名規則

第 2 章 サンプル・ストアの規則

WebSphere Commerce に付属するすべてのストア・サンプルは、類似した規則に従います。それらの規則には、サンプルの場所とディレクトリー構造、JavaServer Pages の命名規則、またはプロパティ・ファイルの命名規則などがあります。

サンプルの場所とディレクトリー構造

場所とディレクトリー構造は、開発環境または実動環境のいずれにおいても置かれている場所がわかるように、2 つの異なるパスで示されます。開発パスは、変数 `workspace_dir` を持ち、実動パスは、変数 `WAS_installdir` を持ちます。

消費者向け — FashionFlow

表 1. FashionFlow

ストア	JSP の場所	プロパティ・ファイルの場所
FashionFlow	<code>Developer workspace_dir/Stores</code> <code>/Web Content/FashionFlow</code> <code>WAS_installdir/installedApps/</code> <code>nodename</code> <code>/WC_instancename.ear</code> <code>/Stores.war/FashionFlow</code>	<code>Developer workspace_dir/Stores</code> <code>/Web Content/WEB-INF/classes</code> <code>/FashionFlow/</code> <code>WAS_installdir/installedApps/</code> <code>nodename</code> <code>/WC_instancename.ear/Stores.war/</code> <code>WEB-INF/classes/FashionFlow</code>

JSP ファイルおよびプロパティ・ファイルに加えて、ページのフロー、ストアまたはサイトのスタイル、およびプレビュー・ページ (実動に移る前に変更のプレビューを取得する) を変更するために使用されるその他のファイルがいくつかあります。

フローを変更したり、特定のストア・フィーチャーを使用可能または使用不可にしたりするために、**フローの変更ファイル**が以下の場所にあります。

```
Developer workspace_dir/Stores/Web Content/WEB-INF/xml/tools/stores/FashionFlow/  
WAS_installdir/installedApps/nodename  
/WC_instancename.ear/Stores.war/  
WEB-INF/xml/tools/stores/FashionFlow/
```

ストアまたはサイトのスタイルを変更するために、ストア「スタイル・エディター」サムネールが以下の場所にあります。

```
Developer workspace_dir/Stores/Web Content/tools/stores/FashionFlow/style  
WAS_installdir/installedApps/nodename  
/WC_instancename.ear/Stores.war/  
tools/stores/FashionFlow/style
```

変更されたページをプレビューするために、「**ページの変更**」プレビュー・ページが以下の場所にあります。

▶ Developer `workspace_dir/Stores/Web Content/tools/stores/FashionFlow/text`
`WAS_installdir/installedApps/nodename/WC_instancename.ear`
`/Stores.war/tools/stores/FashionFlow/text`

消費者向け — MiniFashion

表 2. MiniFashion

ストア	JSP の場所	プロパティ・ファイルの場所
MiniFashion	▶ Developer <code>workspace_dir/Stores</code> <code>/Web Content/ConsumerBasic</code> <code>WAS_installdir/installedApps/</code> <code>nodename</code> <code>/WC_instancename.ear</code> <code>/Stores.war/</code> <code>ConsumerBasic</code>	なし

企業向け — ToolTech

▶ Business

表 3. ToolTech

ストア	JSP の場所	プロパティ・ファイルの場所
ToolTech	▶ Developer <code>workspace_dir/Stores</code> <code>/Web Content/ToolTech</code> <code>WAS_installdir/installedApps/</code> <code>nodename</code> <code>/WC_instancename.ear</code> <code>/Stores.war/ToolTech</code>	▶ Developer <code>workspace_dir/Stores</code> <code>/Web Content/WEB-INF/classes</code> <code>/ToolTech</code> <code>WAS_installdir/installedApps/</code> <code>nodename</code> <code>/WC_instancename.ear</code> <code>/Stores.war/WEB-INF/classes/</code> <code>ToolTech</code>

フローを変更したり、特定のストア・フィーチャーを使用可能または使用不可にしたりするために、**フローの変更ファイル**が以下の場所にあります。

▶ Developer `workspace_dir/Stores/Web Content/WEB-INF/xml/tools/stores/ToolTech`
`WAS_installdir/installedApps/nodename/WC_instancename.ear/Stores.war/`
`WEB-INF/xml/tools/stores/ToolTech`

デマンド・チェーン — Commerce プラザ

▶ Business

表 4. Commerce プラザ

ストア	JSP の場所	プロパティ・ファイルの場所
-----	---------	---------------

表 4. Commerce プラザ (続き)

Commerce プラザ	<p>▶ Developer workspace_dir/Stores /Web Content/CommercePlaza WAS_installdir/installedApps/ nodename /WC_instancename.ear /Stores.war/CommercePlaza</p>	<p>▶ Developer workspace_dir/Stores /Web Content/WEB- INF/classes/CommercePlaza WAS_installdir/installedApps/ nodename /WC_instancename.ear/Stores.war/ WEB-INF/classes/CommercePlaza</p>
ConsumerDirect ResellerProfile ストア	<p>▶ Developer workspace_dir/Stores /Web Content /ConsumerDirectResellerProfile WAS_installdir/installedApps/ nodename /WC_instancename.ear /Stores.war/ ConsumerDirectResellerProfile</p>	<p>▶ Developer workspace_dir/Stores /Web Content/WEB-INF /xml/tools/stores /ConsumerDirectResellerProfile WAS_installdir/installedApps/ nodename /WC_instancename.ear/Stores.war/ WEB-INF/classes /ConsumerDirectResellerProfile</p>
カタログ資産 ストア	<p>▶ Developer workspace_dir/Stores /Web Content /CommercePlazaCatalog WAS_installdir/installedApps /nodename/WC_instancename.ear /Stores.war/ CommercePlazaCatalog</p>	なし

JSP ファイルおよびプロパティ・ファイルに加えて、ページのフロー、ストアまたはサイトのスタイル、およびプレビュー・ページ (実動に移る前に変更のプレビューを取得する) を変更するために使用されるその他のファイルがいくつかあります。

フローを変更したり、特定のストア・フィーチャーを使用可能または使用不可にしたりするために、**フローの変更ファイル**が以下の場所にあります。

▶ Developer workspace_dir/Stores/Web
Content/WEB-INF/xml/tools/stores/ConsumerDirectResellerProfile
WAS_installdir/installedApps/nodename/WC_instancename.ear
/Stores.war/WEB-INF/xml/tools/stores/ConsumerDirectResellerProfile

ストアまたはサイトのスタイルを変更するために、ストア「スタイル・エディター」サムネイルが以下の場所にあります。

▶ Developer workspace_dir/Stores/Web
Content/tools/stores/ConsumerDirectResellerProfile/style
WAS_installdir/installedApps/nodename/WC_instancename.ear
/Stores.war/tools/stores/ConsumerDirectResellerProfile/style

変更されたページをプレビューするために、「ページの変更」プレビュー・ページが以下の場所にあります。

▶ Developer workspace_dir/Stores/Web

Content/tools/stores/ConsumerDirectResellerProfile/text
 WAS_installdir/installedApps/nodename/WC_instancename.ear
 /Stores.war/tools/stores/ConsumerDirectResellerProfile/text

デマンド・チェーン — ホストされるストア

Business

ホストされるストア: ホストされるストアには、デフォルトのディレクトリー名がないことに注意してください。そこに独自の名前を付けることができます。そのため、これを *hosted_store* と呼ぶことにします。ホストされるストアを作成すると、すべてのリソースが *ConsumerDirectResellerProfile* ストアと共有されるため、ホストされるストアには独自の資産はありません。ストアをカスタマイズすると、いくつかのファイルが作成され、以下のディレクトリーに置かれます。

表5. デマンド・チェーン — ホストされるストア

イメージ	フローの変更ファイル	プロパティ・ファイルの場所
Developer <i>workspace_dir</i> /Stores/Web Content/ <i>hosted_store</i> WAS_installdir /installedApps/nodename /WC_instancename.ear /Stores.war/ <i>hosted_store</i>	Developer <i>workspace_dir/Stores</i> /Web Content/WEB-INF/xml/tools /stores/ <i>hosted_store</i> WAS_installdir/installedApps/ <i>nodename</i> /WC_instancename.ear /Stores.war/ WEB-INF/ xml/tools/stores / <i>hosted_store</i>	Developer <i>workspace_dir/Stores</i> /Web Content/WEB-INF/classes / <i>hosted_store</i> WAS_installdir/installedApps/ <i>nodename</i> /WC_instancename.ear /Stores.war/WEB-INF /classes/ <i>hosted_store</i>

デマンド・チェーン — Commerce Hosting Hub

Business

表6. Commerce Hosting Hub

ストア	JSP の場所	プロパティ・ファイルの場所
Commerce Hosting Hub	Developer <i>workspace_dir/Stores</i> /Web Content/CommerceHostingHub WAS_installdir/installedApps/ <i>nodename</i> /WC_instancename.ear /Stores.war/ CommerceHostingHub	Developer <i>workspace_dir/Stores</i> /Web Content/WEB-INF/classes /CommerceHostingHub/ WAS_installdir/installedApps/ <i>nodename</i> /WC_instancename.ear/Stores.war/ WEB-INF/classes /CommerceHostingHub

表 6. Commerce Hosting Hub (続き)

ストア・ディレクトリー	<p>▶ Developer workspace_dir/Stores /Web Content/public WAS_installdir/installedApps/ nodename /WC_instancename.ear/ Stores.war/public</p>	<p>▶ Developer workspace_dir/Stores /Web Content/WEB-INF/classes /public/ WAS_installdir/installedApps/ nodename /WC_instancename.ear/Stores.war/ WEB-INF/classes/public</p>
カタログ資産ストア	<p>▶ Developer workspace_dir/Stores /Web Content/ HostingCatalogAssetStore WAS_installdir/installedApps/ nodename /WC_instancename.ear/ Stores.war/ HostingCatalogAssetStore</p>	<p>▶ Developer workspace_dir/Stores /Web Content/WEB-INF/classes /HostingCatalogAssetStore/ WAS_installdir/installedApps/ nodename /WC_instancename.ear/Stores.war/ WEB-INF/classes/ HostingCatalogAssetStore</p>
ホストされるストアフロント資産ストア	<p>▶ Developer workspace_dir/Stores /Web Content/ HostedStoreFrontAssetStore WAS_installdir/installedApps/ nodename /WC_instancename.ear/ Stores.war/ HostedStoreFrontAssetStore</p>	<p>▶ Developer workspace_dir/Stores /Web Content/WEB-INF/classes /HostedStoreFrontAssetStore/ WAS_installdir/installedApps/ nodename /WC_instancename.ear/Stores.war/ WEB-INF/classes/ HostedStoreFrontAssetStore</p>

JSP ファイルおよびプロパティ・ファイルに加えて、ページのフロー、ストアまたはサイトのスタイル、およびプレビュー・ページ (実動に移る前に変更のプレビューを取得する) を変更するために使用されるその他のファイルがいくつかあります。

フローを変更したり、特定のストア・フィーチャーを使用可能または使用不可にしたりするために、**フローの変更ファイル**が以下の場所にあります。 ▶ Developer

workspace_dir/Stores
/Web Content/ WEB-INF/xml/tools/stores/HostedStoreFrontAssetStore
WAS_installdir/installedApps/nodename/WC_instancename.ear/Stores.war/WEB-INF/xml/tools/stores/HostedStoreFrontAssetStore

ストアまたはサイトのスタイルを変更するために、ストア「スタイル・エディター」サムネールが以下の場所にあります。

▶ Developer workspace_dir/Stores
/Web Content/tools/stores/HostedStoreFrontAssetStore/style
WAS_installdir/installedApps/nodename
/WC_instancename.ear/Stores.war/tools/stores/HostedStoreFrontAssetStore/style

変更されたページをプレビューするために、「ページの変更」プレビュー・ページが以下の場所にあります。

▶ Developer workspace_dir/Stores

/Web Content/tools/stores/HostedStoreFrontAssetStore/text
 WAS_installdir/installedApps/nodename
 /WC_instancename.ear/Stores.war/tools/stores/HostedStoreFrontAssetStore/text

ホストされるストアは、『デマンド・チェーン — ホストされるストア』の表にあるものと同じ動作をします。

サプライ・チェーン — Commerce Supplier Hub

Business

表 7. Commerce Supplier Hub

ストア	JSP の場所	プロパティ・ファイルの場所	カタログ・イメージの場所
サプライヤー・ハブ・ストア	▶ Developer workspace_dir /Stores/Web Content /SupplierMarketplace WAS_installdir /installedApps /nodename /WC_instancename.ear /Stores.war /SupplierMarketplace	▶ Developer workspace_dir /Stores/Web Content/WEB-INF/classes /SupplierMarketplace/ WAS_installdir /installedApps /nodename /WC_instancename.ear/ Stores.war/WEB-INF /classes/ SupplierMarketplace	なし
カタログ資産ストア	▶ Developer workspace_dir /Stores/Web Content/Catalog WAS_installdir /installedApps /nodename /WC_instancename.ear/ Stores.war /SupplierMarketplace Catalog	なし	▶ Developer workspace_dir /Stores/Web Content/ SupplierMarketplaceCatalog/ images WAS_installdir /installedApps /nodename /WC_instancename.ear /Stores.war/ SupplierMarketplaceCatalog/ images
サプライヤー資産ストア	▶ Developer workspace_dir /Stores/Web Content /SupplierProfileStore WAS_installdir /installedApps /nodename /WC_instancename.ear/ Stores.war /SupplierProfileStore	▶ Developer workspace_dir /Stores/Web Content/WEB-INF/classes /SupplierProfileStore/ WAS_installdir /installedApps /nodename /WC_instancename.ear /Stores.war/WEB-INF /classes/ SupplierProfileStore	なし

表 7. Commerce Supplier Hub (続き)

ホスト される サブ ライ ヤ ー・ ストア	 <code>workspace_dir</code> <code>/Stores/Web Content/store identifier</code> <code>WAS_installdir</code> <code>/installedApps</code> <code>/nodename</code> <code>/WC_instancename.ear/</code> <code>Stores.war</code> <code>/store identifier</code>	なし	 <code>workspace_dir/Stores</code> <code>/Web Content/store</code> <code>identifier/images/catalog</code> <code>WAS_installdir</code> <code>/installedApps</code> <code>/nodename</code> <code>/WC_instancename.ear/</code> <code>Stores.war</code> <code>/store identifier/images/catalog</code>
--	---	----	--

Java Server Pages (JSP) の命名規則

JSP ファイルを作成する場合は、可能であれば従うべき規則があります。

最初の文字は大文字にする必要があります、すべての JSP ファイルについて Camel Case スタイル (例: CamelCase) を使用します。JSP ファイル名は名詞で始まります。名詞の前に形容詞を置いて、AdvancedCatalogSearchForm.jsp のようにすることもできます。JSP ファイルが属するセクション名を繰り返す必要はありません。たとえば、AddressBookDisplay.jsp は、Account セクションに属しますが、JSP ファイルの名前の一部に「Account」を含める必要はありません。可能であれば、JSP 名には短縮形を使用しないでください。ただし、ディレクトリーの長さとの関係で短縮形の使用を避けられない場合もあります。

JSP には、以下の 2 種類があります。

1. 表示 JSP ファイル

表示 JSP ファイルは、ストア・ページの表示の局面で使用されます。このファイルには、JSP カスタム・タグだけでなく HTML も入ります。このタイプの JSP に Java コードを含めるべきではありませんが、場合によっては含めることもできます。これらの JSP ファイルには、Java 表示ロジックが入りますが、ビジネス・ロジックを含めてはなりません。

2. 非表示またはセットアップ JSP ファイル

ユーザーに情報を表示しない JSP ファイルはすべて、このカテゴリーに属します。これには、対応する表示 JSP で必要なデータを準備すること、または特定の条件に基づいてさまざまな JSP にルーティングするために使用される JSP が含まれます。たとえば、EnvironmentSetup.jsp は、他の JSP ページで使用される JSP パス、ファイル・パス、およびリソース・バンドルを検索して準備します。ルーティングに使用される JSP の例として、AllocationCheckSetup.jsp があります。この JSP ファイルには、データベース内のさまざまな条件に基づいて、異なる JSP ファイルが組み込まれます。一部のアイテムのみが使用可能な場合は ProductAvailability ページが表示され、すべてのアイテムが使用可能であるか、すべてのアイテムが使用不可の場合は OrderSummary ページが表示されます。セットアップ JSP ファイルの例として、MulitOrderProcessSetup があります。この JSP ファイルは、オーダーが分割される場合に、OrderProcess コマンドを複数回実行するために使用されます。これによって、ユーザーは支払い情報を一度入力するだけで済み、この情報は両方の分割オーダーで使用されます。JSP にビジ

ネス・ロジックを追加することはお勧めできませんが、既存のタスクを実行したり、ユーザーの便宜を図るためのコマンドがない場合に、このような JSP を作成しなければならない場合もあります。

JSP 名の末尾は、その種類によって以下のようになります。

- セットアップ JSP は Setup で終わります。たとえば、EnvironmentSetup.jsp のようになります。
- 表示 JSP は Form または Display で終わります。表示 JSP に入力フォームを含めることは可能です。このページの主な目的が表示である限り、このページは表示 JSP に分類されます。たとえば、サイドバーにはカタログ検索入力が入っていますが、サイドバーは表示 JSP と見なされます。例として、AddressForm.jsp、SideBarDisplay.jsp があります。
- エラーのある JSP は Error で終わり、QuickOrderBadSkuError.jsp のようになります。
- E メール JSP は Notify で終わり、PasswordResetNotify.jsp のようになります。

一部の JSP の扱われ方は、名前がどのように始まっているかに基づいて異なります。たとえば、JSP が「Cached」という語で始まる場合は、この JSP はキャッシュの対象となり、その目的で作成されています。JSP は、キャッシュできるように分割される場合があります。キャッシュ JSP ファイルの例として、CachedSidebarDisplay.jsp、CachedHeaderDisplay.jsp があります。

変数の命名規則

変数名は、可能な限り記述的な名前にしてください。変数名の先頭は小文字でなければならないと、Camel Case も使用できます。たとえば、String storeId = request.getParameter("storeId") のようにします。変数は、URL パラメーターと同じように命名し、簡単に関連付けることができます。

JSP テンプレート

サンプルは、関数の共通セットをインプリメントする共通ファイルのセットを保守することによって、JSP テンプレート機構を活用します。これらのファイルは、ほとんどのサンプル・ページに組み込まれています。この機構を使用すると、変更を簡単に反映できるだけでなく、すべてのサンプル・ページのルック・アンド・フィールを共通にすることができます。次に、「include」ファイルの例をいくつか取り上げます。

- index.jsp - 各ストアへのエントリー・ポイントを提供します。この JSP は、ページをストアフロントの適切な URL に転送します。これは、ストアによって異なる場合があります。たとえば、企業向けサンプルの場合は、コマンド「LogonForm」は開始 URL です。ストアフロントとして使用されるそれぞれのコマンドには、いくつかの必要パラメーターがあります。すなわち、storeId、languageId、ある場合は「catalogId」などです。ストアは、ストアを発行することによって作成されるため、storeId または catalogId は、発行されるまで分かりません。これらは、「include」ファイルを使用して JSP に提供されますが、このファイルはストア発行プロセスによって更新されます。index.jsp は include ファイ

ルではなく、parameters.jsp が include ファイルであることに注意してください。
<%@ include file="include/parameters.jsp"%> は、index.jsp 内の囲まれたコマンド
で必要なパラメーター値を提供します。

- HeaderDisplay.jsp - ページの先頭に組み込まれます。ショッピング・カート、アカウント、問い合わせ先などの、さまざまなページへの共通リンクが入ります。
- FooterDisplay.jsp - ページの最後に組み込まれます。ページの下部にある共通リンク (ヘッダーと同様またはヘッダーと同じ) が入ります。
- SidebarDisplay.jsp - Header.jsp の後ろに組み込まれます。言語の選択が含まれています。
- EnvironmentSetup.jsp - この JSP ファイルには、すべてのストア・ページ用のロケール固有のテキストが入っているリソース・バンドルへのアクセスが含まれます。これによって、JSP ファイルの 1 つのセットを保守するだけで、マルチリンガル・ストアを保守できます。この JSP ファイルは、ストア内のほとんどすべての JSP ファイルから呼び出されるため、共通に必要な属性はこのファイル内で検索されます。たとえば、StoreDir、includeDir、fileDir、および bundleDir は、このファイル内で検索されます。

プロパティ・ファイル

プロパティ・ファイルの名前は、StoreName_locale.properties でなければなりません。複数の言語をサポートするストアには、StoreName.properties というデフォルトのプロパティ・ファイルが必要です。JSP に指定したストリングがロケール固有のプロパティ・ファイルの中で検出されない場合は、デフォルトの StoreName.properties ファイルの中で検索されます。プロパティ・ファイル内でメッセージ・キーを命名する場合は、以下の規則に従ってください。

- プロパティ・ファイル内の JSP ファイルごとにセクションが必要です。今回、ページのテキストを初めて作成する場合は、ページにセクションを追加し、ページ名の先頭に「#」(コメントを意味する) を付けたものをセクションの名前にしてください。
- ページ内で使用されるすべてのテキスト・ストリングはこのプロパティ・ファイルに入っている必要があり、リソース・バンドルを使用してプロパティ・ファイルから検索されます。
- ページ上のすべてのストリングは、ページを一意的に識別する同じ ID で始まる必要があります。
- テキスト・メッセージは動的にアセンブルでき、置換されるプレースホルダーをプロパティ・ファイルに追加できます。
- メッセージ・ストリングの名前は、汎用的ではなく記述的な名前にしてください。たとえば、logon_column1 または logon_field1 ではなく、logon_userid、logon_password を使用してください。

資産

ストア・アーカイブ内のストア・データ資産は、xml 形式で参照することができます。サンプル資産についての情報は、「WebSphere Commerce ストア開発ガイド」を参照してください。

トラブルシューティング: すべてのストア内でのログオン ID の使用

WebSphere Commerce の 1 つのインスタンス内では、同じログオン ID を再利用できません。それがインスタンスごとに固有のものであることを確認してください。

第 3 部 消費者向けサンプル (FashionFlow)

WebSphere Commerce は、消費者向けサンプルを提供しています。この部分には、以下の情報が含まれています。

- 消費者向けサンプルの情報
- FashionFlow の概要およびセットアップの情報
- FashionFlow ユース・ケース
- FashionFlow チュートリアル
- MiniFashion の概要

第 3 章 消費者向けサンプル・ストア・アーカイブ

消費者向けサンプルには、消費者へのダイレクト・セールスをサポートするオンライン・ファッション・ストア (FashionFlow) が含まれています。消費者向けビジネス・モデルでは、すべてのストアは 1 人のセラーによって制御されており、このセラーが自社の商品を一般向けに販売します。

消費者向けストア・アーカイブおよびアクセス制御

FashionFlow は、WebSphere Commerce が提供する消費者向けオンライン衣料ストアです。FashionFlow は、今日の最先端の e-コマース・サイトの大半が一般に使用する多くのフィーチャーをインプリメントしています。

ここでは、サンプルのセットアップの 3 つの段階 (インスタンスの作成、SAR の発行、動的エンティティ) で作成される組織および役割について説明します。

組織構造およびインスタンスの作成

顧客またはバイヤーがサイトにアクセスし、カタログをブラウズし、オーダーを発行できるようにする場合、あるいは従業員がサイトを管理できるようにする場合 (カタログの更新、新規販売促進の作成、オーダーの管理を含む)、あるいは販売店または他のビジネス・パートナーがサイト上の取引を完了できるようにする場合は、ビジネス・シナリオ内のすべての実行者に、WebSphere Commerce 組織構造での立場を割り当てる必要があります。

WebSphere Commerce 組織構造は、ビジネス・シナリオ内の実行者 (つまりエンティティ) にフレームワークを提供します。このフレームワークは、階層構造に編成されていて、組織、組織単位、およびユーザー用のエントリーが含まれている典型的な組織階層に似ています。フレームワーク内の組織および組織単位は、ビジネスの各部の所有者としての役割を果たします。顧客、管理者、ストア、カタログ、およびディストリビューターを含むビジネスのすべての部分は、組織または組織単位に所有されている必要があります。

アクセス制御モデルは、アクセス制御ポリシーをさまざまなエンティティ (ストア、顧客、管理者など) ではなく組織に適用するため、組織構造とアクセス制御モデルは密接に関連しています。あるエンティティ (またはリソース) に適用されるポリシーは、そのエンティティまたはリソースを所有する組織に適用されます。

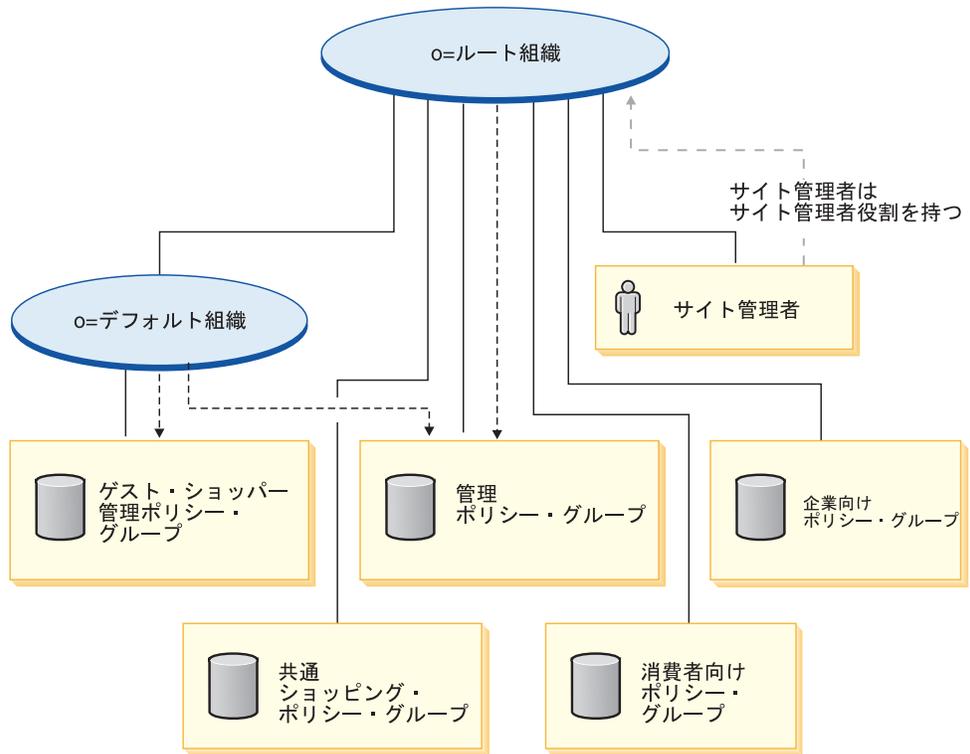
次の図は、アクセス制御が適用された WebSphere Commerce の基本組織構造を示しています。

- **ルート組織:** ルート組織は最上位の組織で、この組織自体の親でもありません。WebSphere Commerce 組織構造内のすべての組織は、ルート組織の子孫です。この例では、サイト管理者は、ルート組織によって所有されています。
- **デフォルト組織:** デフォルト組織は、ルートの下にあります。すべてのゲスト顧客と消費者向けビジネスのすべての顧客は、デフォルト組織に属します。

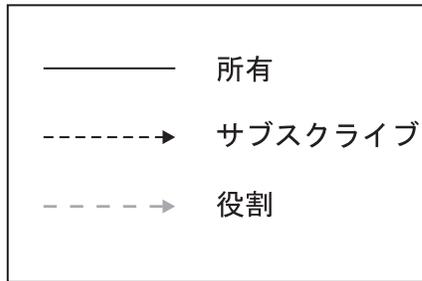
- **子組織エンティティ**：親組織エンティティの下に 1 つ以上のレベルの組織エンティティが存在できます。子組織エンティティは、ビジネスをサポートするのに必要な数だけ追加できます。

WebSphere Commerce アクセス制御構造は非常に柔軟で、サポートされるビジネス・モデルのすべてのエンティティをサポートできます。インスタンスの作成中に作成されるのは、ルート組織とデフォルト組織だけです。基本アクセス制御構造は、ビジネス・モデルとは関係なく、インスタンスの作成中にインストールされます。

基本アクセス制御



凡例



ルート組織は、以下のデフォルト・ポリシー・グループを所有します。

- 管理
- 共通ショッピング
- 消費者向け
- 企業向け

デフォルト組織は、以下のデフォルト・ポリシー・グループを所有します。

- ゲスト・ショッパー管理

ただし、ルート組織は、管理ポリシー・グループだけにサブスクライブします。このポリシー・グループのポリシーは、このルートおよびルートの子孫（ポリシー・グループにサブスクライブする子孫は除く）が所有するすべてのリソースに適用されます。デフォルト組織はポリシー・グループにサブスクライブしているため、ルート組織のポリシーは継承されません。デフォルト組織については、管理ポリシー・グループおよびゲスト・ショッパー管理ポリシー・グループのポリシーは、デフォルト組織が所有するリソースにも適用されます。

デフォルト・ポリシー・グループの詳細は、「*IBM WebSphere Commerce セキュリティ・ガイド*」の付録を参照してください。

消費者向けストア・アーカイブ

以下の SAR ファイルは消費者向けビジネス・モデルと関連付けられています。

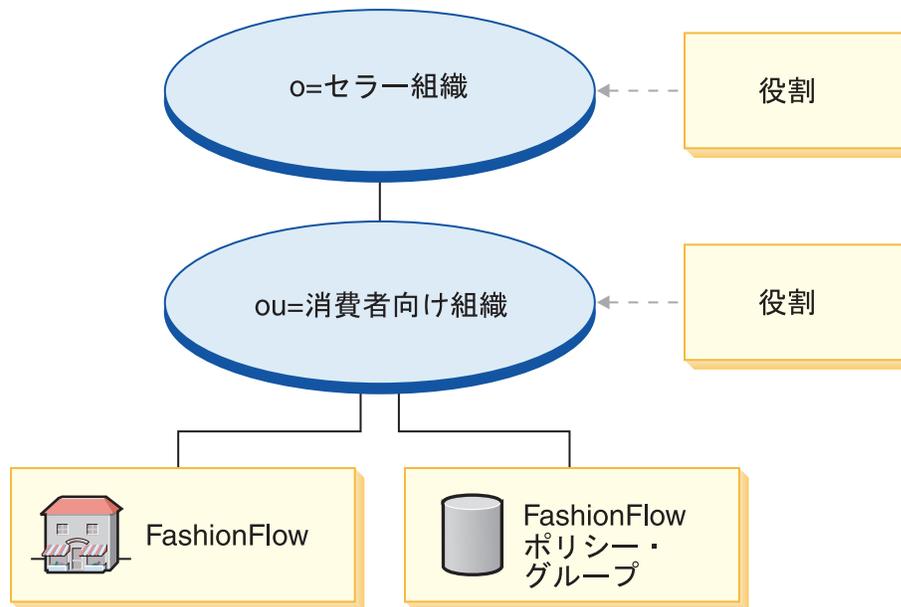
表 8. *Consumer direct business edition*

ストア・アーカイブの名前	説明
ConsumerDirect.sar	複合のサンプル・ストア・アーカイブで、消費者向け環境およびフィーチャーが豊富な実動ストアを作成するための、組織構造、事前定義ユーザー役割、および必要なアクセス制御ポリシーとポリシー・グループ・サブスクリプションが入っています。
ConsumerDirectOrganizationStructure.sar	サンプル・ストア・アーカイブには、消費者向け環境を作成するための、組織構造、事前定義ユーザー役割が入っています。
ConsumerDirectStore.sar	サンプル・ストア・アーカイブで、フィーチャーが豊富な実動消費者向けストアを作成するためのすべての必要な資産が入っています。さらに、必要なポリシー・グループ・サブスクリプションも入っています。

組織での役割は、組織内でユーザーが果たすことのできる役割を示しています。役割について詳しくは、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

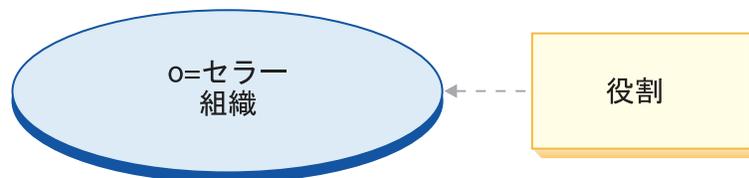
Consumer Direct Business Edition

ConsumerDirect.sar の内容



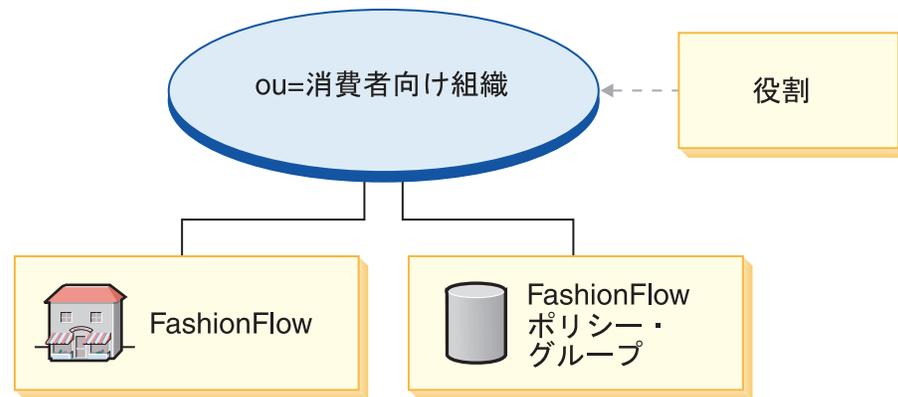
- セラー組織と役割: アカウント担当者、バイヤー (販売サイド)、カテゴリー・マネージャー、顧客サービス担当者、顧客サービス・スーパーバイザー、マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、荷造り業者、プロダクト・マネージャー、受取人、返品管理者、セールス・マネージャー、セラー管理者、セラー、ストア管理者、登録顧客
- 消費者向け組織と役割: アカウント担当者、バイヤー (販売サイド)、カテゴリー・マネージャー、顧客サービス担当者、顧客サービス・スーパーバイザー、マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、荷造り業者、プロダクト・マネージャー、受取人、返品管理者、セールス・マネージャー、セラー管理者、セラー、ストア管理者、登録顧客
- FashionFlow (サンプル・ストア)
- FashionFlow ポリシー・グループ

ConsumerDirectOrganizationStructure.sar の内容



- セラー組織と役割: アカウント担当者、バイヤー (販売サイド)、カテゴリー・マネージャー、顧客サービス担当者、顧客サービス・スーパーバイザー、マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、荷造り業者、プロダクト・マネージャー、受取人、返品管理者、セールス・マネージャー、セラー管理者、セラー、ストア管理者、登録顧客

ConsumerDirectStore.sar の内容



- FashionFlow (サンプル・ストア)
- 消費者向け組織 (B2C) と役割: アカウント担当者、バイヤー (販売サイド)、カテゴリー・マネージャー、顧客サービス担当者、顧客サービス・スーパーバイザー、マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、荷造り業者、プロダクト・マネージャー、受取人、返品管理者、セールス・マネージャー、セラー管理者、セラー、ストア管理者、登録顧客
- FashionFlow ポリシー・グループ

消費者向け基本ストア

ストアが機能するために最低限必要な資産セットを提供する、新しい基本サンプル・ストアがあります。このサンプル・ストアが提供されているため、大量の情報を削除しないで済みます。基本ストア・サンプルをストアの基礎として使用し、必要に合わせて機能を追加できます。Consumer Direct Business Edition モデルには、以下のストア・アーカイブ (SAR) も含まれます。

表9. Consumer Direct Business Edition の基本ストア・アーカイブ

ストア・アーカイブの名前	説明
BasicStore.sar	非常に基本的な実動ストアを作成するために必要なすべての資産が入っています。 BasicStore.sar で作成したストアとはまったく異なるストアを作成する場合は、このストア・アーカイブを開発の基本として使用してください。

BasicStore.sar の内容

- MiniFashion (サンプル・ストア)
- ConsumerBasic ポリシー・グループ

BasicStore.sar はデフォルトではどこにも添付しないため、それを説明する図はありません。これは、開発者によって設定されます。

Consumer Direct professional Edition

Professional Consumer Direct Professional Edition モデルには、以下のストア・アーカイブ (SAR) が含まれます。

表 10. *Consumer Direct Professional Edition*

ストア・アーカイブの名前	説明
FashionFlow.sar	フィーチャーが豊富な実動ストアが入っているサンプル・ストア・アーカイブ。

FashionFlow.sar の内容

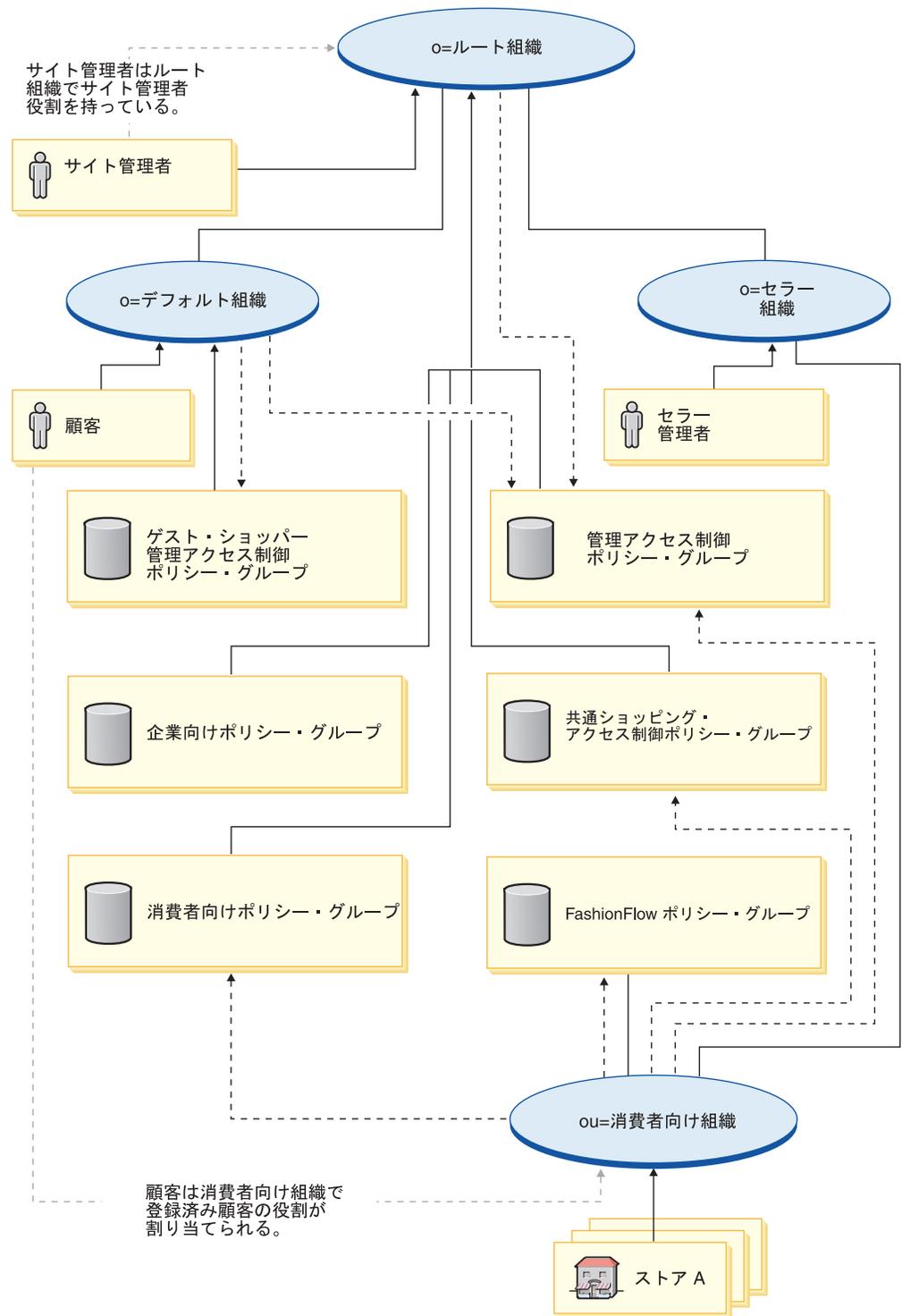


- FashionFlow (サンプル・ストア)
- FashionFlow ポリシー・グループ

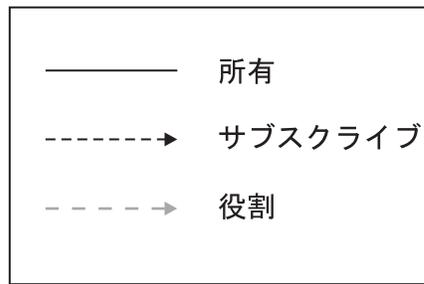
消費者向けに動的に作成される役割

顧客 は、顧客が登録するストアを所有する組織 (たとえば ou = 消費者向け組織) 内で、登録済み顧客の役割が与えられます。この情報は、MemberRegistrationAttributes.xml ファイルから取られています。詳しくは、4 ページの『役割と MemberRegistrationAttributes XML ファイル』または WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

以下の図は、基本的な消費者向け組織およびアクセス制御構造を説明しています。



凡例



基本的な消費者向け組織を説明するこの図では、22 ページで説明されているように、ルート組織はデフォルト・ポリシー・グループを所有し、そこにサブスクライブします。

消費者向け組織は、消費者向けアクセス制御ポリシー・グループ、管理ポリシー・グループ、および共通ショッピング・ポリシー・グループに直接サブスクライブします。

さらに消費者向け組織は、FashionFlow ポリシー・グループを所有し、そこにサブスクライブします。 FashionFlow ポリシー・グループには、以下のポリシーが入っています。

- AllUsersExecuteFashionAllUsersViews

アクセス制御ポリシー・グループには組織エンティティがサブスクライブするため、サイトで複数のストアを作成していて、個々のストアに異なるアクセス制御ポリシー・グループを適用する場合、それぞれの組織がそれぞれのストアを所有するように作成する必要があります。

第 4 章 消費者向けサンプル・ストア (FashionFlow) の概要

FashionFlow は、WebSphere Commerce が提供する消費者向けオンライン衣料ストアです。FashionFlow は、以前のすべての IBM 消費者向けストア (WebFashion、NewFashion、InFashion、WebAuction) の機能を組み合わせており、さらにいくつかの新機能を追加しています。FashionFlow のサンプル・ストアに組み込まれている機能には、以下のものがあります。

- 顧客の関心に応じた、宣伝用メール
- 関連商品販売、上位商品販売、アクセサリ
- ルール・ベースの割引
- クーポン
- 商品検索機能
- 拡張検索
- 多文化サポート
- オーダー・アイテムの販売開始日
- 現在在庫のないアイテムのバックオーダー
- お客様の設定に基づくオーダーの分割
- オーダーの状況の照会
- オーダーの状況の E メール通知
- リアルタイム顧客サポートによるコラボレーション
- 買い物候補リスト
- マーケティング・キャンペーンの作成
- クイック・チェックアウト
- パッケージおよびバンドル
- オープン・クライ・オークション、シールド・ビッド・オークション・オークション、ダッチ・オークション・ギャラリーの、3 タイプのオークションのサポート
- 入札および自動入札フォーム
- オークションの通知を含む、テキスト・メッセージ
- 商品カタログおよびアイテムの説明

FashionFlow では、稼働中の消費者向けオンライン・ストアに必要なすべてのページとフィーチャーを提供します。FashionFlow は、ストア・アーカイブとして (複合として: ConsumerDirect.sar、あるいはコンポーネントとして:

ConsumerDirectStore.sar) WebSphere Commerce に付属しています。ある場合、ストア・アーカイブを WebSphere Commerce Server に発行することによって、実動ストアを作成できるようになります。WebSphere Commerce Business Edition では、サンプル・ストア・アーカイブ・ファイルは、カタログまたはストアフロントを作成するストア資産の集合だけでなく、ストアまたはサイトの環境を作成するために必要な組織構造、事前定義ユーザー役割、およびアクセス制御ポリシーをパッケージして配布するためにも使用されます。実動ストアを作成するために、複合ストア・

アーカイブの 1 つを発行できます。さらに、実動ストアを発行するために一連のコンポーネント・ストア・アーカイブを発行することもできます。ストアは管理コンソールから発行されます。「サイト」を選択し、「ストア・アーカイブ」メニューから「発行」を選択することにより、サイト管理者のみがストア・アーカイブを発行できます。発行可能なストア・アーカイブがリストされた「ストア・アーカイブ」ページが表示されます。デフォルトでは、複合ストア・アーカイブを示すページが表示されます。ストア・アーカイブの発行については、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの発行についての説明を参照してください。

WebSphere Commerce でのストアの作成は、サンプル・ストア・アーカイブの選択とその変更に基づくため、FashionFlow は作成するストアの基礎となるように設計されています。これは一般的なショッピング・フローに基づいています。サンプル・ストア・ページはカスタマイズできます。すべての FashionFlow サンプル・ストア・ページは、JavaServer Pages です。HTML、Java、および JavaScript がこうしたページに含まれます。JSP ファイルは、キャッシュ可能です。

第 5 章 FashionFlow サンプル・ストアを使用したストアの作成

第 1 部: FashionFlow に基づいたストアの発行、および構成

注: ストア・アーカイブの作成時には、15 文字を超えるストア・ディレクトリー名は使用しないでください。また、ストア・ディレクトリー名には数字は使用しないでください。さらに、ストア・ディレクトリー名には「_」などの特殊文字は使用しないでください。これに従わない場合、一部のストア・ページではエラーが発生し、メッセージ「ファイル名が長すぎます」が出されます。

FashionFlow サンプル・ストアを使用してストアを作成するには、それを発行する必要がある、その後オプションで、それを構成することができます。

管理コンソールを使用したストアの発行

WebSphere Commerce Server にストア・アーカイブを発行することによって、実動ストアを作成できるようになります。WebSphere Commerce Business Edition では、サンプル・ストア・アーカイブ・ファイルは、カタログまたはストアフロントを作成するストア資産の集合だけでなく、ストアまたはサイトの環境を作成するために必要な組織構造、事前定義ユーザー役割、およびアクセス制御ポリシーをパッケージして配布するためにも使用されます。実動ストアを作成するために、複合ストア・アーカイブの 1 つを発行する必要があります。さらに、実動ストアを発行するために一連のコンポーネント・ストア・アーカイブを発行することもできますが、その情報は、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『管理コンソールからのストア・アーカイブの発行 - 拡張オプション』で説明されています。

重要: 複合ストア・アーカイブを発行するには、ここに記載されている指示に従ってください。他のタイプのストア・アーカイブを発行するための情報については、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『管理コンソールからのストア・アーカイブの発行 - 拡張オプション』を参照してください。

管理コンソールからストア・アーカイブを発行するには、次のようにします。

1. サイト管理者のアクセス権を持っていることを確認します。
2. 適切なサービスとサーバーが実行していることを確認します。以下の詳細なステップについては、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『発行のために適切なサービスおよびサーバーが実行されていることを確認する』を参照してください。
 - a. データベースが開始済みであることを確認します。
 - b. Web サーバーが開始済みであることを確認します。
 - c. WebSphere Commerce が開始済みであることを確認します。
 - d. WebSphere Commerce Payments が開始済みであることを確認します。
 - e. 適切な支払いメソッドが使用可能であることを確認します。
3. 発行を構成します。発行の構成に関する詳細なステップについては、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『発行の構成 (AIX, SOLARIS, LINUX, and Windows)』を参照してください。

4. (オプション) 必要な場合に発行前のバージョンを復元できるように、WebSphere Commerce データベースをバックアップします。
5. 管理コンソールをオープンし、「サイト」オプションを選択します。
6. 「ストア・アーカイブ」メニューから、「発行」を選択します。「ストア・アーカイブ」ページが表示され、発行に使用できるストア・アーカイブのリストが表示されます。デフォルトでは、複合ストア・アーカイブを示すページが表示されます。他のタイプのストア・アーカイブを発行するための情報については、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『管理コンソールからのストア・アーカイブの発行 - 拡張オプション』を参照してください。
7. 発行するストア・アーカイブを選択します。ストアのプレビューを参照するには、「**プレビュー**」をクリックします。発行したストアの HTML バージョンが別のウィンドウに表示されます。

注: プレビューは、ストアに属する顧客を含むストア・アーカイブにのみ使用可能です。

8. 「次へ」をクリックします。「パラメーター」ページが表示されます。選択したストア・アーカイブによって、異なるパラメーターが表示されます。詳しくは、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『ストア・アーカイブによるユーティリティー・パラメーターの発行』を参照してください。
 - a. 初めてサンプル・ストア・アーカイブを発行する場合には、パラメーター・フィールドでデフォルト値を受け入れてください。複合ストア・アーカイブ以外のサンプル・ストア・アーカイブを発行する場合、または以前に発行したストア・アーカイブと同じタイプの 2 番目のストアを発行する場合は、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『管理コンソールからのストア・アーカイブの発行 - 拡張オプション』を参照してください。

重要: 同じインスタンス内で複数のタイプの複合ストア・アーカイブまたは組織構造ストア・アーカイブを発行しないことをお勧めします (たとえば、ConsumerDirect.sar と DemandChain.sar を同じインスタンス内で発行しないでください)。また、同じ複合ストア・アーカイブまたは組織構造ストア・アーカイブを複数回発行しないことをお勧めします。それにより、以前に発行したデータを上書きする可能性があります。
 - b. 「次へ」をクリックします。「要約」ページが表示されます。ここでは、ストア・アーカイブの発行先場所と共に、選択済みストア・アーカイブおよびパラメーターがリストされています。発行後にストアのファイル構造を確認したい場合は、将来参照するために、発行される場所を覚えておいてください。
9. 要約情報を確認したら、「終了」をクリックします。確認ダイアログが表示され、発行ジョブの番号が示されます。将来参照するためにジョブ番号を覚えておいてください。「OK」をクリックします。「発行ジョブ状況」ページが表示されます。発行状態は、「発行」状況列に反映されます。「最新表示」をクリックして、状況を更新します。
10. 特定の発行ジョブについての詳細情報を見るには、そのジョブをリストから選択します。「詳細」をクリックします。「発行の詳細」ページが表示されます。ストア・アーカイブの発行中、「発行の詳細」ページは、20 秒ごとに自動的に最新の発行状況に更新されます。

注: 発行中にエラーが生じる場合、そのエラーについての詳細を記したウィンドウが表示されます。さらに情報が必要な場合には、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『発行に関するトラブルシューティング』を参照してください。

11. 発行の詳細を確認します。
12. ストア・アーカイブが正常に発行されると、ストアを起動することもできるようになります。ご使用のストアを表示およびテストするには、「**ストアの起動**」をクリックしてください。ダイアログ・ボックスが表示され、Web アプリケーションの環境を尋ねてきます。デフォルトを受け入れます。「**OK**」をクリックします。

注:

- a. 立ち上げる前に、サイトまたはストアで JavaServer Pages (JSP) ファイルをコンパイルすると、各ストア・ページをロードするのに必要な時間をかなり減らせます。そのため、ストア・アーカイブを発行後、ストアまたはサイトの JSP ファイルのバッチ・コンパイルをすることを勧めます。ストアの JSP ファイルをバッチ・コンパイルするには、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『JavaServer Page ファイルのコンパイル』を参照してください。
 - b. 企業向けストア・アーカイブ (ToolTech) を発行する場合、ストアを表示する前に Commerce Server をいったん停止して、再始動する必要があります。そうしないと、登録ページが正常に表示されません。詳しくは、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『WebSphere Commerce の開始と停止』を参照してください。不必要な例外の表示を防ぐため、スケジュールされたジョブから SendTransactionMsg ジョブを削除します。詳しくは、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『スケジュールされたジョブの削除』を参照してください。
13. サンプル・ストアでのキャッシングを使用可能にするには、次のディレクトリ

ー:

`WC_installdir/samples/dynacache/businessmodelname` にある `cachespec.xml` ファイルを、次のディレクトリ

`WAS_installdir/installedApps/cellname/WC_instancename.ear/Stores.war/WEB-INF`

400

`WAS_userdir/InstalledApps/cellname/WC_instancename.ear/Stores.war/WEB-INF` にある `cachespec.xml` ファイルにマージする必要があります。

WEB-INF ディレクトリにある既存の `cachespec.xml` ファイルを置き換えるのではなく、最初に述べたファイルにある変更点を用いて編集する必要があります。

注: WebSphere Studio では、キャッシングはデフォルトでオンになっているため、WebSphere Studio で発行する場合にはこのステップを完了する必要はありません。

ストアの表示が終了したら、サイトにブックマークを当て、ブラウザをクローズします。

重要:

1. Web サーバーを WebSphere Commerce のノードとは別のノードで実行している場合、ストア・アーカイブの発行後、以下のステップに従ってください。

- a. Web サーバーを停止します。
 - b. WebSphere Commerce マシンの次のディレクトリーにあるストアの Web 資産を、同じ場所にある Web サーバー・マシンにコピーします:
`WAS_installdir/installedApps/cellname/WC_demo.ear/Stores.war`


```
400 WAS_user_dir/InstalledApps/cellname/WC_demo.ear/Stores.war
```
 - c. Web サーバーを始動します。
2. Web アプリケーション・コンテキスト・パスを変更した場合、それが WebSphere Commerce Server で定義済みのパスと一致することを確認します。
 3. 一度には 1 つのストア・アーカイブしか発行できません。
 4. 管理コンソールから FashionFlow ストアを立ち上げると、管理コンソールにログインする時に使用したのと同じユーザー名およびパスワードをもつストアにログインされます。ストアでパスワードを変更すると、管理コンソール用のパスワードも変更することになります。代わりに、パスワードの変更も含め、そのストアでフィーチャーをテストするには、サイトのアドレスを保存し、すべてのブラウザ・ウィンドウをクローズしてから、ストアにログオンし直してください。詳しくは、『複数のブラウザ・ウィンドウを使用する際の制約事項』を参照してください。
 5. ストアを発行した後に JSP ファイルを変更する計画がある場合、WebSphere Application Server でのサーブレット・キャッシングを使用不可にする必要があります。詳しくは、「WebSphere Commerce 管理ガイド」の『動的キャッシング』の章を参照してください。WebSphere Commerce Studio を使用している場合、サーブレット・キャッシングはデフォルトで使用不可になっています。

注: 以前の消費者向けストア SAR (たとえば、WebFashion、NewFashion、FashionFlow Commerce Enhancement Packなど) に基づいて発行されたストアが、ConsumerDirectStore.sar (BE) または FashionFlow.sar (Professional) をインストールするマシン上にある場合は、ConsumerDirectStore.sar (BE) または FashionFlow.sar (Professional) に基づくストア・アーカイブの作成時に、ストア所有者として使用する新しい組織を作成する必要があります。新しく作成された組織は、WebSphere Commerce 組織管理コンソールに表示されます。「**アクセス管理**」をクリックし、次いで「**組織**」をクリックします。新しいストア組織を作成するには、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『組織の作成』を参照してください。

拡張オプションを含む、発行に関するさらに詳細な情報は、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

WebSphere Commerce アクセラレーターを使用したストアの構成

特定の機能をサポートするストアを構成するには、以下のようになります。

重要: 現在、以下のフィーチャーが構成のために使用できる唯一のフィーチャーです。

消費者向けサンプル・ストアに基づいたストア

- カスタマー・ケア
- オークション
- カタログ
- チェックアウト
- クイック・チェックアウト
- オーダーの状況
- 登録
- クーポン
- 商品アドバイザー

消費者向けサンプル・ストアを使用して作成されるホストされるストアまたは販売店ストア

- カスタマー・ケア
- オークション
- カタログ
- チェックアウト
- クイック・チェックアウト
- オーダーの状況
- 登録
- クーポン

企業向けサンプル・ストアに基づいたストア

- カスタマー・ケア
- コラボレイティブ・ワークスペース

これらのフィーチャーは、消費者向けまたは企業向けサンプル・ストアに基づいたストアでの構成のみで使用可能なため、「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」で作成されるホストされるストアも、使用可能なフィーチャーを持ちます。

1. (オプション) 構成予定のストアの JSP ファイルのコピーを作成します。JSP ファイルは次のディレクトリーに置かれています:

```
WAS_installdir\installedApps\cellname\WC_instancename.ear  
/Stores.war/storedir
```

```
▶ 400 WAS_userdir\installedApps\cellname\WC_instancename.ear  
/Stores.war/storedir
```

JSP ファイルのコピーを作成すると、ステップ 8 で永続的に適用される可能性のある、ストアの変更を取り消すことができます。

2. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。
3. 「ストア」メニューから、「フローの変更」を選択します。
4. 左側のナビゲーション・フレームから、構成するフィーチャーを選択します。

5. ストアのフィーチャーを使用可能にする場合、適切なフィールド (たとえば、チェック・ボックスまたはラジオ・ボタン) を選択します。ストアでフィーチャーを使用不可にする場合は、適切なフィールドが選択解除されていることを確認してください。

注:   ストアでコラボレイティブ・ワークスペースおよびカスタマー・ケア・フィーチャーを使用するには、Lotus® QuickPlace™ (コラボレイティブ・ワークスペース) および Lotus Sametime™ (カスタマー・ケア) をインストールする必要があります。詳しくは、「*WebSphere Commerce 追加ソフトウェアのガイド*」を参照してください。

6. 「適用」または「永続的に適用 (Apply Permanently)」を選択して、変更を適用します。「適用」を選択すると、現在のストアでの変更を表示できますが、その選択を後で取り消すこともできます。「永続的に適用 (Apply Permanently)」を選択すると、選択を取り消すことができなくなります。変更を適用する方法についての詳細は、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『WebSphere Commerce アクセラレーターを使用したストア・フローの構成』を参照してください。
7. 「ストアの立ち上げ」をクリックして、ストアでの変更を表示します。変更が表示されない場合は、ブラウザを最新表示します。
8. ストアの構成が終了した場合は、キャッシュを使用可能にします。詳しくは、「*WebSphere Commerce 管理ガイド*」を参照してください。

ストアの構成およびストア・フローの変更に関するさらに詳細な情報は、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

サンプル・ストアを発行した後、ストアを全機能で稼働させるには、追加のステップを実行することが必要になる場合があります。次に、このステップを説明します。

第 2 部: E メール・テンプレートの作成

E メール・アクティビティを作成することが必要な場合は、EMLMSG テーブルで取り込みを実行する必要があります。これらのステップでは、EMLMSG テーブルに、FashionFlow が提供する 3 つのテンプレートを取り込みます。これらのステップを完了したら、顧客は WebSphere Commerce アクセラレーターに移動して、これらのテンプレートを使用して E メールを送信することができます。

注: 以下のステップでは、ストア ID が必要になります。それを見つけるには、以下のようにします: `select * from storeent`

前提条件

1. データベース・ユーザーは、`wc_installdir/CommerceServer55/bin/` 内のスクリプト (`createEmailTemplate`) で、ファイルを作成する権限を持っている必要があります。
2. ディレクトリー `wc_installdir/CommerceServer/bin/` には、`temp.sql` という名前のファイルはありません。

スクリプトの実行

1. データベース・ユーザーとしてログオンします。  QSHELL セッションを開始します (STRQSH を実行することにより)。
2. コマンド・プロンプトで、以下のディレクトリーに移動します。
 - a. `wc_installdir/CommerceServer55/bin/`。このスクリプトは `createEmailTemplate` と呼ばれます。
3. このディレクトリー内から、コマンド・プロンプトで以下を入力します。
 - `db_name` = WCS データベースの名前
 - `db_user` = `db_name` のデータベース・ユーザー名
 - `host_name` = WCS サーバーのホスト名
 - `storeId` = FashionFlow のストア ID
 - `user_password` = ユーザーのパスワード
 -  `password` = ログオン ID のパスワード

DB2

- a. メンズ・ファッションにテンプレートを追加するには以下のようにします。

```
createEmailTemplate.db2 db_name db_user
http://host_name/webapp/wcs/stores/servlet/EmailTemplateFFMen
DisplayView noProperty EmailTemplateFFMenDisplayView "Mens fashions"
storeId
 createEmailTemplate.db2.sh db_name db_user password
http://host_name/webapp/wcs/stores/servlet/EmailTemplateFFMen
DisplayView noProperty EmailTemplateFFMenDisplayView "Mens fashions"
storeId
```
- b. レディース・ファッションにテンプレートを追加するには以下のようにします。

```
createEmailTemplate.db2 db_name db_user
http://host_name/webapp/wcs/stores/servlet/EmailTemplateFFWomen
DisplayView noProperty EmailTemplateFFWomen
DisplayView "Womens fashions"storeId
 createEmailTemplate.db2.sh db_name db_user password
http://host_name/webapp/wcs/stores/servlet/EmailTemplateFFWomen
DisplayView noProperty EmailTemplateFFWomenDisplayView "Womens
fashions"storeId
```
- c. 特別ご提供品にテンプレートを追加するには以下のようにします。

```
createEmailTemplate.db2 db_name db_user
http://host_name/webapp/wcs/stores/servlet/EmailTemplateFFSpecials
DisplayView noProperty EmailTemplateFFSpecials
DisplayView "Specials"storeId
 createEmailTemplate.db2.sh db_name db_user password
http://host_name/webapp/wcs/stores/servlet/EmailTemplateFFSpecials
DisplayView noProperty EmailTemplateFFSpecialsDisplayView "Specials"storeId
```

> Oracle

- a. メンズ・ファッションにテンプレートを追加するには以下のようにします。
createEmailTemplate.oracle *db_name db_user user_password*
http://*host_name*/webapp/wcs/stores/servlet/EmailTemplateFFMen
DisplayView noProperty EmailTemplateFFMen
DisplayView “Mens fashions” *storeId*
 - b. レディース・ファッションにテンプレートを追加するには以下のようにしま
す。
createEmailTemplate.oracle *db_name db_user user_password*
http://*host_name*/webapp/wcs/stores/servlet/EmailTemplateFFWomen
DisplayView noProperty EmailTemplateFFWomen
DisplayView “Womens fashions” *storeId*
 - c. 特別ご提供品にテンプレートを追加するには以下のようにします。
createEmailTemplate.oracle *db_name db_user user_password*
http://*host_name*/webapp/wcs/stores/servlet/EmailTemplateFFSpecials
DisplayView noProperty EmailTemplateFFSpecials
DisplayView “Specials” *storeId*
4. > DB2 プロンプトが出された場合は、ユーザーのデータベース・パスワードを
入力します。

400

Operations Navigator または他の方法を使用して、インスタンスに対して以
下の SQL を実行します。

1. メンズ・ファッションにテンプレートを追加するには以下のようにします。
insert into schemaname.emlmsg (emlmsg_id, jsppath, propertyfile, name, description,
storeent_id) select coalesce(max(emlmsg_id), 0) + 1,
'http://*host_name*/webapp/wcs/stores/servlet/EmailTemplateFFMen
DisplayView', 'noProperty', 'EmailTemplateFFMen
DisplayView', 'Mens fashions', *storeId* from emlmsg ;
2. レディース・ファッションにテンプレートを追加するには以下のようにします。
insert into schemaname.emlmsg (emlmsg_id, jsppath, propertyfile, name, description,
storeent_id) select coalesce(max(emlmsg_id), 0) + 1,
'http://*host_name*/webapp/wcs/stores/servlet/EmailTemplateFFWomen
DisplayView', 'noProperty', 'EmailTemplateFFWomen
DisplayView', 'Womens fashions', *storeId* from emlmsg ;
3. 特別ご提供品にテンプレートを追加するには以下のようにします。
insert into schemaname.emlmsg (emlmsg_id, jsppath, propertyfile, name, description,
storeent_id) select coalesce(max(emlmsg_id), 0) + 1,
'http://*host_name*/webapp/wcs/stores/servlet/EmailTemplateFFSpecials
DisplayView', 'noProperty', 'EmailTemplateFFSpecials
DisplayView', 'Specials', *storeId* from emlmsg ;

ここで、

- *schemaname* はインスタンスの名前です。
- *host_name* は WebSphere Commerce Server のホスト名です。
- *storeId* は FashionFlow のストア ID です。

第 3 部: 事前定義割引の構成およびアクティブ化

FashionFlow は、データが組み込まれた 4 つのサンプル割引を提供します。それらの割引は以下のとおりです。

- \$100 以上の購入で通常便を選択した場合は、送料無料
- \$150.00 の購入で 15% OFF
- イブニング・ドレスをご購入の方に、イブニング・バッグをプレゼント
- タンクトップの購入で、2 枚目のタンクトップは 30% OFF

これらの割引は、示すとおり構成してアクティブにする必要があります。これは WebSphere Commerce アクセラレーターで実行します。ストアを選択します。次いで、変更する割引を選択します。

注: さらに詳細なステップ、および既存の情報を変更する方法を示すいくつかのオプションのステップについては、個々の割引のチュートリアルを参照してください。

無料の配送

1. 「商品取引」メニューから、「**オーダーの販売促進**」を選択します。「オーダーの販売促進」ウィンドウが表示されます。
2. 「freeShipping」の横にあるボックスにチェックマークを付けます。「**アクティブ化**」をクリックし、割引をアクティブにします。
3. サイド・メニューから「割引配送料金」を選択します。「割引配送料金」ウィンドウがオープンします。
 - a. 「無料の配送」オプションは選択済みになっています。
 - b. 配送モードのドロップダウン・メニューから「**通常便**」を選択します。これはドロップダウン・メニューから再選択して実行します。
 - c. 顧客が無料の配送を受ける下限条件は選択済みになっています。これはたとえば、「この割引を受けられる下限条件を指定」で、購入価格として **100.00** を指定します。
 - d. 「この割引を商品の販売促進と組み合わせる適用できるようにします」というボックスにチェックマークが付きます。
 - e. 「**OK**」をクリックします。
4. ダイアログ・ボックスで「**OK**」をクリックします。「商品の販売促進」ウィンドウに戻ります。

\$150.00 の購入で 15% OFF

1. 「商品取引」メニューから、「**オーダーの販売促進**」を選択します。「オーダーの販売促進」ウィンドウが表示されます。
2. 「over150」の隣のボックスにチェックマークを付け、「**アクティブ化**」をクリックし、割引をアクティブにします。
 - a. 「**\$150 の購入で、すべてのオーダーは 15% OFF**」で内部的に使用される以下の説明を確認します。
 - b. 「**\$150 の購入で 15% OFF**」顧客向けの簡略説明を確認します。

- c. 顧客向けの詳細説明もあります。これは「割引詳細 (Discount Details)」に表示されます。これには特記事項や販売促進の詳細が記入されています。以下にサンプルを示します。「**\$150 の購入は商品取引のみに適用されます。**
15% 割引は、課税前の合計購入価格に適用されます。税、配送料、および手数料は、購入金額には含められません。 \$150 のご購入の場合、15% の割引販売促進が優先され、この場合には \$150 のご購入時に通常便販売促進を選択されたときの送料無料は適用されません。この販売促進はオンラインでのご購入時にのみ適用されます。オファーの内容は、予告なしに変更する場合があります。
 - d. 優先順位が組み込まれます。同一の購入に 2 つの割引を適用できる場合に、優先順位が適用されます。1 つの割引のみ適用できます。優先順位によって優先度が決定されます。
 - e. ターゲット・セールス・ボリュームを組み込むことができます。これは金額です。
 - f. 「**OK**」をクリックします。
3. ダイアログ・ボックスで「**OK**」をクリックします。「商品の販売促進」ウィンドウに戻ります。

イブニング・ドレスをご購入の方に、イブニング・バッグをプレゼント

1. 「商品取引」メニューから、「商品の販売促進」を選択します。「商品の販売促進」ウィンドウが表示されます。
2. 「freeBag」の横にあるボックスにチェックマークを付け、「アクティブ化」をクリックし、割引をアクティブにします。
3. サイド・メニューから「商品取引の選択」を選択します。「商品取引の選択」ウィンドウがオープンします。
4. 「商品の検索」をクリックします。「商品の検索」ウィンドウがオープンします。
 - a. 「名前」フィールドで **eveningdress** と入力して、「検索」をクリックします。
 - b. 検索結果によって 1 つの商品が戻されます。
 - c. 「evening dress (product-sku-nf-701)」の横のボックスにチェックマークを付け、「追加」をクリックします。
5. サイド・メニューから「購入時に進呈される無料の景品」を選択します。「購入時に進呈される無料の景品」ウィンドウがオープンします。
6. これは商品の購入時に無料の景品を進呈する場合に使います。瞬時に検索するための SKU が必要です。
7. 「商品の検索」をクリックします。「商品の検索」ウィンドウがオープンします。
 - a. 「名前」フィールドで **evening bag** と入力して、「検索」をクリックします。
 - b. 「evening bag (item-sku-nf-1072)」の横のボックスにチェックマークを付け、「追加」をクリックします。
 - c. 「追加する数量 (Quantity to Add)」フィールドに **1** が入ります。

- d. 顧客がイブニング・ドレスを 1 着購入すると、バッグを進呈するので、「購入する最少数量を指定してください」を選択し、アイテム・フィールドで **1** を選択します。
 - e. 「OK」をクリックします。
8. ダイアログ・ボックスで「OK」をクリックします。「商品の販売促進」ウィンドウに戻ります。

タンクトップの購入で、2 枚目のタンクトップは 30% OFF

1. 「商品取引」メニューから、「商品の販売促進」を選択します。「商品の販売促進」ウィンドウがオープンします。
2. 「next30Percent」の隣のボックスにチェックマークを付け、「アクティブ化」をクリックし、割引をアクティブにします。
3. サイド・メニューから「商品取引の選択」を選択します。「商品取引の選択」ウィンドウがオープンします。
 - a. 「商品の検索」をクリックします。
 - b. 「商品の検索」ウィンドウがオープンします。
 - c. 「名前」フィールドに **sport tank top** と入力して、「完全一致検索」を選択します。「検索」をクリックします。
 - d. 検索結果によって 4 つのアイテムが戻されます。これらのアイテムは個別に追加する必要があります。販売促進は、商品レベルではなく、アイテム・レベルで適用されます。
 - e. 「sport tank tops (item-sku-nf-2395)」の横にあるボックスにチェックマークを付け、「追加」をクリックします。
 - f. 「OK」をクリックします。
4. ダイアログ・ボックスで「OK」をクリックします。
5. 「next30Percent」の横にあるボックスにチェックマークを付け、「複製」をクリックします。
6. ダイアログ・ボックスで、次のアイテム **next30Percent2** の名前を入力して、「OK」をクリックします。これは固有の名前でなければなりません。
7. これらのステップを、アイテムに関連したすべての属性に対して繰り返します。たとえば、タンクトップの場合、選択可能なタンクトップのすべての色およびサイズについて、このステップを繰り返して販売促進を作成する必要があります。これは 2 種類のサイズと 2 種類の色を選択できるので、4 つの販売促進を作成する必要があります。こうすることによって顧客がどのタンクトップを選択しても適用できます。
8. ステップ 5 と 6 を繰り返します。ここでは、「next30Percent」の横のボックスにチェックマークを付け、「複製」をクリックし、最初は次のアイテム **next30Percent3**、2 回目は **next30Percent4** を指定し、すべてのアイテムの名前を指定します。
9. ここで、ステップ 2 と 3 を繰り返し、最初は **next30Percent2** の横のボックスにチェックマークを付け、変更し、item-sku-nf-2396 を使用し、2 回目は **next30Percent3** の横のボックスにチェックマークを付け、変更し、item-sku-nf-2397 を使用し、3 回目は **next30Percent4** の横のボックスにチェ

ックマークを付け、変更し、item-sku-nf-2398 を使用します。こうして、それぞれの販売促進には異なるアイテムが追加されます。

10. 「商品の販売促進」ウィンドウに戻ります。

ルール・ベースの割引のアクティブ化

1. 割引をアクティブにするには、freeShipping および over150 の「オーダーの割引」ウィンドウか、または freeBag および next30Percent の「商品の販売促進」ウィンドウで、アクティブにする割引の横のボックスにチェックマークを付けます。
2. 「アクティブ化」を選択します。状況が「非アクティブ」から「アクティブ」に変わります。

注:

1. 割引 GUI の「説明 (顧客が表示可能)」フィールドが、「商品表示」ページおよび「ショッピング・カート」ページに表示されます。割引 GUI の「詳細説明 (顧客が表示可能)」フィールドが、「割引詳細の表示 (Discount Details Display)」ページに表示されます。
2. これらの 4 つの割引に対しては広告コピーおよびキャンペーン・イニシアチブが事前定義されているので、割引をアクティブにすると、割引バナー広告がホーム・ページ上に表示されます。キャッシュを使用可能にすると、割引をアクティブにしてもバナー広告は表示されなくなります。キャッシュをクリアするには、WebSphere Application Server Cache Monitor をインストールする必要があります。詳しくは、「*WebSphere Commerce 管理ガイド*」を参照してください。

第 4 部: サンプル・ストアのスケジュールされたジョブの作成

サンプル・ストアの発行後に、スケジュールされたジョブを WebSphere Commerce アクセラレーター内のストアに対して作成する必要があります。このストアは Web アドレス `https:// host_name:8000/Accelerator` をブラウザで入力してアクセスできます。ここで `host_name` は、WebSphere Commerce Server の完全修飾 TCP/IP 名であり、`:8000` はインスタンスのツール・ポート番号です。構成マネージャーでは、ツール・ポート番号は、「**インスタンス・プロパティ**」>「**WebSphere**」にあります。WebSphere Commerce Studio がインストールされているマシン上で、ブラウザから以下の Web アドレスにアクセスします。

```
https:// host_name/webapp/wcs/tools/servlet/  
ToolsLogon?XMLFile=common.mcLogon
```

ここで `host_name` は、WebSphere Commerce Server の完全修飾 TCP/IP 名で、`:8080` は WebSphere Test Environment のポート番号です。

以下のリストは、サンプル・ストアに対して作成する必要がある、スケジュールされたジョブを示しています。

- BalancePayment
- PayCleanup
- ProcessBackorders
- RAReallocate
- ReleaseExpiredAllocations
- ReleaseToFulfillment

- ReturnCreditAndCloseScan

ここでジョブの要旨を示します。

BalancePayment

このジョブは DoDepositCmd タスク・コマンドを呼び出し、オーダーが発送されたら支払いを資金化します。このコマンドは、WebSphere Commerce の自動決済機能をインプリメントします。

PayCleanup

このジョブは、ストアに構成されているよりも長い期間、それぞれの金融機関によって拒否された決済与信要求がある WebSphere Commerce のオーダーをキャンセルします。

ProcessBackorders

このジョブは、在庫がないときに作成されたバックオーダーに在庫を割り振ります。

RAReallocate

(予定在庫に対する割り振りの再配分) このジョブは、既存のバックオーダーに対して予定在庫レコード (EIR) を再配分します。これは、EIR 情報が追加または変更されたり、以前にバックオーダーされたアイテムを削除または割り振るときにバックオーダーされたオーダー・アイテムが入手できることをさらに正確に予測するために必要です。

ReleaseExpiredAllocations

このジョブは、割り振られた在庫を、有効期限が切れた、前に割り振られたオーダー・ライン・アイテムからの受け取りテーブルに戻します。

ReleaseToFulfillment

このジョブは、オーダーに基づいて割り振られたアイテムを配送業務にリリースします。

ReturnCreditAndCloseScan

このジョブは、返金に適格でクローズとマークされた返品商品取引許可をスキャンします。

スケジュールされたジョブを作成するには、各ジョブのオンライン・ヘルプにある『ストア・レベル・ジョブのスケジュールリング (Scheduling a store level job)』の手順に従ってください。以下の表は、各ジョブの推奨パラメーターをリストしています。

スケジュールされたジョブ名	推奨開始時刻	推奨間隔 (秒単位)	推奨優先順位
BalancePayment	00:00	86400	1
PayCleanup	00:00	86400	1
ProcessBackorders	00:00	43200	8
RAReallocate	00:00	86400	1
ReleaseExpiredAllocations	00:00	3600	8
ReleaseToFulfillment	00:00	600	10
ReturnCreditAndCloseScan	00:00	86400	1

開始時刻を 00:00 に設定すると、スケジュールされたジョブは即時に開始します。

注: 「ジョブのスケジュール」ウィンドウの「**ジョブのパラメーター (Job Parameters)**」フィールドは、これらのジョブについては記入する必要はありません。

第 5 部: サンプル・ストアの E メール通知の構成

以下の手順によって、決済の与信時、オーダーの許可時、およびオーダーのキャンセル時に、顧客に E メール通知をすることができます。顧客に E メールを出すには、メール・サーバーがセットアップされている必要があることに注意してください。

注: メール・サーバーをセットアップしていない場合、ストアから E メール通知を送信することはできませんが、サンプル・ストアの残りのフィチャーは動作します。

以下の表は、FashionFlow でサポートされる E メール通知を示しています。

サポートされる E メール通知	メッセージ・タイプ
パスワードのリセット	パスワードのリセットの通知メッセージ
与信済みオーダー	与信済みオーダーの通知メッセージ
送信オーダー	受け取り済みオーダーの通知メッセージ
キャンセル済みオーダー	キャンセル済みオーダーの通知メッセージ
配送通知	オーダー・リリース明示用顧客への通知メッセージ
買い物候補リスト	ブロードキャスト・メッセージ

E メール通知を使用可能にするには、以下のようにします。

1. IBM WebSphere Application Server 管理サーバーが開始していることを確認します。
2. サイト管理者 ID を使用して管理コンソールをオープンします。
3. 「管理コンソールのサイト/ストアの選択」ページで、「**ストア**」を選択します。「ストアおよび言語の選択」ページが表示されます。
4. 「名前」リストからストアを選択します。
5. 「言語」ドロップダウン・リストから言語を選択します。「**OK**」をクリックします。ストア管理コンソール・ホーム・ページが表示されます。
6. 「構成」メニューから、「**トランスポート**」をクリックします。「トランスポート構成」ページが表示されます。
 - a. 「**E メール**」トランスポートがアクティブの状況になっていることを確認します。
E メールが非アクティブであれば、これを選択して、「**状況の変更**」をクリックします。
 - b. 「**E メール**」を選択し、次いで「**構成**」をクリックします。「トランスポート構成パラメーター」ページが表示されます。

- c. 「**ホスト**」フィールドで、たとえば `myserver.ibm.com` というように、ご使用のメール・サーバーの完全修飾名を入力します。
 - d. 「**プロトコル**」フィールドで、小文字で `smtp` と入力するか、または選択したプロトコルを入力します。「**OK**」をクリックします。
7. 「**構成**」メニューから、「**メッセージ・タイプ**」をクリックします。「**メッセージ・タイプ構成**」ページが表示されます。
 8. 決済が与信された場合に送信する通知を、以下のように作成します。
 - a. 「**新規**」をクリックします。「**メッセージ・トランスポートの割り当て**」ページが表示されます。
 - b. **メッセージ・タイプ**を、「**メッセージ・タイプ**」ドロップダウン・リストから選択します。ストアで使用する**メッセージ・タイプ**については、上記の表を参照してください。
 - c. 「**メッセージ重大度**」フィールドに、0 から 0 を入力します。
 - d. 「**トランスポート**」ドロップダウン・リストから、「**E メール**」を選択します。ここに「**E メール**」がない場合は、以下を実行します。
 - 1) 「**構成**」メニューから、「**トランスポート**」を選択します。「**トランスポート構成**」ページが表示されます。
 - 2) 「**追加**」をクリックします。「**トランスポートの追加**」ダイアログがオープンします。
 - 3) ストアに追加したりトランスポートの横のチェック・ボックスを選択します。左上のチェック・ボックスを選択して、すべてのトランスポートを選択することができます。選択できるトランスポートがない場合は、サイト管理者によって選択可能にされているすべてのトランスポートを既に追加済みです。
 - 4) 「**追加**」をクリックしてトランスポートを追加するか、または「**キャンセル**」をクリックして「**トランスポート構成**」ページに戻ります。
 - e. 「**デバイス形式**」ドロップダウン・リストから、「**標準デバイス形式**」を選択します。
 - f. 「**次へ**」をクリックします。「**メッセージ・トランスポートの割り当てパラメーター (Message Transport Assignment Parameters)**」ページが表示されます。
 - g. フィールドを以下のように完成させます。

ホスト メール・サーバーの完全修飾名。たとえば `example.ibm.com` など

プロトコル

`smtp` (必ず小文字を使用) または使用するプロトコルを入力します。

宛先 有効な E メール・アドレスを入力します。このアドレスは、実行時に顧客の E メール・アドレスによって置き換えられます。

差出人 メッセージの送信側として使用する E メールを入力します (たとえば `orders@example.ibm.com` など)。このアドレスは、メール・サーバー上の正当なユーザーに対するメール・アドレスにする必要があります。

件名 メッセージの件名として表示するテキストを入力します。たとえば、「**オーダーは受付を完了しました**」など。

- h. 「終了」をクリックします。「メッセージ・タイプ構成」ページが表示されます。
9. サンプル・ストアのメッセージ・タイプごとに、ステップ 8 を繰り返します。

注:

1. キャンセルしたオーダーの通知 E メールが送信されるまでには時間がかかることがよくあります。この時間は以下のようにして短縮できます。
 - a. (ストア) データベース・テーブルの REJECTEDORDEREXPIRY 列の値をさらに小さい値にする。
 - b. スケジュールされた PayCleanup ジョブを、さらに短いスケジュール間隔に変更する。

配送通知の詳細については、オンライン・ヘルプの ReleaseShipNotify メッセージを参照してください。

第 6 部: マーケティング・キャンペーンの作成

以下のステップは、シーズンオフ・セールとホット・セールの 2 つのキャンペーンをセットアップする方法の例を示しています。

シーズンオフ・セール・キャンペーンの目標は、シーズンが終了する前に季節衣料アイテムをすべて販売することです。このキャンペーンでは、お勧め商品提示商法イニシアチブを使用します。このイニシアチブは登録顧客をターゲットとしており、顧客の性別に基づいてアイテムを提示します。

ホット・セール・キャンペーンの目標は、季節の最新のトレンド商品を販売することです。ホット・セールはお勧め商品提示商法イニシアチブも使用します。これは登録顧客をターゲットにしますが、顧客の年齢に基づいてアイテムを提示します。

シーズンオフ・セールおよびホット・セールの各キャンペーンをセットアップするには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする
2. 新規の男性および女性の顧客プロファイルを作成する
3. 年齢別の顧客プロファイルを作成する
4. シーズンオフ・セール・キャンペーンを作成する
5. シーズンオフ・セール・キャンペーンのイニシアチブを作成する
6. シーズンオフ・セールの e-マーケティング・スポットをスケジュールする
7. ホット・セール・キャンペーンを作成する
8. ホット・セール・キャンペーンのイニシアチブを作成する
9. ホット・セールの e-マーケティング・スポットをスケジュールする

マーケティング・キャンペーンを作成したら、割引を作成し、次いでストアで登録およびショッピングをする必要があります。

新規の男性および女性の顧客プロファイルの作成

1. 「マーケティング」メニューから、「顧客プロファイル」を選択します。「顧客プロファイル」ページが表示されます。

2. 「新規」をクリックします。「顧客プロフィール」ノートブックが表示されません。
3. 左側のナビゲーション・バーから、「一般」をクリックします。
4. この顧客プロフィールを Male と呼びます。フィールドに Male と入力します。
5. 「説明」フィールドに、顧客プロフィール・グループの説明を入力します。たとえば、「すべての登録男性顧客」などとしします。
この説明は、基本の「顧客セグメント (Customer Segments)」ウィンドウに表示されます。このフィールドは、プロフィールを使用してキャンペーンを作成するユーザーの利便のためのものであり、プログラム・ロジックでは考慮に入れられません。
6. 左側のナビゲーション・バーから、「個人情報」、次いで「性別」を選択します。
7. 「性別のターゲット」、次いで「男性」を選択します。
8. 「OK」をクリックして、プロフィールを保管してノートブックをクローズします。顧客プロフィールが「顧客プロフィール」ページに表示されます。
9. ステップ 2 から 8 を繰り返し、女性グループを作成します。

年齢別の顧客プロフィールの作成

1. 「マーケティング」メニューから、「顧客プロフィール」を選択します。「顧客プロフィール」ページが表示されます。
2. 「新規」をクリックします。「顧客プロフィール」ノートブックが表示されません。
3. 左側のナビゲーション・バーから、「一般」をクリックします。
4. この顧客プロフィールを *over 29* と呼びます。フィールドに *over 29* と入力します。
5. 「説明」フィールドに、顧客プロフィール・グループの説明を入力します。たとえば、「29 歳以上のすべての登録顧客」などとしします。
この説明は、基本の「顧客セグメント (Customer Segments)」ウィンドウに表示されます。このフィールドは、プロフィールを使用してキャンペーンを作成するユーザーの利便のためのものであり、プログラム・ロジックでは考慮に入れられません。
6. 左側のナビゲーション・バーから、「個人情報」、次いで「年齢」を選択します。
7. 「年齢のターゲット」を選択して、29 歳以上のすべての年齢グループを選択します。
8. 「OK」をクリックして、プロフィールを保管してノートブックをクローズします。顧客プロフィールが「顧客プロフィール」ページに表示されます。
9. ステップ 2 から 8 を繰り返し、29 歳未満のグループを作成します。

シーズンオフ・セール・キャンペーンの作成

シーズンオフ・セール・キャンペーンは、さまざまな対象にさまざまな製品を表示します。たとえば、男性の顧客は、ストライプのスウェットシャツ、ウェザー・ジャケット、およびウォーキング・シャツを見ます。女性の顧客は、サマー・ナイトガウン、ショート・スカート、およびサマー・ドレスを見ます。FashionFlow は、

このキャンペーン用にストアのホーム・ページ (StoreCatalogDisplay.jsp) に e-マーケティング・スポットを組み込んでいます。

シーズンオフ・セール・キャンペーンを作成するには、以下のようにします。

1. 「マーケティング」メニューから、「キャンペーン」を選択します。「キャンペーン」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されているキャンペーンが入っています。
2. 「新規」をクリックします。「新規キャンペーン」ウィザードが立ち上がり、キャンペーンを定義することができます。「キャンペーンの一般定義」ページが最初に表示されます。
3. 「キャンペーン名」フィールドで、「シーズンオフ・セール」と入力します。
4. 「説明」フィールドに、キャンペーンについての任意のサンプル説明を入力します。たとえば、「シーズンオフ・セール・キャンペーンは、登録顧客に対する現在のシーズンの商品取引をターゲットにする」などとします。
5. 「次へ」をクリックします。「ビジネス目的の定義」ページが表示されます。
6. 「キャンペーンのスポンサー」フィールドに、キャンペーンのスポンサーの名前を入力します。たとえば、自分の名前を入力します。
7. 「キャンペーンの目的」フィールドに、キャンペーンのビジネス目的を入力します。たとえば、「季節衣料アイテムをシーズンの終了前にすべて販売する」などとします。
8. 「終了」をクリックして、キャンペーンを保管します。「キャンペーン」リストにこのキャンペーンが表示されます。このキャンペーンを使用するには、その前にイニシアチブを作成する必要があります。イニシアチブの作成は以下のステップで行います。

シーズンオフ・セール・キャンペーンのイニシアチブの作成

1. WebSphere Commerce アクセラレーターで、「マーケティング」メニューに進みます。
2. 「キャンペーン・イニシアチブ」を選択します。キャンペーン・イニシアチブ・リストが表示されます。
3. 男性グループに対する条件を以下のようにセットアップします。
 - a. 「新規」をクリックします。「キャンペーン・イニシアチブ」ウィザードの「キャンペーン・イニシアチブの一般定義」ページが表示されます。
 - b. 「キャンペーン・イニシアチブ名」フィールドで、「シーズンオフ・セール・イニシアチブ - 男性」と入力します。
 - c. 「説明」フィールドに、イニシアチブの説明を入力します。たとえば、「ホーム・ページでの性別によるお勧め商品提示販売」などとします。
 - d. 「キャンペーン」フィールドで、「シーズンオフ・セール」を選択します。
 - e. 「イニシアチブの種別」フィールドで、「商品、カテゴリー、または認識広告に関するお勧め商品提示商法」を選択します。
 - f. 「次へ」をクリックします。「表示されるダイナミック・コンテンツを定義」ページが表示されます。
 - g. 「特定商品を提示」を選択します。
 - h. 「検索」をクリックします。「商品の検索」ページが表示されます。

- i. 「簡略説明」フィールドで、「ストライプ・スウェットシャツ」と入力します。「検索」をクリックします。ストライプ・スウェットシャツのリストが「検索結果」ページに表示されます。
 - j. SKU で「商品」の語が含まれているストライプ・スウェットシャツを選択します。次いで「追加」をクリックします。ストライプ・スウェットシャツのリストがある「表示されるダイナミック・コンテンツを定義」ページが表示されます。
 - k. g から j のステップを 2 回繰り返す、「ウェザー・ジャケット」と「ウォーキング・シャツ」を選択します。
 - l. 「次へ」をクリックします。「ターゲット顧客を定義」ページが表示されます。
 - m. 「ターゲット固有プロファイル (Target specific profiles)」を選択します。
 - n. 「使用可能な顧客プロファイル」リスト・ボックスから、「男性」を選択して、「追加」をクリックします。
 - o. 「次へ」をクリックします。「ターゲット顧客の日付を定義 (Defining Dates for Target Customer)」ページが表示されます。
 - p. 「毎日」を選択します。
 - q. 「次へ」をクリックします。「ターゲット顧客の行動様式を定義」ページが表示されます。顧客の行動様式はターゲットにしません。
 - r. 「終了」をクリックして、新規のキャンペーン・イニシアチブを保管します。イニシアチブがキャンペーン・イニシアチブ・リストに表示されます。
4. 女性グループに対する条件を以下のようにセットアップします。
- a. 「新規」をクリックします。「キャンペーン・イニシアチブ」ウィザードの「キャンペーン・イニシアチブの一般定義」ページが表示されます。
 - b. 「キャンペーン・イニシアチブ名」フィールドで、「シーズンオフ・セール・イニシアチブ - 女性」と入力します。
 - c. 「イニシアチブの種別」フィールドで、「一般」を選択します。
 - d. 「説明」フィールドに、イニシアチブの説明を入力します。たとえば、「ホーム・ページでの性別によるお勧め商品提示販売」などとします。
 - e. 「キャンペーン」フィールドで、「シーズンオフ・セール」を選択します。
 - f. 「次へ」をクリックします。「表示されるダイナミック・コンテンツを定義」ページが表示されます。
 - g. 「特定商品を提示」を選択します。
 - h. 「検索」をクリックします。「商品の検索」ページが表示されます。
 - i. 「名前」フィールドで、「サマー・ナイトガウン」と入力します。「検索」をクリックします。サマー・ナイトガウンのリストが「検索結果」ページに表示されます。
 - j. SKU で「商品」の語が含まれているサマー・ナイトガウンを選択します。次いで「追加」をクリックします。サマー・ナイトガウンのリストがある「表示されるダイナミック・コンテンツを定義」ページが表示されます。
 - k. g から j のステップを 2 回繰り返す、「カジュアル・スカート」と「半そでサマー・ドレス」を選択します。

- l. 「次へ」をクリックします。「ターゲット顧客を定義」ページが表示されます。
 - m. 「ターゲット固有プロファイル (Target specific profiles)」を選択します。
 - n. 「使用可能な顧客プロファイル」リスト・ボックスから、「女性」を選択して、「追加」をクリックします。
 - o. 「次へ」をクリックします。「ターゲット顧客の日付を定義 (Defining Dates for Target Customer)」ページが表示されます。
 - p. 「毎日」を選択します。
 - q. 「次へ」をクリックします。「ターゲット顧客の行動様式を定義」ページが表示されます。顧客の行動様式はターゲットにしません。
 - r. 「終了」をクリックして、新規のキャンペーン・イニシアチブを保管します。イニシアチブがキャンペーン・イニシアチブ・リストに表示されます。
5. 「終了」をクリックします。

シーズンオフ・セールの e-マーケティング・スポットのスケジュール

1. 「マーケティング」メニューから、「e-マーケティング・スポット」を選択します。「e-マーケティング・スポット」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されている e-マーケティング・スポットが入っています。
2. **StoreHomePage** e-マーケティング・スポットの左側のチェック・ボックスを選択します。「スケジュール」をクリックします。「キャンペーン・イニシアチブのスケジュール」リストが表示されます。
3. 「新規」をクリックします。「キャンペーン・イニシアチブのスケジュール」ページが表示されます。
4. 「選択したキャンペーン」ドロップダウン・ボックスから、「シーズンオフ・セール」を選択します。
5. 「シーズンオフ・セール・イニシアチブ - 男性」および「シーズンオフ・セール・イニシアチブ - 女性」を追加します。
6. 「OK」をクリックして、スケジュール割り当てを保管します。「キャンペーン・イニシアチブのスケジュール」ページで、販売 e-マーケティング・スポットでスケジュールされたイニシアチブが表示されます。

ホット・セール・キャンペーンの作成

ホット・セール・キャンペーンでは、さまざまな対象にさまざまな広告を表示します。たとえば、29 歳未満の顧客には、ショート・サマー・ドレス、スポーティー・タンクトップ、およびチーム・シャツなどの商品が表示されます。29 歳以上の顧客には、花柄シャツ、ニット長そでシャツ、およびプレーン・フロント・コットン・パンツなどの商品が表示されます。

ホット・セール・キャンペーンを作成するには、以下のようにします。

1. 「マーケティング」メニューから、「キャンペーン」を選択します。「キャンペーン」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されているキャンペーンが入っています。

2. 「新規」をクリックします。「新規キャンペーン」ウィザードが立ち上がり、キャンペーンを定義することができます。「キャンペーンの一般定義」ページが最初に表示されます。
3. 「キャンペーン名」フィールドで、「ホット・セール」と入力します。
4. 「説明」フィールドに、キャンペーンについての任意のサンプル説明を入力します。
5. 「次へ」をクリックします。「ビジネス目的の定義」ページが表示されます。
6. 「キャンペーンのスポンサー」フィールドに、キャンペーンのスポンサーの名前を入力します。たとえば、自分の名前を入力します。
7. 「キャンペーンの目的」フィールドに、キャンペーンのビジネス目的を入力します。たとえば、「新規アイテムを、ターゲットとする顧客に販売する」などとします。
8. 「終了」をクリックして、キャンペーンを保管します。「キャンペーン」リストにこのキャンペーンが表示されます。このキャンペーンを使用するには、その前にイニシアチブを作成する必要があります。イニシアチブの作成は以下のステップで行います。

ホット・セール・キャンペーンのイニシアチブの作成

1. WebSphere Commerce アクセラレーターで、「マーケティング」メニューに進みます。
2. 「キャンペーン・イニシアチブ」を選択します。キャンペーン・イニシアチブ・リストが表示されます。
3. 29 歳未満のグループに対する条件を以下のようにセットアップします。
 - a. 「新規」をクリックします。「キャンペーン・イニシアチブ」ウィザードの「キャンペーン・イニシアチブの一般定義」ページが表示されます。
 - b. 「キャンペーン・イニシアチブ名」フィールドで、「ホット・セール・イニシアチブ - 29 歳未満」と入力します。
 - c. 「イニシアチブの種別」フィールドで、「一般」を選択します。
 - d. 「説明」フィールドに、イニシアチブの説明を入力します。たとえば、「新着商品ページでの年齢別によるお勧め商品提示販売」などとします。
 - e. 「キャンペーン」フィールドで、「ホット・セール」を選択します。
 - f. 「次へ」をクリックします。「表示されるダイナミック・コンテンツを定義」ページが表示されます。
 - g. 「特定商品を提示」を選択します。
 - h. 「検索」をクリックします。「商品の検索」ページが表示されます。
 - i. 「簡略説明」フィールドで、「ショート・サマー・ドレス」と入力します。「検索」をクリックします。ショート・サマー・ドレスのリストが「検索結果」ページに表示されます。
 - j. SKU で「商品」の語が含まれているショート・サマー・ドレスを選択します。次いで「追加」をクリックします。ショート・サマー・ドレスのリストがある「表示されるダイナミック・コンテンツを定義」ページが表示されます。
 - k. g から j のステップを 2 回繰り返して、スポーティー・タンクトップとチーム・シャツを選択します。

- l. 「次へ」をクリックします。「ターゲット顧客を定義」ページが表示されます。
 - m. 「ターゲット固有プロファイル (Target specific profiles)」を選択します。
 - n. 「使用可能な顧客プロファイル」リスト・ボックスから、「29 歳未満」を選択して、「追加」をクリックします。
 - o. 「次へ」をクリックします。「ターゲット顧客の日付を定義 (Defining Dates for Target Customer)」ページが表示されます。
 - p. 「毎日」を選択します。
 - q. 「次へ」をクリックします。「ターゲット顧客の行動様式を定義」ページが表示されます。顧客の行動様式はターゲットにしません。
 - r. 「終了」をクリックして、新規のキャンペーン・イニシアチブを保管します。イニシアチブがキャンペーン・イニシアチブ・リストに表示されます。
4. 29 歳以上のグループに対する条件を以下のようにセットアップします。
- a. 「新規」をクリックします。「キャンペーン・イニシアチブ」ウィザードの「キャンペーン・イニシアチブの一般定義」ページが表示されます。
 - b. 「キャンペーン・イニシアチブ名」フィールドで、「ホット・セール・イニシアチブ - 29 歳以上」と入力します。
 - c. 「イニシアチブの種別」フィールドで、「一般」を選択します。
 - d. 「説明」フィールドに、イニシアチブの説明を入力します。たとえば、「年齢別によるお勧め商品提示販売」などとします。
 - e. 「キャンペーン」フィールドで、「ホット・セール」を選択します。
 - f. 「次へ」をクリックします。「表示されるダイナミック・コンテンツを定義」ページが表示されます。
 - g. 「特定商品を提示」を選択します。
 - h. 「検索」をクリックします。「商品の検索」ページが表示されます。
 - i. 「簡略説明」フィールドで、「花柄シャツ」と入力します。「検索」をクリックします。花柄シャツのリストが「検索結果」ページに表示されます。
 - j. SKU で「商品」の語が含まれている花柄シャツを選択します。次いで「追加」をクリックします。花柄シャツのリストがある「表示されるダイナミック・コンテンツを定義」ページが表示されます。
 - k. g から j のステップを 2 回繰り返し、「ニット長そでシャツ」と「プレーン・フロント・コットン・パンツ」を選択します。
 - l. 「次へ」をクリックします。「ターゲット顧客を定義」ページが表示されます。
 - m. 「ターゲット固有プロファイル (Target specific profiles)」を選択します。
 - n. 「使用可能な顧客プロファイル」リスト・ボックスから、「29 歳以上」を選択して、「追加」をクリックします。
 - o. 「次へ」をクリックします。「ターゲット顧客の日付を定義 (Defining Dates for Target Customer)」ページが表示されます。
 - p. 「毎日」を選択します。

- q. 「次へ」をクリックします。「ターゲット顧客の行動様式を定義」ページが表示されます。顧客の行動様式はターゲットにしません。
 - r. 「終了」をクリックして、新規のキャンペーン・イニシアチブを保管します。イニシアチブがキャンペーン・イニシアチブ・リストに表示されます。
5. 「終了」をクリックします。

ホット・セールの e-マーケティング・スポットのスケジュール

1. 「マーケティング」メニューから、「e-マーケティング・スポット」を選択します。「e-マーケティング・スポット」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されている e-マーケティング・スポットが入っています。
2. **NewArrivalsPage** e-マーケティング・スポットの左側のチェック・ボックスを選択します。「スケジュール」をクリックします。「キャンペーン・イニシアチブのスケジュール」リストが表示されます。
3. 「新規」をクリックします。「キャンペーン・イニシアチブのスケジュール」ページが表示されます。
4. 「選択したキャンペーン」ドロップダウン・ボックスから、「ホット・セール」を選択します。
5. 「ホット・セール・イニシアチブ - 29 歳以上」および「ホット・セール・イニシアチブ - 29 歳未満」を追加します。
6. 「OK」をクリックして、スケジュール割り当てを保管します。「キャンペーン・イニシアチブのスケジュール」ページで、**NewArrivalsPage** e-マーケティング・スポットでスケジュールされたイニシアチブが表示されます。

ストアでの登録およびショッピング

キャンペーンおよび割引を完成させた後に、ストアに加えた変更内容を確認します。これを実行するために、ストアにログオンし、異なる立場の複数の顧客として登録する必要があります。たとえば、最初のログオンでは、29 歳以上の男性顧客として登録します。次いでホーム・ページに戻り、ストライプ・スウェットシャツ、ウォーキング・シャツ、およびウェザー・ジャケットなどの、ターゲットの商品が表示されることを確認します。ホット・セール・アイテムをチェックし、29 歳以上の顧客をターゲットとする、花柄シャツ、ニット長そでシャツ、およびプレーン・フロント・コットン・パンツなどの商品が表示されることを確認します。アイテムを購入し、10% の割引が適用されることを確認します。

次いで、ブラウザをクローズして再オープンし、女性顧客としてログオンします。ホーム・ページに戻ります。サマー・ナイトガウン、ショート・スカート、および半そでサマー・ドレスが表示されるはずですが、新着商品ページも必ず訪れてください。29 歳未満の顧客をターゲットとする商品は、スポーティー・タンクトップ、チーム・シャツ、およびショート・サマー・ドレスです。

第 7 部: オークションの使用可能化

オークションの使用可能化については、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

第 8 部: ストアの WebSphere Commerce Payments のセットアップ

WebSphere Commerce Payments のセットアップについては、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

WebSphere Commerce Payments がセットアップ済みで、決済をテストしたい場合は、以下を実行してください。

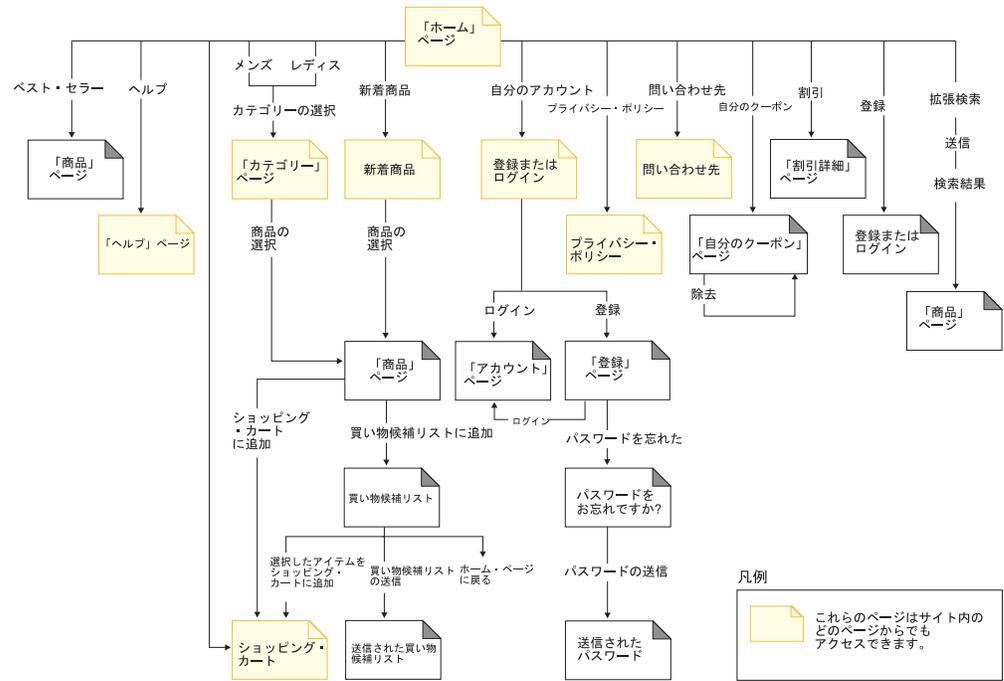
1. ストアで登録およびショッピングをします。
2. アイテムをショッピング・カートに追加します。
3. チェックアウトします。
4. オーダーを完了するには、クレジット・カード情報を入力します。このテストを目的として、以下を入力します。
 - a. 「クレジット・カード・タイプ」ドロップダウン・リストから、**Visa** を選択します (これがご使用の WebSphere Commerce Payments アカウントにあると想定しています)。
 - b. 「カード番号」フィールドで、「4111111111111111」 と入力します。
 - c. 「有効期限月」ドロップダウン・リストから、**10** を選択します。
 - d. 「有効期限年」ドロップダウン・リストから、**2005** を選択します。
 - e. 「オーダー」をクリックします。「オーダーの確認」ページが表示され、オーダーの詳細が示されます。

注: 顧客が 2 バイト言語を使用し、テキスト・フィールドに長い情報を入力する場合は、フィールドに許可されている長さを超過した入力の原因のエラーが発生する可能性があります。これを訂正するには、顧客が入力する UTF8 スtringの長さを制限するコードを追加できます。

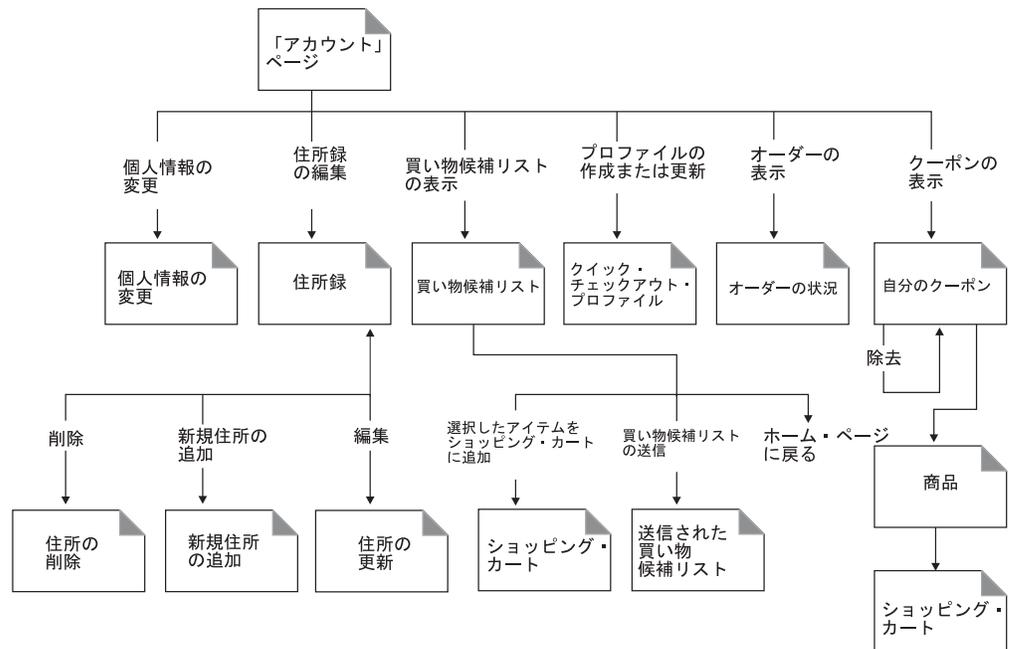
FashionFlow ストア・フロー

以下の図は、FashionFlow 用の基本的なストア・フロー、アカウント・フロー、およびチェックアウト・フローを示しています。

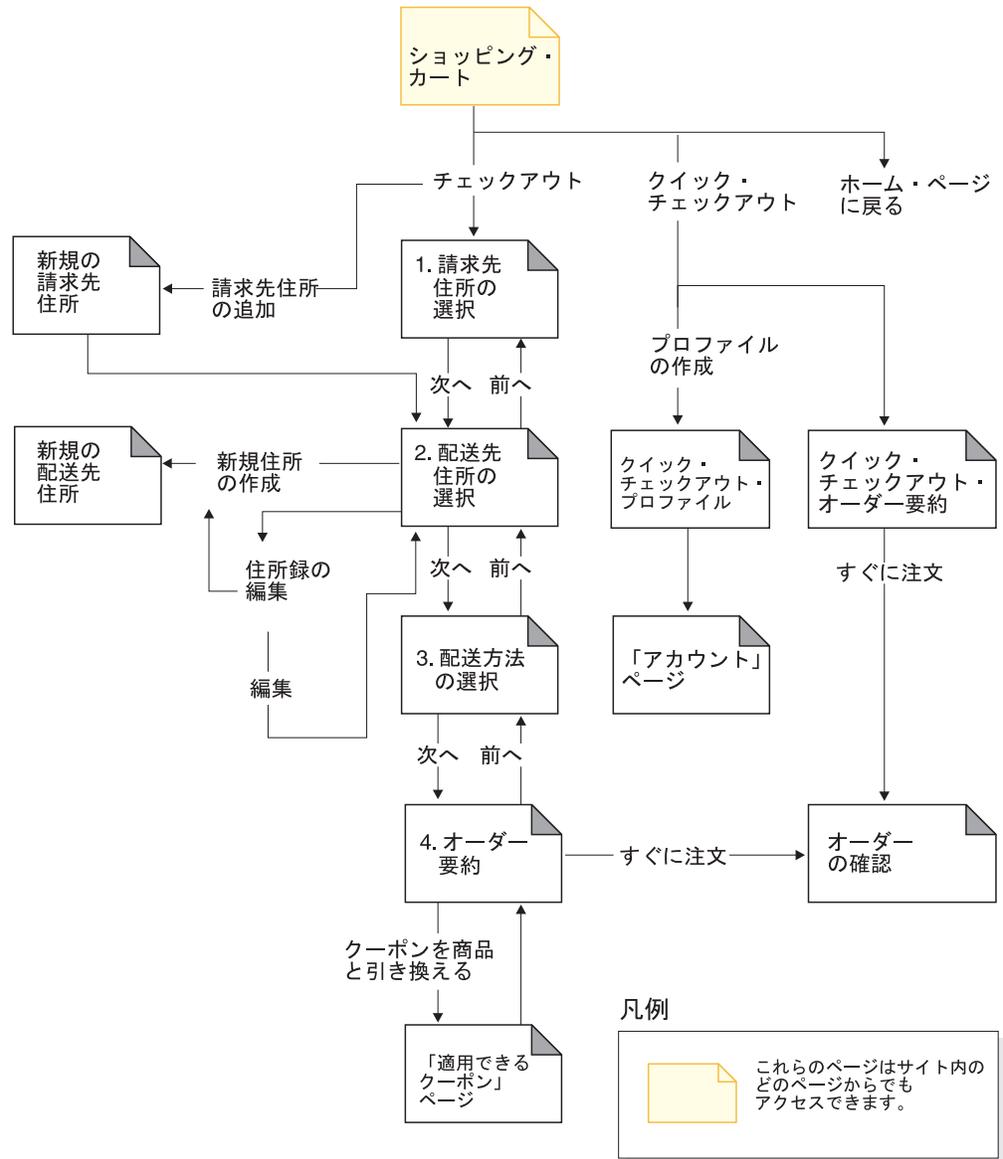
FashionFlow ストア・フロー



FashionFlow アカウント・フロー

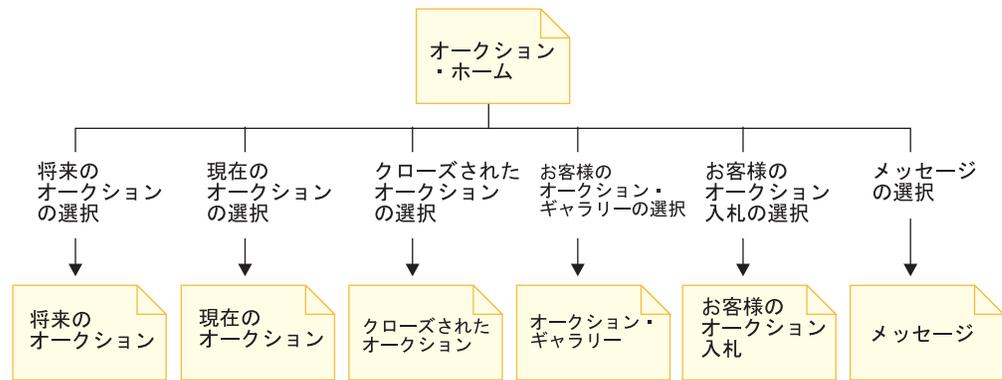


FashionFlow チェックアウト・フロー

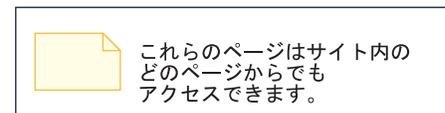


以下の図は、基本オークション・フロー、現在のオークション・フロー、将来のオークション・フロー、およびクローズされたオークション・フローを示しています。

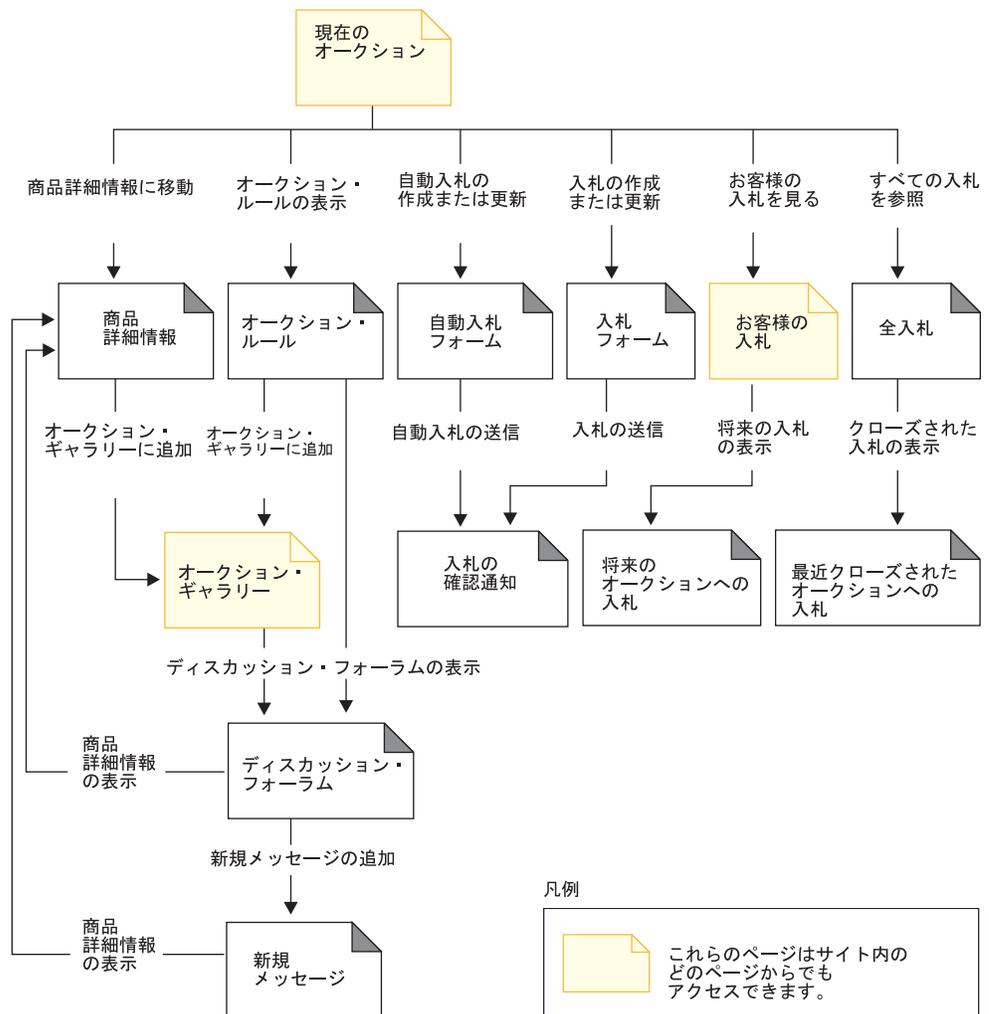
オークション・フロー



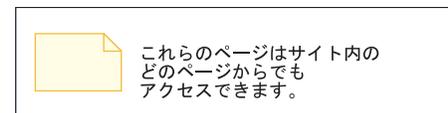
凡例



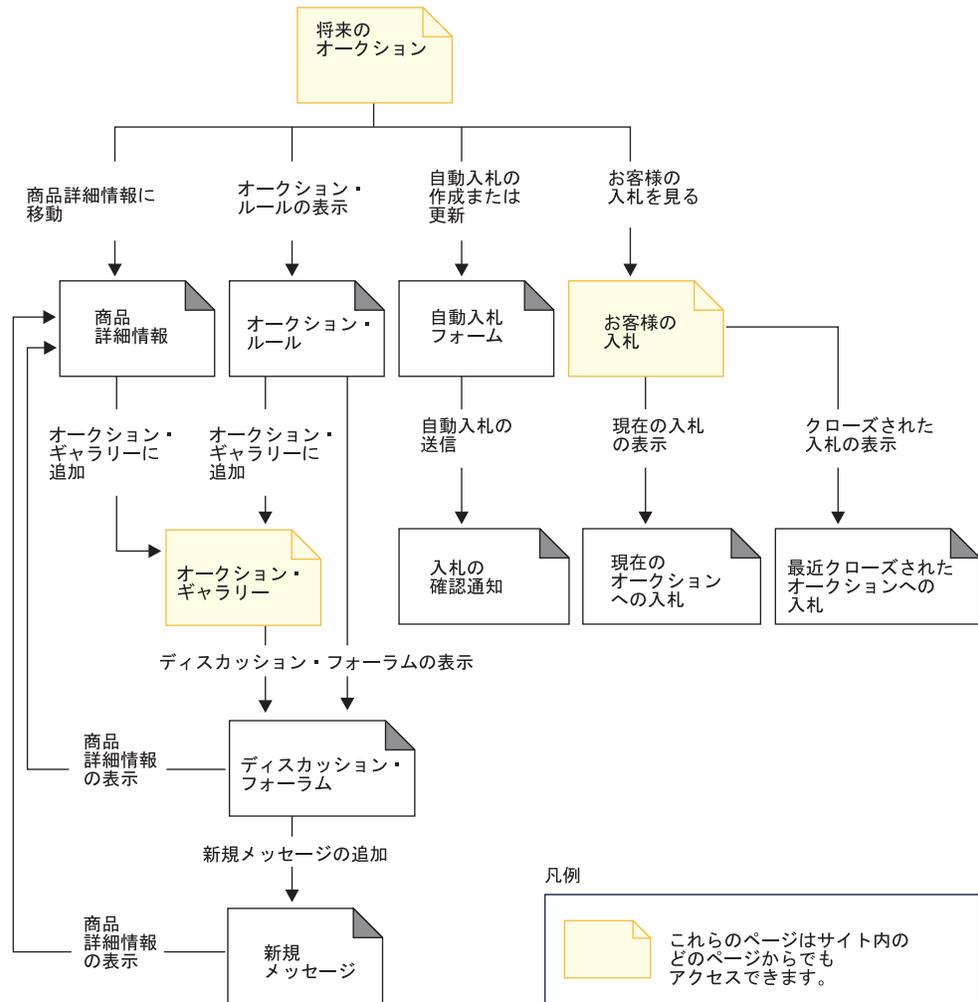
現在のオークション・フロー



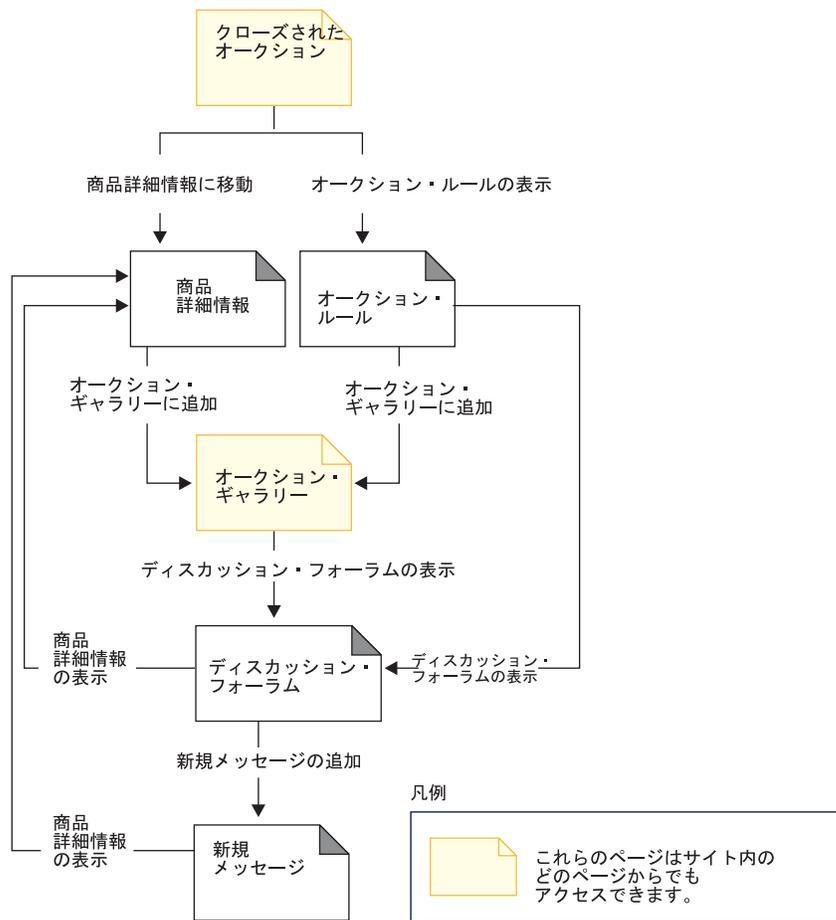
凡例



将来のオークション・フロー



クローズされたオークション・フロー



第 6 章 FashionFlow ユース・ケース

注: このユース・ケースは、以下の場合を除き、ホストされるストア（「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」を使用して作成されたストア）に適用されます。

- ガイド付き販売
- E メール・アドレスのセットアップ/Eメールの受信オプション
- 登録顧客の E メール・アドレスの更新/Eメールの受信オプション

「ホーム」ページ

「ホーム」ページは、ストアフロントの働きをして、顧客をストアに案内します。

実行者

顧客

メイン・フロー

顧客は Web ブラウザーでストアの URL を入力します。システムにより「ホーム」ページが表示されます。

「ホーム」ページには、以下のものが組み込まれています。

「言語の選択 (select a language)」または「通貨の選択 (select a currency)」のいずれかを表示するドロップダウン・メニュー

- 以下のページへのリンクがあるナビゲーション・バー
 - 「ホーム」ページ
 - 拡張検索
 - 「ショッピング・カート」ページ
 - 「登録」ページ
 - 「アカウント」ページ
 - 「連絡先情報」ページ
 - 「セキュリティーおよびプライバシー (Security and privacy)」ページ
 - 「ヘルプ」ページ
- 基本カテゴリーまたは最上位カテゴリーにリンクします。カテゴリーごとに、以下の情報が表示されます。
 - イメージ
 - ターゲットの商品へのリンク顧客が登録時に性別を指定した場合は、顧客の性別をターゲットにした商品が表示されます。指定しなかった場合は、一般的な商品のセットが表示されません。
商品ごとに、以下の情報が表示されます。
 - イメージ

- 簡略説明

顧客はイメージをクリックします。次いで、対応するページが表示されます (A1、A2)。

代替フロー

A1: 顧客がカテゴリーを選択する場合

顧客がカテゴリーを選択すると、『「商品カテゴリーの表示」ユース・ケース』の説明のように、カテゴリー・ページが表示されます。

A2: 顧客が商品を選択する場合

顧客が商品を選択すると、『「商品ページの表示」ユース・ケース』の説明のように、商品ページが表示されます。

登録

登録処理により顧客はデータベースに個人情報を入力することができます。

実行者

顧客

メイン・フロー

顧客は「登録」を選択します。次いで、以下のフィールドのあるページが表示されます。

- E メール
- パスワード
- 確認パスワード
- 名
- 姓
- 優先言語
- 優先通貨
- 年齢
- 性別

顧客が特別ご提供品お買い得商品に関する E メールを受け取りたい場合は、「特別ご提供品およびお買い得商品の衣類について、E メールを送ってください」ボックスにチェックマークを付けて興味があることを示し、リストされる興味があるアイテムを選択する必要があります。

顧客は上記フィールドに該当する情報を入力し、「送信」を選択します。システムはシステムに新規顧客を作成し、顧客の情報を保存します (E1、E2、E3)。

システムは顧客に、『「個人アカウント管理」ユース・ケース』の手順に従い、アカウントを管理することを求めるプロンプトを出します。

代替フロー

なし。

例外フロー

E1: E メール・アドレスが既に存在する場合

E メール・アドレスが既にシステムに存在する場合、ユーザーに別の E メール・アドレスの入力を求めるエラー・メッセージが表示されます。ユース・ケースは最初から再開されます。

E2: 必須フィールドが抜けている場合

以下のフィールド (E メール、パスワード、確認パスワード、名、姓) の 1 つでも指定されていない場合、エラー・メッセージが表示されます。ユース・ケースは最初から再開されます。

E3: パスワードが無効な場合

パスワードが確認パスワードと一致しない場合、警告が表示されます。

注: パスワードはツールでセットアップされますが、入力するパスワードは次のようであればなりません。たとえば、6 文字以上で、1 つ以上の数字と英字が含まれていなければならない、同じ文字を 5 つ以上使用したり、4 つ連続で使用することはできません。この条件が満たされていないと、エラー・メッセージが表示されます。パスワードが E メール・アドレスと同じ場合も、エラー・メッセージが表示されます。

ログオン

登録顧客は、ログオン・プロセスにより、ユーザー名とパスワードを入力してアカウントにアクセスできます。

実行者

顧客

メイン・フロー

顧客は「アカウント」を選択します。次いで、以下のフィールドのあるページが表示されます。

- E メール・アドレス
- パスワード

顧客は上記フィールドに該当する情報を入力し、「ログイン」を選択します。システムは、顧客の E メール・アドレスとパスワードが正しいことを確認してから、顧客にアカウントへのアクセスを許可します。顧客がパスワードを忘れた場合は、「パスワードをお忘れですか? (Forgot your Password?)」を選択すると、代替フロー A1 が実行されます。

代替フロー

A1: パスワードを忘れた場合

顧客がパスワードを忘れた場合は、「パスワードをお忘れですか? (Forgot your Password)」を選択します。次に、顧客には E メール・アドレスを入力することを求めるページが表示されます。顧客は E メール・アドレスを入力し、「パスワードの送信」をクリックします。システムはこの E メール・アドレスにパスワードを送信します (E1)。

例外フロー

E1: システム中に一致する E メール・アドレスがない場合

E メール・アドレスが一致する顧客をシステムが検出できない場合は、エラー・メッセージが表示されます。

顧客が同じユーザー名でログインを試行して 6 回失敗すると、その顧客はロックアウトされます。アカウントがロックされたことを知らせるメッセージだけが表示され、顧客はストア担当者に連絡して、再度アクティブにする必要があります。

アカウントの管理

顧客はアカウント・ページからアカウントを管理できます。

実行者

顧客

メイン・フロー

顧客は「**アカウント**」を選択します。システムは以下のオプションを含む「**アカウント**」ページを表示します。

- 「**個人情報の変更**」
- **住所録の編集**
- **クイック・チェックアウト・プロフィールの作成または更新 (Create or update Quick Checkout Profile)**
- **買い物候補リストの表示**
- **オーダーの表示**
- **クーポンの表示**
- **オークション**

顧客が「**個人情報の変更**」を選択すると、「代替フロー A1: E メールとパスワードを変更する場合」が実行されます。

顧客が「**住所録の編集**」を選択すると、「代替フロー A2: 住所録を編集する場合」が実行されます。

顧客が「**プロフィールの作成または更新**」(クイック・チェックアウト・プロフィール)を選択すると、『「クイック・チェックアウト・プロフィールの作成」ユース・ケース』の説明どおりに、「クイック・チェックアウト・プロフィール」ページが表示されます。

顧客が「**買い物候補リストの表示**」を選択すると、『「買い物候補リストの表示」ユース・ケース』の説明どおりに、「買い物候補リスト」ページが表示されます。

顧客が「**オーダーの表示**」を選択すると、『「オーダーの表示」ユース・ケース』の説明どおりに、「オーダーの状況」ページが表示されます。

顧客が「**クーポンの表示**」を選択すると、『「オーダーの表示」ユース・ケース』の説明どおりに、「自分のクーポン」ページが表示されます。

代替フロー

A1: E メールとパスワードを編集する場合

システムは顧客に、『「個人情報の変更」ユース・ケース』で説明されている手順で、E メール・アドレスとパスワードを変更するように求めます。ユース・ケースは最初から再開されます。

A2: 住所録を編集する場合

住所録にすでに追加されている住所のすべてがリストされたページが表示されます。個々の住所の横に、「編集」と「削除」の2つのボタンがあります。住所のリストの下には、「新規住所の追加」ボタンがあります。

顧客が「削除」をクリックすると、データベースから対応する住所が削除され、住所が適切に削除されたことを示すメッセージが表示されます。そしてその代替フローを最初から再開します。

顧客が「編集」をクリックすると、「住所の編集」ユース・ケースで説明されている手順で住所を編集するように求められます。住所が適切に更新されたことを確認するメッセージが表示され、その代替フローは最初から再開されます。

顧客が「新規住所の追加」をクリックすると、(「新規住所の追加」ユース・ケース)で説明されている手順で新しい住所を入力するように求められます。そしてこの代替フローを最初から再開します。

例外フロー

なし。

個人情報の変更

顧客は E メール・アドレスやパスワードなどの個人情報を変更できます。

実行者

顧客

メイン・フロー

顧客は「個人情報の変更」をクリックします (E1)。「個人情報の変更」ページが表示されます。このページには、以下のフィールドがあります。

- 名。現在の名が事前入力されています。
- 姓。現在の姓が事前入力されています。
- E メール。現在の E メール・アドレスが事前入力されています。
- パスワード
- 確認パスワード
- 優先言語
- 優先通貨
- 年齢。年齢が事前入力されています。
- 性別。性別が事前入力されています。
- 興味のある Eメールの選択の変更 (change your selections for the interest e-mails)。チェックマークで選択します。

顧客は、必要に応じてフィールドに変更を加えます。パスワード・フィールドは未記入にしておくこともできます。顧客がパスワード・フィールドを未記入にしておくことを選択すると、システムは現在のパスワードを変更しません。顧客が「送信」を選択すると、E メール・アドレスとパスワードが更新されます (E2)。パスワード・フィールドが未記入の場合は、以前のパスワードは変更されません。

代替フロー

なし

例外フロー

入力するパスワードは、6 文字以上で、1 つ以上の数字と 1 つ以上の英字が含まれていなければならない、同じ文字を 5 つ以上使用したり、4 つ連続で使用することはできません。この条件が満たされていないと、エラー・メッセージが表示されます。パスワードが E メール・アドレスと同じ場合や、顧客がパスワードの変更を選択したにもかかわらず以前のパスワードと同じ場合にも、エラー・メッセージが表示されます。詳しくは、以下の関連タスクを参照してください。

E1: 顧客がログインしていない場合

E メール・アドレスとパスワードを変更するには、顧客はログインしている必要があります。顧客がログインしていない場合は、『「ログオン」ユース・ケース』で説明されている手順を使用してログインすることが求められます。そしてこのユース・ケースを最初から再開します。

E2: E メール・アドレスが別の顧客のものとして既にある場合

入力する E メール・アドレスは、他の既存の顧客の E メール・アドレスと同じものにするにはできません。一致していることが検出された場合は、別の E メール・アドレスを選択することが求められます。ユース・ケースは最初から再開されます。

E3: パスワードを確認できない場合

入力したパスワードは、確認パスワードとして指定したパスワードと一致していなければなりません。一致していないと、「入力した確認パスワードがパスワードと一致しません。もう一度やり直してください」というエラー・メッセージが表示されます。ユース・ケースは最初から再開されます。

新規住所の追加

顧客は新しい住所を住所録に追加できます。

実行者

顧客

メイン・フロー

「住所録」ページから、顧客は「新規住所の追加」をクリックします。以下のフィールドのあるページが表示されます。

- ニックネーム
- 名

- 姓
- 番地 (2 つのテキスト・ボックスで構成される)
- 市区町村
- 都道府県
- 郵便番号
- 国/地域
- 電話番号

顧客はフィールドに情報を入力し、「送信」をクリックします。新しい住所が住所録に追加されます (E1)。

代替フロー

なし

例外フロー

E1: 必須フィールドが未入力の場合

以下のいずれかのフィールドが未入力の場合には、エラー・メッセージが表示されます。必須フィールドは、言語固有です。

- 名
- 姓
- 番地
- 市区町村
- 都道府県
- 郵便番号
- 国/地域

入力したニックネームが顧客の住所録中に既存の場合は、エラー・メッセージがレポートされます。

住所録の編集

このユース・ケースは、顧客が住所録を編集する際のイベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

顧客は登録済みバイヤーであり、ストアにログインしています。

基本フロー

1. 「アカウント」ページが表示されます。
2. 顧客が「住所録の編集」をクリックすると、「住所録」ページが表示されます。
3. いずれかの住所の下にある「編集」をクリックし、住所録から編集する住所を選択します。
4. システムは、選択した住所の詳細情報 (ニックネーム、名、姓、番地、市区町村、都道府県、郵便番号、国または地域) を検索して表示します。

5. 顧客は該当するフィールドに変更を加え、「送信」をクリックして情報を保管します。

事後条件

住所が更新されます。

買い物候補リストへのアイテムの追加

FashionFlow では、登録顧客は買い物候補リストを使用して、将来オーダーしたい商品をリストに追加できます。買い物候補リストを家族や友人に E メールで送信して、家族や友人がその顧客へのプレゼントとしてアイテムを購入することもできます。買い物候補リストは、ショッピング・カートとは異なり、顧客が現在のショッピング・セッション中にショッピング・カート中の商品を購入する計画を立てるためのものです。

実行者

登録顧客

メイン・フロー

顧客は商品、パッケージ、またはバンドルを表示してから（詳しくは、『「商品ページの表示」ユース・ケース』、『「バンドル・ページの表示」ユース・ケース』、および『「パッケージ・ページの表示」ユース・ケース』を参照)、「**買い物候補リストに追加**」をクリックします。システムが商品、バンドル、またはパッケージを買い物候補リストに追加すると (E1)、『「買い物候補リストの表示」ユース・ケース』の説明のように、買い物候補リストのページが表示されます。

例外フロー

E1: ゲスト顧客が買い物候補リストにアイテムを追加しようとする場合

ゲスト顧客が買い物候補リストにアイテムを追加しようとする時、「買い物候補リストにアイテムを保管する場合、登録してからもう一度やり直してください」というメッセージが表示されます。

買い物候補リストの表示

顧客は、買い物候補リストに追加した商品の表示や編集を行えます。

実行者

顧客

メイン・フロー

顧客は「**アカウント**」をクリックしてから、「**買い物候補リストの表示**」をクリックします。次に、買い物候補リストの内容を示したページが表示されます。買い物候補リスト中の商品のリストが表示されます (E1)。買い物候補リスト中の商品、バンドル、またはパッケージごとに、以下の情報が表示されます。

- 商品の簡略説明
- アイテムの属性と値 (サイズやカラーの値など)

- 単価
- 「除去」リンク

このページには以下のアイテムも表示されます。

- 「ショッピングに戻る」ボタン
- 「選択したアイテムをショッピング・カートに追加」ボタン
- 「買い物候補リストの送信」ボタン
- 「E メール・アドレス」フィールド（「送信先:」/「宛先」）
- 「E メール・メッセージ」フィールド
- 「送信者:/送信者の名前 (sender Name)」
- 「E メール・アドレス」

買い物候補リストからアイテムを削除するには、「除去」をクリックします。システムは「A1: アイテムの除去」を完了します。

E メールで買い物候補リストを友人や家族に送信するには、顧客は「E メール・アドレス」フィールドに宛先の E メール・アドレスを入力し、「買い物候補リストの送信」をクリックします。システムによって「A2: 買い物候補リストの送信」が完了します。顧客は「E メール・メッセージ」フィールドを使用して E メール・メッセージを送信できます。顧客は自分の名前を指定する必要があり、オプションで自分の E メール・アドレスを指定できます。登録顧客の場合は、「名前」フィールドは事前入力されています。

買い物候補リスト中のアイテムをショッピング・カートに追加するには、ショッピング・カートに追加する個々のアイテムを選択し、「選択したアイテムをショッピング・カートに追加」をクリックします。システムによって「A3: カートへの追加」が完了します。

代替フロー — A1: アイテムの除去

買い物候補リストからアイテムを削除するには、そのアイテムについて「除去」をクリックします。買い物候補リストからアイテムが除去されます。ユース・ケースは最初から再開されます。

代替フロー — A2: 買い物候補リストの送信

E メールで買い物候補リストを友人や家族に送信するには、顧客は「E メール・アドレス」フィールドに宛先の E メール・アドレスを入力します。買い物候補リストを複数の友人に送信するには、個々の E メール・アドレスをコンマで区切る必要があります。たとえば、info@fashionflow.com, wcs@fashionflow.com のようにします。次いで、顧客は「買い物候補リストの送信」をクリックします。

代替フロー — A3: カートへの追加

買い物候補リスト中のアイテムをショッピング・カートに追加するには、顧客は追加する個々のアイテムを選択してから、「選択したアイテムをショッピング・カートに追加」をクリックします。システムは選択されたアイテムをすべてショッピング・カートに追加してから、『「ショッピング・カートの表示」ユース・ケース』の説明のように、ショッピング・カートを表示します。

例外フロー — E1: 買い物候補リストにアイテムがない場合

買い物候補リストにアイテムがない場合は、「買い物候補リストにアイテムがありません」というメッセージが表示されます。

ユース・ケースは終了します。

バンドル・ページの表示

バンドル・ページには、バンドルを構成する商品やアイテムに関する詳細情報が表示されます。

実行者

顧客

メイン・フロー

顧客はカテゴリ・ページからバンドルを選択します。次いで、データベースからバンドル情報が検索され、選択されたバンドルに関する詳細情報が示されているページが表示されます。バンドル・ページには、以下の情報が表示されます。

- 簡略説明
- 詳細説明
- バンドルの全体イメージ
- バンドルを構成する商品やアイテムのイメージ
- バンドル中の個々の商品やアイテムの価格
- バンドルを構成する商品にバリエーションがある場合、属性 (サイズとカラー) のリスト、および属性ごとの値 (カラーの場合は赤と青、サイズの場合は Large と X-Large) のリスト

次に、顧客は属性ごとに適切な値を選択し、数量を選択して、「ショッピング・カートに追加」をクリックします。バンドルがショッピング・カートに追加され (E-1)、『「ショッピング・カートの表示」ユース・ケース』の説明のように、「ショッピング・カート」ページが表示されます。

注: デフォルトの数量は 1 です。顧客は、バンドルをショッピング・カートに追加した後に数量を変更できます。

顧客はオプションとして「買い物候補リストに追加」をクリックすることもできます。顧客がこのオプションを実行すると、バンドルが買い物候補リストに追加され、『「買い物候補リストへのアイテムの追加」ユース・ケース』の説明のように、買い物候補リストが表示されます。

代替フロー

なし

例外フロー

なし

パッケージ表示ページ

パッケージ表示ページには、パッケージを構成する商品やアイテムに関する詳細情報が表示されます。

実行者

顧客

メイン・フロー

顧客はカテゴリ・ページからパッケージを選択します。データベースからパッケージ情報が検索され、選択されたパッケージに関する詳細情報が示されているページが表示されます。パッケージ表示ページには、以下の情報が表示されます。

- 簡略説明
- 詳細説明
- パッケージを構成する商品やアイテムのイメージ
- パッケージの価格
- パッケージを構成する商品にバリエーションがある場合、属性 (サイズとカラー) のリスト、および属性ごとの値 (カラーの場合は赤と青、サイズの場合は Large と X-Large) のリスト

次に、顧客は属性ごとに適切な値を選択し、数量を選択して、「ショッピング・カートに追加」をクリックします。パッケージがショッピング・カートに追加され (E-1)、『「ショッピング・カートの表示」ユース・ケース』の説明のように、「ショッピング・カート」ページが表示されます。デフォルトの数量は 1 です。

注: パッケージ中のすべてのアイテムは別々に販売できないので、ショッピング・カート中の 1 つのパッケージを 1 つのアイテムとして数えます。

顧客はオプションとして「買い物候補リストに追加」をクリックすることもできます。顧客がこのオプションを実行すると、システムはパッケージを買い物候補リストに追加し、買い物候補リストを表示します。

代替フロー

なし

例外フロー

E1: 属性を選択しない場合

属性にバリエーションのある商品の場合、顧客は属性ごとに値を選択する必要があります。顧客が値を選択しない場合、システムはデフォルト値を選択し、ショッピング・カートまたは買い物候補リストにパッケージを追加します。

商品カテゴリーの表示

カタログ・グループ・ページには、下位カテゴリーと商品のリストが表示されます。カタログ・グループ・ページは、顧客が商品をナビゲートするのに役立ちます。先頭のカタログ・グループ・ページでは商品の大きなカテゴリーが示され、それ以降のカタログ・グループ・ページは検索が絞り込まれます。

通常、カタログ・グループ・ページには以下の 3 つのタイプがあります。

- 親カテゴリー中の下位カテゴリーを表示するページ
- 下位カテゴリー中の商品を表示するページ
- 下位カテゴリーと商品の両方を表示するページ

実行者

顧客

メイン・フロー

最上位の商品カテゴリーは「ホーム」ページにリストされます。たとえば、メンズ・ファッション、レディース・ファッション、新着商品などです。顧客が「メンズ・ファッション」または「レディース・ファッション」をクリックすると、データベースから選択されたカテゴリー中の下位カテゴリーが検索され、対応するカテゴリー情報が表示されます。顧客が「新着商品」リンクをクリックすると、新しい商品が表示されます。カテゴリーおよび商品ごとに、以下の情報が表示されます。

- サムネール・イメージ (商品のみ)
- 個々のカテゴリーまたは商品の名前
- 商品を識別する簡単な説明
- 商品の価格

カテゴリー・ページには、パッケージまたはバンドルの形式のお買い得商品の案内もあります。お買い得商品の案内には、パッケージまたはバンドルのイメージと簡単な説明が含まれます。

顧客はサムネール・イメージまたは名前をクリックします。次に、システムは対応するページを表示します (A1、A2、A3、A4)。

代替フロー

A1: 顧客がカテゴリーを選択する場合

顧客がカテゴリーを選択すると、システムはこのユース・ケースを最初から再開して、別のカテゴリー・ページを表示します。

A2: 顧客が商品を選択する場合

顧客が商品を選択すると、『「商品ページの表示」ユース・ケース』の説明のように、商品ページが表示されます。

A3: 顧客がバンドルを選択する場合

顧客がバンドルを選択すると、『「バンドル・ページの表示」ユース・ケース』の説明のように、バンドル・ページが表示されます。

A4 顧客がパッケージを選択する場合

顧客がパッケージを選択すると、『「パッケージ・ページの表示」ユース・ケース』の説明のように、パッケージ表示ページが表示されます。

例外フロー

なし

ガイド付き販売

目的: 「ガイド付き販売」ページに、質問と、その質問に対して顧客が選択できる答えのリストを表示します。選択した答えにより、顧客に表示される次の質問が決定されます。質問に対する顧客の答えを基にして、商品のリストが提示およびリストされます。

実行者: 顧客 (登録済みおよびゲスト)

前提条件: 顧客はどのストア・ページにもアクセスできます。

事後条件: システムによってアイテムのリストの結果が戻されます (商品/パッケージバンドルではなく、アイテムのみを結果中にリストするように選択しています)。

実行者のアクション、メイン・フロー:

1. 顧客はサイドバー内で「ガイド付き販売」を選択します。
2. システムは「ガイド付き販売によろこそ (Guided Sell Welcome)」ページを表示します。この先頭ページには、ウェルカム・メッセージ/指示が含まれ、顧客に探索したいカテゴリー (メンズやレディスなど) を選択するよう尋ねます。
3. 顧客は探索したいカテゴリーを選択します。
4. システムは初回の「ガイド付き販売の質問/答え (Guided Sell Question/Answers)」ページを表示します。このページには、最初の質問と、その質問に対応していて顧客が選択できる答えが表示されます。
5. 顧客は答えを選択します。
6. 顧客が答えをクリックすると、次の「ガイド付き販売の質問/答え」ページが表示されます。このページには「質問/答え (Question/Answers)」と「履歴」の2つのセクションが表示されます。「質問/答え (Question/Answers)」セクションには質問と、その質問に対応していて顧客が選択できる答えが表示されます。顧客が答えをクリックすると、事前定義済みの質問がさらにある場合は、別の「ガイド付き販売の質問/答え」ページが表示されます。顧客が答えをクリックした場合に、答えるべき質問がそれ以上なければ、商品比較の形式ですべての推奨アイテムが表示されます。ページ中の左上に「商品比較」リンクがあります。顧客が「商品比較」リンクをクリックすると、顧客がこれまで答えた質問を基にして、商品やアイテムのリストが表示されます。「履歴」セクションはページの下部に表示されます。このセクションには、以前の質問と、それに対応する顧客が選択してきた答えがリストされます。

代替フロー: 顧客は履歴セクション内の質問をクリックします。顧客が履歴セクション内の質問をクリックすると、この以前の質問に関する「ガイド付き販売の質問/答え」ページが表示されます。次に、顧客は別の答えを選択できます。顧客が答えをクリックすると、事前定義済みの質問がさらにある場合は、別の「ガイド付き販売

の質問/答え」ページが表示されます。顧客が答えをクリックした場合に、答えるべき質問がそれ以上なければ、商品比較の形式ですべての推奨商品が表示されます。

例外フロー:

なし

関連商品販売、上位商品販売、およびアクセサリー

目的: 顧客は「ホーム」ページまたは「カテゴリー」ページ内で「商品」をクリックします。セットアップされている場合は、関連商品販売、上位商品販売、またはアクセサリー商品が表示されます。例: プレーン・フロント・コットン・パンツからクラシック・ベルトまでのアクセサリー、レディス・パジャマからシルクのパジャマまでの上位商品販売、メンズ格子柄ボクサー・パンツからパジャマまでの関連商品販売。

実行者: 顧客 (登録済みおよびゲスト)

前提条件: 商品の関連商品販売、上位商品販売、またはアクセサリーがセットアップされています。商品ページが表示されます。

事後条件: 商品ページに関連商品販売、上位商品販売、またはアクセサリーが表示されます。

実行者のアクション、メイン・フロー:

1. 顧客は商品をクリックします。
2. 「商品」ページは、商品に関する詳細情報を表示します。その商品の関連商品販売、上位商品販売、またはアクセサリーがセットアップされている場合は、商品ページ内に関連商品販売、上位商品販売、またはアクセサリーがリストされます。関連商品販売、上位商品販売、またはアクセサリー商品ごとに以下の情報が表示されます。サムネイル・イメージ、個々の商品の名前、および商品のオファー価格。サムネイル・イメージと名前は対応する商品ページにリンクします。これらの商品が関連商品販売、上位商品販売、またはアクセサリーであることを示す文が表示されます。例: 「コーディネートにいかがですか」(関連商品販売の場合)。
3. 顧客は関連商品販売、上位商品販売、またはアクセサリー商品をクリックします。
4. 商品をクリックすると、商品ページが表示されます。

代替フロー: 顧客は関連商品販売、上位商品販売、またはアクセサリーがセットアップされていない商品をクリックします。通常の商品ページは、商品に関する詳細情報を表示します。『「商品ページの表示」ユース・ケース』を参照してください。

例外フロー: なし

カテゴリー・ページでの関連商品販売の表示

目的: カタログ・ページに、下位カテゴリーと商品のリストを表示します。関連商品販売がセットアップされている場合は、関連商品販売のカテゴリーも表示します。

例: メンズ・パンツと、シャツとトップスの関連商品販売。

実行者: 顧客 (登録済みおよびゲスト)

前提条件: このカテゴリーの関連商品販売がセットアップされています。下位カテゴリー・ページが表示されます。

事後条件: 下位カテゴリー・ページに関連商品販売が表示されます。

実行者のアクション、メイン・フロー:

1. 顧客はカテゴリー・リンクをクリックします。
2. データベースから、選択されたカテゴリー中の下位カテゴリーと商品が検索され、『「カテゴリーの表示」ユース・ケース』を使用して、これらのカテゴリーと商品の情報を表示します。このカテゴリーの関連商品販売がセットアップされている場合は、カテゴリー・ページに個々の関連商品販売カテゴリーの名前がリストされます。また、「こちらも合わせてみてはいかがでしょうか」という、関連商品販売カテゴリーであることを示す文も表示されます。名前は、対応する下位カテゴリー表示ページへのリンクになります。

代替フロー: 顧客は関連商品販売がセットアップされていない下位カテゴリーをクリックします。通常の下位カテゴリー・ページが表示されます。

例外フロー: なし

割引バナー広告の表示

目的: 顧客に対して、ストアの「ホーム」ページ中にさまざまな販売促進のバナー広告を表示します。

実行者: 顧客 (登録済みおよびゲスト)

前提条件: 個々のタイプの割引のバナー広告がセットアップされています。

事後条件: 「ホーム」ページにバナー広告が表示されます。

実行者のアクション、メイン・フロー:

1. 顧客は「ホーム」ページに進みます。
2. 「ホーム」ページに以下の 4 つのバナー広告が表示されます。 1) 「無料配送! 詳細情報についてはクリックしてください」、 2) 「イブニング・ドレスをお買い上げの方にイブニング・バッグをプレゼント」、 3) 「レディス・スポーティー・タンクトップのご購入で、もう 1 着が 30% OFF」、 4) 「\$150 以上お買い上げの方に 15% OFF」
3. 顧客はバナー広告「無料配送! 詳しくはこちら」をクリックします。
4. 無料の配送に関する詳細情報ページが表示され、無料の配送が行われる方法と条件に関する詳細情報が示されます。

5. 顧客はバナー広告「イブニング・ドレスをお買い上げの方にイブニング・バッグをプレゼント」をクリックします。
6. システムはこの割引情報 (手順や割引条件など) を示す詳細情報ページを表示します。この詳細情報ページ内で、「黒のイブニング・バッグ」は「アイテムの表示」ページにリンクし、「イブニング・ドレス」はイブニング・バッグの「商品表示」ページにリンクします。
7. 顧客が「イブニング・バッグ」リンクをクリックすると、プレゼント (黒のイブニング・バッグ) の「アイテムの表示」ページが表示されます。このプレゼント表示ページ内に、「イブニング・ドレスをお買い上げの方にイブニング・バッグをプレゼント」のような説明が表示されます。「アイテムの表示」ページも、この詳細情報ページにリンクします。同様に、顧客が「イブニング・ドレス」リンクをクリックすると、イブニング・ドレスの「商品表示」ページが表示されます。この商品表示ページ内に、「イブニング・ドレスをお買い上げの方にイブニング・バッグをプレゼント」のような説明が表示されます。「商品表示」ページにも、「詳細情報」ページへのリンクがあります。

注: プレゼントは「黒」のイブニング・バッグで、このバッグは商品「イブニング・バッグ」の子アイテムです。この「黒」のイブニング・バッグは、特定の属性「color=black」のある商品ページ内に表示されます。

8. 顧客はバナー広告「レディース・スポーティー・タンクトップのご購入で、もう 1 着が 30% OFF」をクリックします。
9. システムはこの割引情報 (手順や割引条件など) を示す「詳細情報」ページを表示します。たとえば、「お客様が複数のタンクトップを購入されても 30% OFF になるのは 1 着のタンクトップのみです。これが適用されるには、同じ種類のタンクトップでなければなりません」。この詳細情報ページ内で、「スポーティー・タンクトップ」は「商品表示」ページにリンクします。
10. 顧客がこのリンクをクリックすると、レディース・スポーティー・タンクトップの「商品表示」ページが表示されます。この「商品表示」ページ内で、「スポーティー・タンクトップのご購入で、もう 1 着が 30% OFF」などの販売促進の説明が表示されます。「商品表示」ページにも、「詳細情報」ページへのリンクがあります。この商品表示ページにも、割引情報 (手順や割引条件など) が表示されます。
11. 顧客はバナー広告「\$150 以上お買い上げの方に 15% OFF)」をクリックします。
12. 手順や割引条件などを示す詳細情報ページが表示されます。このページには、「ホーム」ページに戻る「ホーム・ページ」ボタンがあります。

代替フロー: なし

例外フロー: なし

\$100 以上お買い上げの場合の無料配送

目的: 顧客のお買い上げが \$100 以上であれば、通常便は無料で配送します。

実行者: 顧客 (登録済みおよびゲスト)

前提条件: オーダー合計価格が \$100 以上になっています。

事後条件: 無料配送がオファーされます。

実行者のアクション、メイン・フロー:

1. 顧客は「商品表示」ページから、「ショッピング・カートに追加」をクリックします。
2. システムは、「ショッピング・カートの表示」ユース・ケース を使用して、ショッピング・カートのページを表示します。ショッピング・カートのページには、「ホーム」ページへのリンクがあり、「ホーム」ページにはすべての割引バナー広告が表示されます。
3. 顧客は「チェックアウト」をクリックします。
4. 「ショッピング・カートのチェックアウト」ユース・ケースを使用します。「配送方法の選択」ページに、無料配送に関する販売促進の説明が表示されます。顧客が通常便の配送方法を選択すると、割引されます。選択しないと、割引されません。通常便を選択すると、「オーダー要約」ページで送料がゼロになります。

代替フロー: なし

例外フロー: なし

注: 合計金額が無料配送の条件を満たすかどうかは、他の商品レベルの割引後の合計に基づいて決まります。

1 アイテムのご購入でもう 1 つが 30% OFF

目的: 顧客がレディース・スポーティー・タンクトップを購入すると、もう 1 着が 30% OFF になります。

実行者: 顧客 (登録済みおよびゲスト)

前提条件: 顧客は複数のレディース・スポーティー・タンクトップを購入します。

事後条件: 顧客はスポーティー・タンクトップを 30% OFF で購入します。

実行者のアクション、メイン・フロー:

1. 顧客は「商品表示」ページから、「ショッピング・カートに追加」をクリックします。
2. システムは、「ショッピング・カートの表示」ユース・ケース を使用して、ショッピング・カートのページを表示します。顧客が複数のレディース・スポーティー・タンクトップを購入すると、2 着目のタンクトップの合計 (オーダー・アイテムの合計) の下に、タンクトップの割引率が表示されます (割引: -\$11.07 な

ど)。また、オーダー・アイテムの説明の下に、「スポーティー・タンクトップを購入すると、もう 1 着が 30% OFF になります」などの割引の説明が表示されます。

3. 顧客は「**チェックアウト**」をクリックします。
4. 「**ショッピング・カートのチェックアウト**」ユース・ケース を使用します。顧客が同じスポーティー・タンクトップを複数購入すると、これらのアイテムのうち 1 つが 30% OFF で購入できます。「**オーダー要約**」ページの 2 着目のタンクトップの合計 (オーダー・アイテムの合計) の下に、スポーティー・タンクトップの割引価格が表示されます (割引: -\$11.07 など)。

代替フロー: なし

例外フロー: なし

イブニング・ドレスの購入時に無料のプレゼントを進呈

目的: 顧客がイブニング・ドレスを購入すると、無料の黒のイブニング・バッグが進呈されます。

実行者: 顧客 (登録済みおよびゲスト)

前提条件: 顧客はイブニング・ドレスを購入する必要があります。

事後条件: 無料のイブニング・バッグがオファーされます。

実行者のアクション、メイン・フロー:

1. 顧客は「**商品表示**」ページから、「**ショッピング・カートに追加**」をクリックします。
2. システムは、「**ショッピング・カートの表示**」ユース・ケース を使用して、ショッピング・カートのページを表示します。ショッピング・カート内に黒のイブニング・バッグがオーダー・アイテムとして表示されます。テキスト・ボックスではなく数量フィールドに数量値が表示され、顧客は数量を更新できません。オーダー・アイテムの合計の下に、このオーダー・アイテムが「**無料**」であると表示されます。オーダー・アイテムの説明の下に、「**イブニング・ドレスをお買い上げの方にイブニング・バッグをプレゼント**」などの割引の説明が表示されません。
3. 顧客は「**チェックアウト**」をクリックします。
4. 「**ショッピング・カートのチェックアウト**」ユース・ケース を使用します。「**オーダー要約**」ページに、無料のイブニング・バッグがオーダー・アイテムとして表示されます。ショッピング・カートのページと同様に、オーダー・アイテムの合計の下に、このオーダー・アイテムが「**無料**」であると表示されます。

代替フロー: 購入可能なオーダー・アイテムと、購入可能でないオーダー・アイテムがあります。顧客はオーダーを 2 つに分割し、イブニング・バッグとイブニング・ドレスは 2 つの別々のオーダーになります。「**商品の納期**」ページには、3 つのオプションがあります。オプションのうち 2 つは、オーダーの分割に関連していません。「この場合は追加の配送料をお支払いいただく必要があります、割引がご利用いただけません」という説明が表示されます。この場合、オーダーの分割後は、イブニング・バッグは無料になりません。

例外フロー: 顧客は「ショッピング・カートに追加」をクリックしてイブニング・ドレスを追加しますが、黒のイブニング・バッグは在庫切れです。**納期回答 (ATP) が使用可能な場合:** 黒のイブニング・バッグは在庫切れで、ATP を使用できる場合は、バッグはショッピング・カートに追加されたままになります。「商品の納期」ページに、この無料のアイテムの入手可能日が表示されます。**ATP が使用不可の場合:** 黒のイブニング・バッグが在庫切れで、ATP を使用できない場合は、バッグはショッピング・カートに追加されません。無料のプレゼントが進呈されないことを示すメッセージが表示されます。

\$150 以上お買い上げの方にオーダーの 15% 割引

目的: 顧客が \$150 以上購入すると、オーダーが 15% 割引になります。

実行者: 顧客 (登録済みおよびゲスト)

前提条件: 顧客は \$150 以上購入します。

事後条件: 顧客のオーダーが 15% 割引になります。

実行者のアクション、メイン・フロー:

1. 顧客のオーダーの合計が \$150 以上になります。
2. 顧客は税込合計購入価格の 15% 割引になります。オーダーが \$150 以上になると、ショッピング・カート・ページ内のショッピング・カート小計の下に、このオーダー・レベルの割引について、「\$150 以上お買い上げの方に 15% 割引」などの割引の説明と、\$35.34 の割引が表示されます。「オーダー要約」ページに、この割引が表示されます。小計の上に割引を示す単独行が表示されます。

注: オーダーにクーポンが適用される場合、合計金額が 15% 割引の条件を満たすかどうかは、クーポンによる価格調整後の合計に基づいて決まります。

代替フロー: なし

例外フロー: なし

E メール・アドレスのセットアップ/Eメールの受信オプション

目的: 興味のある E メールを受信するかどうかを登録して選択します。オプションは、「メンズ・ファッション」、「レディス・ファッション」、「特別ご提供品」です。

実行者: ゲスト顧客

前提条件: ストアにデフォルトの E メール・キャンペーンが 1 つセットアップされていて、メンズ・ファッション、レディス・ファッション、または特別ご提供品に興味のあるユーザー・プロファイルがターゲットになっています。管理コンソール中で、インバウンド・メッセージとアウトバウンド・メッセージの E メール・アカウントがセットアップされています。ゲスト顧客が新規登録ページを表示しています。

事後条件: 顧客は E メール・アドレスを提供し、興味のあるものを選択します。これら 3 つの興味のいずれかを選出すると、次回に E メール・アクティビティーがスケジュールされる際に個々の興味に関する E メールを受け取ります。

実行者のアクション、メイン・フロー:

1. 顧客は新規登録ページの E メール・フィールドに a@b.c 形式で入力します。
2. E メール・アドレスはこの形式で表示されます。
3. 顧客は「E メール受信希望 (I would like to receive e-mails)」チェック・ボックスにチェックマークを付けます。
4. 顧客は「興味をお持ちの分野 (Please choose your interests)」複数選択 (チェック・ボックス) で、「メンズ・ファッション」、「レディース・ファッション」、「特別ご提供品」の 3 つの興味のうちいずれかまたはすべてを選択します。
5. ゼロまたはそれ以上 (最大 3 つまで) のチェック・ボックスにチェックマークを付けます。
6. 顧客は登録ページの他のフィールドに入力して「送信」をクリックします。
7. 登録は正常に実行されました。メンズ・ファッションにチェックマークを付けると、ドレス・パンツの説明を含む E メールを顧客は受け取ります。レディース・ファッションにチェックマークを付けると、イブニング・ドレスの説明を含む E メールを受け取ります。特別ご提供品にチェックマークを付けると、すべての割引情報 (無料配送、無料の景品など) を含む E メールを受け取ります。すべての E メールは独立しています。

実行者のアクション、代替フロー:

1. 顧客は新規登録ページの E メール・フィールドに a@b.c 形式で入力します。
2. E メール・アドレスはこの形式で表示されます。
3. 顧客は「E メール受信希望 (I would like to receive e-mails)」チェック・ボックスにチェックマークを付けません。
4. 顧客は「興味をお持ちの分野 (Please choose your interests)」チェック・ボックスで、「メンズ・ファッション」、「レディース・ファッション」、「特別ご提供品」の 3 つの興味のうち 0 個以上を選択します。
5. 顧客は登録ページの他のフィールドに入力して「送信」をクリックします。
6. 登録は正常に実行され、顧客は E メール・ニュースレターを受け取りません。

例外フロー: なし

登録顧客の E メール・アドレスの更新/Eメールの受信オプション

目的: 個人用 E メール・アドレスの更新、興味のある分野の変更、または購読中止を行います。

実行者: 登録顧客

前提条件: ストアにデフォルトの E メール・キャンペーンが 1 つセットアップされていて、メンズ・ファッション、レディース・ファッション、特別ご提供品に興味のあるユーザー・プロファイルがターゲットになっています。登録顧客がログインしており、「個人情報の更新 (Update Personal Information)」ページを表示しています。

事後条件: 顧客は E メール・アドレスを更新し、興味のあるものを変更します。1 つ以上の興味を選択すると、それに応じて E メールを受け取ります。「E メール受信希望 (I would like to receive e-mails)」ボックスのチェックマークを外すと、次回に E メール・アクティビティがスケジュールされる際にこの顧客に E メールは送信されません。

実行者のアクション、メイン・フロー:

1. 顧客は「個人情報の更新 (Update Personal Information)」ページの E メール・フィールドを a@b.c 形式で更新します。
2. E メール・アドレスはこの形式で表示されます。
3. 顧客は「E メール受信希望 (I would like to receive e-mails)」チェック・ボックスにチェックマークを付けません。
4. 顧客は登録ページの他のフィールドに入力して「送信」をクリックします。
5. 3 つの興味のいずれも選択しないと、E メール・アクティビティがスケジュールされる際にこの顧客に E メールは送信されません。

例外フロー: なし

問題: 現在のところ、登録コマンドは E メール形式の有効かどうかを検査しません。したがって、E メールが無効な場合、顧客は E メールを受け取りません。

商品ページの表示

商品ページは、商品に関する詳細情報を表示します。

実行者

顧客

メイン・フロー

顧客はカテゴリー・ページから商品を選択します。次いで、データベースから商品情報が検索され、選択された商品に関する詳細情報が示されているページが表示されます。「商品」ページには、以下の情報が表示されます。

- 商品名。
- 詳細。
- 価格。
- 商品の原寸イメージ。
- 商品にバリエーションがある場合、属性 (サイズとカラー) のリスト、および属性ごとの値 (カラーの場合は赤と青、サイズの場合は Large と X-Large) のリスト。
- 数量を入力する数量ボックス (デフォルトは 1)。

次に、顧客は属性ごとに適切な値を選択し、「ショッピング・カートに追加」をクリックします。選択されたアイテムがショッピング・カート中に追加され、『「ショッピング・カートの表示」ユース・ケース』の説明のように、ショッピング・カートのページが表示されます。

顧客はオプションとして「買い物候補リストに追加」をクリックすることもできます。顧客がこのオプションを実行すると、パッケージが買い物候補リストに追加され、『「買い物候補リストへのアイテムの追加」ユース・ケース』の説明のように、買い物候補リストが表示されます。

代替フロー

なし

例外フロー

なし

ショッピング・カートの表示

顧客は、ショッピング・カートによって、購入するよう選択した商品の表示や編集を行えます。

実行者

顧客

メイン・フロー

顧客は「ショッピング・カート」をクリックします。次に、ショッピング・カートの内容を示したページが表示されます。カート中の商品のリストが表示されます。この商品ごとに、以下の情報が表示されます。

- 数量
- 商品の簡略説明
- アイテムの属性名と属性値の組 (サイズと Large など)
- 単価
- 合計価格

システムは、税および配送料金込みのオーダーの合計料金も表示します。

顧客が「合計の更新」をクリックすると、A1: 合計の更新が実行されます。

顧客が「除去」をクリックすると、A2: カートからのアイテムの除去が実行されます。

顧客が「チェックアウト」をクリックすると、A3: カートの更新とチェックアウトが実行されます。

顧客が「ショッピングに戻る」をクリックすると、ショッピングのページが表示され、顧客はこのページからショッピング・カート・ページに戻ります。ユース・ケースは終了します。

顧客が「クイック・チェックアウト」をクリックすると、『「クイック・チェックアウト」ユース・ケース』の説明のように、「クイック・チェックアウト: オーダー要約 (Quick checkout: Order summary)」ページが表示されます。

サブフロー

A1: 合計を更新する場合

アイテムの数量を更新するには、顧客はテキスト・ボックスに新しい数量を入力してから、「**合計の更新**」をクリックします。ショッピング・カート中のアイテムの数量が更新されます。アイテムの新しい数量を 0 にすると、アイテムはカートから除去されます。

A2: カートからアイテムを除去する場合

カートからアイテムを削除するには、そのアイテムの「**アイテムの除去**」をクリックします。カートからアイテムが除去されます。

A3: カートを更新してチェックアウトする場合

ショッピング・カート中のアイテムの数量が更新され、チェックアウト・プロセスが開始されます。『「ショッピング・カートのチェックアウト」ユース・ケース』を参照してください。

例外フロー

E1: ショッピング・カートが空の場合

ショッピング・カートにアイテムがない場合は、「カートは空です！」というメッセージが表示されます。

文字などの無効な数値を数量フィールドに入力すると、ショッピング・カート・ページとエラー・メッセージが再表示されます。

オーダーの表示

顧客はオーダーの状況を追跡して表示できます。

実行者

顧客

メイン・フロー

顧客は「**アカウント**」をクリックして、「**オーダーの表示**」をクリックします。「**オーダーの状況**」ページが表示され、顧客によって発行されたすべてのオーダーのリストが示されます。顧客がオーダーを発行していない場合、「E1: オーダーがない場合」が実行されます。

オーダーごとに、以下の情報が表示されます。

- オーダー番号（「**オーダー詳細情報**」ページにリンクしている）
- オーダー日付
- オーダーの状況
- 合計金額

顧客は、オーダー番号をクリックすると、オーダーに関する詳細情報を検索できます。「**オーダー詳細情報**」ページが表示されます。「**オーダー詳細情報**」ページには、オーダー中の個々の商品に関する以下の情報が表示されます。

- 数量
- 商品の簡略説明

- 属性 (サイズとカラー) および属性ごとの値 (カラーの場合は赤と青、サイズの場合は Large と X-Large)
- 単価
- 合計価格
- オーダー全体の配送日
- トラッキング ID 番号

例外フロー

E1: オーダーがない場合

システムがこの顧客に関連したオーダーを検出できない場合、以下のエラー・メッセージが表示されます。

「オーダーが見つかりません」 顧客は「[ホーム・ページに戻る \(Return to Home Page\)](#)」または「[アカウント](#)」をクリックできます。

クイック・チェックアウト・プロフィールの作成

登録顧客がクイック・チェックアウト・フィーチャーを使用するには、まず最初にクイック・チェックアウト・プロフィールを作成しなければなりません。

実行者: 登録顧客

メイン・フロー

顧客は「[アカウント](#)」をクリックしてから、「[プロフィールの作成または更新](#)」をクリックし、ユース・ケースを開始します。

システムにより「クイック・チェックアウト・プロフィール」ページが表示されます。

1. 請求先住所。これには以下のフィールドがあります。

- 名
- 姓
- 番地
- 市区町村
- 都道府県
- 郵便番号
- 国/地域
- 電話番号

注: デフォルトの請求先住所が既存の場合、システムはこのページを事前入力します。

2. 配送先住所。これには以下のフィールドがあります。

- 名
- 姓
- 番地
- 市区町村

- 都道府県
- 郵便番号
- 国/地域
- 電話番号

注: デフォルトの配送先住所が既存の場合、システムはこのページを事前入力します。

配送先住所には、「請求先住所と同じ」チェック・ボックスもあります。このチェック・ボックスを選択すると、配送先住所は請求先住所と同じになります。

3. 利用可能な配送方法。個々の配送方法には以下の情報が含まれます。

- 配送方法の名前
- 配送料金の詳細情報
- 配達時間

注: デフォルトでは、顧客が最後に選択した配送方法が選択されます。

4. 支払い情報。これには以下のフィールドがあります。

- クレジット・カード・タイプ
- カード番号
- 有効期限月
- 有効期限年

顧客は情報を入力するか編集してから、「送信」をクリックします。システムは、『「新規住所の追加」ユース・ケース』の説明のように、住所情報を追加して、情報を保管します。次に、「アカウント」ページが表示されます。

クイック・チェックアウト

顧客が以前にクイック・チェックアウト・プロフィールを作成していれば、配送情報や請求情報を入力せずにオーダーを完成させられます。

実行者: 顧客

メイン・フロー

顧客は、ショッピング・カートに商品を追加し終えたら、「クイック・チェックアウト」をクリックして、ユース・ケースを開始します。次に、「クイック・チェックアウト: オーダー要約 (Quick Checkout: Order summary)」ページが表示されます。ショッピング・カート中のアイテムごとに、以下の情報が表示されます。

- 数量
- 商品の簡略説明
- 単価
- 合計価格

「クイック・チェックアウト: オーダー要約 (Quick Checkout: Order summary)」ページには、オーダーに関する以下の情報もあります。

- 小計
- 割引 (ある場合)
- 税額合計。複数の税は別々に表示されます。
- 関税 (ある場合)
- 配送方法を含む配送料金
- 総計
- 請求先住所
- 配送先住所

顧客には以下の支払い情報の入力が必要です。

- クレジット・カード・タイプ
- カード番号
- 有効期限月
- 有効期限年

注: 『「クイック・チェックアウト・プロファイルの作成」ユース・ケース』の説明のように、顧客がクイック・チェックアウト・プロファイル内にクレジットカード情報を作成した場合は、支払い情報のフィールドは事前入力されます。

顧客はオーダー要約を確認し、「**オーダー**」をクリックします。オーダーは完了し、「**オーダーの確認**」ページが表示されます。

代替フロー: なし

例外フロー

E1: 顧客にクイック・チェックアウト・プロファイルがない場合

顧客は、クイック・チェックアウトを完了する前に、『「クイック・チェックアウト・プロファイルの作成」ユース・ケース』の説明のように、クイック・チェックアウト・プロファイルを作成する必要があります。システムが請求先住所、配送先住所、または配送方法を検出できない場合は、顧客にクイック・チェックアウト・プロファイルの作成を求めるエラー・メッセージを表示します。

E2: 顧客が登録されていない場合

ゲスト顧客がクイック・チェックアウトを使用しようとする時、エラー・メッセージが表示され、クイック・チェックアウト・オプションを使用する前に、登録してクイック・チェックアウト・プロファイルを作成することを求めます。

E3: クレジット・カード情報が無効な場合

クイック・チェックアウト・プロファイルに入力されているクレジットカード番号が無効または有効期限切れの場合、エラー・メッセージが表示されます。

ショッピング・カートのチェックアウト

顧客は、ショッピング・カート中にリストされている商品の支払いを行う際に、オーダーをチェックアウトして送信します。

実行者: 顧客

メイン・フロー

顧客は「**チェックアウト**」をクリックして、ユース・ケースを開始します。

「請求先住所」ページが表示されます。顧客の住所録に 1 つ以上の住所がある場合、住所録から請求先住所として住所の 1 つを選択することが求められます。顧客は住所を選択するか、「**新規住所の作成**」をクリックします。顧客が「**新規住所の作成**」をクリックすると、「**新規住所の追加**」ユース・ケースを使用して新しい住所が追加されます。次に、顧客は住所を選択します。システムは選択された住所を、オーダーの請求先住所として設定します。顧客の住所録に住所がない場合は、「A1 請求先住所を追加する場合」が実行されます。

「配送先住所」ページが表示されます。住所録中の住所のリストが表示されます。顧客がリストから適切な配送先住所を見つけた場合は、その住所を選択します。見つからなかった場合は、「**新規住所の作成**」をクリックして、「**新規住所の追加**」ユース・ケース)を使用して新しい住所を追加します。システムは選択された住所を、オーダーの配送先住所として設定します。

システムは配送先住所に適した配送方法のリストを表示します。配送方法ごとに、以下の情報が表示されます。

- 簡略説明
- 配送の費用:
 - オーダー当たりの定額配送料金
 - オーダーされたアイテム当たりの配送料金
- 配達時間帯

顧客は配送方法を選択します。システムは選択された方法を、オーダーの配送方法として設定します。

注: 配送先住所と配送方法はオーダー・アイテムごとに指定します。

システムはオーダー中の個々のアイテムが購入可能かどうかを表示し、また購入可能かどうかに基づいてアイテムの配送に関する複数の選択項目を表示します。オーダー中の商品ごとに、システムは以下の情報を表示します。

- 数量
- 商品の簡略説明
- 属性値 (たとえば、サイズ: x = large、カラー: blue)
- 将来の在庫を基にした予想販売開始日
- 「除去」ボタン (オーダーからアイテムを除去する)

他のアイテムはあるものの、一部のアイテムの在庫がない場合には、「商品の納期」ページが表示されます。顧客は以下の 3 つの配送設定の 1 つを選択します。

- オプション 1 - オーダー全体が配送できるようになってから配送する。システムはオーダー全体の予想販売開始日を表示します。
- オプション 2 - 購入可能なアイテムを配送し、残りのアイテムを後で配送する。
- オプション 3 - 購入可能なアイテムを現時点で配送し、残りのアイテムを後日購入するためにショッピング・カート中に残しておく。

次に、顧客はオーダーの配送設定を選択します。

注: すべてのアイテムを購入できる場合は、アイテムごとの販売開始日は表示されません。

システムは、商品情報に加えて、オーダー情報の詳細も表示します。オーダー中のアイテムごとに、以下の情報が表示されます。

- 商品の簡略説明
- 属性値 (たとえば、サイズ: x = large、カラー: blue)
- 数量
- 単価
- 合計価格
- 以下の情報も表示されます。
 - 請求先住所
 - 配送先住所
 - 小計 (オーダーされたすべての商品の合計料金)
 - 割引 (ある場合)
 - 税額合計 (ある場合) (複数の税は別々に表示される)
 - 関税 (ある場合)
 - 配送方法を含む配送料金
 - 総計 (顧客が課金されたもの)
- 配送予定日 (先頭に表示される)

注: 配送先住所と配送方法はオーダー中のアイテムごとに表示されます。

ユーザーにはクレジット・カード情報を入力が求められます。以下の情報が要求されます。

- クレジット・カード・タイプ (VISA(R) やマスターカード(R) など)
- カード番号
- 有効期限月
- 有効期限年

顧客はクレジット・カード情報を入力し、「**オーダー**」をクリックします。支払い情報は保管され (E1)、オーダーに関する以下の情報がある確認ページが表示されます。

- オーダー番号
- 小計 (オーダーされたすべての商品の合計料金)
- 税額合計

- 配送
- 割引 (ある場合)
- 総計

顧客は将来参照するためにページを印刷します。

代替フロー

A1: 請求先住所を追加する場合

顧客は新しい住所を追加することが求められます。顧客は、「新規住所の追加」ユース・ケース を使用して住所を入力します。新しい住所は、オーダーの請求先住所として設定されます。ユース・ケースを続行します。

例外フロー

E1: クレジット・カード番号が無効な場合

システムはクレジットカード番号の妥当性を検査します。検査が失敗すると、以下のエラー・メッセージが表示されます。

「クレジットカード番号が無効です (Invalid credit card number)」。
その後、情報の再入力求められます。ユース・ケースを続行します。

E2: クレジット・カードが有効期限切れの場合

クレジットカードの有効期限日付が現在日付より前の場合、エラー・メッセージが表示されます。ユース・ケースは最初から再開されます。

下位カテゴリー・ページのトラブルシューティング

FashionFlow、ToolTech、Commerce プラザ、または Supplier Marketplace で商品を作成する場合には、その商品の簡略説明を入力する必要があります。下位カテゴリー・ページに商品がリストされると、JSP ファイルはデータベースからその簡略説明を取得します。簡略説明が入力されていない場合、下位カテゴリー・ページにはリストされている商品の説明は表示されません。

第 7 章 FashionFlow チュートリアル

注: このチュートリアルは、以下の場合を除き、ホストされるストア（「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」を使用して作成されたストア）に適用されます。

- ガイド付き販売
- E メール・オプションの作成および受信
- 商品探査および商品比較の使用

クーポンの作成と使用

デモンストレーション

このチュートリアルでは、FashionFlow の以下のフィーチャーについて説明します。

- WebSphere Commerce アクセラレーターによるクーポン販売促進の作成
- 登録
- クイック・チェックアウト・プロフィール
- 通常のチェックアウト
- クーポン・リストへのクーポンの追加
- クーポンの引き換え

前提条件

このチュートリアルを始める前に、FashionFlow ストア・アーカイブに基づいてストアを発行しておくことが必要です。また、クイック・チェックアウト、登録、およびクーポンを使用可能にする必要があります。詳しくは、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『管理コンソールからのストア・アーカイブの発行 (Publishing a store archive from the Administration Console)』および『WebSphere Commerce アクセラレーターを使用するストア・フローの変更 (Changing store flows using WebSphere Commerce Accelerator)』を参照してください。

クーポンの作成

以下の演習では、WebSphere Commerce アクセラレーターを使用して、クーポン・フィーチャーをセットアップします。

ストアのクーポンをセットアップするには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザー役割に応じて、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 次に、クーポン販売促進を作成します。
 - a. 「商品取引」メニューから、「クーポン販売促進」をクリックします。「クーポン販売促進」ウィンドウが表示され、現在定義されているクーポン販売促進のリストが示されます。

- b. 「新規...」を選択して、新しいクーポン販売促進を作成します。「クーポン販売促進の一般情報」ページが表示されます。
 - c. 「名前」テキスト・ボックスに、Coupon Promotion 03 と入力します。
 - d. 「説明」テキスト・ボックスに、オファーしようとしているクーポンの説明を入力します。20% off order と入力します。
 - e. 次に、このクーポンが有効になる時を決めます。常時有効にするか、または指定期間を決めることができます。指定期間を選択した場合は、開始日、終了日、開始時刻、および終了時刻を入力する必要があります。ここでは、このオプションを使用します。したがって、開始日として today's date を (指示されている形式で) 入力し、終了日として a week from today を (指示されている形式で) 入力し、7:00 に開始して 23:00 に終了するようにします。
 - f. 「次へ」を選択して、「詳細情報」ページに進みます。
 - g. 使用通貨である「USD」を選択します (ドルの場合)。
 - h. 「提供するクーポンの数」の下で、「任意の数値」を選択します。
 - i. 「購入条件のタイプ」の下で、「オーダーのタイプ」を選択します。(クーポンをオーダー全体ではなく特定の商品に適用したい場合は、商品タイプを選択します。)
 - j. 「次へ」を選択して、「オーダー購入条件」ページに進みます。
 - k. 「最低金額」に、\$200.00 と入力します。この値は、顧客がクーポン販売促進を受けるために支払う必要がある最低金額です。最高金額を適用したい場合も、このページで指定できます。この選択を行うと、金額を入力するためのテキスト・ボックスが表示されます。ただし、今回は最大値を入力しません。
 - l. 「次へ」を選択して、「クーポン値」ページに進みます。
 - m. 次に、クーポンを割引率で表すのか、または一定額にするのかを決めます。今回は、オーダーの 20% 割引をオファーすることになっています。したがって、この値を選択します。(一定額を選択した場合は、金額を入力するためのテキスト・ボックスが表示されます。)
 - n. 「終了」をクリックして、クーポン販売促進を保管します。「クーポン販売促進」リストにクーポン販売促進が表示され、自動的にアクティブとして設定されます。クーポン販売促進が正常に作成されたことを示すメッセージを受け取ります。「OK」をクリックします。
 - o. 「クーポン販売促進」ページに戻り、クーポンが表示されます。
3. 次に、広告コピーを作成します。
- a. 「マーケティング」メニューから、「広告コピー」を選択します。
 - b. 「新規...」を選択して、新しいクーポン販売促進の広告コピーを作成します。(既存の販売促進の要約の変更、削除、または受信を行いたい場合は、それぞれのオプションを選択します。)
「一般定義」ページが表示されず。
 - c. 「広告コピー名」テキスト・ボックスに、Coupon Promotion 03 ad copy と入力します。
 - d. 「タイプ」ドロップダウン・ボックスで、「イメージ」を選択します。

- e. 「URL」 ドロップダウン・リストで、「クーポン販売促進」を選択します。次に、「リスト」をクリックして、クーポン販売促進を選択します。「クーポン・リスト」ページが表示されます。クーポン販売促進の横のボックスにチェックマークを付けます。このページには、追加情報を入力するための2つのカスタム・フィールドがあります。「次へ」をクリックします。「説明の定義」ページが表示されます。
 - f. 「ロケーション」テキスト・ボックスで、ストア・ホーム・ディレクトリー (`WAS_installpath/InstalledApps/WC_Enterprise_App_instancename.ear/wcstores.war/store_name`) に関するフラッシュ・ファイルまたはイメージ・ファイルの相対パス名を入力します。 `images/coupon_20_percent.gif` と入力します。(20% の GIF を作成し、それを `/WebSphere/AppServer/installedApps/WC_Enterprise_App_instancename.ear/wcstores.war/storedir/images/` にコピーします)。
 - g. 「マーケティング」テキスト・ボックスで、ストア中でクーポン・イメージと共に表示されるテキストを入力します。
 - h. 「終了」をクリックします。広告コピーが正常に作成されたことを示すメッセージを受け取ります。「OK」をクリックします。
 - i. 「広告コピー」ページに戻り、広告コピーが表示されます。この広告コピーを選択して変更を加えたり、削除したり、要約を受け取ったりすることも選択できます。
4. キャンペーンを作成します。
 - a. 「マーケティング」メニューから、「キャンペーン」を選択します。「キャンペーン」ウィンドウが表示され、現在定義されているキャンペーンのリストが示されます。
 - b. 「新規…」を選択して、新しいキャンペーンを作成します。「一般定義」ページが表示されます。
 - c. キャンペーン名として `FashionFlow 2 campaign` と入力します。 `20% off your order when you spend $200` などのキャンペーンの説明を入力します。この説明は、「キャンペーン・リスト (Campaign List)」ウィンドウに表示され、キャンペーンを識別するのに役立ちます。 `20% off order coupon` という説明を入力します。「次へ」をクリックします。「ビジネス目的の定義」ページが表示されます。
 - d. キャンペーンのスポンサーと目的を入力します。 `Campaign Owner` と入力し、目的として `To increase consumer spending for FashionFlow` と入力します。
 - e. 「終了」をクリックして、キャンペーンを保管します。キャンペーンが正常に作成されたことを示すメッセージを受け取ります。「OK」をクリックします。「キャンペーン」リストにこのキャンペーンが表示されます。このキャンペーンを使用するには、その前にイニシアチブを作成する必要があります。
 5. キャンペーン・イニシアチブを作成します。
 - a. 「マーケティング」メニューから、「キャンペーン・イニシアチブ」を選択します。「キャンペーン・イニシアチブ」ウィンドウが表示され、現在定義されているキャンペーン・イニシアチブのリストが示されます。

- b. 「新規...」を選択して、新しいキャンペーン・イニシアチブを作成します。
「一般定義」ページが表示されます。
 - c. キャンペーン・イニシアチブ名として FashionFlow 2 coupon promotion と入力します。
 - d. 「イニシアチブの種別 (initiatives classification)」ドロップダウン・リストで、「クーポン (coupon)」を選択します。
 - e. 説明テキスト・ボックスに、Campaign initiative for the FashionFlow 2 campaign promotion などの、イニシアチブの説明を入力します。
 - f. 「キャンペーン」ドロップダウン・リストで、キャンペーンを選択します。
ここでは、「FashionFlow 2 キャンペーン (FashionFlow 2 campaign)」を選択します。
 - g. 「次へ」をクリックして、「表示されるダイナミック・コンテンツを定義」ページに進みます。
 - h. 「広告の表示 (Show advertisement)」を選択してから、「クーポンの公示」を選択します。
 - i. 右側のボックスから、このキャンペーン・イニシアチブで使用できる正しい広告コピーである「Ad copy 03」を選択します。
 - j. 「追加」をクリックして、この広告コピーを「選択した広告コピー」ボックスに追加します。
 - k. 「次へ」をクリックして、「ターゲット顧客を定義」ページに進みます。
 - l. 「全顧客をターゲットとする」を選択します。「顧客プロファイルターゲットとする (Target customer profiles)」を選択する場合は、事前にいくつかの顧客プロファイルが定義されている必要があります。
 - m. 「次へ」をクリックして、「ターゲット顧客の曜日を定義」ページに進みます。
 - n. 指定期間は既に設定されているので、「毎日」を選択します。
 - o. 「次へ」をクリックして、「ターゲット顧客の行動様式を定義」ページに進みます。顧客の行動様式が既に定義されている場合は、このページに表示されます。
 - p. このシナリオでは、顧客の行動様式を追加しません。「終了」をクリックして、このキャンペーン・イニシアチブを保管します。キャンペーン・イニシアチブが正常に作成されたことを示すメッセージを受け取ります。「キャンペーン・イニシアチブ」リストにこのキャンペーン・イニシアチブが表示されます。このイニシアチブの変更、複製、中断、再開、または削除を行いたい場合は、該当するオプションを選択し、ウィザードに従ってこれらのステップを完了します。
6. クーポン販売促進をスケジュールします。
- a. 「マーケティング」メニューから、「e-マーケティング・スポット」を選択します。
 - b. このリストから、「StoreHomePage」を選択し、ストアのホーム・ページにクーポンを表示させます。
 - c. 「スケジュール」ボタンを選択します。「キャンペーン・イニシアチブのスケジュールリング」ページが表示されます。

- d. 「新規...」を選択して、新しいキャンペーン・イニシアチブをスケジュールします。「キャンペーン・イニシアチブのスケジュール」ページが表示されます。
 - e. 「選択したキャンペーン」ドロップダウン・リストで、「FashionFlow 2 キャンペーン」を選択します。
 - f. 「使用可能なキャンペーン・イニシアチブ」から、「FashionFlow 2 クーポン販売促進」を選択します。
 - g. 「追加」をクリックして、このキャンペーン・イニシアチブを「選択したキャンペーン・イニシアチブ」ボックスに追加します。
 - h. このキャンペーン・イニシアチブを無期限で実行することになっているので、この選択項目を選択します。「OK」をクリックして、スケジュールリング情報を保管します。キャンペーン・イニシアチブがスケジュールされたことが表示されます。スケジュールに変更を加えたい場合は、そのスケジュールを選択して変更を加えます。
7. ブラウザーでストアフロント・ページを再ロードして、クーポン販売促進を表示します。

クーポンの使用

以下の演習では、父親のためにベルトを購入するという設定です。ストアに入る際に、登録するとクーポンを受け取れることが伝えられます。したがって、登録することにします。これでオーダーの 20% 割引のクーポンを使用できるようになりました。

ショッピングを開始するには、以下のようにします。

1. FashionFlow ストアで、「登録」をクリックします。「登録」ページが表示されます。
2. 登録フィールドに情報を入力します。「送信」をクリックします。「アカウント」ページが表示されます。
3. 「アカウント」ページを使用して、アカウント情報を管理できます。「アカウント」ページ内に、「クイック・チェックアウト・プロフィール」セクションが表示されます。ここでクイック・チェックアウト・プロフィールをセットアップして、チェックアウト・プロセス全体を実行する速度を上げることになります。「プロフィールの作成または更新」をクリックします。
4. 「クイック・チェックアウト・プロフィール」ページで、請求先住所、配送先住所、配送方法、支払い情報を入力します。このチュートリアルでは、以下のクレジット・カード情報を入力します。
 - a. 「クレジット・カード・タイプ」ドロップダウン・リストから、「Visa」を選択します。
 - b. 「カード番号」フィールドで、「4111111111111111」と入力します。
 - c. 「有効期限月」ドロップダウン・リストから、10 を選択します。
 - d. 「有効期限年」ドロップダウン・リストから、2005 を選択します。
5. 「送信」をクリックします。「アカウント」ページが表示されます。
6. 「ホーム」をクリックします。「ホーム」ページが表示されます。「ホーム」ページの下部にバナー広告クーポンが表示されるようになったことに注意してください。

7. バナー内で、20% OFF のイメージをクリックして、クーポンを受け取ります。「自分のクーポン」ページが表示され、クーポンがオーダー全体に有効で、有効期限日付がないことが示されます。
8. 次に、父親のために新しいベルトを購入するので、「メンズ」>「アクセサリ」をクリックします。メンズ・アクセサリ商品リストのページが表示されます。クラシック・ベルトが含まれています。
9. 「クラシック・ベルト」をクリックします。
10. 「数量」フィールドに、1 と入力します。
11. 「カラー」リストから、「黒」を選択します。
12. 「ショッピング・カートに追加」をクリックします。「ショッピング・カート」が表示されます。ショッピング・カート内のアイテムを確認します。
13. 「クイック・チェックアウト」をクリックします。「クイック・チェックアウト・オーダー要約」ページが表示されます。
14. クーポンを引き換えるには、「クーポンを商品と引き換える」をクリックします。適用できるクーポンのページが表示されます。
15. 全オーダー・クーポンをオーダーに適用できるので、クーポンを選択して、「クーポンの適用」をクリックします。「チェックアウト - オーダー要約 (Checkout - Order summary)」ページが再表示されます。この時点でクーポン割引が適用されていることに注意してください。
16. 請求先および配送先の情報を確認します。
17. クレジット・カード情報を入力します。このチュートリアルでは、前述のステップ 4 で詳述されているクレジットカード情報を再使用します。
18. オーダーが正しいことを確認して、「オーダー」をクリックします。「オーダーの確認」ページが表示され、オーダーの詳細が示されます。

関連商品販売の使用

デモンストレーション

このチュートリアルでは、FashionFlow の以下のフィーチャーについて説明します。

- ショッピング・フロー
- 通常のチェックアウト
- 関連商品販売

前提条件

このチュートリアルを始める前に、FashionFlow ストア・アーカイブに基づいてストアを発行しておく必要があります。詳しくは、『管理コンソールからのストア・アーカイブの発行 (Publishing a store archive from the Administration Console)』を参照してください。

関連商品販売の使用

以下のチュートリアルでは、関連商品販売を使用してショッピングの選択肢を広げます。

ショッピングを開始するには、以下のようにします。

1. 記念日なので夫のために服を購入したいとします。 FashionFlow ストアで、「**メンズ・ファッション**」をクリックします。「メンズ・ファッション」ページが表示されます。「パンツ」が必要なので、「**パンツとショートパンツ**」を選択します。
2. 伸縮性がある 5 ポケットのコットン・パンツを購入することにします。この商品をクリックして、大きくしたイメージを表示します。その際に、ストアでニットの長そでシャツが勧められていることを知ります。これはとてもよいコーディネートだと感じます。そこで、パンツとシャツの両方を夫のために購入することにします。
 - a. 最初にコットン・パンツを購入します。
 - 1) 「**数量**」フィールドに、 1 と入力します。
 - 2) 「**カラー**」ドロップダウン・リストから、「**ブラウン**」を選択します。
 - 3) 「**サイズ**」ドロップダウン・リストから、「**L**」を選択します。
 - 4) 「**ショッピング・カートに追加**」をクリックします。パンツが入った「**ショッピング・カート**」が表示されます。
 - b. 次に、ニットの長そでシャツを購入します。
 - 1) 「**ショッピング・カート**」ページから、直前にカートに追加したパンツをクリックします。伸縮性がある 5 ポケットのコットン・パンツの商品ページに戻ります。
 - 2) 「**ニットの長そでシャツ**」をクリックします。
 - 3) 「**数量**」フィールドに、 1 と入力します。
 - 4) 「**サイズ**」ドロップダウン・リストから、「**L**」を選択します。
 - 5) 「**カラー**」ドロップダウン・リストから、「**黒**」を選択します。
 - 6) 「**ショッピング・カートに追加**」をクリックします。「**ショッピング・カート**」ページが表示されます。
3. 「**ショッピング・カート**」ページで、オーダーの内容を確認します。コットン・パンツとニット・シャツが各 1 着あります。合計 \$89.99 です。今日はもうこれ以上購入するものはないので、「**チェックアウト**」をクリックします。
4. 「**チェックアウト - 請求先住所の追加**」ページで、**請求先住所情報**を入力します。「**次へ**」をクリックします。
5. 「**チェックアウト - 配送先住所の選択**」ページで、個々のアイテムの配送先を選択します。記念日用に包装して、夫が包みを開けないようにしたいので、「**すべてのアイテムを購入者に配送 (ship all items to yourself)**」を選択します。「**次へ**」をクリックします。
6. 「**チェックアウト - 配送方法の選択**」ページで、「**速達便**」を選択します。「**次へ**」をクリックします。
7. 「**チェックアウト - オーダー要約**」ページが表示されます。オーダーの詳細情報を確認します。
8. オーダーを完了するには、クレジット・カード情報を入力します。このチュートリアルでは、以下の情報を入力します。
 - a. 「**クレジット・カード・タイプ**」ドロップダウン・リストから、「**Visa**」を選択します。
 - b. 「**カード番号**」フィールドで、「4111111111111111」 と入力します。

- c. 「有効期限月」ドロップダウン・リストから、10 を選択します。
- d. 「有効期限年」ドロップダウン・リストから、2005 を選択します。
- e. 「オーダー」をクリックします。「オーダーの確認」ページが表示され、オーダーの詳細が示されます。

X 個購入で無料のプレゼント

デモンストレーション

このチュートリアルでは、FashionFlow の以下のフィーチャーについて説明します。

- ショッピング・フロー
- 通常のチェックアウト
- WebSphere Commerce アクセラレーターによるルール・ベース割引の作成
- FashionFlow での割引の使用 (顧客が指定の商品 (レディス・イブニング・ドレス) を購入した場合の無料のプレゼント (イブニング・バッグ))

前提条件

このチュートリアルを始める前に、FashionFlow ストア・アーカイブに基づいてストアを発行しておく必要があります。詳しくは、『管理コンソールからのストア・アーカイブの発行 (Publishing a store archive from the Administration Console)』を参照してください。

割引の作成: イブニング・ドレスの購入時に無料のイブニング・バッグを受け取る

注: FashionFlow は、データが組み込まれたサンプル割引を提供します。必要なのは、このデータを構成してアクティブにすることだけです。必要なステップについては、31 ページの『第 1 部: FashionFlow に基づいたストアの発行、および構成』にある割引情報を参照できます。このチュートリアルでは、詳細なステップと、備えられているデータへの任意の変更 (説明の変更など) について説明しています。割引がすでにセットアップ済みの場合は、これらのステップを実行する必要はありません。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザー役割に応じて、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「商品取引」メニューから、「商品の販売促進」を選択します。「商品の販売促進」ウィンドウが表示されます。
3. 「freeBag」の横にあるボックスにチェックマークを付け、「変更」をクリックします。「販売促進のプロパティ」ウィンドウがオープンします。
4. サイド・メニューから「商品取引の選択」を選択します。「商品取引の選択」ウィンドウがオープンします。
5. 「商品の検索」をクリックします。「商品の検索」ウィンドウがオープンします。
 - a. 「名前」フィールドで evening dress と入力して、「検索」をクリックします。
 - b. 検索結果によって 1 つの商品が戻されます。

- c. 「evening dress (product-sku-nf-701)」の横のボックスにチェックマークを付け、「追加」をクリックします。
6. サイド・メニューから「購入時に進呈される無料の景品」を選択します。「購入時に進呈される無料の景品」ウィンドウがオープンします。
7. これは商品の購入時に無料の景品を進呈する場合に使います。瞬時に検索するための SKU が必要です。
8. 「商品の検索」をクリックします。「商品の検索」ウィンドウがオープンします。
 - a. 「名前」フィールドで evening bag と入力して、「検索」をクリックします。
 - b. 「evening bag (item-sku-nf-1072)」の横のボックスにチェックマークを付け、「追加」をクリックします。
 - c. 「追加する数量 (Quantity to Add)」フィールドに、1 と入力します。
 - d. 顧客がイブニング・ドレスを 1 着購入すると、バッグを進呈するので、「購入する最少数量を指定してください」を選択し、アイテム・フィールドに 1 と入力します。
 - e. 「OK」をクリックします。
9. ダイアログ・ボックスで「OK」をクリックします。「商品の販売促進」ウィンドウに戻ります。
10. 次に、FashionFlow に組み込まれている既存の情報をカスタマイズして、ストアに反映させます。ここで販売促進について説明することができます。販売促進を再度選択して、「変更」をクリックします。「販売促進のプロパティ」ウィンドウがオープンします。
 - a. この販売促進にすでに割り当てられている名前 freeBag があり、この名前は変更できません。
 - b. 内部的に使用される説明「イブニング・ドレスの購入でイブニング・バッグを無料進呈」を入力します。
 - c. 顧客説明は短い方が望ましいので、この説明を保持します。
 - d. 顧客用の既存の説明を置き換えます。これは「割引詳細 (Discount Details)」に表示されます。これには特記事項や販売促進の詳細が記入されています。このオファーは、レディス・イブニング・ドレスの購入時だけに適用されず、バッグの色は黒だけです。販売促進は納期に応じて変更されます。これはオンライン顧客だけを対象とする販売促進です。オファーの内容は、予告なしに変更する場合があります。
 - e. 優先順位を「普通」に変更します。同一の購入に 2 つの割引を適用できる場合に、優先順位が適用されます。1 つの割引のみ適用できます。優先順位によって優先度が決定されます。
 - f. ターゲット・セールス・ボリュームを入力します。これは金額です。この値を 1500.00 に変更します。
11. ここで、販売促進をスケジュールします。「販売促進のスケジュール」を選択します。「販売促進のスケジュール」ウィンドウが表示されます。
 - a. 販売促進を毎日利用できるようにしたいか、それとも特定の日のみ利用できるようにしたいかを選択します。「この販売促進はすべての曜日に利用可能」を選択します。

- b. 販売促進を利用できる日付範囲を選択します。「この販売促進は指定期間に有効」を選択します。開始日として 2003 06 01 と入力し、終了日として 2004 12 31 と入力します。または、付属のカレンダーを使用して日付を選択することもできます。カレンダーを使用したい場合は、アイコンをクリックします。
 - c. 販売促進を利用できる時刻範囲を選択します。「販売促進は一日中有効」を選択します。
12. 次に、販売促進の適用先の顧客グループを決めます。「ターゲット・プロフィールの選択 (Select Target Profiles)」を選択します。「適用される顧客グループ」ウィンドウが表示されます。
 - a. 「この販売促進をすべての顧客に割り当てます」を選択します。特定の顧客グループを選択した場合は、使用可能な顧客グループから選択します。これらの顧客グループは customerprofile.xml 中に定義されています。
 - b. 「OK」をクリックして、これらのウィンドウに対する変更内容をすべて保管します。
13. ダイアログ・ボックスで「OK」をクリックします。「オーダーの販売促進」ウィンドウに戻ります。

ルール・ベース割引のアクティブ化

1. 割引をアクティブにするには、「商品の販売促進」ウィンドウで、freeBag にチェックマークを付けてアクティブにします。
2. 「アクティブ化」をクリックします。状況が「非アクティブ」から「アクティブ」に変わります。

割引の使用

以下のチュートリアルでは、レディス・イブニング・ドレスを購入します。その結果として、購入時に無料のイブニング・バッグを受け取ります。

ショッピングを開始するには、以下のようにします。

1. FashionFlow ストアで、「イブニング・ドレスをご購入の方には、イブニング・バッグをプレゼント」という販売促進がホーム・ページに表示されます。結婚式の予定があり、フォーマルな結婚式だということを思い出します。ちょうど新しいドレスが欲しいと思っていて、魅力的なイブニング・バッグも欲しいとも思っています。
2. ホーム・ページ上で、「イブニング・ドレスをご購入の方には、イブニング・バッグをプレゼント」をクリックすると、「プレゼントの詳細情報 (Get a gift details)」ページが表示されます。このページで販売促進の条件を読んで、よいオファーだと判断します。このページには、イブニング・ドレスとイブニング・バッグの両方へのリンクがあります。
3. イブニング・ドレスへのクリックをクリックすると、イブニング・ドレスの商品ページが表示されます。ドレスはきれいで、色も好みなので、結婚式には申し分ないと考えます。
4. 次に、ドレスの購入時に付いてくる無料のバッグを表示します。詳細情報リンクをクリックすると、「プレゼントの詳細情報 (Get a gift details)」ページに戻ります。このページにイブニング・バッグへのリンクがあるので、このリンクをク

リックします。このバッグも気に入り、ドレスとのコーディネートもとてもよいと思います。そこで、ドレスを購入することにします。

5. イブニング・ドレスを購入するには、以下のようになります。
 - a. 「レディス・ファッション」をクリックします。
 - b. 「ドレスとスカート」をクリックします。
 - c. 「イブニング・ドレス」をクリックします。
 - d. 「数量」フィールドに、1 と入力します。
 - e. 「カラー」ドロップダウン・リストから、「黒」を選択します。
 - f. 「サイズ」ドロップダウン・リストから、「M」を選択します。
 - g. 「ショッピング・カートに追加」をクリックします。「ショッピング・カート」ページが表示されます。
6. 「ショッピング・カート」ページで、オーダーの内容を確認します。黒いイブニング・ドレスと黒いイブニング・バッグがあります。合計は \$149.00 です。黒いイブニング・バッグの横に、「特典: 無料」という語と割引の説明が表示されています。今日はもうこれ以上購入するものはないので、「チェックアウト」をクリックします。
7. 「チェックアウト - 請求先住所の追加」ページで、請求先住所情報を入力します。「次へ」をクリックします。
8. 「チェックアウト - 配送先住所の選択」ページで、個々のアイテムの配送先を選択します。「すべてのアイテムを購入者に配送 (ship all items to yourself)」を選択します。「次へ」をクリックします。
9. 「チェックアウト - 配送方法の選択」ページで、「速達便」を選択します。「次へ」をクリックします。
10. 「チェックアウト - オーダー要約」ページが表示されます。オーダーの詳細情報を確認します。受け取るイブニング・バッグの横に「特典: 無料」というワードが表示されていることに注意します。
11. オーダーを完了するには、クレジット・カード情報を入力します。このチュートリアルでは、以下の情報を入力します。
 - a. 「クレジット・カード・タイプ」ドロップダウン・リストから、「Visa」を選択します。
 - b. 「カード番号」フィールドで、「4111111111111111」 と入力します。
 - c. 「有効期限月」ドロップダウン・リストから、10 を選択します。
 - d. 「有効期限年」ドロップダウン・リストから、2005 を選択します。
 - e. 「オーダー」をクリックします。「オーダーの確認」ページが表示され、オーダーの詳細が示されます。

\$X 以上お買い上げで送料無料

デモンストレーション

このチュートリアルでは、FashionFlow の以下のフィーチャーについて説明します。

- ショッピング・フロー
- 通常のチェックアウト

- WebSphere Commerce アクセラレーターによるルール・ベース割引の作成
- FashionFlow での割引の使用 (顧客が \$100 以上の購入で、通常便を選択した場合に、送料が無料になる)

前提条件

このチュートリアルを始める前に、FashionFlow ストア・アーカイブに基づいてストアを発行しておく必要があります。詳しくは、『管理コンソールからのストア・アーカイブの発行 (Publishing a store archive from the Administration Console)』を参照してください。

割引の作成: (\$100 以上のお買い上げで通常便での送料無料)

注: FashionFlow は、データが組み込まれたサンプル割引を提供します。必要なのは、このデータを構成してアクティブにすることだけです。必要なステップについては、31 ページの『第 1 部: FashionFlow に基づいたストアの発行、および構成』にある割引情報を参照できます。このチュートリアルでは、詳細なステップと、備えられているデータへの任意の変更 (説明の変更など) について説明しています。割引がすでにセットアップ済みの場合は、これらのステップを実行する必要はありません。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザー役割に応じて、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「商品取引」メニューから、「**オーダーの販売促進**」を選択します。「オーダーの販売促進」ウィンドウが表示されます。
3. 「freeShipping」の横にあるボックスにチェックマークを付けます。「**変更**」を選択します。「販売促進のプロパティ」ウィンドウがオープンします。
4. サイド・メニューから「割引配送料金」を選択します。「割引配送料金」ウィンドウがオープンします。
 - a. 「無料の配送」オプションは選択済みになっています。
 - b. 配送モードのドロップダウン・メニューから「**通常便**」を選択します。
 - c. 顧客が無料の配送を受けられる下限条件を選択します。まず、「**この割引を受けられる下限条件を指定**」を選択します。次に、購入価格として 100.00 と入力します。
 - d. 「**この割引を商品の販売促進と組み合わせで適用できるようにします**」というボックスにチェックマークを付けます。
 - e. 「**OK**」をクリックします。
5. 次に、FashionFlow に組み込まれている既存の情報をカスタマイズして、ストアに反映させます。サイド・メニューから「**販売促進のプロパティ**」を選択します。「販売促進のプロパティ」ウィンドウがオープンします。ここで販売促進について説明することができます。
 - a. この販売促進にすでに割り当てられている名前 freeShipping があり、この名前は変更できません。
 - b. 内部的に使用される説明を入力します。\$100 以上のお買い上げで通常便での送料無料
 - c. 顧客用の既存の説明をこの説明 \$100 以上のお買い上げで通常便での送料無料に置き換えます。

- d. 顧客用の既存の説明をこの説明に置き換えます。これは「割引詳細 (Discount Details)」に表示されます。これには特記事項や販売促進の詳細が記入されています。以下のように入力します。このオファーは、オーダーで指定された住所への通常便での配送に適用されます。このオファーは、他のタイプの配送が選択された場合は無効です。\$100 の購入は商品取引のみに適用されません。税、配送料、および手数料は、購入金額には含められません。以前の購入に対する価格調整はありません。オファーの内容は、予告なしに変更する場合があります。
 - e. 優先順位はそのままにします。同一の購入に 2 つの割引を適用できる場合に、優先順位が適用されます。1 つの割引のみ適用できます。優先順位によって優先度が決定されます。
 - f. ターゲット・セールス・ボリュームを入力します。これは金額です。この値を 2000.00 に変更します。
6. ここで、販売促進をスケジュールします。「**販売促進のスケジュール**」を選択します。「販売促進のスケジュール」ウィンドウが表示されます。
 - a. 販売促進を毎日利用できるようにしたいか、それとも特定の日のみ利用できるようにしたいかを選択します。「**この販売促進はすべての曜日に利用可能**」を選択します。
 - b. 販売促進を利用できる日付範囲を選択します。「この販売促進は指定期間に有効」を選択します。開始日として 2003 06 01 と入力し、終了日として 2004 12 31 と入力します。または、付属のカレンダーを使用して日付を選択することもできます。カレンダーを使用したい場合は、アイコンをクリックします。
 - c. 販売促進を利用できる時刻範囲を選択します。「**販売促進は一日中有効**」を選択します。
 7. 次に、販売促進の適用先の顧客グループを決めます。「**ターゲット・プロファイルの選択 (Select Target Profiles)**」を選択します。「適用される顧客グループ」ウィンドウが表示されます。
 - a. 「この販売促進をすべての顧客に割り当てます」を選択します。特定の顧客グループを選択した場合は、使用可能な顧客グループから選択します。これらの顧客グループは customerprofile.xml 中に定義されています。
 - b. 「**OK**」をクリックして、これらのウィンドウに対する変更内容をすべて保管します。
 8. ダイアログ・ボックスの「**OK**」をクリックします。「商品の販売促進」ウィンドウに戻ります。

ルール・ベース割引のアクティブ化

1. 割引をアクティブにするには、「オーダーの販売促進」ウィンドウで、freeShipping にチェックマークを付けてアクティブにします。
2. 「**アクティブ化**」をクリックします。状況が「非アクティブ」から「アクティブ」に変わります。

注: 顧客オーダーで割引データを使用できるようにするには、その前に開発サーバーから実動 WebSphere Commerce Server にこのデータを伝搬しておく必要があります。サイト管理者に連絡してください。

割引の使用

以下のチュートリアルでは、複数の商品を購入し、オーダー全体の合計が \$100 以上になります。その結果、通常便を選択する限り、オーダーの無料配送を受けられます。

ショッピングを開始するには、以下のようにします。

1. 新しい仕事を始めるので、新しい服を購入しようとしています。 FashionFlow ストアで、「メンズ・ファッション」をクリックします。「メンズ・ファッション」商品リスト・ページが表示されます。購入できる商品を調べます。
2. このページでお買い得商品のカジュアル・アンサンブルのご案内を参照し、大変気に入ります。そこで、この商品をクリックします。
3. 4 つのアイテムを確認し、すべて購入することにします。
 - a. 最初にドレス・シャツを購入します。
 - 1) 「数量」フィールドに、1 と入力します。
 - 2) 「サイズ」ドロップダウン・リストから、「L」を選択します。
 - 3) 「カラー」ドロップダウン・リストから、「ストーン・グレー」を選択します。
 - b. 次に、プレーン・フロント・コットン・パンツを購入します。
 - 1) 「数量」フィールドに、1 と入力します。
 - 2) 「カラー」ドロップダウン・リストから、「カーキ」を選択します。
 - 3) 「サイズ」ドロップダウン・リストから、「L」を選択します。
 - c. 次に、クラシック・ウォレットを購入します。
 - 1) 「数量」フィールドに、1 と入力します。
 - 2) 「カラー」ドロップダウン・リストから、「ブラウン」を選択します。
 - d. 次に、クラシック・ベルトを購入します。
 - 1) 「数量」フィールドに、1 と入力します。
 - 2) 「カラー」ドロップダウン・リストから、「ブラウン」を選択します。
4. 「ショッピング・カートに追加」を選択します。「ショッピング・カート」ページが表示されます。
5. 「ショッピング・カート」ページで、オーダーの内容を確認します。1 つのドレス・シャツ、1 着のプレーン・フロント・コットン・パンツ、1 つのウォレット、および 1 つのベルトがあります。合計は \$132.56 です。今日はもうこれ以上購入するものはないので、「チェックアウト」をクリックします。
6. 「チェックアウト - 請求先住所の追加」ページで、請求先住所情報を入力します。「次へ」をクリックします。
7. 「チェックアウト - 配送先住所の選択」ページで、個々のアイテムの配送先を選択します。「すべてのアイテムを購入者に配送 (ship all items to yourself)」を選択します。「次へ」をクリックします。
8. 「チェックアウト - 配送方法の選択」ページで、「通常便」を選択します。「次へ」をクリックします。
9. 「チェックアウト - オーダー要約」ページが表示されます。オーダーの詳細情報を確認します。オーダーが \$100.00 を超え、通常便を選択したので、無料の配送を受けられることに注意します。

10. オーダーを完了するには、クレジット・カード情報を入力します。このチュートリアルでは、以下の情報を入力します。
 - a. 「クレジット・カード・タイプ」ドロップダウン・リストから、「**Visa**」を選択します。
 - b. 「カード番号」フィールドで、「4111111111111111」 と入力します。
 - c. 「有効期限月」ドロップダウン・リストから、10 を選択します。
 - d. 「有効期限年」ドロップダウン・リストから、2005 を選択します。
 - e. 「オーダー」をクリックします。「オーダーの確認」ページが表示され、オーダーの詳細が示されます。

ガイド付き販売

デモンストレーション

デモンストレーション: このデモンストレーションでは、FashionFlow の以下のフィーチャーについて説明します。

- ショッピング・フロー
- 通常のチェックアウト
- ガイド付き販売 (商品アドバイザーのフィーチャー)
- 商品比較 (商品アドバイザーのフィーチャー)

前提条件

このチュートリアルを始める前に、FashionFlow ストア・アーカイブに基づいてストアを発行しておく必要があります。詳しくは、『管理コンソールからのストア・アーカイブの発行 (Publishing a store archive from the Administration Console)』を参照してください。商品アドバイザーも使用可能にする必要があります。詳しくは、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『WebSphere Commerce アクセラレーターを使用するストア・フローの変更 (Changing store flows using WebSphere Commerce Accelerator)』を参照してください。

ガイド付き販売の使用

以下のデモンストレーションでは、ガイド付き販売を使用して、購入したい商品を決めるのに役立つように、ショッピングの選択項目を絞ります。ガイド付き販売は、特定の質問を尋ね、その答えを基にして、商品のリストを推奨します。選択する場合には、商品比較を使用して、商品を並べて表示して決定に役立てることができます。

ショッピングを開始するには、以下のようにします。

1. 弟の誕生日にプレゼントを購入します。弟は持っている服が少ないので、服を購入することにします。FashionFlow ストアで、「**メンズ・ファッション**」をクリックします。「メンズ・ファッション」商品リスト・ページが表示されます。購入できる商品を調べます。

2. しかし、購入する服を決められません。ここで、サイドバー上の「ガイド付き販売は、お客様がお探しの商品を見つけるお手伝いをいたします」というテキストを見ます。ちょうど欲しかった情報です。そこで、サイドバー上の「ガイド付き販売」をクリックします。
3. 「ガイド付き販売」ページが表示されます。「メンズ・ファッション」または「レディス・ファッション」のどちらを始めるかを選択するように尋ねられます。
4. 「メンズ・ファッション」を選択します。
5. 「ガイド付き販売: メンズ・ファッション」ページが表示されます。
6. 「今日はどのようなスタイルをご覧になりますか？」と尋ねてきます。「カジュアル」を選択します。
7. 「ワードローブのどのパートをお選びになりますか？」と尋ねてきます。「トップス」を選択します。
8. 「お好みのトップスの種類を選択してください」と表示されます。「スウェット・シャツ」を選択します。
9. ここで、弟がスウェット・シャツをたくさん持っていることを思い出し、決定を変更します。
10. ページの下部に表示されている履歴セクションで、質問を再度クリックします。システムは最近の質問に関する、質問と答えのページを表示します。答えを「スウェット・シャツ」から「シャツ」に変更します。
11. 十分検索を絞り込んだと判断したので、結果を並べて比較して表示したいと思います。
12. これまでの結果を比較するには、「結果の比較」をクリックします。
13. 「商品アドバイザー - 商品比較」ページが表示されます。検索結果と一致するアイテムのカラー、価格、およびサイズがリストされます。これらのアイテムを表示するには、対応する商品リンクをクリックします。
14. 半そでカジュアル・シャツとニットの長そでシャツが表示されます。
15. 弟は半そでが好きなことを思い出し、価格をチェックする際に半そでの方が長そでより安いことに気がきます。さらに、このシャツはカーキ色で、弟に非常に似合うように思えますが、長そでシャツは似合うように思えません。そこで、半そでシャツを購入することにします。
16. 半そでシャツをショッピング・カートに追加してチェックアウトします。または、再度検索を開始して、別の基準を使用します。再度ガイド付き販売を使用するには、ステップ 3 に戻って、納得するまでプロセスを繰り返します。納得したら、ご希望のアイテムをショッピング・カートに追加します。
17. 「ショッピング・カート」ページで、オーダーの内容を確認します。1 つの半そでカジュアル・シャツがあります。合計は \$30.89 です。今日はもうこれ以上購入するものはないので、「チェックアウト」をクリックします。
18. 「チェックアウト - 請求先住所の追加」ページで、請求先住所情報を入力します。「次へ」をクリックします。
19. 「チェックアウト - 配送先住所の選択」ページで、個々のアイテムの配送先を選択します。妹は近所に住んでいるので、「すべてのアイテムを購入者に配送 (ship all items to yourself)」にして、スウェット・シャツを自分で届けることにします。「次へ」をクリックします。

20. 「チェックアウト - 配送方法の選択」ページで、「速達便」を選択します。「次へ」をクリックします。
21. 「チェックアウト - オーダー要約」ページが表示されます。オーダーの詳細情報を確認します。
22. オーダーを完了するには、クレジット・カード情報を入力します。このデモンストレーションでは、以下の情報を入力します。
 - a. 「クレジット・カード・タイプ」ドロップダウン・リストから、「**Visa**」を選択します。
 - b. 「カード番号」フィールドで、「4111111111111111」 と入力します。
 - c. 「有効期限月」ドロップダウン・リストから、10 を選択します。
 - d. 「有効期限年」ドロップダウン・リストから、2005 を選択します。
 - e. 「オーダー」をクリックします。「オーダーの確認」ページが表示され、オーダーの詳細が示されます。

X を購入すると、もう 1 アイテムは割引価格

デモンストレーション

このチュートリアルでは、FashionFlow の以下のフィーチャーについて説明します。

- ショッピング・フロー
- 通常のチェックアウト
- WebSphere Commerce アクセラレーターによるルール・ベース割引の作成
- FashionFlow での割引の使用 (顧客が指定アイテムを購入すると、同じアイテムをもう 1 つは % 割引)

前提条件

このチュートリアルを始める前に、FashionFlow ストア・アーカイブに基づいてストアを発行しておく必要があります。詳しくは、『管理コンソールからのストア・アーカイブの発行 (Publishing a store archive from the Administration Console)』を参照してください。

割引の作成: タンクトップを購入したら、2 着目は 30% 割引

注: FashionFlow は、データが組み込まれたサンプル割引を提供します。必要なのは、このデータを構成してアクティブにすることだけです。必要なステップについては、31 ページの『第 1 部: FashionFlow に基づいたストアの発行、および構成』にある割引情報を参照できます。このチュートリアルでは、詳細なステップと、備えられているデータへの任意の変更 (説明の変更など) について説明しています。割引がすでにセットアップ済みの場合は、これらのステップを実行する必要はありません。

1. (WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。) ユーザー役割に応じて、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「商品取引」メニューから、「商品の販売促進」を選択します。「商品の販売促進」ウィンドウがオープンします。

3. 「next30Percent」の横にあるボックスにチェックマークを付け、「変更」を選択します。ストアからのアイテムについての特定の情報が入っているサンプル販売促進を変更します。この場合、スポーティー・タンクトップの販売促進をセットアップします。「販売促進のプロパティー」ウィンドウがオープンします。
4. サイド・メニューから「商品取引の選択」を選択します。「商品取引の選択」ウィンドウがオープンします。
 - a. このウィンドウをブランクにしておき、「商品の検索」をクリックします。
 - b. 「商品の検索」ウィンドウがオープンします。
 - c. 「名前」フィールドにスポーティー・タンクトップと入力して、「完全一致検索」を選択します。「検索」をクリックします。
 - d. 検索結果によって 4 つのアイテムが戻されます。これらのアイテムは個別に追加する必要があります。販売促進は、商品レベルではなく、アイテム・レベルで適用されます。
 - e. 「sport tank tops (item-sku-nf-2395)」の横にあるボックスにチェックマークを付け、「追加」をクリックします。
 - f. 「OK」をクリックします。
5. ダイアログ・ボックスで「OK」をクリックします。
6. 「next30Percent」の横にあるボックスにチェックマークを付け、「複製」をクリックします。
7. ダイアログ・ボックスで、次のアイテム next30Percent2 の名前を入力して、「OK」をクリックします。これは固有の名前でなければなりません。
8. これらのステップを、アイテムに関連したすべての属性に対して繰り返します。たとえば、タンクトップの場合、選択可能なタンクトップのすべての色およびサイズについて、このステップを繰り返して販売促進を作成する必要があります。これは 2 種類のサイズと 2 種類の色を選択できるので、4 つの販売促進を作成する必要があります。こうすることによって顧客がどのタンクトップを選択しても適用できます。
9. ステップ 6 と 7 を繰り返します。ここでは、next30Percent の横のボックスにチェックマークを付け、「複製」をクリックし、最初は次のアイテム **next30Percent3**、2 回目は **next30Percent4** を指定し、すべてのアイテムの名前を指定します。
10. ここで、ステップ 3 と 4 を繰り返します。最初は **next30Percent2** の横のボックスにチェックマークを付け、変更し、item-sku-nf-2396 を使用し、2 回目は **next30Percent3** の横のボックスにチェックマークを付け、変更し、item-sku-nf-2397 を使用し、3 回目は **next30Percent4** の横のボックスにチェックマークを付け、変更し、item-sku-nf-2398 を使用します。こうして、それぞれの販売促進には異なるアイテムが追加されます。
11. 「商品の販売促進」ウィンドウに戻ります。
12. 次に、FashionFlow に組み込まれている既存の情報をカスタマイズして、ストアに反映させます。ここで販売促進について説明することができます。販売促進を再度選択して、「変更」をクリックします。「販売促進のプロパティー」ウィンドウがオープンします。
 - a. この販売促進にすでに割り当てられている名前 next30Percent があり、この名前は変更できません。

- b. 内部的に使用される説明を入力します。 タンクトップを購入したら、2 着目は 30% OFF
 - c. 顧客説明は短い方が望ましいので、この説明を保持します。
 - d. 顧客用の既存の説明をこの説明に置き換えます。これは「割引詳細 (Discount Details)」に表示されます。これには特記事項や販売促進の詳細が記入されています。このオファーはレディス・スポーティー・タンクトップに適用されます。割引は 2 着目のタンクトップにのみ適用されます。
 - e. 優先順位を「低」に変更します。同一の購入に 2 つの割引を適用できる場合に、優先順位が適用されます。1 つの割引のみ適用できます。優先順位によって優先度が決定されます。
 - f. ターゲット・セールス・ボリュームを入力します。これは金額です。この値を 500.00 に変更します。
13. ここで、販売促進をスケジュールします。サイド・メニューから「販売促進のスケジュール」を選択します。「販売促進のスケジュール」ウィンドウが表示されます。
- a. 販売促進を毎日利用できるようにしたいか、それとも特定の日のみ利用できるようにしたいかを選択します。「この販売促進はすべての曜日に利用可能」を選択します。
 - b. 販売促進を利用できる日付範囲を選択します。「この販売促進は指定期間に有効」を選択します。開始日として 2003 06 01 と入力し、終了日として 2004 12 31 と入力します。または、付属のカレンダーを使用して日付を選択することもできます。カレンダーを使用したい場合は、アイコンをクリックします。
 - c. 販売促進を利用できる時刻範囲を選択します。「販売促進は一日中有効」を選択します。
14. 次に、販売促進の適用先の顧客グループを決めます。「ターゲット・プロファイルの選択 (Select Target Profiles)」を選択します。「適用される顧客グループ」ウィンドウが表示されます。
- a. 「この販売促進をすべての顧客に割り当てます」を選択します。特定の顧客グループを選択した場合は、使用可能な顧客グループから選択します。これらの顧客グループは customerprofile.xml 中に定義されています。
15. 次に、「X を購入すると、もう 1 アイテムは割引価格」をクリックして、詳細情報を調べます。
- a. X として選択した商品またはアイテムが表示されます。ここでは、タンクトップの SKU です。この値は変更できません。
 - b. 顧客が割引を受けるために購入する必要がある数量は 1 です。この値は変更しないでください。
 - c. 割引は 30% とリストされます。この値は変更しないでください。
 - d. 無料で受け取る最大数量は 1 です。この値は変更しないでください。
 - e. 「OK」をクリックして、これらのウィンドウに対する変更内容をすべて保管します。
16. ダイアログ・ボックスで「OK」をクリックします。「商品の販売促進」ウィンドウに戻ります。

ルール・ベース割引のアクティブ化

1. 割引をアクティブにするには、「商品の販売促進」ウィンドウで、next30Percent にチェックマークを付けてアクティブにします。
2. 「アクティブ化」をクリックします。状況が「非アクティブ」から「アクティブ」に変わります。

割引の使用

以下のチュートリアルでは、30% 割引をオファーするアイテムを購入します。このチュートリアルでは、顧客は属性の違うタンクトップを選択したので、最初は割引を受けられませんが、属性を変更し、割引を受けられるようにすることを示します。

ショッピングを開始するには、以下のようになります。

1. FashionFlow ストアで、「レディス・ファッション」をクリックします。「レディス・ファッション」商品リスト・ページが表示されます。購入できる商品を調べます。
2. 「アクティブ・ウェア」を選択します。
3. 1 着のサッカー・ショートパンツと 1 着のスポーティー・タンクトップを購入することにします。
 - a. 最初にサッカー・ショートパンツを購入します。
 - 1) 「サッカー・ショートパンツ」をクリックします。「サッカー・ショートパンツ」商品ページが表示されます。
 - 2) 「数量」フィールドに、1 と入力します。
 - 3) 「サイズ」ドロップダウン・リストから、「L」を選択します。
 - 4) 「カラー」ドロップダウン・リストから、「チャコール・グレー」を選択します。
 - 5) 「ショッピング・カートに追加」をクリックします。「ショッピング・カート」ページが表示されます。
 - 6) 「ショッピングに戻る」をクリックします。「ホーム」ページが表示されます。
 - b. 次に、スポーティー・タンクトップを購入します。同じカラーとサイズのを 2 つ購入すると割引を受けられることを知り、2 つ購入することにします。
 - 1) 「レディス・ファッション」をクリックします。「レディス・ファッション」商品リスト・ページが表示されます。
 - 2) 「アクティブ・ウェア」をクリックします。
 - 3) 「スポーティー・タンクトップ」をクリックします。「スポーティー・タンクトップ」商品ページが表示されます。
 - 4) 「数量」フィールドに、2 と入力します。
 - 5) 「カラー」ドロップダウン・リストから、「ホワイト」を選択します。
 - 6) 「サイズ」ドロップダウン・リストから、「S」を選択します。
 - 7) 「ショッピング・カートに追加」をクリックします。「ショッピング・カート」ページが表示されます。

4. 「ショッピング・カート」ページで、オーダーの内容を確認します。1 着のチャコール・グレーのサッカー・ショートパンツと、2 つの白のスポーティー・タンクトップがあります。合計は \$46.20 です。「チェックアウト」をクリックします。
5. 「チェックアウト - 請求先住所の追加」ページで、**請求先住所情報**を確認します。正しい情報です。「次へ」をクリックします。
6. 「チェックアウト - 配送先住所の選択」ページでは、自分の住所が選択されています。「次へ」をクリックします。
7. 「チェックアウト - 配送方法の選択」ページでは、「**速達便**」が選択されたままです。「次へ」をクリックします。
8. 「チェックアウト - オーダー要約」ページが表示されます。オーダーの詳細情報を確認します。この時点で、2 着目のタンクトップを 30% 割引で受け取ったことに気付きます。満足して、購入の支払いをすることにします。
9. オーダーを完了するには、クレジットカード情報を入力します。このチュートリアルでは、以下の情報を入力します。
 - a. 「**クレジットカード・タイプ**」ドロップダウン・リストから、「**Visa**」を選択します。
 - b. 「**カード番号**」フィールドで、「4111111111111111」 と入力します。
 - c. 「**有効期限月**」ドロップダウン・リストから、10 を選択します。
 - d. 「**有効期限年**」ドロップダウン・リストから、2005 を選択します。
 - e. 「**オーダー**」をクリックします。「オーダーの確認」ページが表示され、オーダーの詳細が示されます。

\$x 以上のお買い上げで y% OFF

デモンストレーション

このチュートリアルでは、FashionFlow の以下のフィーチャーについて説明します。

- ショッピング・フロー
- 通常のチェックアウト
- WebSphere Commerce アクセラレーターによるルール・ベース割引の作成
- 顧客のお買い上げが 1 オーダーで \$100 以上になる場合に、FashionFlow の割引 - 10% 割引を使用

前提条件

このチュートリアルを始める前に、FashionFlow ストア・アーカイブに基づいてストアを発行しておく必要があります。詳しくは、『管理コンソールからのストア・アーカイブの発行 (Publishing a store archive from the Administration Console)』を参照してください。

割引の作成: \$100 以上お買い上げの方は 10% 割引

注: FashionFlow は、データが組み込まれたサンプル割引を提供します。必要なのは、このデータを構成してアクティブにすることだけです。必要なステップについては、31 ページの『第 1 部: FashionFlow に基づいたストアの発行、お

よび構成』にある割引情報を参照できます。このチュートリアルでは、詳細なステップと、備えられているデータへの任意の変更（説明の変更など）について説明しています。割引がすでにセットアップ済みの場合は、これらのステップを実行する必要はありません。

割引に関する既存のデータをすべてそのままにしておくか、既存のデータに変更を加えるか、または新規割引を作成できます。サンプル・データ（\$150 以上のお買い上げで 15% OFF）をそのままにしておく場合は、複製する必要はありません。この割引の名前を変更したい場合に限り、複製する必要があります。名前変更して金額も変更する場合、新しいバナー・イメージが必要になることにも注意してください。パッケージ化した状態で保持するには、「**over150**」にチェックマークを付け、「**変更**」を選択し、ステップ 4 から始めてください。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザー役割に応じて、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「商品取引」メニューから、「**オーダーの販売促進**」をクリックします。「**オーダーの販売促進**」ウィンドウが表示されます。
3. over150 にチェックマークを付けて、「**複製**」を選択します。これで割引に新しい名前 **over100** が付けられます。
4. over100 にチェックマークを付けて、「**変更**」を選択します。「販売促進のプロパティ」ウィンドウがオープンします。ここで新しい販売促進について説明することができます。
 - a. 内部的に使用される説明 \$100 以上のお買い上げで、1 オーダーにつき 10% OFF を入力します。
 - b. 顧客用の簡略説明 \$100 以上のお買い上げで 10% OFF を変更します。
 - c. 顧客用の詳細説明を入力します。これは「割引詳細 (Discount Details)」に表示されます。これには特記事項や販売促進の詳細が記入されています。以下のように入力します。\$100 の購入は商品取引のみに適用されます。10% 割引は、課税前の合計購入価格に適用されます。税、配送料、および手数料は、購入金額には含められません。\$100 のご購入の場合、10% の割引販売促進が優先され、この場合には \$100 のご購入時に通常便販売促進を選択されたときの送料無料は適用されません。この販売促進はオンラインでのご購入時のみ適用されます。オファーの内容は、予告なしに変更する場合があります。
 - d. 優先順位「**普通**」を選択します。同一の購入に 2 つの割引を適用できる場合に、優先順位が適用されます。1 つの割引のみ適用できます。優先順位によって優先度が決定されます。
 - e. ターゲット・セールス・ボリュームを入力します。これは金額です。1000.00 と入力します。
5. ここで、販売促進をスケジュールします。「**販売促進のスケジュール**」を選択します。「**販売促進のスケジュール**」ウィンドウが表示されます。
 - a. 販売促進を毎日利用できるようにしたいか、それとも特定の日のみ利用できるようにしたいかを選択します。「**この販売促進はすべての曜日に利用可能**」を選択します。
 - b. 販売促進を利用できる日付範囲を選択します。「**この販売促進は指定期間に有効**」を選択します。開始日として 2003 06 01 と入力し、終了日として

2004 12 31 と入力します。または、付属のカレンダーを使用して日付を選択することもできます。カレンダーを使用したい場合は、アイコンをクリックします。

- c. 販売促進を利用できる時刻範囲を選択します。「販売促進は一日中有効」を選択します。
6. 次に、販売促進の適用先の顧客グループ、つまりターゲット・タイプを決めます。「ターゲット・プロファイルの選択 (Select Target Profiles)」を選択します。「適用される顧客グループ」ウィンドウが表示されます。
 - a. 「この販売促進をすべての顧客に割り当てます」を選択します。特定の顧客グループを選択した場合は、使用可能な顧客グループから選択します。これらの顧客グループは customerprofile.xml 中に定義されています。
7. サイド・メニューから「パーセンテージ割引」を選択します。「パーセンテージ割引」ウィンドウが表示されます。
 - a. 顧客が受ける割引を変更します。10 と入力します。
 - b. 下限条件については、「この割引を受けられる下限条件を指定」を選択します。
 - c. 顧客が割引を受けるために購入すべき金額を変更します。100.00 と入力します。
 - d. 「この割引を商品の販売促進と組み合わせて適用できるようにします」というボックスにチェックマークを付けます。
8. サイド・メニューから「割引の範囲」を選択します。「範囲」ウィンドウが表示されます。優先順位の選択が機能する、割引を適用する範囲を指定します (たとえば、顧客は \$100.00 以上の購入で 10% 割引を受け、\$100.00 未満の購入で割引を受けない)。
 - a. 「範囲」ウィンドウが表示されます。範囲がすでに表示されています。0.00 から始まって 99.99 で終わっており、割引が 0 である範囲があることを調べます。また 100.00 から始まってそれ以上で終わっており、割引が 10 である範囲があることを確認します。
 - b. 「OK」をクリックして、これらのウィンドウに対する変更内容をすべて保管します。
 - c. ダイアログ・ボックスの「OK」をクリックします。

ルール・ベース割引のアクティブ化

1. 割引をアクティブにするには、「オーダーの販売促進」ウィンドウで、over100 にチェックマークを付けてアクティブにします。
2. 「アクティブ化」をクリックします。状況が「非アクティブ」から「アクティブ」に変わります。

注: 顧客オーダーで割引データを使用できるようにするには、その前に開発サーバーから実動 WebSphere Commerce Server にこのデータを伝搬しておく必要があります。サイト管理者に連絡してください。

割引の使用

以下のチュートリアルでは、複数の商品を購入し、オーダー全体の合計は \$100 以上になります。その結果として、合計オーダーの 10% 割引を受けます。

ショッピングを開始するには、以下のようにします。

1. FashionFlow ストアで、「**新着商品**」をクリックします。「新着商品」商品リスト・ページが表示されます。購入できる商品を調べます。
2. 1 着のカーゴ・パンツと 1 着のペインター・ジーンズを購入することになります。
 - a. 最初にカーゴ・パンツを購入します。
 - 1) 「**カーゴ・パンツ**」をクリックします。「カーゴ・パンツ」商品ページが表示されます。
 - 2) 「**数量**」フィールドに、1 と入力します。
 - 3) 「**サイズ**」ドロップダウン・リストから、「**8R**」を選択します。
 - 4) 「**ショッピング・カートに追加**」をクリックします。「ショッピング・カート」ページが表示されます。
 - 5) 「**ショッピングに戻る**」をクリックします。「ホーム」ページが表示されます。
 - b. 次に、ペインター・ジーンズを購入します。
 - 1) 「**新着商品**」をクリックします。「新着商品」商品リスト・ページが表示されます。
 - 2) 「**ペインター・ジーンズ**」をクリックします。「ペインター・ジーンズ」商品ページが表示されます。
 - 3) 2 着購入することにしたので、「**数量**」フィールドに、2 と入力します。
 - 4) 「**カラー**」ドロップダウン・リストから、「**インディゴ**」を選択します。
 - 5) 「**サイズ**」ドロップダウン・リストから、「**6**」を選択します。
 - 6) 「**ショッピング・カートに追加**」をクリックします。「ショッピング・カート」ページが表示されます。
3. 新しいパンツとジーンズに合うトップスも必要だと考えます。
4. 「**ショッピングに戻る**」をクリックします。「ホーム」ページが表示されます。
5. 「**レディス・ファッション**」>「**シャツとトップス**」をクリックします。「シャツとトップス」ページが表示されます。購入できる商品を調べます。
6. 自分用にフード付きスウェット・シャツを購入することになります。
 - a. 「**フード付きスウェット・シャツ**」をクリックします。「フード付きスウェット・シャツ」商品ページが表示されます。
 - b. 「**数量**」フィールドに、1 と入力します。
 - c. 「**サイズ**」ドロップダウン・リストから、「**M**」を選択します。
 - d. 「**カラー**」ドロップダウン・リストから、「**デニム**」を選択します。
 - e. 「**ショッピング・カートに追加**」をクリックします。「ショッピング・カート」ページが表示されます。
7. 自分の姉にもフード付きスウェット・シャツを購入してあげることになります。ステップ 5 と 6 を繰り返して、姉用のシャツを購入します。彼女はグレーが好きなので、カラーにはデニムの代わりにグレーを選択します。
8. 「ショッピング・カート」ページで、オーダーの内容を確認します。1 着のカーゴ・パンツ、2 着のペインター・ジーンズ、および 2 つのフード付きスウェ

ット・シャツ (デニムとグレーが 1 つずつ) があります。合計は \$182.45 です。今日はもうこれ以上購入するものはないので、「**チェックアウト**」をクリックします。

9. 「チェックアウト - 請求先住所の追加」ページで、**請求先住所情報**を入力します。「**次へ**」をクリックします。
10. 「チェックアウト - 配送先住所の選択」ページで、個々のアイテムの配送先を選択します。妹は近所に住んでいるので、「**すべてのアイテムを購入者に配送 (ship all items to yourself)**」にして、スウェット・シャツを自分で届けることにします。「**次へ**」をクリックします。
11. 「チェックアウト - 配送方法の選択」ページで、「**速達便**」を選択します。「**次へ**」をクリックします。
12. 「チェックアウト - オーダー要約」ページが表示されます。オーダーの詳細情報を確認します。オーダー合計価格が \$100 を超えたので 10% 割引を受けることに注意してください。
13. オーダーを完了するには、クレジット・カード情報を入力します。このチュートリアルでは、以下の情報を入力します。
 - a. 「**クレジット・カード・タイプ**」ドロップダウン・リストから、「**Visa**」を選択します。
 - b. 「**カード番号**」フィールドで、「4111111111111111」 と入力します。
 - c. 「**有効期限月**」ドロップダウン・リストから、10 を選択します。
 - d. 「**有効期限年**」ドロップダウン・リストから、2005 を選択します。
 - e. 「**オーダー**」をクリックします。「**オーダーの確認**」ページが表示され、オーダーの詳細が示されます。

上位商品販売の使用

デモンストレーション

このチュートリアルでは、FashionFlow の以下のフィーチャーについて説明します。

- ショッピング・フロー
- 通常のチェックアウト
- 上位商品販売

前提条件

このチュートリアルを始める前に、FashionFlow ストア・アーカイブに基づいてストアを発行しておく必要があります。詳しくは、『管理コンソールからのストア・アーカイブの発行 (Publishing a store archive from the Administration Console)』を参照してください。

上位商品販売の使用

以下のチュートリアルでは、最初に選択した商品より高額な商品を購入することを勧める上位商品販売を示しています。

ショッピングを開始するには、以下のようにします。

1. 記念日なので妻のために服を購入したいとします。 FashionFlow ストアで、「レディス・ファッション」をクリックします。「レディス・ファッション」ページが表示されます。妻のために計画したロマンチックな休暇を楽しむために新しいパジャマが必要であると考え、「パジャマ」を選択します。
2. コットン・パジャマが表示され、気に入ったので、この商品をクリックして、大きくしたイメージを表示します。その際に、ストアの同じページにシルクのパジャマがあることを知ります。こちらの方が高価ですが、シルク製で、記念日でもあるので、シルクのパジャマを選ぶ方がよいと考えます。
 - a. 以下のように、シルクのパジャマを購入します。
 - 1) シルクのパジャマのイメージをクリックして、このページに進みます。
 - 2) 「数量」フィールドに、 1 と入力します。
 - 3) 「サイズ」ドロップダウン・リストから、「M」を選択します。
 - 4) 「カラー」ドロップダウン・リストから、「ティール」を選択します。
 - 5) 「ショッピング・カートに追加」をクリックします。「ショッピング・カート」とパジャマが表示されます。
3. 「ショッピング・カート」ページで、オーダーの内容を確認します。 1 着のシルク・パジャマがあります。合計は \$55.00 です。今日はもうこれ以上購入するものではなく、ロマンチックな休暇の計画を急いで立てる必要があるので、「チェックアウト」をクリックします。
4. 「チェックアウト - 請求先住所の追加」ページで、請求先住所情報を入力します。「次へ」をクリックします。
5. 「チェックアウト - 配送先住所の選択」ページで、 個々のアイテムの配送先を選択します。記念日用に包装して、妻が包みを開けないようにしたいので、「すべてのアイテムを購入者に配送 (ship all items to yourself)」を選択します。「次へ」をクリックします。
6. 「チェックアウト - 配送方法の選択」ページで、「速達便」を選択します。「次へ」をクリックします。
7. 「チェックアウト - オーダー要約」ページが表示されます。オーダーの詳細情報を確認します。
8. オーダーを完了するには、クレジット・カード情報を入力します。このチュートリアルでは、以下の情報を入力します。
 - a. 「クレジット・カード・タイプ」ドロップダウン・リストから、「Visa」を選択します。
 - b. 「カード番号」フィールドで、「4111111111111111」 と入力します。
 - c. 「有効期限月」ドロップダウン・リストから、10 を選択します。
 - d. 「有効期限年」ドロップダウン・リストから、2005 を選択します。
 - e. 「オーダー」をクリックします。「オーダーの確認」ページが表示され、オーダーの詳細が示されます。

E メール買い物候補オプションの作成および受信

デモンストレーション

このチュートリアルでは、FashionFlow の以下のフィーチャーについて説明します。

- WebSphere Commerce 管理コンソールによるアウトバウンド E メール・アクティビティ・アカウントの構成
- WebSphere Commerce 管理コンソールによるインバウンド E メール・アクティビティ・アカウントの構成
- WebSphere Commerce アクセラレーターによる E メール・アクティビティの作成
- FashionFlow での登録と、E メール買い物候補の選択
- 選択した買い物候補に関する Eメールの受信

前提条件

このチュートリアルを始める前に、FashionFlow ストア・アーカイブに基づいてストアを発行しておく必要があります。詳しくは、『管理コンソールからのストア・アーカイブの発行 (Publishing a store archive from the Administration Console)』を参照してください。

E メール・テンプレートの作成

E メール・アクティビティを作成することが必要な場合は、EMLMSG テーブルで取り込みを実行する必要があります。これらのステップでは、EMLMSG テーブルに、FashionFlow が提供する 3 つのテンプレートを取り込みます。マーケティング・マネージャーは、これらのステップの完了後に、WebSphere Commerce アクセラレーターに移動して E メール・アクティビティをスケジュールできます。

E メール・テンプレートの作成方法に関するステップに従うには、31 ページの『第 1 部: FashionFlow に基づいたストアの発行、および構成』にある『E メール・テンプレートの作成』セクションを参照してください。

以下のチュートリアルでは、WebSphere Commerce 管理コンソールと WebSphere Commerce アクセラレーターを使用して、Eメールのアカウントとアクティビティをセットアップします。

Eメールのアカウントとアクティビティのセットアップ

ストアの E メール・アカウントおよびアクティビティをセットアップするには、以下のようします。

1. 管理コンソールにログオンします。
2. ストアを選択していない場合は選択します。
3. 次に、Eメール・アクティビティの Eメール・アカウントを作成します。
 - a. 「構成」メニューから、「Eメール・アクティビティ」をクリックします。「Eメール・アクティビティ (E-mail Activity)」ウィザードが表示されます。
 - 1) 「構成」メニューの下に「Eメール・アクティビティ」が表示されない場合は、*instance_name.xml* (*instance_name* はインスタンスの名前) を編集する必要があります。*instance_name.xml* ファイルは、`WC_userdir/instances/instance_name/xml` にあります。以下のファイルを使用可能にします。つまり「false」を「true」に変更します。
 - `<component enabled="true" name="EmailActivity"/>`

• <resourceConfig enabled="true" file="emailactivity/resources.xml" />

- 2) WebSphere Commerce サーバーを停止してから再始動します。
- b. 「アウトバウンド E メール・アクティビティー・アカウント構成」ページのフィールドに、アウトバウンド SMTP アカウントの情報を入力して完成させます。このページを使用して、E メール・アクティビティーに使用するアウトバウンド SMTP E メール・アカウントを構成します。
- 1) アカウントの名前を入力します。名前を FashionFlow にします。この名前は、E メール・アクティビティーの作成プロセス中に、マーケティング・マネージャーに対して表示されます。
 - 2) アカウントの簡略説明を入力します。E メール・アクティビティー・アカウントと入力します。
 - 3) 接続先の SMTP サーバーの完全修飾ホスト名 (*myhost.mydomain* など) を入力します。
 - 4) SMTP サーバー上で使用されている E メール・アカウントを入力します。このアカウントは、SMTP サーバーに接続する際にユーザー ID の働きをします。この E メール・アカウントは、SMTP サーバー中で作成する必要があります。E メール・アカウントの作成について詳しくは、『参照: Domino Server マシンを例として使用して、SMTP サーバー中に E メール・アカウントを作成する方法のサンプル』を参照してください。
 - 5) サーバーに接続する前に E メール・アカウントの認証が必要な場合は、「認証が必要 (Required Authentication)」オプションを選択します。このオプションを選択すると、「パスワード」フィールドが表示されます。アカウントのパスワードを入力します。
 - 6) SMTP 要求を受け入れる SMTP ホスト上のポート番号を入力します。デフォルトは、25 です。
 - 7) Commerce Server の完全修飾ホスト名を入力します。この値は、E メール・アクティビティーが実行されるマシンです。
 - 8) 保留中の E メール・アクティビティーのメーリングをアカウントが開始する時刻を入力します。この値は 24 時間形式です。
 - 9) 「OK」をクリックします。
- c. 「インバウンド E メール・アクティビティー・アカウント構成」ページのフィールドに、インバウンド POP3 アカウントの情報を入力して完成させます。このページを使用して、E メール・アクティビティーに関連した戻りメールの受信に使用する、インバウンド POP3 E メール・アカウントを構成します。
- 1) アカウントの名前を入力します。この名前は、E メール・アクティビティーの作成プロセス中に、マーケティング・マネージャーに対して表示されます。
 - 2) アカウントの簡略説明を入力します。
 - 3) 接続先の POP3 サーバーのホスト名を入力します。この名前は、配信不能な Eメールの検索に使用する POP3 サーバーのホスト名です。
 - 4) POP3 サーバー上で使用される E メール・アドレスを入力します。この値は、配信不能な Eメールの送信先の Eメール・アドレスです。
 - 5) POP3 サーバーに対するログイン ID を入力します。

- 6) アカウントのパスワードを入力します。
 - 7) POP3 要求を受け入れる POP3 ホスト上のポート番号を入力します。デフォルトは、110 です。
 - 8) Commerce Server の完全修飾ホスト名を入力します。
 - 9) アカウントが新しいメールの検索を開始する時刻を入力します。この値は 24 時間形式です。
 - 10) 「OK」をクリックして、E メール・アクティビティの構成を保管します。
4. 次に、WebSphere Commerce アクセラレーターを使用して、新しい E メール・アクティビティを作成します。
- a. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。
 - b. ストアを選択していない場合は選択します。ユーザー役割に応じて、1 つ以上のメニューが表示されます。
 - a. 「マーケティング」メニューから、「E メール・アクティビティ」をクリックします。「E メール・アクティビティ」ウィンドウが表示され、現在定義されているクーポン E メール・アクティビティのリストが表示されます。
 - 1) 「新規」をクリックします。「E メール・アクティビティ」ウィザードが表示されます。
 - 2) E メール・アクティビティの名前を入力します。この名前は、E メール・アクティビティのリストに表示されます。FashionFlow レディス・ファッションのテストと入力します。
 - 3) E メール・アクティビティの説明を入力します。これは E メール・アクティビティの正常な実行を確認するテストです。レディス・ファッションのお買い物はこちらで！ と入力します。
 - 4) E メール・アクティビティの送信先の顧客プロファイルを選択します。ストア用の定義済みの顧客プロファイルがこのリストに取り込まれます。この情報は、customerprofile.xml 中に事前定義されています。ここでは、「レディス・ファッション」を選択します。つまり、顧客が販売促進 E メールを受信するよう選択している場合に、レディス・ファッションを選択すると、販売促進 E メールを受信します。
 - 5) E メール・アクティビティを使用して送信する、E メール・テンプレートを選択します。E メール・テンプレートがこのリストに取り込まれます。ここでは、**EmailTemplateFFWomenDisplayView** を選択します。
 - 6) E メール送付を開始したい時点を選択します。デフォルトの日付は、現在日付です。時刻は、管理コンソールでアウトバウンド E メール・アクティビティ・アカウントを構成する際に設定した時刻になります。**注:** 過去の時刻は設定できません。
 - 7) 「OK」をクリックします。これでスケジューラー・ジョブが作成されます。E メール・アクティビティが、「E メール・アクティビティ」リストに表示されます。
 - b. E メールを送信し終わると、状況は未送信 から送信済み に変わります。ただし、この変更は送信が正常に実行されたことを反映しているだけで、顧客に正常に送付されたことを反映しているわけではありません。E メールが正

常に送付されたかどうかはログに記録されます。デフォルトのログの場所は、`WAS_userdir/logs/WC_instancename` です。

販売促進 E メール受信の登録

1. FashionFlow ストアで、「登録」をクリックします。「登録」ページが表示されます。
2. 有効な E メール・アドレスを入力します。登録フィールドにその他の情報を入力します。
3. ページの下部に、「特別ご提供品およびお買い得商品の衣類について、E メールを送ってください」というボックスが表示されます。このボックスにチェックマークを付けます。注: このボックスのチェックマークを外すと、以下で買い物候補を選択しても受け取りません。
4. このボックスの下で、「特別ご提供品」と「レディス・ファッション」を選択します。
5. 「送信」をクリックします。「アカウント」ページが表示されます。
6. 今日はこれ以上ショッピングしないと決めたので、終了します。
7. E メール受信を選択してレディス・ファッションにチェックマークを付けたので、数日後に FashionFlow から E メールを受け取ります。以下はサンプルです。

こんにちは、(受取人名) 様。

今シーズンのトレンドはチェック済みですか？新しい服のご購入を検討しておられますか？ただ今入荷した、新しくすてきなレディス・ファッションがごさいます！

当店の新商品および特別ご提供品に関する E メールを受け取りたくない場合には、お手数ですが以下の「除去」ボタンをクリックしてください。

参照: Domino Server マシンを例として使用して、SMTP サーバー中に E メール・アカウントを作成する方法のサンプル

1. Domino Server マシンで、Domino Administrator を起動します。(「スタート」->「プログラム」->「ロータス アプリケーション」->「ドミノ管理クライアント」)。
2. サーバー名が *xname* (*xname* は Domino サーバーの名前) であることを確認します。
3. 「ユーザーとグループ」を選択します。
4. 左側のフレームで、「ユーザー」をクリックします。
5. 右側のフレームで、「ユーザーの追加」をクリックします。
6. 「基本」で、以下の情報を入力します。
 - a. 名
 - b. 姓
 - c. ユーザー名 - ご使用の E メール名を使用できます。
 - d. インターネット・パスワード - パスワードを選択します。
7. 「メール」で、以下の情報を入力します。
 - a. メール・システム - POP または IMAP を選択します。

- b. メール・サーバー - Domino サーバー・ホストを入力します。
 - c. メール・ファイル - mail/username と入力します。
 - d. IP アドレス
8. 「保管して閉じる」をクリックします。
 9. プルダウン・メニューから「ファイル」->「データベース」->「作成」を選択して、このユーザー用のメール・ファイルを作成します。
 10. 「データベースの作成」ウィンドウで、以下の情報を入力します。
 - a. サーバー - Domino サーバー・ホストを選択します。
 - b. ファイル名 - 前述のメール・ファイルを入力します。
 - c. テンプレート・リスト - 「メール (R5.0)」を選択します。
 11. 「OK」をクリックします。
 12. 新しいメール・データベースが作成されてオープンします。「ESC」をクリックしてメール紹介ページをクローズします。
 13. 次に、作成されたメール・ファイルの受信箱が表示されます。プルダウン・メニューから、「ファイル」->「データベース」->「アクセス制御」を選択します。
 14. 「追加」をクリックします。
 15. 「ユーザー」アイコンをクリックします。
 16. リストから作成したばかりのユーザーを選択してから、「追加」をクリックし、次に「OK」をクリックします。
 17. 「アクセス制御リスト」ウィンドウで、ユーザーを選択し、以下の変更を加えます。
 - a. 「ユーザー・タイプ」 - 「ユーザー」を選択します。
 - b. 「アクセス」 - 「編集者」を選択します。
 - c. 「文書の削除」 - このオプションにチェックマークを付けます。
 - d. その他のチェック・ボックス - すでにチェックマークが付いているはずで
 18. 「OK」をクリックします。
 19. 「ESC」をクリックして、受信箱のビューをクローズできます。
 20. これで、Eメールの受信やメールの送信に使用できるユーザーを、Domino サーバー上に作成できました。

商品探査および商品比較の使用

デモンストレーション

このチュートリアルでは、FashionFlow の以下のフィーチャーについて説明します。

- 商品探査
- 商品比較

前提条件

このチュートリアルを始める前に、FashionFlow ストア・アーカイブに基づいてストアを発行しておく必要があります。商品アドバイザーも使用可能にする必要があります。詳しくは、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『管理コンソールからのストア・アーカイブの発行 (Publishing a store archive from the Administration Console)』および『WebSphere Commerce アクセラレーターを使用するストア・フローの変更 (Changing store flows using WebSphere Commerce Accelerator)』を参照してください。

商品探査および商品比較の使用

以下のチュートリアルでは、母親のためにパンツを探します。「レディース・ファッション」カテゴリを参照すると、「パンツとショートパンツ」カテゴリがあります。このリンクをクリックする際に、商品探査というツールを使用すると、検索を絞り込めることを知ります。このツールを使用して、適当なパンツを探すのに役立つことにします。

ショッピングを開始するには、以下のようにします。

1. FashionFlow ストアで、「**レディース**」をクリックします。「レディース・ファッション」ページが表示され、すべての商品カテゴリがリストされます。
2. パンツを探しているので、「**パンツとショートパンツ**」リンクをクリックします。「パンツとショートパンツ」ページが表示され、購入可能なパンツとショートパンツがすべてリストされます。
3. 商品探査ツールを使用して、購入可能なオプションを絞り込むことにします。「**商品探査**」リンクをクリックします。
4. 「商品アドバイザー - 商品探査」ページが表示されます。現在 117 のアイテムが購入可能であることが通知されます。希望するパンツに関する特定の基準を選択すると、この数を大幅に減らして検索しやすくすることができます。
5. 母親は、ショートパンツをはくのは好きではありません。そこで、「**商品**」リストから、「**ドレス・ウォーキング・ショートパンツ**」を選択してから、「**等しくない**」符号をクリックします。ページが最新表示されます。依然として、選択対象のアイテムが多数あります。さらに検索を絞り込むことにします。
6. 母親はカーキ色が好きではないので、検索からカーキ色を除外することになります。カーキ色を除外するには、「**カラー**」リストからこの色を選択してから、「**等しくない**」符号をクリックします。ページが最新表示されます。
7. 「**サイズ**」リストで、母親のサイズ「**10R**」を選択します。「**=**」をクリックします。ページが最新表示されます。
8. この時点で、検索基準と一致する 5 つのアイテムだけがリストに表示されます。これまでの結果を比較するには、「**結果の比較**」をクリックします。
9. 「商品アドバイザー - 商品比較」ページが表示されます。検索結果と一致するアイテムのカラー、価格、およびサイズがリストされます。これらのアイテムを表示するには、対応する商品リンクをクリックします。
10. 商品の表示後に、パンツを購入することにした場合は、ショッピング・カートに追加してチェックアウトします。母親がこれらのパンツを気に入らないと思う場合は、再度検索を開始して、別の基準を使用します。ステップ 2 ~ 9 を繰り返します。

拡張検索を使用した商品の検索

デモンストレーション

このチュートリアルでは、FashionFlow の以下のフィーチャーについて説明します。

- 拡張商品検索

前提条件

このチュートリアルを始める前に、FashionFlow ストア・アーカイブに基づいてストアを発行しておく必要があります。詳しくは、『管理コンソールからのストア・アーカイブの発行 (Publishing a store archive from the Administration Console)』を参照してください。

拡張検索の使用

FashionFlow でショッピングを始めるにあたって、父親のためにネイビーのドレス・シャツを購入し、妹のためにサマー・ドレスを購入しようと思っています。ストアをブラウズするだけの時間がないので、FashionFlow で拡張検索を使用して、ストアにこれらの商品があるかどうかを調べます。

望みどおりのシャツとサマー・ドレスを検索するには、以下のようにします。

1. FashionFlow ストアの左側のナビゲーション・バーから、「**検索**」ヘッダーの下の、「**拡張検索**」をクリックします。「拡張検索」ページが表示されます。1つ目の商品として、父親用のネイビーのドレス・シャツを検索します。
2. 「**検索対象**」フィールドに、ドレス・シャツと入力します。リストから、「**完全一致検索**」を選択します。
3. 父親は半そでシャツは好きではないので、「**除外する単語**」フィールドで、半そでと入力します。リストから、「**完全一致検索**」を選択します。
4. 「**位置**」リストで、「**商品名および商品説明**」を選択します。
5. 「**検索範囲**」リストで、「**メンズ: シャツとトップ**」カテゴリを選択します。
6. 父親へのプレゼントの購入には予算を決めていないので、「**価格範囲**」フィールドには何も入力しません。
7. 「**属性**」セクションで、以下のように入力します。
 - a. 「**カラー**」: ネイビー
 - b. 「**サイズ**」: L
8. ページ当たりの結果の「**表示**」はデフォルト (10) のままにします。
9. 「**送信**」をクリックします。
10. 「**検索結果**」ページに検索の結果が表示されます。検索結果が条件を満たしていると思える場合は、リンクをクリックしてシャツと商品の詳細情報を表示してから、シャツをショッピング・カートに追加します。検索結果が条件を満たしていないと思える場合は、別の検索基準でステップ 1 ~ 9 を繰り返して再試行します。
11. 検索の結果を表示して、シャツをショッピング・カートに追加し終えたら、「**拡張検索**」ページに戻ります。次に、妹用のサマー・ドレスを検索します。

12. 「**検索対象**」フィールドに、サマー・ドレスと入力します。ドロップダウン・リストから、「**すべての単語**」を選択します。
13. 姉妹はノースリーブの服は好きではないので、「**除外する単語**」フィールドで、ノースリーブと入力します。リストから、「**いずれかの単語**」を選択します。
14. 「**位置**」リストで、「**商品名および商品説明**」を選択します。
15. 「**検索範囲**」リストで、「**レディース: ドレスとスカート**」カテゴリを選択します。
16. プレゼントの予算は残り \$65 のみなので、「**価格範囲**」フィールドに、35 および 65 と入力します。
17. 「**属性**」セクションで、以下のように指定します。
 - a. 「**カラー**」: 検索内容を特定の色に制限したくないので、ブランクにしておきます。
 - b. 「**サイズ**」: S
18. ページ当たりの結果の「**表示**」を 25 に変更します。
19. 「**送信**」をクリックします。
20. 「**検索結果**」ページに検索の結果が表示されます。検索結果が条件を満たしていると思える場合は、リンクをクリックしてサマー・ドレスと商品の詳細情報を表示してから、ドレスをショッピング・カートに追加します。検索結果が条件を満たしていないと思える場合は、別の検索基準でステップ 12 ~ 19 を繰り返して再試行します。

第 8 章 MiniFashion サンプル・ストアの概要

MiniFashion は、消費者向けストアが機能するために最低限必要な資産セットを提供する、新しい消費者向けサンプル・ストアです。これは、これまでの消費者向けサンプル (FashionFlow) から、大量の情報を削除することに代わるものとして用意されたものです。消費者は、基礎としてこのサンプルを使用しながら、基本的な消費者向けストアを構築することができます。

MiniFashion に含まれているのは以下のフィーチャーのみです。

- 1 つの通貨
- サポートされる 1 つの言語
- 1 つの配送センター
- ストアのデフォルトの契約
- 1 つのカテゴリ
- 1 つの商品
- 商品の 2 つのアイテム
- 1 つの配送方法
- ショッピング・カートとチェックアウトを含む、1 つのストアフロントとショッピング・フロー

MiniFashion は、1 つのストア・アーカイブとして WebSphere Commerce に付属しています。デフォルトでは、このストア・アーカイブは「管理コンソール」オプションに表示されません。このストアを発行するには、サンプル・ストア・アーカイブを `WC_installdir/samples/stores/BasicStore/BasicStore.sar` からコピーします。それを、`WC_installdir/instances/instancename/sar/BasicStore.sar` に貼り付けます。/sar ディレクトリーが存在しない場合には、作成する必要があります。これで、BasicStore.sar が管理コンソール内に発行オプションとして表示されます。

このストアを発行する場合は、デフォルト組織の下での発行は選択しないでください。 **Business** BasicStore.sar を発行する前に、組織管理コンソールを使用してまず組織を作成する必要があります。

WebSphere Commerce でのストアを作成は、サンプル・ストア・アーカイブを選んでそれを修正することが基本となっており、MiniFashion は作成するストアの基礎となるように設計されています。これには、最小限のショッピング・フローが含まれています。サンプル・ストア・ページはカスタマイズできます。すべての MiniFashion サンプル・ストア・ページは、JavaServer Pages です。HTML、Java、および JavaScript がこうしたページに含まれます。JSP ファイルは、キャッシュ可能です。

第 4 部 企業向けサンプル (ToolTech)

▶ **Business** WebSphere Commerce は、企業向けサンプルを提供しています。この部分には、以下の情報が含まれています。

- 企業向けサンプルの情報
- ToolTech の概要およびセットアップの情報
- ToolTech ユース・ケース
- ToolTech チュートリアル

第 9 章 企業向けサンプル・ストア・アーカイブ

企業向けストア・アーカイブおよびアクセス制御

ここでは、サンプルのセットアップの 3 つの段階 (インスタンスの作成、SAR の発行、動的エンティティ) で作成される組織および役割について説明します。

組織構造およびインスタンスの作成

顧客またはバイヤーがサイトにアクセスし、カタログをブラウズし、オーダーを発行できるようにする場合、あるいは従業員がサイトを管理できるようにする場合 (カタログの更新、新規販売促進の作成、オーダーの管理を含む)、あるいは販売店または他のビジネス・パートナーがサイト上の取引を完了できるようにする場合は、ビジネス・シナリオ内のすべての実行者に、WebSphere Commerce 組織構造での立場を割り当てる必要があります。

WebSphere Commerce 組織構造は、ビジネス・シナリオ内の実行者 (つまりエンティティ) にフレームワークを提供します。このフレームワークは、階層構造に編成されていて、組織、組織単位、およびユーザー用のエントリが含まれている典型的な組織階層に似ています。フレームワーク内の組織および組織単位は、ビジネスの各部の所有者としての役割を果たします。顧客、管理者、ストア、カタログ、およびディストリビューターを含むビジネスのすべての部分は、組織または組織単位に所有されている必要があります。

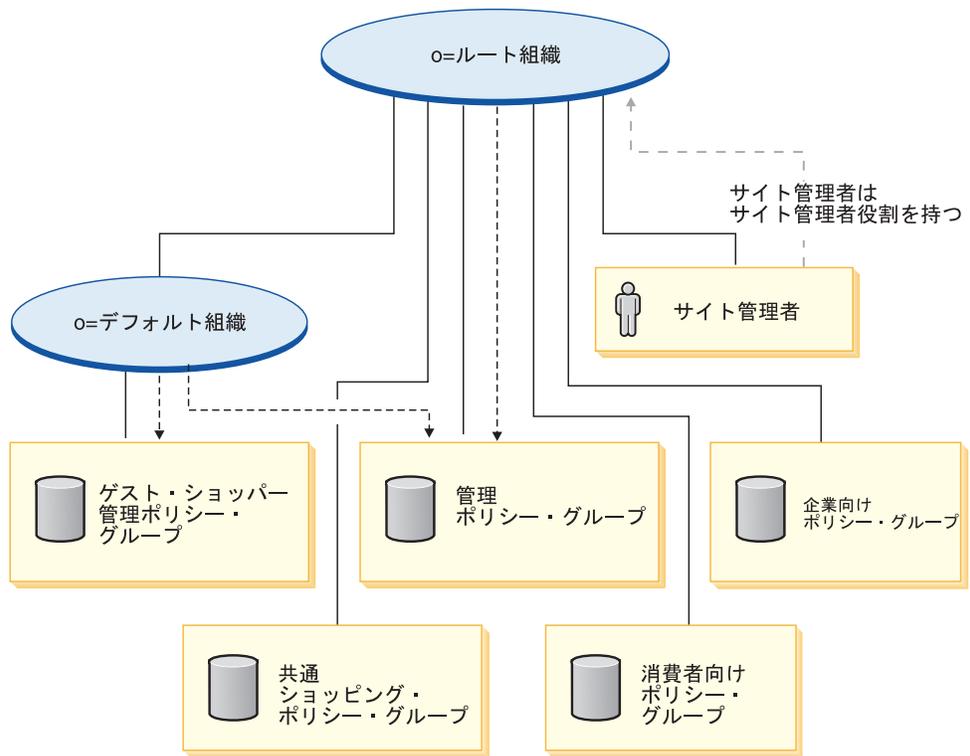
アクセス制御モデルは、アクセス制御ポリシーをさまざまなエンティティ (ストア、顧客、管理者など) ではなく組織に適用するため、組織構造とアクセス制御モデルは密接に関連しています。あるエンティティ (またはリソース) に適用されるポリシーは、そのエンティティまたはリソースを所有する組織に適用されます。

次の図は、アクセス制御が適用された WebSphere Commerce の基本組織構造を示しています。

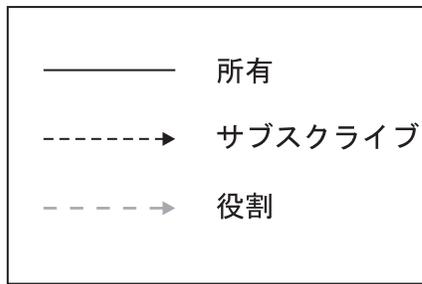
- **ルート組織:** ルート組織は最上位の組織で、この組織自体の親でもあります。WebSphere Commerce 組織構造内のすべての組織は、ルート組織の子孫です。この例では、サイト管理者は、ルート組織によって所有されています。
- **デフォルト組織:** デフォルト組織は、ルートの下にあります。すべてのゲスト顧客と消費者向けビジネスのすべての顧客は、デフォルト組織に属します。
- **子組織エンティティ:** 親組織エンティティの下に 1 つ以上のレベルの組織エンティティが存在できます。子組織エンティティは、ビジネスをサポートするのに必要な数だけ追加できます。

WebSphere Commerce アクセス制御構造は非常に柔軟で、サポートされるビジネス・モデルのすべてのエンティティをサポートできます。インスタンスの作成中に作成されるのは、ルート組織とデフォルト組織だけです。基本アクセス制御構造は、ビジネス・モデルとは関係なく、インスタンスの作成中にインストールされます。

基本アクセス制御



凡例



ルート組織は、以下のデフォルト・ポリシー・グループを所有します。

- 管理
- 共通ショッピング
- 消費者向け
- 企業向け

デフォルト組織は、以下のデフォルト・ポリシー・グループを所有します。

- ゲスト・ショッパー管理

ただし、ルート組織は、管理ポリシー・グループだけにサブスクライブします。このポリシー・グループのポリシーは、このルートおよびルートの子孫（ポリシー・グループにサブスクライブする子孫は除く）が所有するすべてのリソースに適用されます。デフォルト組織はポリシー・グループにサブスクライブしているため、ルート組織のポリシーは継承されません。デフォルト組織については、管理ポリシ

ー・グループおよびゲスト・ショッパー管理ポリシー・グループのポリシーは、デフォルト組織が所有するどりのリソースにも適用されます。

デフォルト・ポリシー・グループの詳細は、「*IBM WebSphere Commerce セキュリティー・ガイド*」の付録を参照してください。

企業向けストア・アーカイブ

企業向けサンプル (ToolTech) には、オンライン・ハードウェア・ストアが含まれており、他のビジネス向けの販売をサポートしています。ToolTech では、特にセラールの e-コマース・サイトでバイヤーが実行できる作業が強調されています。

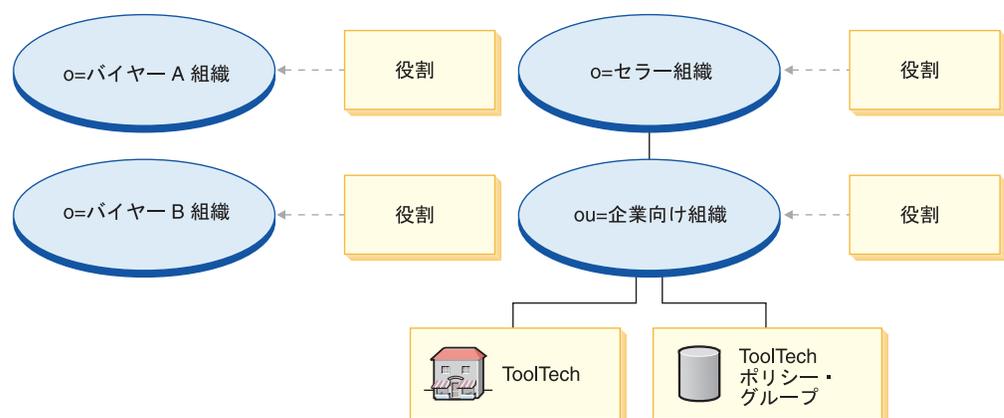
以下の SAR ファイルは企業向けビジネス・モデルと関連付けられています。

表 11. 企業向け

ストア・アーカイブの名前	説明
B2BDirect.sar	複合のサンプル・ストア・アーカイブで、企業向け環境およびフィーチャーが豊富な実動ストアを作成するための、組織構造、事前定義ユーザー役割、および必要なアクセス制御ポリシーが入っています。
B2BDirectOrganizationStructure.sar	サンプル・ストア・アーカイブには、企業向け環境を作成するための、組織構造、事前定義ユーザー役割が入っています。
B2BDirectSite.sar	サンプル・ストア・アーカイブで、フィーチャーが豊富な実動企業向けストアを作成するためのすべての必要な資産およびアクセス制御ポリシーが入っています。

組織での役割は、組織内でユーザーが果たすことのできる役割を示しています。役割について詳しくは、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

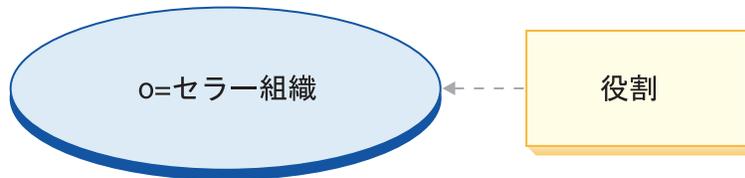
B2BDirect.sar の内容



- 2 つのバイヤー組織および役割: バイヤー管理者、バイヤー承認者、バイヤー (購買サイド)、調達バイヤー、調達バイヤー管理者

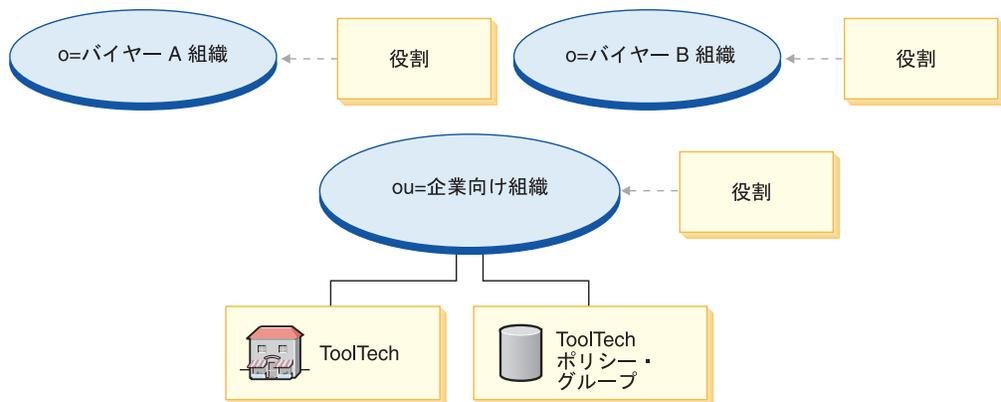
- セラー組織および役割: アカウント担当者、バイヤー (販売サイド)、カテゴリー・マネージャー、顧客サービス担当者、顧客サービス・スーパーバイザー、物流管理マネージャー、マーケティング・マネージャー、荷造り業者、プロダクト・マネージャー、受取人、返品管理者、セラー管理者、セラー、ストア管理者、登録顧客
- 企業向け組織 (B2B) および役割: アカウント担当者、バイヤー (販売サイド)、カテゴリー・マネージャー、顧客サービス担当者、顧客サービス・スーパーバイザー、物流管理マネージャー、マーケティング・マネージャー、荷造り業者、プロダクト・マネージャー、受取人、返品管理者、セラー管理者、セラー、ストア管理者、登録顧客
- ToolTech (サンプル・ストア)
- ToolTech ポリシー・グループ

B2BDirectOrganizationStructure.sar の内容



- セラー組織および役割: アカウント担当者、バイヤー (販売サイド)、カテゴリー・マネージャー、顧客サービス担当者、顧客サービス・スーパーバイザー、物流管理マネージャー、マーケティング・マネージャー、荷造り業者、プロダクト・マネージャー、受取人、返品管理者、セラー管理者、セラー、ストア管理者、登録顧客

B2BDirectSite.sar の内容



- 2 つのバイヤー組織および役割: バイヤー管理者、バイヤー承認者、バイヤー (購買サイド)、調達バイヤー、調達バイヤー管理者
- 企業向け組織 (B2B) および役割: アカウント担当者、バイヤー (販売サイド)、カテゴリー・マネージャー、顧客サービス担当者、顧客サービス・スーパーバイザー、物流管理マネージャー、マーケティング・マネージャー、荷造り業者、プロダクト・マネージャー、受取人、返品管理者、セラー管理者、セラー、ストア管理者、登録顧客
- ToolTech (サンプル・ストア)

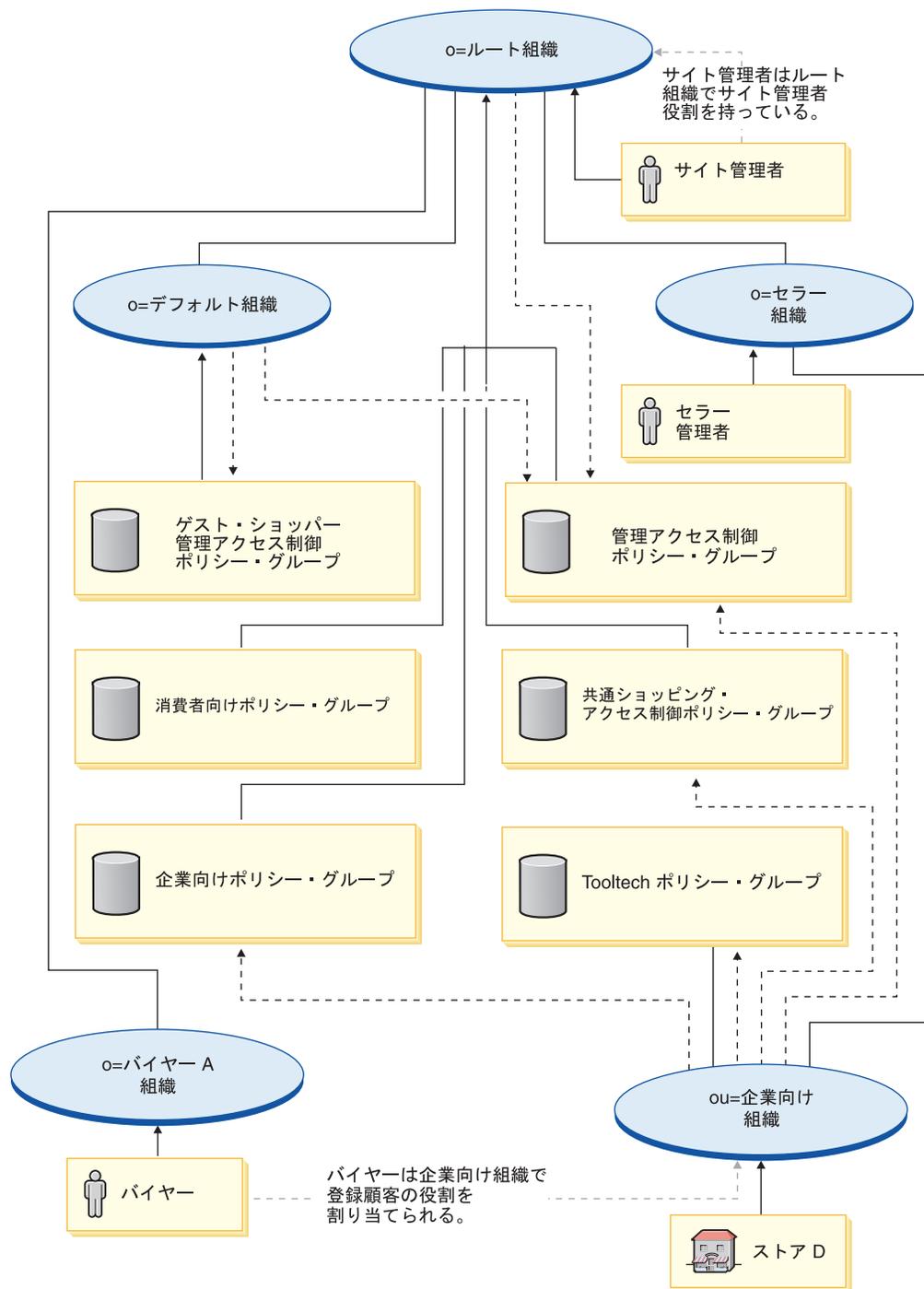
- ToolTech ポリシー・グループ

動的に作成される役割

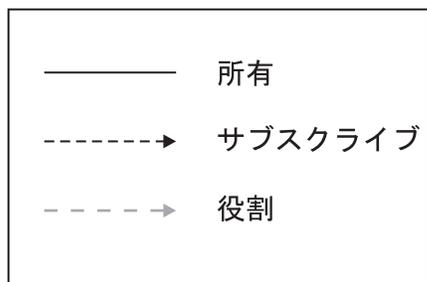
顧客 は、登録先のストアを所有する組織 (たとえば、ou = 企業向け組織) 内の登録済み顧客の役割が与えられます。バイヤー には、バイヤーとして登録されたストアを所有する組織内に登録済み顧客の役割が指定されます。この情報は、MemberRegistrationAttributes.xml ファイルから取られています。詳しくは、4 ページの『役割と MemberRegistrationAttributes XML ファイル』または WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

以下の図は、基本的な企業向け組織およびアクセス制御構造を説明しています。

基本アクセス制御



凡例



基本的な企業向け組織構造を説明するこの図では、130 ページで説明されているように、ルート組織はデフォルト・ポリシー・グループを所有し、そこにサブスクリプトします。

ルート組織のみが管理ポリシー・グループにサブスクリプトします。そのため、こうしたポリシーは、セラー組織およびセラー管理者だけでなく、ルートに直接属するサイト管理者にも適用されます。これらのポリシーはデフォルト組織には適用されません。デフォルト組織は管理ポリシー・グループおよびゲスト・ショッパー管理ポリシー・グループに直接サブスクリプトするからです。また、企業向け組織とその組織が所有するストアにも適用されません。企業向け組織は企業向けポリシー・グループ、管理ポリシー・グループ、および共通ショッピング・ポリシー・グループに直接サブスクリプトするからです。

さらに、企業向け組織は、ToolTech ポリシー・グループを所有し、そこにサブスクリプトします。ToolTech ポリシー・グループには、以下のポリシーが入っています。

- AllUsersForToolTechExecuteToolTechAllUsersViews
- RegisteredCustomersForOrgForToolTechExecuteToolTechRegisteredCustomerViews

バイヤーとは、企業向けストアにオーダーを発行する顧客のことです。すべてのバイヤーは、バイヤー組織によって所有されている必要があります。ルート組織から継承される管理ポリシーで十分であるため、一般にバイヤー組織はどのポリシー・グループにもサブスクリプトしません。

アクセス制御ポリシー・グループには組織エンティティがサブスクリプトするため、サイトで複数のストアを作成していて、個々のストアに異なるアクセス制御ポリシー・グループを適用する場合には、それぞれのストアを所有する個別の組織を作成する必要があります。

第 10 章 企業向けサンプル・ストア (ToolTech) 概要

企業向けサンプル (ToolTech) には、オンライン・ハードウェア・ストアが含まれており、他のビジネス向けの販売をサポートしています。ToolTech では、特にセラーの e-コマース・サイトでバイヤーが実行できる作業が強調されています。ToolTech サンプル・ストアに含まれる機能には、以下のものがあります。

- 契約ベースの購入
- 要求リスト
- 契約ベースの価格設定
- RFQ 要求
- 分割オーダーおよびバックオーダー
- 複数の配送先住所
- 重量ベースの配送料金
- 商品検索機能
- バイヤー登録
- コラボレーション・ワークスペース
- カスタマー・ケア
- ストアへの会社のロゴの追加
- アカウント・ベースのマーケティング・キャンペーン

ToolTech では、稼働中の企業向けオンライン・ストアに必要なすべてのページと機能を提供します。ToolTech は、ストア・アーカイブ (複合として: B2BDirect.sar) として WebSphere Commerce に付属しています。ある場合、ストア・アーカイブを WebSphere Commerce Server に発行することによって、実動ストアを作成できるようになります。WebSphere Commerce、Business Edition では、サンプル・ストア・アーカイブ・ファイルは、カタログまたはストアフロントを作成するストア資産の集合だけでなく、ストアまたはサイトの環境を作成するために必要な組織構造、事前定義ユーザー役割、およびアクセス制御ポリシーをパッケージして配布するためにも使用されます。実動ストアを作成するために、複合ストア・アーカイブの 1 つを発行できます。さらに、実動ストアを発行するために一連のコンポーネント・ストア・アーカイブを発行することもできます。ストアは管理コンソールから発行されます。「サイト」を選択し、「ストア・アーカイブ」メニューから「発行」を選択することにより、サイト管理者のみがストア・アーカイブを発行できます。発行可能なストア・アーカイブがリストされた「ストア・アーカイブ」ページが表示されます。デフォルトでは、複合ストア・アーカイブを示すページが表示されます。ストア・アーカイブの発行について詳しくは、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの発行についての説明を参照してください。

WebSphere Commerce でのストアの作成は、サンプル・ストア・アーカイブの選択と変更に基づくため、ToolTech は作成するストアの基礎となるように設計されています。これは一般的なショッピング・フローに基づいています。サンプル・ストア・ページはカスタマイズできます。すべての ToolTech サンプル・ストア・

ページは、JavaServer Pages です。HTML、Java™、および JavaScript™ がこうしたページに含まれます。JSP ファイルは、キャッシュ可能です。

第 11 章 ToolTech サンプル・ストアを使用したストアの作成

第 1 部: ToolTech に基づいたストアの発行および構成

ToolTech サンプル・ストアを使用してストアを作成するには、それを発行する必要があります。その後オプションで、それを構成することができます。サンプルの発行および構成の方法について詳しくは、31 ページの『第 1 部: FashionFlow に基づいたストアの発行、および構成』、『管理コンソールを使用したストアの発行』および『WebSphere Commerce アクセラレーターを使用したストアの構成』を参照してください。その際、必要に応じて FashionFlow を ToolTech と読み替えてください。

サンプル・ストアを発行した後、ストアを全機能で稼働させるには、追加のステップを実行することが必要になる場合があります。次に、このステップを説明します。

第 2 部: サンプル・ストアのスケジュールされたジョブの作成

サンプル・ストアを発行した後、ストアのスケジュールされたジョブを WebSphere Commerce アクセラレーターで作成する必要があります。サンプル・ストアの E メール通知を構成する方法について詳しくは、31 ページの『第 1 部: FashionFlow に基づいたストアの発行、および構成』を参照してください。

第 3 部: サンプル・ストアの E メール通知の構成

以下の手順によって、決済の与信時、オーダーの許可時、およびオーダーのキャンセル時に、顧客に E メール通知をすることができます。顧客に E メールを出すには、メール・サーバーがセットアップされている必要があることに注意してください。サンプル・ストアの E メール通知を構成する方法について詳しくは、192 ページの『第 4 部: サイトに合わせた E メール構成』を参照してください。

第 4 部: RFQ の使用可能化と使用不能化

RFQ 取引メカニズムを使用する場合は、その前にサイト管理者がそれを使用可能にする必要があります。そのためには、WebSphere Commerce インストール・プロセスの一部として作成された WC ディレクトリーにある SQL スクリプトを使用します。RFQ を使用可能にするには、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『RFQ 取引メカニズムの使用可能化と使用不能化』を参照してください。

RFQ 通知メッセージは、RFQ ネゴシエーション中に発生する主要なイベントについて顧客に通知するために使用されます。RFQ 通知メッセージを使用可能にするには、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『RFQ 通知メッセージングの使用可能化』を参照してください。

RFQ のチュートリアルについては、161 ページの『RFQ の使用』を参照してください。

第 5 部: マーケティング・キャンペーンの作成

ToolTech ストアでは、自分が属するアカウントに基づいてキャンペーンを作成することができます。アカウント・ベースのマーケティング・キャンペーンを作成するには、以下のようにします。

- 顧客プロフィールを作成します。
- キャンペーンを作成します。
- キャンペーン・イニシアチブを作成します。
- e-マーケティング・スポットを作成します。

顧客プロフィールの作成

顧客プロフィールを作成するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターにログオンします。
2. 「マーケティング」->「顧客プロフィール」をクリックします。「顧客プロフィール」ページが表示されます。
3. 「新規」をクリックします。「一般」ページが表示されます。
4. 顧客プロフィールの名前（「木材加工業者」など）をテキスト・ボックスに入力します。
5. 左側のナビゲーション・フレームで、「登録」->「登録状況」をクリックします。「登録状況」ページが表示されます。
6. 「登録済み」を選択します。
7. 左側のナビゲーション・フレームで、「アカウント」->「アカウント」をクリックします。「アカウント」ページが表示されます。
8. 「選択したアカウントのいずれかに属す」を選択します。
9. 「追加」をクリックすることにより、使用可能なアカウントを「選択したアカウント」ボックスに追加します。

注: アカウント 1 は組織 A、アカウント 2 は組織 B のためのものです。

10. ページの下にある「OK」をクリックします。「顧客プロフィール」ページに戻ります。そこには、今作成したプロフィールが表示されています。

キャンペーンの作成

キャンペーンを作成するには、以下のようにします。

1. 「マーケティング」->「キャンペーン」をクリックします。「キャンペーン」ページが表示されます。
2. 「新規」をクリックします。「一般定義」ページが表示されます。
3. 表示されるテキスト・ボックスに、キャンペーンの名前と説明を入力します。たとえば、「木工用具」、「木工用具の割引」などように入力します。
4. ページの下にある「次へ」をクリックします。「ビジネス目的の定義」ページが表示されます。
5. 表示されるテキスト・ボックスに、キャンペーンのスポンサーと目標を入力します。
6. ページの下にある「終了」をクリックします。これで、キャンペーンが正常に作成されました。

キャンペーン・イニシアチブの作成

キャンペーン・イニシアチブを作成するには、以下のようにします。

1. 今作成したキャンペーンを選択し、右側のサイド・メニューにある「イニシアチブ」をクリックします。
2. 「新規」をクリックします。「一般定義」ページが表示されます。
3. テキスト・ボックスにイニシアチブの名前を入力します。
4. 「キャンペーン」ドロップダウン・ボックスでキャンペーンを選択します。
5. 左側のナビゲーション・フレームで、「コンテンツ」を選択した後、「次へ」をクリックします。「表示されるダイナミック・コンテンツを定義」ページが表示されます。
6. 「特定商品を提示」を選択します。
7. 「検索」または「ブラウズ」をクリックして、商品を選択します。
8. 「ターゲット」を選択してから、「次へ」をクリックします。「ターゲット顧客を定義」ページが表示されます。
9. 「特定の顧客プロフィールをターゲットとする」を選択します。
10. 「追加」をクリックして、使用可能な顧客プロフィールを「選択した顧客プロフィール」ボックスに追加します。
11. ページの下にある「次へ」をクリックします。「ターゲット顧客の日付を定義 (Defining dates for targeted customers)」ページが表示されます。
12. 必要に応じて、日付定義のオプションを選択します。
13. 「次へ」をクリックします。「ターゲット顧客の行動様式を定義」ページが表示されます。顧客の行動様式を作成するには、「追加」をクリックして、オンライン・ヘルプの説明に従います。
14. 「終了」をクリックします。これで、キャンペーン・イニシアチブが正常に作成されました。

e-マーケティング・スポットの作成

e-マーケティング・スポットを作成するには、以下のようにします。

1. 「マーケティング」->「e-マーケティング・スポット」をクリックします。「e-マーケティング・スポット」ページが表示されます。
2. リストの中から「StoreHomePage」を選択して、右側のサイドバー・メニューにある「スケジュール」をクリックします。「キャンペーン・イニシアチブのスケジュールリング」ページが表示されます。
3. 「新規」をクリックします。「キャンペーン・イニシアチブのスケジュール」ページが表示されます。
4. 「選択したキャンペーン」ドロップダウン・ボックスで、キャンペーンを選択します。
5. 「追加」をクリックして、作成したキャンペーン・イニシアチブを「選択したキャンペーン・イニシアチブ」ボックスに追加します。
6. キャンペーンの開始日付を追加します。
7. 終了日付を選択するか、または「このキャンペーン・イニシアチブを無期限で実行」を選択します。
8. ページの下にある「OK」をクリックします。

顧客プロフィール作成時に選択した組織を使用して、ToolTech ストアにログインします。これで、選択した特定の商品が ToolTech ホーム・ページに表示されます。

第 6 部: ストアの WebSphere Commerce Payments のセットアップ

WebSphere Commerce Payments のセットアップについては、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

WebSphere Commerce Payments がセットアップ済みで、決済をテストしたい場合は、以下を実行してください。

1. ストアで登録およびショッピングをします。
2. アイテムをショッピング・カートに追加します。
3. チェックアウトします。
4. オーダーを完了するには、クレジット・カード情報を入力します。このテストを目的として、以下を入力します。
 - a. 「クレジット・カード・タイプ」ドロップダウン・リストから、**Visa** を選択します (これがご使用の WebSphere Commerce Payments アカウントにあると想定しています)。
 - b. 「カード番号」フィールドで、「4111111111111111」 と入力します。
 - c. 「有効期限月」ドロップダウン・リストから、10 を選択します。
 - d. 「有効期限年」ドロップダウン・リストから、2003 を選択します。
 - e. 「オーダー」をクリックします。「オーダーの確認」ページが表示され、オーダーの詳細が示されます。

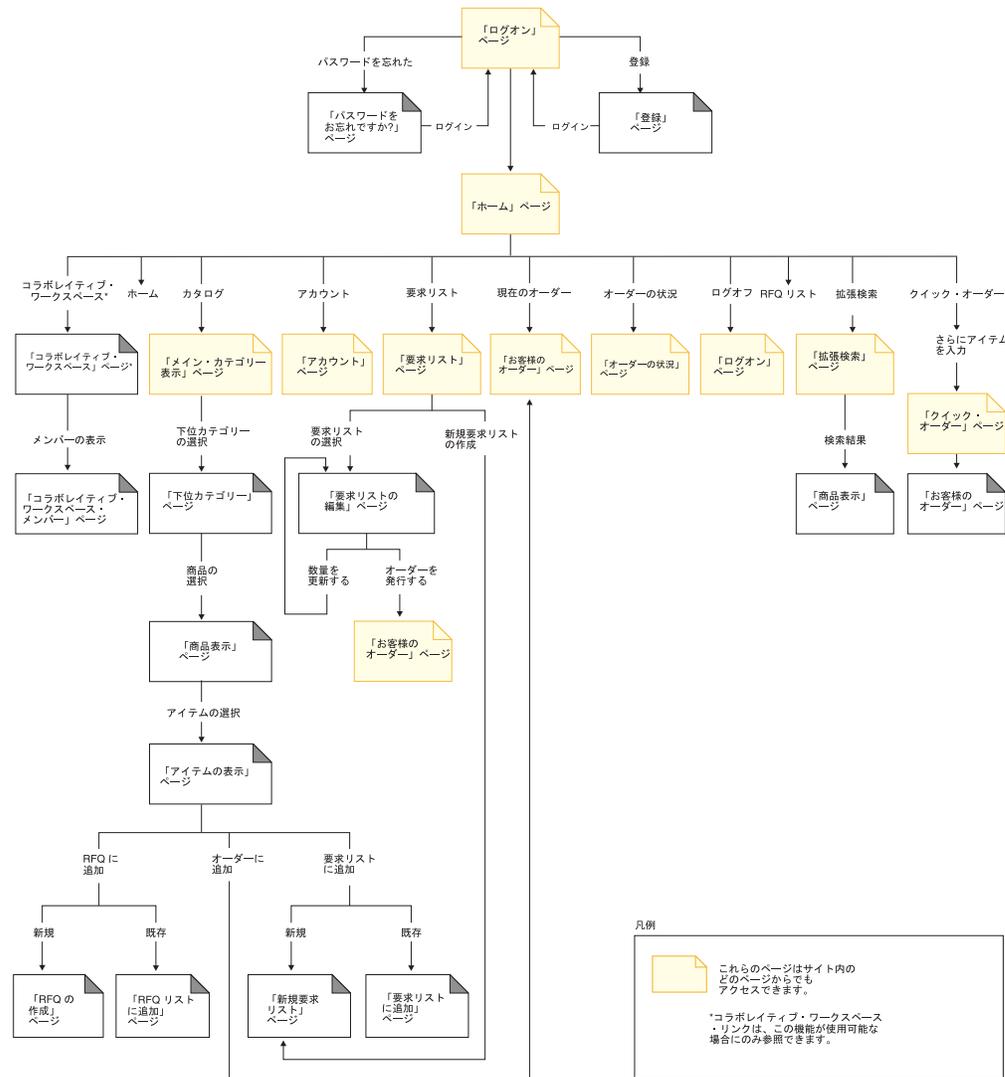
注:

1. 発行時に WebSphere Commerce Payments がインストールされていなかった場合、または実行されていなかった場合、WebSphere Commerce Payments で構成されるブランド・タイプは、クレジット・カードの契約 3456 に指定されているブランド・タイプに一致していなければなりません。
2. ToolTech ストアでコラボレーション・フィーチャーを使用したい場合は、まず、カスタマー・ケア (Customer Care) フィーチャーのために Lotus Sametime を、またはコラボレイティブ・ワークスペース・フィーチャーのために Lotus QuickPlace をインストールする必要があります。Lotus Sametime と Lotus QuickPlace のインストールについては、「*IBM WebSphere Commerce 追加ソフトウェア・ガイド*」を参照してください。
3. 顧客が 2 バイト言語を使用し、テキスト・フィールドに長い情報を入力する場合は、フィールドに許可されている長さを超過した入力が原因のエラーが発生する可能性があります。これを訂正するには、顧客が入力する UTF8 スtring の長さを制限するコードを追加できます。

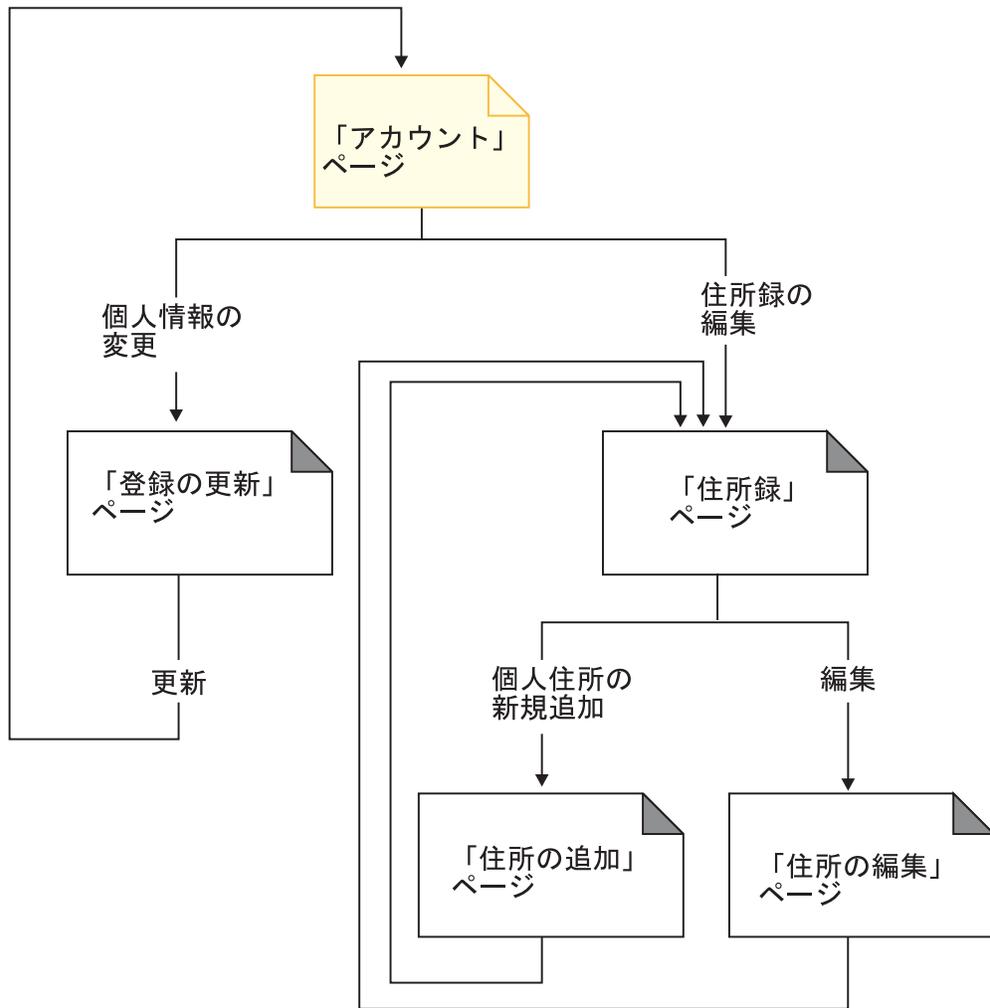
ToolTech ストア・フロー

 以下の図は、ToolTech ストア・フロー、アカウント・フロー、RFQ リスト・フロー (2 つの部分からなる) および RFQ 変更フローを示しています。

ToolTech ストア・フロー



ToolTech アカウント・フロー

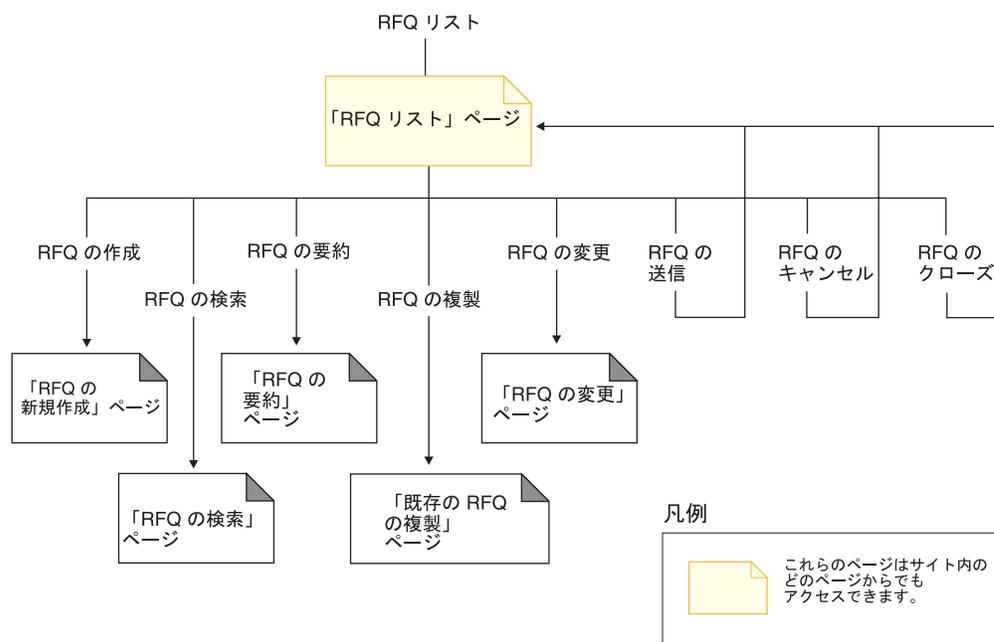


凡例

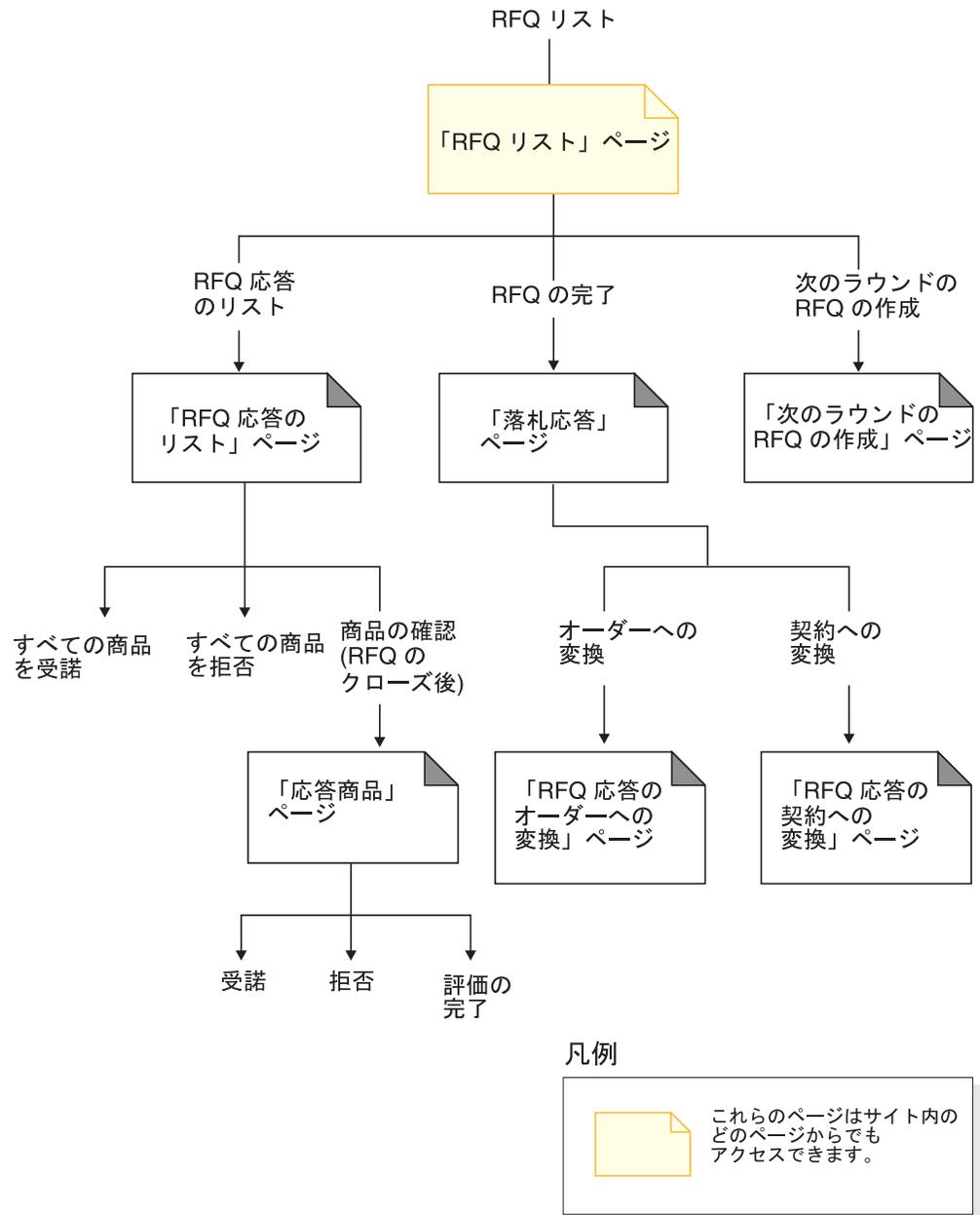


これらのページはサイト内のどのページからでもアクセスできます。

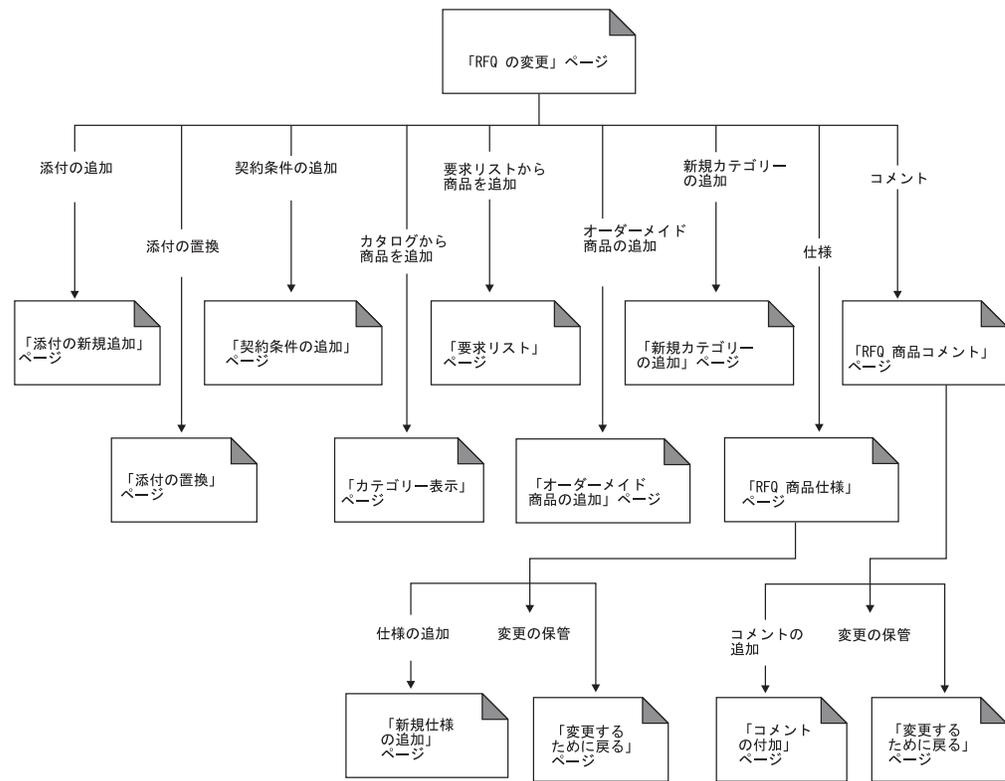
ToolTech RFQ リスト・フロー (第 1 部)



ToolTech RFQ リスト・フロー (第 2 部)



ToolTech RFQ 変更フロー



第 12 章 ToolTech ユース・ケース

ToolTech サンプル・ストアには、登録から、ログオン、ショッピング、およびオーダー完了まで、顧客をフォローするユース・ケースが付属しています。それらのユース・ケースにより、ToolTech サンプル・ストアのフローを理解することができます。また、独自のストアのユース・ケースを作成するためのガイドとしても使用できます。

新規顧客の登録

このユース・ケースは、顧客が ToolTech ストアに登録する際のイベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

顧客は、サポートされているブラウザを使用してストア・サイトにアクセスしています。

基本フロー

1. システムにより「ログオン」ページが表示されます。
2. 顧客が「登録」をクリックすると、「登録」ページが表示されます。
3. 顧客は、「ユーザー ID」、「パスワード」、「確認パスワード」、「従業員 ID」、「姓」、「バイヤー組織」、「住所」、「市区町村」、「都道府県」、「国/地域」、「郵便番号」、「E メール・アドレス」、「希望する通貨」、「優先言語」の各フィールド、および必要に応じてその他のオプション・フィールドに入力します。
4. 顧客が「送信」をクリックすると、情報が送信されます。

例外フロー

1. 顧客は「バイヤー組織」フィールドをブランクのままにします。
2. その顧客はビジネス・ユーザーとして登録されます。
3. その顧客がビジネス・ユーザーではなく、デフォルト・ユーザーとして扱われることを示すメッセージが表示されます。

事後条件

顧客は、ストアでショッピングするための承認がバイヤー承認者から出されるのを待ちます。

登録顧客によるログオン

このユース・ケースは、登録顧客がセラーの Web サイトにログオンする際のイベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

顧客はストアに登録済みであり、サポートされているブラウザを使用してストア・サイトにアクセスしています。

基本フロー

1. システムにより「ログオン」ページが表示されます。
2. 顧客は、ショッピング言語を選択し、「ユーザー ID」フィールドと「パスワード」フィールドにユーザー ID とパスワードをそれぞれ入力します。
3. 顧客が「送信」をクリックすると、情報が送信されます。
4. ログオン終了後、ストアの「ホーム」ページが表示されます。

代替フロー

顧客はパスワードを忘れたため、パスワードを設定し直したいと考えています。

1. 「パスワードをお忘れですか?」のリンクを選択します。
2. 「パスワードをお忘れですか?」ページが表示されます。
3. 顧客は、該当するフィールドにユーザー ID を入力します。
4. 顧客が「パスワードの送信」をクリックし、情報が送信されます。
5. システムから顧客の E メール・アドレスにパスワードが送信されます。
6. 確認メッセージが表示されます。
7. 顧客はパスワードを受け取ってから、「ログオン」ページを開くことができません。

例外フロー

顧客の実際の E メール・アドレスが、システムに記録されているものと違っています。システムからエラー・メッセージが表示され、顧客は別のユーザー ID を入力するように求められます。

住所録の編集

顧客は、住所録に記載している住所を編集できます。

実行者

顧客

メイン・フロー

顧客は、編集する住所を住所録の中から選択します。選択された住所についての以下の詳細情報が検索されて表示されます。

- ニックネーム
- 名
- 姓
- 番地
- 市区町村
- 都道府県
- 郵便番号

- 国または地域
- 電話番号

顧客は、必要な変更を加えた後に、「送信」をクリックします。住所が更新されま
す (E1)。

代替フロー

なし

例外フロー

E1: 必須情報が入力されていないことが顧客に通知され、その情報を入力するよう
求められます。必須情報には、以下のものがあります。

- 名
- 姓
- 番地
- 市区町村
- 都道府県
- 郵便番号
- 国または地域

ニックネームが既に住所録に存在していると、エラー・メッセージが表示されま
す。

顧客は、欠落している必須情報を入力します。

オーダーへのアイテムの追加

このユース・ケースは、顧客がオーダーにアイテムを追加する際のイベントの機能
フローについて説明しています。

前提条件

顧客はストアにログオンしています。

基本フロー

1. 顧客が「ホーム」ページの「カタログのブラウズ」をクリックすると、「メイ
ン・カテゴリー (Main Category)」ページが表示されます。
2. 顧客がカテゴリーを選択すると、「カテゴリー表示」ページが表示されます。
3. 選択された最上位カテゴリーと、その下の主要カテゴリーを示すページが表示さ
れます。
4. 顧客が商品を選択すると、「商品表示」ページが表示されます。
5. 選択した商品ラインに含まれるアイテムを示すページが表示されます。
6. 顧客がアイテムを選択すると、「アイテムの表示」ページが表示されます。
7. そのアイテム、およびそのすべての属性を示すページが表示されます。
8. 顧客は契約を選択して、「オーダーに追加」をクリックします。顧客が契約を選
択しない場合、アイテムは最低価格の契約で追加されます。

9. 「お客様のオーダー」ページが表示されます。

事後条件

オーダーに追加された新しいアイテムを含むページが表示されます。そのアイテムが最初に選択されたものであれば、そのアイテムを含む新しいオーダーが作成されます。

個人情報の更新

このユース・ケースは、顧客が個人情報を更新する際のイベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

顧客は登録済みバイヤーであり、ストアにログオンしています。

基本フロー

1. 顧客はヘッダーの「アカウント」をクリックします。
2. システムにより「アカウント」ページが表示されます。
3. 顧客が「個人情報の変更」をクリックすると、「登録の更新」ページが表示されます。
4. フィールドは、あらかじめ情報が入れられた状態で表示されます。
5. 顧客は、必要に応じてフィールドに変更を加えます。（「パスワード」フィールドが空のままの場合、現在のパスワードが維持されます。）
6. 顧客が「更新」をクリックすると、情報が送信されます。
7. 送信が成功すると、「アカウント」ページが表示されます。

事後条件

編集されたフィールドが更新されます。

例外フロー: 不正な入力が行われると、「個人情報の変更」ページにエラー・メッセージが表示されます。

バイヤー承認

このユース・ケースは、顧客がストアでショッピングすることがバイヤー承認者によって承認される際の、イベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

承認フィーチャーが使用可能であり、顧客はストアで登録されており、ショッピングを始めることができます。バイヤー承認者は、ストアにログインしています。

基本フロー

1. システムによりホーム・ページが表示されます。
2. バイヤー承認者が「承認ツールに移動」をクリックすると、組織管理コンソールが表示されます。

3. バイヤー承認者が「承認」->「承認要求」をクリックすると、承認を保留中のバイヤーのリストが表示されます。
4. バイヤー承認者は、その顧客の情報が正しいことを確認し、承認要求を承認するか、または拒否します。

事後条件

E メール通知が顧客に送信されます。

新規要求リストの作成

このユース・ケースは、顧客が新しい要求リストを作成する際のイベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

顧客は登録済みバイヤーであり、ストアにログインしています。

基本フロー

1. 顧客が購入するアイテムをカタログから選択すると、「アイテムの表示」ページが表示されます。
2. 要求リストのヘッダーから、顧客は「新規」ラジオ・ボタンを選択し、「要求リストに追加」をクリックします。
3. 「新規要求リスト」ページが表示されます。
4. その要求リストの名前を入力するための入力ボックスと、SKU# および数量のフィールドが表示されます。
5. 顧客がそれらのフィールドに必要な情報を追加した後、「保管」をクリックすると、情報が送信されます。

事後条件

新しい要求リストが作成されます。

代替フロー

1. 顧客が購入するアイテムをカタログから選択すると、「アイテムの表示」ページが表示されます。
2. 顧客が「オーダーに追加」をクリックすると、「お客様のオーダー」ページが表示されます。
3. 顧客は、名前フィールドに要求リストの名前を入力し、「新規要求リスト」をクリックします。「要求リストの編集」ページが表示されます。

事後条件

新しい要求リストが作成され、現在保留中のオーダーのすべてのアイテムが、現行の数量でこの要求リストに追加されます。

要求リストへのアイテム追加

このユース・ケースは、顧客が既存の要求リストにアイテムを追加する際のイベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

顧客はストアにログインしており、少なくとも 1 つの要求リストを作成しています。

基本フロー

1. 顧客が任意のページのヘッダーで「**要求リスト**」をクリックすると、「要求リスト」ページが表示されます。
2. 顧客の要求リストのリストが表示されます。
3. 顧客が要求リストを選択すると、「要求リストの編集」ページが表示されます。
4. 要求リスト中のアイテムが表示され、SKU 番号と新しいアイテムの数量を入力するためのフィールドが表示されます。
5. 顧客がそれらのフィールドに適切な情報を入力します。
6. 顧客が「**追加**」をクリックすると、情報が送信されます。

事後条件

アイテムが要求リストに追加され、他のアイテムと共に要求リスト中に表示されます。

代替フロー

1. 顧客が購入するアイテムをカタログから選択すると、「アイテムの表示」ページが表示されます。
2. 要求リストのヘッダーから、顧客は「**既存**」ラジオ・ボタンを選択し、「**要求リストに追加**」をクリックします。
3. 「要求リストに追加」ページが表示されます。
4. 顧客の要求リストを含むページが表示されます。
5. 顧客が要求リストを選択し、「**要求リストに追加**」をクリックすると、「要求リストの編集」ページが表示されます。
6. 現在リストに含まれているアイテムと共に、新たに選択されたアイテムが表示されます。
7. 顧客が「**オーダーの発行**」をクリックすると、要求リストが保存されます。

事後条件

要求リストにアイテムが追加され、顧客はオーダーを完了するか、またはショッピングを継続します。

要求リストからのオーダー作成

このユース・ケースは、顧客が要求リストからオーダーを作成する際のイベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

顧客はストアにログオンしており、要求リストを表示しています。

基本フロー

1. 顧客は「要求リスト」ページに表示されるリストから、要求リストを 1 つ選択します。
2. 「要求リストの編集」ページが表示されます。
3. 選択された要求リストに含まれるすべてのアイテムが表示されます。
4. 顧客が「オーダーの発行」をクリックすると、「お客様のオーダー」ページが表示されます。

事後条件

要求リストのアイテムがオーダーに追加されます。

SKU を使用したオーダー作成

このユース・ケースは、顧客が SKU を使用してオーダーを作成する際のイベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

顧客はストアにログインしています。

基本フロー

1. 顧客は、左側のナビゲーション・フレームで「クイック・オーダー」のヘッダーの下にある「SKU の入力」フィールドに数値を入力し、「GO」をクリックします。
SKU が検出されると、「お客様のオーダー」ページが表示されます。
SKU が検出されないと、「クイック・オーダー」ページが表示されます。
2. 現在のオーダーに入力されたアイテムを含むページが表示されます。

事後条件

有効な SKU が入力されたアイテムによって、オーダーが更新されます。現行オーダーがない場合、新しいオーダーが作成されます。

例外

顧客が無効な SKU を入力した場合、入力された SKU 番号がカタログ中不在ことを示すメッセージが、「クイック・オーダー」ページに表示されます。

全要求リストの表示

このユース・ケースは、顧客がすべての要求リストを表示する際のイベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

顧客はストアにログインしており、少なくとも 1 つの要求リストを作成しています。

基本フロー

1. 顧客が任意のページのヘッダーで「**要求リスト**」をクリックすると、「要求リスト」ページが表示されます。
2. 顧客の要求リストのリストが表示されます。
3. 顧客は、表示タイプとして「**すべてのリスト**」を選択し、「**GO**」をクリックします。

事後条件

すべての要求リストが表示されます。

要求リストからのアイテム除去

このユース・ケースは、顧客が自分の要求リストの中でアイテムを更新する際のイベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

顧客は、少なくとも 1 つの要求リストを作成しています。

基本フロー

1. 顧客が任意のページのヘッダーで「**要求リスト**」をクリックすると、「要求リスト」ページが表示されます。
2. 顧客の要求リストのリストが表示されます。
3. 顧客が要求リストを選択すると、「要求リストの編集」ページが表示されます。
4. 選択した要求リストに含まれるすべてのアイテムが表示されます。
5. 顧客は、除去したいアイテムの横の「**除去**」をクリックします。

事後条件

除去するように選択したアイテムは、表示されません。

特定の商品の検索

このユース・ケースは、登録顧客が特定の商品を検索する際のイベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

なし。

基本フロー

1. 顧客は、左側のナビゲーション・フレームにある「検索」フィールドに商品の名前を入力し、「GO」をクリックします。
2. 「検索結果」ページが表示されます。

代替フロー

1. 顧客が左側のナビゲーション・フレームで「拡張検索」をクリックします。「拡張検索」ページが表示されます。
2. 顧客は、語句、カテゴリー、メーカー、部品番号、または SKU をそれぞれ該当するフィールドに入力し、それらの情報に基づいて商品を検索します。また、1ページに表示する検索結果の件数も選択できます。
3. 顧客は「送信」をクリックします。
4. 「検索結果」ページが表示されます。

事後条件

検索結果が表示されます。

繰り返しオーダーのスケジュール

このユース・ケースは、登録顧客が既存のオーダーを使用して同じオーダーを繰り返す際のイベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

顧客はストアにログインしており、保留オーダーが利用可能になっています。また、顧客はオーダー送信の作業を開始しており、「オーダー要約」ページを表示しています。オーダーの送信については、下記の関連資料を参照してください。

基本フロー

1. 顧客は、「スケジュールされたオーダー」のヘッダーでオーダーの頻度を選択します。オーダーは、「本日から有効日数」フィールドと、「頻度」フィールドに基づいて有効になります。
2. 顧客は「スケジュールされたオーダー」をクリックします。
3. 「オーダー要約」ページに以下のメッセージが表示されます。

スケジュールされたオーダーが作成されました。現在のオーダーで作業を継続することができます。スケジュールされたオーダーの詳細については、「オーダー状況」ページをご覧ください。

事後条件

顧客の選択した頻度と有効日付に基づいて、スケジューラーがオーダーを処理します。

オーダーの送信

このユース・ケースは、登録顧客がオーダーを送信する際のイベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

顧客は現在のオーダーに 1 つ以上のアイテムを追加しています。

基本フロー

1. 「お客様のオーダー」ページが表示されます。
2. 顧客は支払いメソッドを選択し、「次へ」をクリックします。
3. 「請求先および配送先の情報」ページが表示されます。
4. 顧客は、「請求先住所」ドロップダウン・ボックスから請求先住所を選択し、「次へ」をクリックします。
5. 「オーダー要約」ページが表示されます。
6. 顧客は、「支払い情報」のヘッダーの下に支払い情報を入力し、「オーダー」をクリックします。オーダーが送信されます。
7. 「オーダーの確認」ページが表示されます。

事後条件

オーダーが発行されます。

代替フロー 1

顧客は、自分のオーダーから 1 つのアイテムを除去したいと考えています。

1. 「お客様のオーダー」ページが表示されます。
2. 顧客は、除去したいアイテムの横の「除去」をクリックします。

そのアイテムがオーダーから除去されます。顧客は、オーダーの送信 フローに従って操作を継続します。

代替フロー 2

顧客は「オーダー要約」ページで「オーダー」をクリックしますが、オーダーに含まれるいくつかのアイテムは在庫切れです。

1. 「商品の納期」ページが表示され、配送に関して以下の 2 つのオプションが表示されます。
 - オプション 1: すべてのアイテムが揃ってからオーダー全体をまとめて配送します。(可能な日付)
 - オプション 2: 在庫のあるアイテムはすぐに配送し、残りは入荷次第配送します。(この場合は追加の配送料をお支払いいただく必要があり、割引がご利用いただけないこともあります。)(可能な日付)
2. 顧客は配送オプションを選択します。

代替フロー 2a

顧客はオプション 1 を選択し、「次へ」をクリックします。オーダーは分割されず、「オーダー要約」ページにはすべてのアイテムが表示されます。

代替フロー 2b

顧客はオプション 2 を選択し、「次へ」をクリックします。オーダーは在庫品と在庫切れ商品の 2 つに分割され、それら 2 つのオーダーの情報が「オーダー要約」ページに表示されます。顧客は、在庫品オーダーの処理を選択することができます。その場合、オーダー送信フローに従って操作を継続することになります。

オーダー履歴の表示

このユース・ケースは、登録顧客がオーダー履歴を表示する際のイベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

顧客はストアにログインしています。

基本フロー

1. 顧客は、ヘッダーにある「オーダーの状況」をクリックします。
2. 「オーダーの状況」ページが表示され、そこには以下の 3 つのセクションが含まれています。
 - 承認待ちのオーダー
 - 直前に処理されたオーダー
 - スケジュールされたオーダー

オーダーをクリックすると、オーダーの詳細情報が表示されます。「再オーダー」および「キャンセル」をクリックすると、それぞれオーダーを再オーダーしたりキャンセルしたりできます。「オーダーの状況」ページについては、下記の関連資料を参照してください。

事後条件

オーダー履歴が表示されます。

下位カテゴリー・ページのトラブルシューティング

FashionFlow、ToolTech、Commerce プラザ、または Supplier Marketplace で商品を作成する場合には、その商品の簡略説明を入力する必要があります。下位カテゴリー・ページに商品がリストされると、JSP ファイルはデータベースからその簡略説明を取得します。簡略説明が入力されていない場合、下位カテゴリー・ページにはリストされている商品の説明は表示されません。

第 13 章 ToolTech チュートリアル

RFQ の使用

RFQ 要求の概要

Business 見積依頼 (RFQ) は、WebSphere Commerce で利用できる取引メカニズムの 1 つです。RFQ の場合、バイヤー・サイドが ToolTech ストアで選択を行えます。バイヤーは、さまざまな商品やサービスのうち、カタログの中で提供されているもの、またはカタログでは現在入手できないものについて、RFQ を作成できます。バイヤーが必要なものと一致する商品をカタログで見つけられない場合、商品仕様を正確に定義するために、個人情報属性ディクショナリーから属性を選択することができます。

バイヤーは要求リストを使用して、希望の商品を RFQ に追加できます。バイヤーは 1 つの RFQ に複数の商品を含めることができ、商品ごとに固有の仕様を定義できます。また、取引の条件も指定できます。バイヤーが RFQ 要求を送信すると、それは「将来」または「アクティブ」の状態になります。WebSphere Commerce アクセラレーターによって、セラーは RFQ を見て、その要求が「アクティブ」状態になった時点で応答を送信できます。バイヤーは、RFQ を変更したりキャンセルしたりすることもできます。

セラーが RFQ に応答する際には、各添付、使用条件、商品、そして商品仕様やコメントごとに応答することができます。バイヤーが要求でオプションとして指定すれば、配送センターを指定したり、商品を置換したりすることができます。セラーは、応答を変更したりキャンセルしたりすることもできます。

セラーが RFQ に応答すると、バイヤーは RFQ を閉じて、応答を評価することにより、単独または複数の勝者を選択します。RFQ 応答がバイヤーによって受け入れられ、セラーにそのことが通知されると、以下のプロセスのいずれかにより RFQ 取引が完了します。

- あらかじめ RFQ 情報が含まれているオーダーをバイヤーが発行します。
- あらかじめ RFQ 情報が含まれている契約が作成されます。
- RFQ は次のラウンドに移動できます。

RFQ のレコードは、バイヤーが RFQ をコピーして、繰り返し使用することができるように、一定期間 RFQ リストに維持されます。同じバイヤーからの同じ要求に対するセラーの応答を容易にするために、応答も同じ期間保存されます。

サイト管理者は、WebSphere Commerce のセットアップ中に、RFQ 取引メカニズムを有効にするかどうかを決定します。RFQ オプションを含める場合、サイト管理者は以下の点を考慮する必要があります。

- RFQ 応答プロセスのための承認を有効にするかどうか。有効にした場合、バイヤーに応答を送信する前にそれらの応答を確認することになります。

- RFQ の要求と応答の状況が変化したことがバイヤーとセラーに通知されるようにするためには、通知およびジョブ・スケジュールが有効になっている必要があります。

RFQ 応答の概要

バイヤーが RFQ をアクティブにすると、セラーはバイヤーによって指定された使用条件と商品説明に対して応答できるようになります。セラーは、RFQ を受信済みとして受け入れるか、対案を示すかのいずれかを行えます。

RFQ 応答情報は WebSphere Commerce アクセラレーターの一部なので、詳細情報については、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

前提条件

このチュートリアルを完了するには、以下のものがインストールされていなければなりません。

- IBM WebSphere Commerce Business Edition
- RFQ 取引でオーダーが発行されることになる場合には、WebSphere Commerce インストール・プロセスの一部として WebSphere Commerce Payments がインストールされていることが必要です。
- ToolTech サンプル・ストア
- Microsoft Internet Explorer

WebSphere Commerce RFQ の主な機能

RFQ 取引メカニズムの主な機能は、以下のとおりです。

バイヤーおよび購買サイド

- RFQ 要求フォーム
- 作成される RFQ 要求は、自動的にドラフト状況になります。
 - 商品は、カタログを介して、あるいはセラーのカタログから選択された商品を含む要求リストからブラウズした後、SKU レベルで選択されます。商品がセラーのカタログからみつからない場合は、商品をオーダーメイドとして RFQ に追加することもできます。
 - フリー・フォームのテキスト情報を、「一般」フォームでは概要レベルで、「使用条件」フォームでは特定のレベルで、また「商品コメント」フォームでは商品レベルで追加できます。
 - その他の商品仕様を、SKU (アイテム) レベルで追加できます。
- RFQ 要求は、ドラフト状況でのみ変更できます。
- 「ドラフト」、「将来」、「アクティブ」、または「クローズ」の各状況では、RFQ 要求をキャンセルできます。
- どの状況においても、要求を複製できます。
- RFQ 要求を送信すると、それは「アクティブ」または「将来」の状態になります。
- バイヤーは、以下のものを表示できます。
 - RFQ 要求のリスト

- RFQ 要求の詳細情報
- 特定の要求に対する RFQ 応答のリスト
- RFQ 応答の詳細情報

セラー

- RFQ 応答ウィザード
- 作成される RFQ 応答は、自動的にドラフト状況になります。RFQ の所有者が応答内の商品の置換を許可する場合、商品を RFQ 応答内で置換することができます。
- フリー・フォームのテキスト情報を、「一般」フォームでは注釈として概要レベルで、また、関連する応答フォームではバイヤーの「使用条件」および「商品コメント」への詳細応答として追加できます。
- RFQ 応答は、ドラフト状況でのみ変更できます。
- RFQ 応答の変更やキャンセルに先立つ確認作業を可能にするため、RFQ 応答を撤回済み状況にすることができます。
- RFQ 応答は、どの状況でもキャンセルできます。
- RFQ 応答を送信すると、それは以下のうちのいずれかの状態になります。
 - アクティブ状態
 - 承認保留中状態 (承認プロセスが有効の場合)
- セラー組織では、以下のものを表示できます。
 - RFQ 要求のリスト
 - RFQ 要求の詳細情報
 - 特定の要求に対する RFQ 応答のリスト
 - RFQ 応答の詳細情報

サイト管理者

- すべての RFQ 要求の確認および管理
- 通知プロセスの管理
- ToolTech
ToolTech は、RFQ 取引環境を作成する際に使用することになる一般的なページのほとんどを含む、サンプル e-コマース・サイトです。サンプル・サイトのページで作業を実行したりそれを変更することにより、RFQ 対応の独自のサイトを構築できます。ToolTech は、WebSphere Commerce に付属しており、samples (サンプル) ディレクトリーに入っています。
- RFQ 応答の承認
管理者は、応答を承認プロセスによって制御するかどうかを選択できます。
- アクセス制御
RFQ を含む WebSphere Commerce に対するデータベース管理、セキュリティ、およびアクセスを、特定の個人や組織だけに制限することができます。それらの制限は、サイト管理者が管理する一連のポリシーに基づいています。それらのアクティビティーには、たとえば、要求や応答を作成

する前にユーザーを登録すること、またそれらのユーザーに適切な役割を割り当てることなどがあります。たとえば、だれが応答を承認できるかを指定できます。

管理の準備作業

RFQ 取引メカニズムは、サイト管理者によって明示的に使用可能にされるのでない限り作動不能です。それらの作業の多くは、IT 技術者が既に実行している場合があります。プロセス全体の概要を示す説明を記載しますが、その作業を担当するユーザーについて、組織タイプと役割を括弧内に示します (組織: 役割)。RFQ が動作するためには、いくつかの準備作業が必要です。

- RFQ 取引メカニズムを使用可能にする (セラー: サイト管理者)
- RFQ 通知メッセージングを使用可能にする (セラー: サイト管理者)
- WebSphere Commerce Payments を可能にする (セラー: サイト管理者)
- 応答承認を実施するかどうかを決定する (セラー: サイト管理者)

RFQ 取引メカニズムを使用可能/使用不可にする (セラー: サイト管理者): RFQ 取引メカニズムを初めて使用する場合は、その前にそれを使用可能にする必要があります。そのためには、WebSphere Commerce インストール・プロセスの一部として作成された WC ディレクトリーにある SQL スクリプトを使用します。完全な詳細については、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『RFQ 取引メカニズムの使用可能化と使用不能化』を参照してください。

RFQ 通知メッセージングを使用可能にして管理する (セラー: サイト管理者): RFQ 通知メッセージは、RFQ ネゴシエーション中に発生する主要なイベントについて顧客に通知するために使用されます。完全な詳細については、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『RFQ 通知メッセージングの使用可能化』を参照してください。

ストアの発行 (セラー: サイト管理者): RFQ 要求および RFQ 応答の作成や表示を可能にするには、ToolTech サンプル・ストアを発行する必要があります。ストアの発行に関する詳細は、31 ページの『第 1 部: FashionFlow に基づいたストアの発行、および構成』または WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

ユーザー役割の割り当て (セラー: サイト管理者、バイヤー): セラーにおいてユーザーに役割を割り当てることができるのは、サイト管理者だけです。管理コンソールを使用してセラーの登録に関係したすべての作業を実行するのは、一般にサイト管理者です。役割について詳しくは、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『役割』とその関連トピックを参照してください。

応答承認を使用可能/使用不可にする (セラー: サイト管理者): RFQ 要求への応答が承認されるためには、関係のある承認者グループに組織を登録しておく必要があります。RFQ 応答承認が使用可能になっている場合、承認されることなく応答がバイヤーに送信されることはありません。

自分の組織の RFQ 応答承認を使用可能にするには、以下のようになります。

- IBM WebSphere Commerce 管理コンソールをオープンします。
- サイト管理者のユーザー ID とパスワードを入力します。

- 「**サイト**」を選択して、「**OK**」をクリックします。サイト管理コンソールが表示されます。
- 「アクセス管理」メニューで「**組織**」を選択します。e-コマース・ストアのメンバーとなっている組織のリストが表示されます。
- 「**デフォルトの組織 (Default Organization)**」を選択して、「**承認**」をクリックします。「承認」フォームが表示されます。
- 「**使用可能な承認**」テキスト・ボックスで「**RFQ 応答承認 (RFQ Response Approvals)**」を選択して、「**追加**」をクリックします。選択した承認プロセスが「**選択承認**」テキスト・ボックスに表示されます。
- 「**OK**」をクリックして処理完了です。「**組織**」ページに戻ります。

RFQ でオーダーが発行されることになる場合、WebSphere Commerce Payments を使用可能にする (セラー: サイト管理者):

WebSphere Commerce Payments は、セラーのためにインターネット決済のバックグラウンド詳細情報をすべて処理し、取引管理を簡単にするためのグラフィカル・インターフェースを提供します。WebSphere Commerce Payments について詳しくは、『ストアの WebSphere Commerce Payments のセットアップ』、および WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

RFQ 処理でオーダーが発行されるようにする場合には、WebSphere Commerce Payments やそれに類似のアプリケーションを使用可能にする必要があります。

RFQ の作成

顧客ベースを拡張する戦略的計画の一部として、インターネットへの拡張を含めることが、公のハードウェア・グループによって決定されています。WebSphere Commerce は、その試みの基礎となることでしょう。オンライン・ストアのパイロット・バージョンを作成する際には、運用可能なストアの基礎として ToolTech を使用できます。

新しい RFQ 要求の作成 (バイヤー: バイヤー (購買サイド))

希望のアイテムが見つかるまで、カタログをブラウズします。

1. リンクをクリックして、表示されたアイテムを新規 RFQ またはいずれかの既存の RFQ に追加します。
2. 「メイン・カテゴリー表示」ページの「**RFQ リスト**」リンクをクリックします。「RFQ」ページが表示されます。
3. 「**新規**」をクリックします。「一般」セクションが表示されます。

一般的な要求情報の指定: 「一般」セクションを使用することにより、名前と基本的な RFQ の記述情報を指定します。

1. 「RFQ 名」フィールドに RFQ 要求の名前を入力します。
2. 表示されるテキスト・ボックスに、RFQ に関する記述情報を入力します。
3. その RFQ の結果が契約になるのかオーダーになるのかを指定します。このチュートリアルでは、デフォルトの「オーダー」を使用します。
4. 応答受付期間を指定します。「開始日付」および「終了日付」は、バイヤーが応答を受け付ける期間を制限します。

添付の指定: 「添付」セクションを使用して、RFQ レベルで追加する必要のある添付をすべて指定します。

1. 「追加」をクリックします。表示されるテキスト・ボックスに添付テキストを入力します。
2. 「アップロード」をクリックして、添付ファイルをアップロードします。

使用条件の指定: 「使用条件」セクションは、特殊な要件や指示を指定するために使用します。

1. 「追加」をクリックします。表示されるテキスト・ボックスに条件文を入力します。
 2. 応答で仕様が必須であることを指定する。
 3. セラーからのカウンター・オファーを受け付けるかどうかを指定するには、「使用は変更可能」欄の該当するボタンを選択します。
- この条件を追加するには、「追加」をクリックします。

要求に含める商品の指定: この商品セクションでは、要求に含める商品を選択し、個別設定をします。

RFQ 要求に追加する商品の選択: 以下のいずれかを行えます。

- カタログから「商品の追加」をクリックして、カタログをブラウズすることによって希望のアイテムを見つけます。
- 「要求リストから商品を追加」をクリックして、要求リストにアイテムを追加します (このステップを実行するには、前もって要求リストを作成しておく必要があります)。
- カタログから希望のアイテムが見つからない場合、「オーダーメイド商品の追加」をクリックして、オーダーメイド・アイテムを追加します。
 1. 選択したアイテムが入った「商品」セクションが表示されます。
 2. 商品の価格、数量、および単位の情報を入力します。
 3. 追加した各商品ごとに、以下に示すステップを実行して、商品仕様とコメントを追加します。
 - a. 商品仕様を追加するには、選択された商品上で「仕様」をクリックします。「RFQ 商品仕様」ページが表示されます。このページでは、商品の仕様を確認したり、新しい仕様を追加したり、必要なら欲しい商品をもっと詳しく定義したりできます。このページでは、仕様を変更したり仕様を除去したりすることも可能です。
 - b. さらに仕様を追加するには、「仕様の追加」をクリックします。「新規の商品仕様」フォームが表示されます。このページでは、仕様を選択し、商品詳細情報を指定します。
 - c. 「仕様」フィールドから新しい仕様を選択します。
 - d. 「演算子」を選択して、該当する「値」と「単位」を入力します。
 - e. 必要に応じて、応答でその仕様が必須かどうか、およびセラーがそれを変更できるかどうかを指定するチェック・ボックスを選択します。
 - f. 「追加」をクリックします。「RFQ 商品仕様」ページが表示され、リストに追加された新しい仕様が示されます。
 - g. さらに仕様を追加するには、「仕様の追加」をクリックします。

- h. 「RFQ 変更」ページに戻るには、「RFQ を変更するために戻る」をクリックします。

コメントは、特殊な要件がある場合にそれを指定するために使用します。これを使用して、たとえば、すべてののこぎりに会社のネームを入れてもらうことなどを指定できます。

また、カタログにない商品をカタログにある商品とバンドルして購入したい場合に、その見積もりを依頼する場合にも使用できます。たとえば、特別な硬度の刃を装着したのこぎりを依頼することができます。

- a. コメントを追加するには、作業対象の商品で「コメント」をクリックして、要求に商品のコメントを追加します。「コメント」ページが表示されます。
 - b. さらに商品説明を追加するには、「コメントの追加」をクリックします。「新規のコメント」ページが表示されます。
 - c. 「タイプ」欄で情報のタイプを選択します。
 - d. コメントを入力します。
 - e. その仕様が必須かどうかを、「応答に必須の仕様」欄で指定します。
 - f. 仕様に変更可能かどうかを、「仕様は変更可能」欄で指定します。
 - g. さらにコメントを追加するには、「追加」をクリックします。
4. 「RFQ 変更」ページに戻るには、「RFQ を変更するために戻る」をクリックします。

新しい RFQ 要求の送信と表示 (バイヤー)

要求を送信すると、それはセラーに送られます。要求を送信するには、以下のようになります。

1. RFQ リスト・ページで、送信する要求を「RFQ 名」欄から検索します。
2. 「RFQ の送信」をクリックします。「RFQ リスト」ページが最新表示されて更新され、「開始日付」での指定に応じて、選択した要求の状況が「アクティブ」または「将来」になります。

状況	説明
アクティブ	RFQ 要求はセラーに送信され、応答を受け付け中です。
将来	RFQ は指定した開始日にアクティブになる予定であり、その日から応答の受け付けを開始します。

今処理した要求で「RFQ の要約」を選択します。「RFQ の要約」ページが表示されます。ここでは、RFQ の一般情報、添付、商品、および使用条件の情報が要約されています。商品名をクリックすると、その商品の詳細情報が表示されます。

RFQ 要求に対する新しい応答の作成 (セラー)

ここまでの、バイヤーからののこぎりに関する要求を受け取りました。次は、応答を作成して送信します。

重要: 使用条件や商品価格などの要求の特性が、バイヤー側で変更不可と指定されているなら、それに対して応答することはできません。そのような場合、「応答」ボタンは使用できない状態になっています。

応答を作成するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザー役割に応じて、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「セールス」->「RFQ」をクリックします。「RFQ」ページが表示されます。
3. 応答する要求を選択して、「応答」をクリックします。「一般」セクションが表示されます。

注: リストが長くて要求を簡単に見つけることができない場合には、「検索」をクリックして、検索機能を使用してください。

応答の一般情報: 「一般」セクションで、以下のようにします。

1. 「名前」フィールドに、応答の名前を入力します。
2. バイヤーの興味を引きそうな新製品の情報など、特別な情報を連絡するには、「注釈」テキスト・ボックスを使用します。
3. 配送センターを選択します。
4. 応答を受け入れたときにすべての商品を受け入れるかどうかを決定します。
5. 「次へ」をクリックします。「添付」ページが表示されます。

添付情報:

1. 「添付」ページを使用して、バイヤーの添付に対する応答を作成します。
2. 添付を追加する場合、ブラウザを使用して添付を選択します。「次へ」をクリックします。「使用条件」ページが表示されます。

使用条件の情報:

1. バイヤーの使用条件に対して応答を作成するには、「使用条件」ページを使用します。
2. バイヤーの条件をそのとおりに受け入れる場合は、「次へ」をクリックして、次のステップに進みます。「商品」ページが表示されます。
3. 応答にカウンター・オファーを含めるには、使用条件を選択して「応答」をクリックします。バイヤーの使用条件に対する応答を入力するためのテキスト・ボックスが表示されます。「OK」をクリックします。「使用条件」ページが更新され、バイヤーの使用条件に対する応答が表示されます。「次へ」をクリックして、「商品」ページに移動します。

商品: 「商品」ページは、商品 (代替商品)、商品の価格、数量、および単位、そして商品の仕様やコメントに応答するための基礎となるページです。

価格、数量、および単位の情報: バイヤーの指定した値が、応答のデフォルト値になります。リストの応答の部分に示されているバイヤーの提示した値を受け入れる場合には、それらを使用することになります。

価格、数量、または単位の値に応答するには、以下のようにします。

1. 商品を選択して「応答」をクリックします。「応答」フォームが表示されます。
2. 数量や価格について各フィールドで示されているデフォルト値を、カウンター・オファーで置き換えます。使用する単位を「単位」フィールドから選択します。
3. 「OK」をクリックします。「商品」ページが更新され、指定した応答値がリスト中の応答の部分に表示されます。

商品仕様: 商品仕様とは、1 つの商品またはサービスを他と異ならせる、その商品固有の特性のことです。たとえば、衣料品を説明する場合には、色や素材が仕様に適しています。

1. 商品を選択して、「仕様」をクリックします。その商品について説明する仕様が表示されます。「RFQ 商品仕様応答」ページが表示されます。
2. 表示されている仕様をそのまま受け入れる場合は、「OK」をクリックします。「商品」ページが表示されます。
3. 仕様リストに表示されている応答値のいずれかを変更するには、商品を選択してから「応答」をクリックします。「商品仕様」フォームが表示されます。

注: 「応答」ボタンが使用不可の場合は、仕様値に対する変更を受け入れないことをバイヤーが指定しています。

4. 「演算子」フィールドで、新しい演算子を選択します。
5. 「値」フィールドに新しい値を入力します。
6. 「単位」フィールドで新しい単位を選択します。
7. 「OK」をクリックします。「RFQ 商品仕様応答」ページが更新され、指定した応答が表示されます。
8. 仕様応答が完成したら、「OK」をクリックします。「商品」ページが表示されます。

コメント: 商品コメントは、既存の画面で指定できない情報を指定するためのものです。たとえば、バイヤーがシャツをオーダーする場合に、カタログには、素材、色、およびサイズの仕様しか示されていないことがあります。バイヤーがボタンの数を指定したいと思っても、そのような仕様は存在しないため、それは「コメント」ボックスに入力することになります。

コメント機能は、カタログにない商品をオーダーする場合にも使用できます。たとえば、パンツを取り扱っていない場合でも、バイヤーは、オーダーしたシャツに合うパンツの見積もりを依頼するかもしれません。

1. 「コメント」をクリックすると、バイヤーの商品コメントが表示されます。「商品コメント」ページが表示されます。表示されているコメントをそのまま受け入れる場合は、「OK」をクリックします。
2. コメントに回答する場合には、コメントを選択して「応答」をクリックします。テキスト・ボックスが表示されます。
3. 回答を入力して「OK」をクリックします。「商品コメント」ページが更新され、入力した回答が表示されます。
4. コメントへの回答が終了したなら、「OK」をクリックします。「商品」ページが表示されます。
5. 「終了」をクリックします。回答が正常に作成されたことを示すダイアログ・ボックスが表示されます。そのボックスの「OK」をクリックします。「RFQ」ページが表示されます。

注: 「RFQ 応答」ページの「新規」ボタンをクリックして回答の作成を開始した場合、「RFQ」ページではなくこのページに戻ることになります。

回答を作成する際、商品を置換することもできます。詳しくは、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『RFQ 応答の商品の置換』を参照してください。

新しい RFQ 応答の送信および表示 (セラー)

応答を送信すると、それはバイヤーに送信されて評価されることになります。要求を送信するには、以下のようにします。

1. 「RFQ」ページで、送信する要求を「RFQ 名」欄から選択して、「応答」をクリックします。「RFQ 応答 (response name)」ページが表示されます。既に「RFQ 応答」ページが表示されている場合には、ステップ 2 に進んでください。
2. バイヤーに送信する応答を選択して、「送信」をクリックします。ページが更新され、RFQ 承認が使用可能かどうかに応じて、応答の状況が「アクティブ」または「承認保留中」に変わります。
3. 今処理した要求を選択して、「要約」をクリックします。「RFQ の要約」ページが表示されます。ここでは、RFQ の一般情報、期間、添付、商品、および使用条件の情報が要約されています。商品名をクリックすると、その商品の詳細情報が表示されます。

状況	説明
アクティブ	1) RFQ 承認は使用不可であり、RFQ 応答は直接バイヤーに送信されて評価された状態。 2) RFQ 承認は以前に使用可能になっており、応答は承認されてバイヤーに送信された状態。
承認保留中	RFQ 承認は使用可能になっており、応答は承認者による確認を待っている状態です。承認されたら、バイヤーに送信されます。

商品説明仕様の処理 (セラー)

カタログ内の商品説明を変更する必要はよく生じます。そのために、商品固有の属性を説明する仕様の、追加、削除、または変更が必要になる場合がよくあります。

注: 個人情報設定属性のリストに変更を加える際には、十分に注意してください。組織内の他のユーザーが実行しているネゴシエーションに影響を与えてしまう可能性があります。

商品仕様リストに変更を加えるには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザー役割に応じて、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「セールス」->「個人情報設定属性」をクリックします。「個人情報設定属性」ページが表示されます。そこには、商品の説明に使用できるすべての属性 (仕様) が含まれています。

個人情報属性について詳しくは、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

RFQ 要求のクローズ (バイヤー)

RFQ がクローズされない限り、応答を受け入れたり拒否したりすることはできません。

RFQ がクローズされると、それに対する応答は受け付けられなくなります。通常は WebSphere Commerce スケジューラーが、RFQ をクローズします。このスケジューラーは、RFQ の終了時刻を定期的に現在時刻と比較して確認します。RFQ 終了時刻になると、その RFQ はクローズされます。

このチュートリアルでは、以下の手順に従って手動で RFQ 要求をクローズしてください。

- ブラウザーを使用して、ストア発行時に記録しておいた URL にある ToolTech のログオン・ページを表示します。通常、発行済みストアの URL の形式は、`https://your_hostname/webapp/wcs/stores/servlet/store_name/index.jsp` のようになります。ここで、`your_hostname` は WebSphere Commerce サーバーの名前、および `store_name` は発行済みストアの名前です。このチュートリアルの場合、ストア名は **ToolTech** です。
1. ToolTech ユーザー ID とパスワードを入力して、「送信」をクリックします。「メイン・カテゴリー表示」ページが表示されます。
 2. 「ToolTech RFQ リスト (ToolTech RFQ list)」ページから、選択された RFQ 上で「RFQ のクローズ」をクリックします。「RFQ リスト」ページはが更新され、選択した RFQ の状況が「クローズ」になります。

応答の評価 (バイヤー: バイヤー (購買サイド))

応答を受け入れたり拒否したりする前にそれを確認するには、以下のようにします。

1. ToolTech のホーム・ページで「RFQ リスト」をクリックします。「RFQ リスト」ページが表示されます。
2. RFQ 上で「RFQ 応答のリスト」をクリックします。「RFQ 応答 (*response name*)」ページが表示されます。表示されるリストには、そのセラーから受け取ったすべての応答が含まれています。
3. 確認したい、選択された応答の名前をクリックします。「応答要約」ページが表示されます。このページには、「一般」、「使用条件」、「添付」、および「商品」の各ページの情報が要約されています。
4. いずれかの商品名をクリックすると、条件や仕様に関するその商品の詳細情報が表示されます。「商品: *product name*」ページが表示されます。これには、選択された特定のアイテム (SKU) に関する詳細情報が含まれています。
5. 確認が終わったら「OK」をクリックします。「RFQ 応答 (*response name*)」ページが表示されます。

RFQ の落札者の選択 (バイヤー)

RFQ 応答を評価したら、落札者を選択できます。複数の応答がある場合、複数の落札者を選択することができます。これは、そのセラー内のさまざまな部署から、RFQ 内のそれぞれ異なる商品に対して応答があった場合に生じることがあります。購買側が落札者を選択すると、その後、セラーは応答の結果を見ることができるようになります。

RFQ の落札者を選択するには、以下のようにします。

1. ToolTech のホーム・ページで「RFQ リスト」をクリックします。「RFQ リスト」ページが表示されます。

2. RFQ 上で「**RFQ 応答のリスト**」をクリックします。「RFQ 応答 (*response name*)」ページが表示されます。表示されるリストには、そのセラーから受け取ったすべての応答が含まれています。
3. 受け入れるまたは拒否する応答を選択します。
4. 決定結果に応じて、「**受諾**」または「**拒否**」をクリックします。評価結果に応じて、応答状況「**評価中**」が「**落札**」または「**落札失敗**」になります。

RFQ 要求の完了 (バイヤー)

落札者の選択後、RFQ が契約処理またはオーダー処理に入るためには、その RFQ を完了する必要があります。

RFQ を完了するには、以下のようにします。

1. ToolTech ホーム・ページから「**RFQ リスト**」をクリックして、「RFQ リスト」ページにナビゲートします。「RFQ リスト」ページが表示されます。
2. 完了する RFQ で「**RFQ の完了**」をクリックします。「**落札応答**」ページが表示されます。このページは、配送、請求、および支払いの各情報をセラーに提供するための元になるページです。その情報は、必ず指定する必要があります。

配送、請求、および支払いの各情報の指定: 配送、請求、および支払いの情報は、落札応答の「RFQ 応答のオーダーへの変換」ページに入力されます。適切な情報を入力し、「**OK**」をクリックします。

組織のロゴの追加

ToolTech のヘッダーには、組織のロゴを追加できます。そのためには、ストアを発行する前に、`businessaccount.xml` ファイルの中の URL を、使用するロゴの URL に置き換えます。

組織のロゴを追加するには、`businessaccount.xml` ファイルの中の URL を、使用するロゴの URL に置き換えます。

```
<TermCondition>
<DisplayCustomizationTC sequenceNumber = "1">
<DisplayLogo>
<Attachment URL = "images/logoAccountA.gif" />
</DisplayLogo>
</DisplayCustomizationTC>
</TermCondition>
```

`images/logoAccountA.gif` の部分が、使用するロゴの URL を置く場所を表しています。

第 5 部 デマンド・チェーン・サンプル (Commerce プラザ)

Business WebSphere Commerce は、デマンド・チェーン・ビジネス・モデルのサンプルを提供しています。この部分には、以下の情報が含まれています。

- デマンド・チェーン・サンプルの情報
- Commerce プラザの概要およびセットアップの情報
- Commerce プラザ・チュートリアル

第 14 章 デマンド・チェーン・サンプル・ストア・アーカイブ

バリュー・チェーンには、デマンド・チェーンとサプライ・チェーンという 2 つのビジネス・モデルがあります。

デマンド・チェーン・ビジネス・モデルのサンプルには、Commerce プラザ・サイト、カタログ資産ストア、販売店資産ストア、ディストリビューター・プロキシ・ストア、およびディストリビューター資産ストアが含まれます。販売店は、Commerce プラザを使用して、ショッピング・カートからディストリビューターに転送することができます。購入のプロセスにおいて、販売店はこのサイトを使用して、興味のある商品の価格および商品状況をディストリビューターから要求することができます。

デマンド・チェーン・ストア・アーカイブとアクセス制御

ここでは、サンプルのセットアップの 3 つの段階 (インスタンスの作成、SAR の発行、動的エンティティ) で作成される組織および役割について説明します。

組織構造およびインスタンスの作成

顧客またはバイヤーがサイトにアクセスし、カタログをブラウズし、オーダーを発行できるようにする場合、あるいは従業員がサイトを管理できるようにする場合 (カタログの更新、新規販売促進の作成、オーダーの管理を含む)、あるいは販売店または他のビジネス・パートナーがサイト上の取引を完了できるようにする場合は、ビジネス・シナリオ内のすべての実行者に、WebSphere Commerce 組織構造での立場を割り当てる必要があります。

WebSphere Commerce 組織構造は、ビジネス・シナリオ内の実行者 (つまりエンティティ) にフレームワークを提供します。このフレームワークは、階層構造に編成されていて、組織、組織単位、およびユーザー用のエントリが含まれている典型的な組織階層に似ています。フレームワーク内の組織および組織単位は、ビジネスの各部の所有者としての役割を果たします。顧客、管理者、ストア、カタログ、およびディストリビューターを含むビジネスのすべての部分は、組織または組織単位に所有されている必要があります。

アクセス制御モデルは、アクセス制御ポリシーをさまざまなエンティティ (ストア、顧客、管理者など) ではなく組織に適用するため、組織構造とアクセス制御モデルは密接に関連しています。あるエンティティ (またはリソース) に適用されるポリシーは、そのエンティティまたはリソースを所有する組織に適用されます。

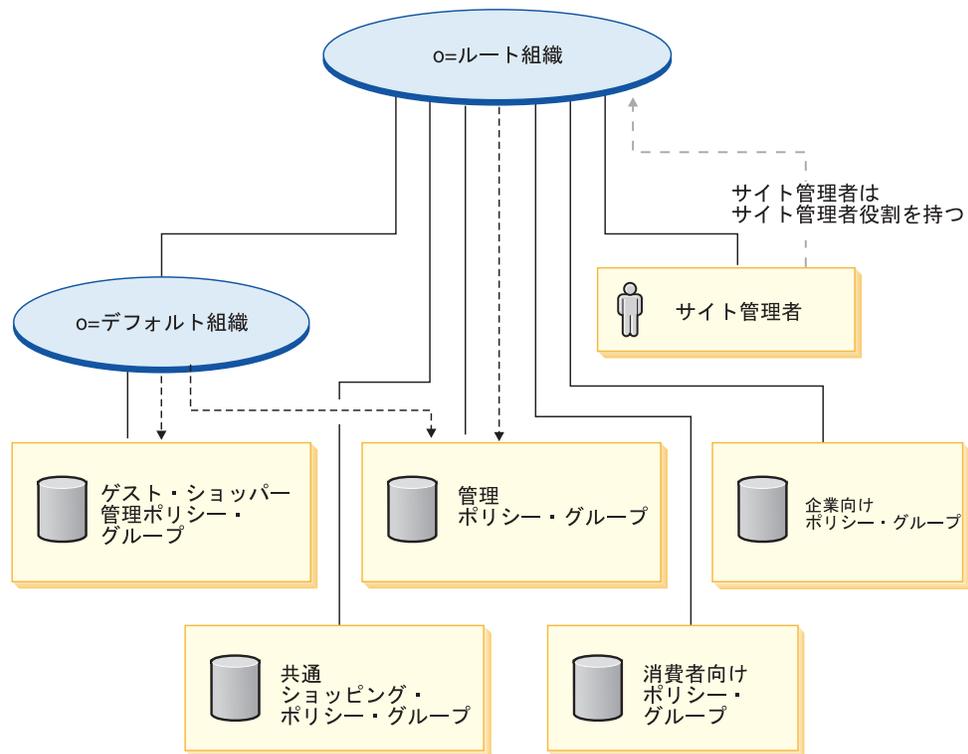
次の図は、アクセス制御が適用された WebSphere Commerce の基本組織構造を示しています。

- **ルート組織:** ルート組織は最上位の組織で、この組織自体の親でもあります。WebSphere Commerce 組織構造内のすべての組織は、ルート組織の子孫です。この例では、サイト管理者は、ルート組織によって所有されています。
- **デフォルト組織:** デフォルト組織は、ルートの下にあります。すべてのゲスト顧客と消費者向けビジネスのすべての顧客は、デフォルト組織に属します。

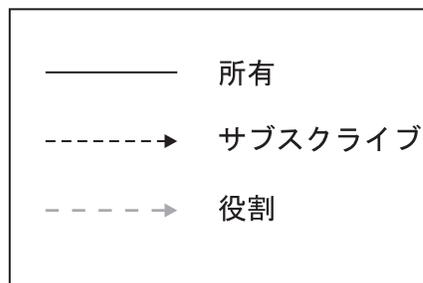
- **子組織エンティティ**：親組織エンティティの下に 1 つ以上のレベルの組織エンティティが存在できます。子組織エンティティは、ビジネスをサポートするのに必要な数だけ追加できます。

WebSphere Commerce アクセス制御構造は非常に柔軟で、サポートされるビジネス・モデルのすべてのエンティティをサポートできます。インスタンスの作成中に作成されるのは、ルート組織とデフォルト組織だけです。基本アクセス制御構造は、ビジネス・モデルとは関係なく、インスタンスの作成中にインストールされます。

基本アクセス制御



凡例



ルート組織は、以下のデフォルト・ポリシー・グループを所有します。

- 管理
- 共通ショッピング
- 消費者向け
- 企業向け

デフォルト組織は、以下のデフォルト・ポリシー・グループを所有します。

- ゲスト・ショッパー管理

ただし、ルート組織は、管理ポリシー・グループだけにサブスクライブします。このポリシー・グループのポリシーは、このルートおよびルートの子孫（ポリシー・グループにサブスクライブする子孫は除く）が所有するすべてのリソースに適用されます。デフォルト組織はポリシー・グループにサブスクライブしているので、ルート組織のポリシーは継承されません。デフォルト組織については、管理ポリシー・グループおよびゲスト・ショッパー管理ポリシー・グループのポリシーは、デフォルト組織が所有するすべてのリソースにも適用されます。

デフォルト・ポリシー・グループの詳細は、「*IBM WebSphere Commerce セキュリティ・ガイド*」の付録を参照してください。

デマンド・チェーン

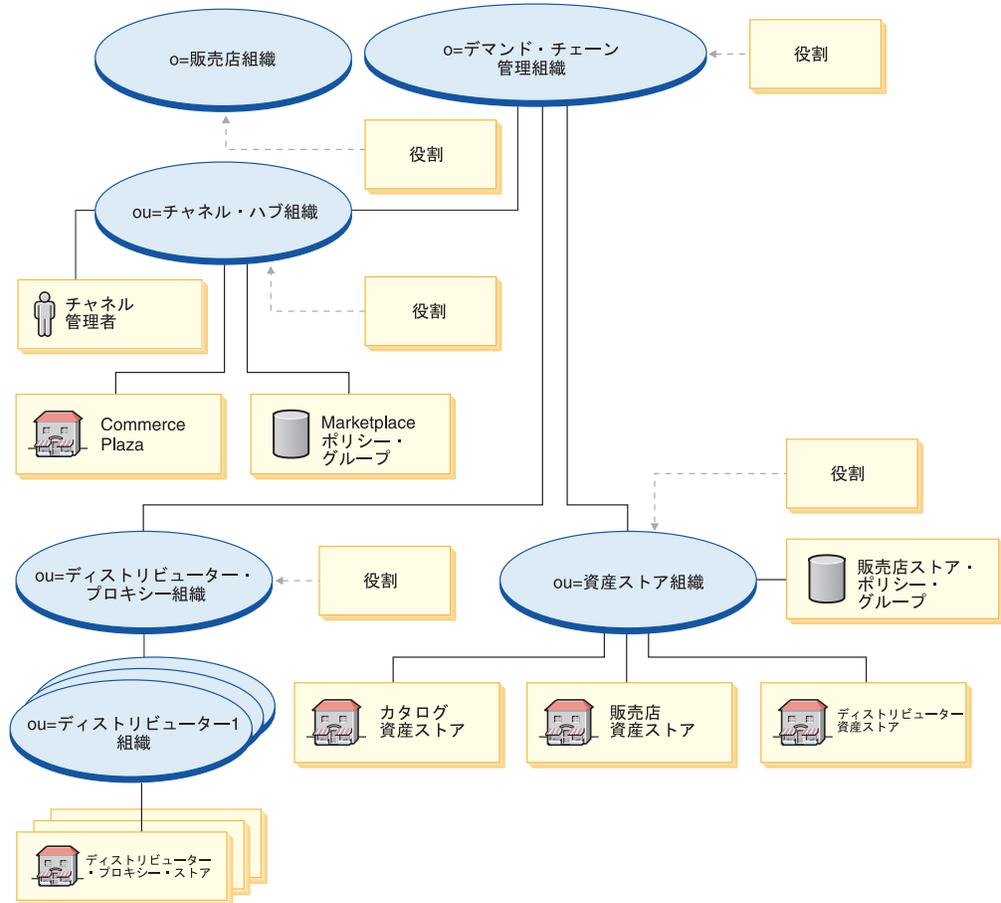
以下の SAR ファイルはデマンド・チェーン・ビジネス・モデルと関連付けられています。

表 12. デマンド・チェーン

ストア・アーカイブの名前	説明
DemandChain.sar	複合サンプル・ストア・アーカイブには、販売店チャンネル管理環境を作成するための、組織構造、事前定義ユーザー役割、および必要なアクセス制御ポリシーとポリシー・グループ・サブスクリプションが入っています。さらに、販売店チャンネル環境ソリューションを作成するために必要な資産が入っており、これにはチャンネル・サイト、共用カタログ、および販売店とディストリビューター・ストアが含まれます。
DemandChainOrganizationStructure.sar	サンプル・ストア・アーカイブには、販売店チャンネル管理環境を作成するための、組織構造、事前定義ユーザー役割が入っています。
ChannelHub.sar	サンプル・ストア・アーカイブには、ハブ・サイトを作成するためのすべての必要な資産が入っています。
CatalogAssetStore.sar	サンプル・ストア・アーカイブには、共用カタログを作成するためのすべての必要な資産が入っています。
ResellerStorefrontAssetStore.sar	販売店ストアフロントを作成するためのすべての必要な資産が入っています。
DistributorProxyOrganizationStructure.sar	サンプル・ストア・アーカイブには、ディストリビューター・プロキシ・ストア用のトップレベル組織構造を作成するための、組織構造、事前定義ユーザー役割が入っています。
DistributorAssetStore.sar	ディストリビューター・プロキシ・ストアをサポートするためのすべての必要な資産が入っています。

組織での役割は、組織内でユーザーが果たすことのできる役割を示しています。役割について詳しくは、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

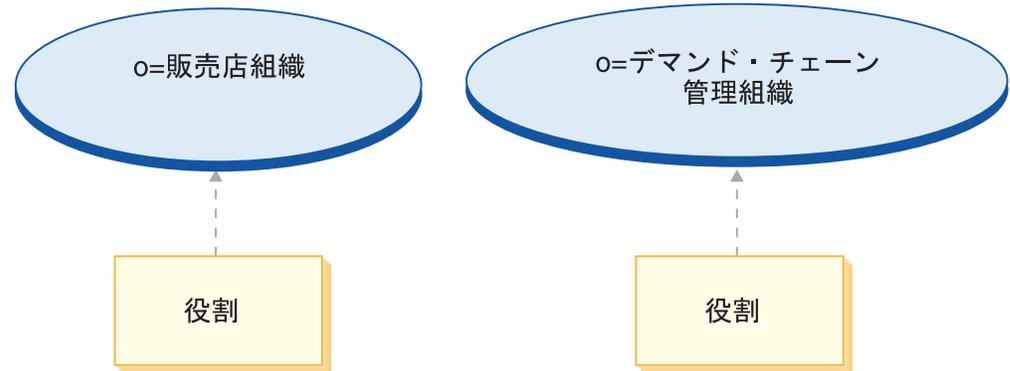
DemandChain.sar の内容



- 販売店組織および役割: セラー、マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリ・マネージャー、セラー管理者、チャンネル・マネージャー、登録済み顧客
- メーカー組織および役割: セラー、マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリ・マネージャー、セラー管理者、チャンネル・マネージャー、登録済み顧客
- Commerce プラザ組織および役割: セラー、マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリ・マネージャー、セラー管理者、チャンネル・マネージャー、登録済み顧客
- Commerce プラザ
- ディストリビューター・プロキシ組織および役割: チャンネル・マネージャー、登録済み顧客
- 3つのディストリビューター組織
- 資産ストア組織および役割: マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリ・マネージャー、チャンネル・マネージャー
- カタログ資産ストア

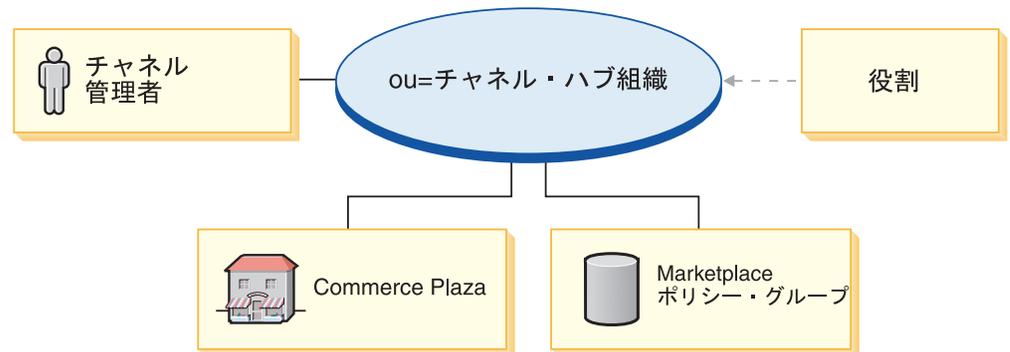
- ディストリビューター資産ストア
- 販売店資産ストア
- ポリシー・グループ -- MarketPlace ポリシー・グループ、FashionFlow ポリシー・グループ
- チャンネル管理者

DemandChainOrganizationStructure.sar の内容



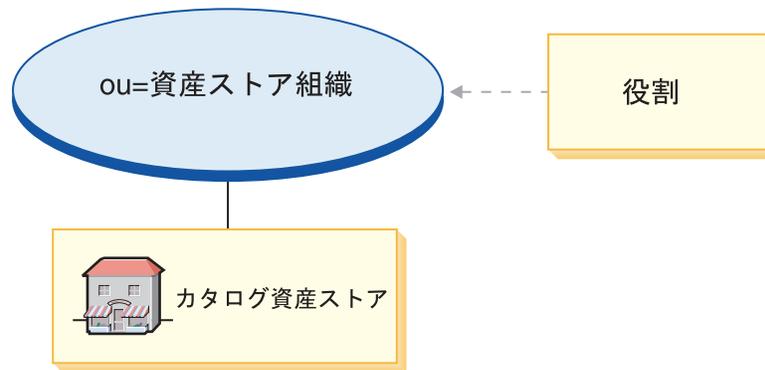
- デマンド・チェーン組織および役割: セラー、マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、セラー管理者、チャンネル・マネージャー、登録済み顧客
- メーカー組織および役割: セラー、マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、セラー管理者、チャンネル・マネージャー、登録済み顧客

ChannelHub.sar の内容



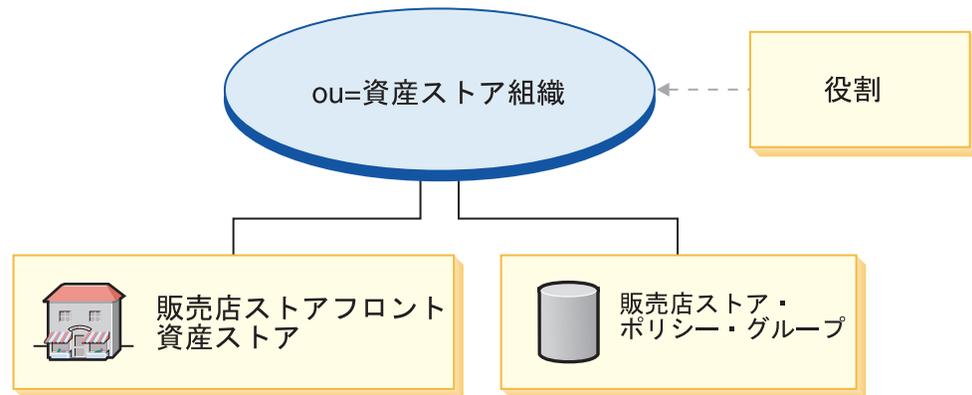
- チャンネル・ハブ組織および役割: セラー、マーケティング・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、セラー管理者、チャンネル・マネージャー、登録済み顧客
- ディストリビューター・プロキシ組織および役割: チャンネル・マネージャー、登録済み顧客
- 資産ストア組織および役割: マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、チャンネル・マネージャー
- Commerce プラザ
- MarketPlace ポリシー・グループ
- チャンネル管理者

CatalogAssetStore.sar の内容



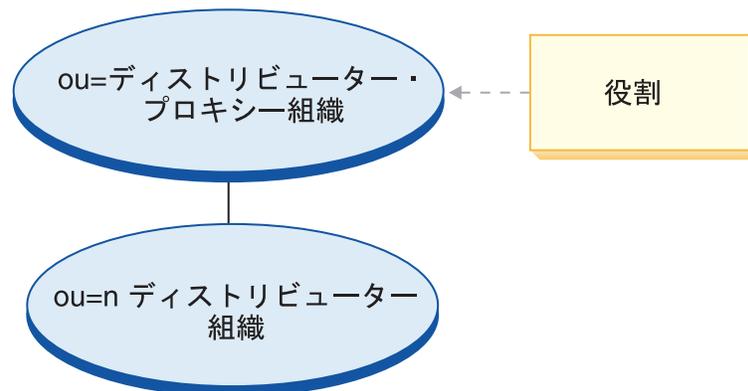
- 資産ストア組織および役割: マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、チャンネル・マネージャー
- カatalog資産ストア

ResellerStorefrontAssetStore.sar の内容



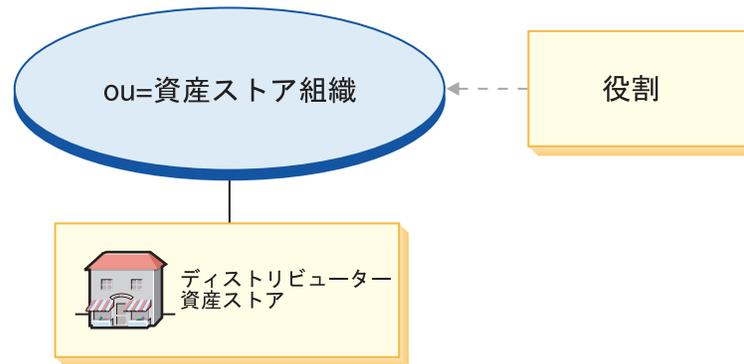
- 資産ストア組織および役割: マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、チャンネル・マネージャー
- 販売店資産ストア
- 消費者向け販売店プロフィール・ポリシー・グループ

DistributorProxyOrganizationStructure.sar の内容



- ディストリビューター・プロキシ組織および役割: チャンネル・マネージャー、登録済み顧客
- Distributor1 組織
- Distributor2 組織
- Distributor3 組織

DistributorAssetStore.sar の内容

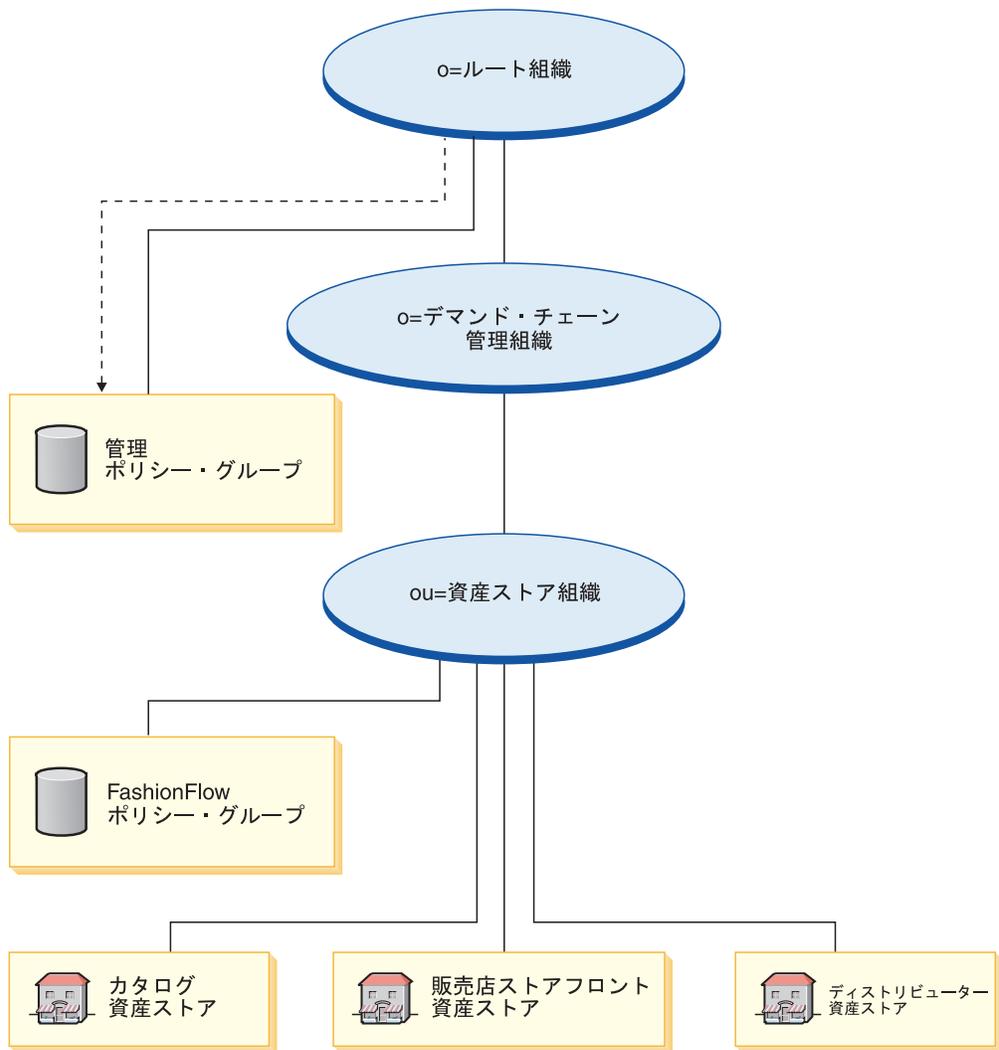


- 資産ストア組織および役割: マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、チャンネル・マネージャー
- ディストリビューター資産ストア

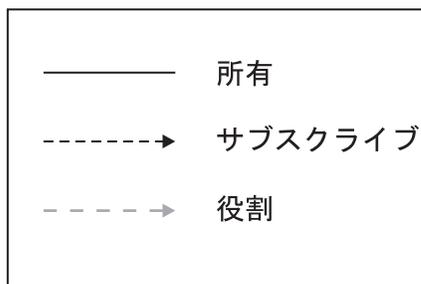
SAR のデプロイメント

このセクションは、DemandChain.sar をインスタンスにデプロイする方法について説明します。このデプロイメントの一環としてセットアップされる、ポリシー・サブ

スクリプションとアクセス制御役割についても説明します。

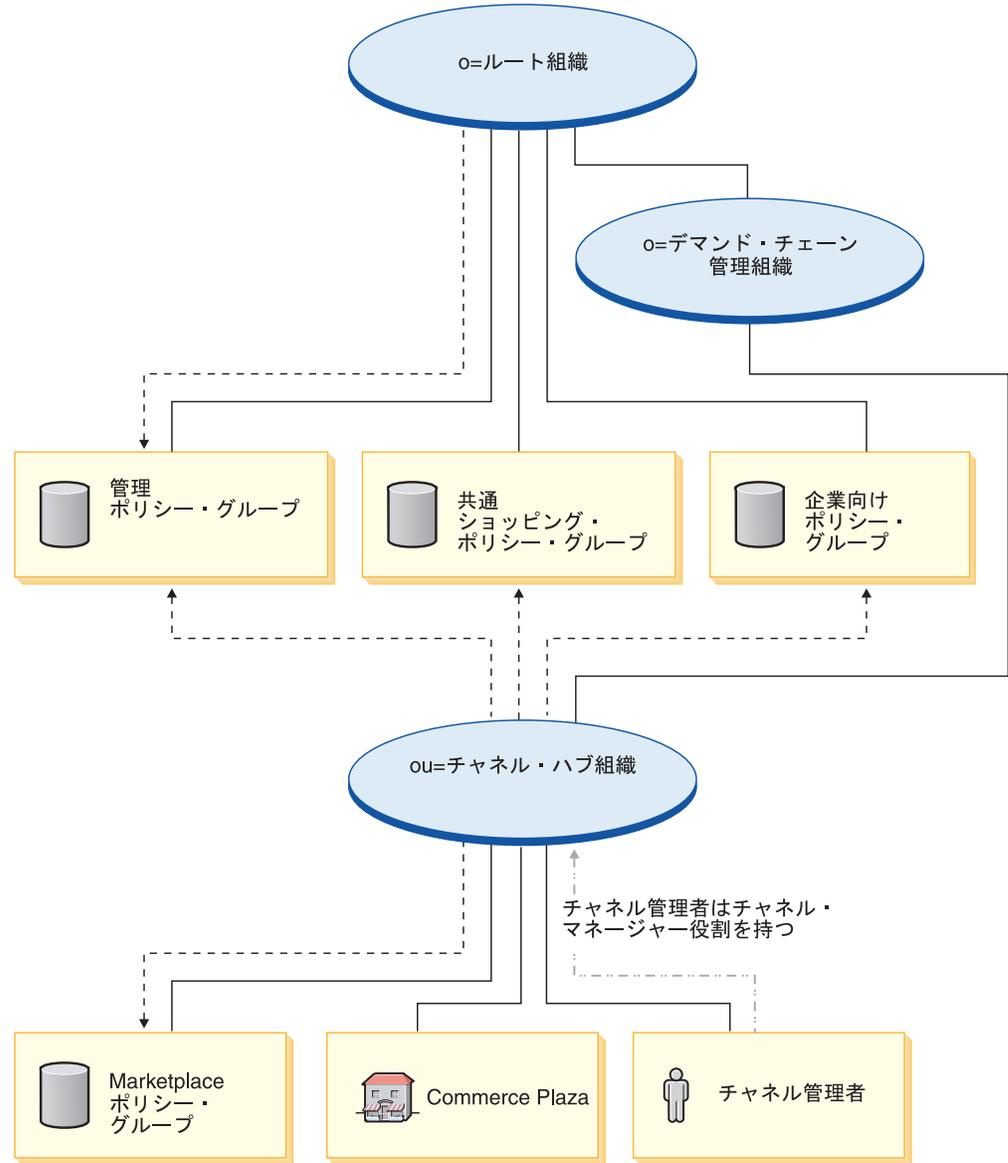


凡例

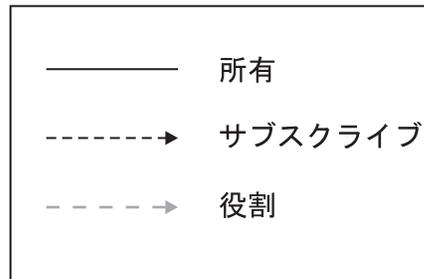


資産ストア組織は、どのポリシー・グループにも直接サブスクリプションしません。そのため、ルート組織から管理ポリシー・グループを継承します。これらのポリシーは、資産ストア組織と資産ストア組織が所有する資産ストアに適用されます。資産ストア組織は FashionFlow ポリシー・グループを所有しますが、このグループにサブスクリプションしません。

注: 販売店ストアが作成されると、販売店消費者向け組織は個別に FashionFlow ポリシー・グループにサブスクライブします。



凡例

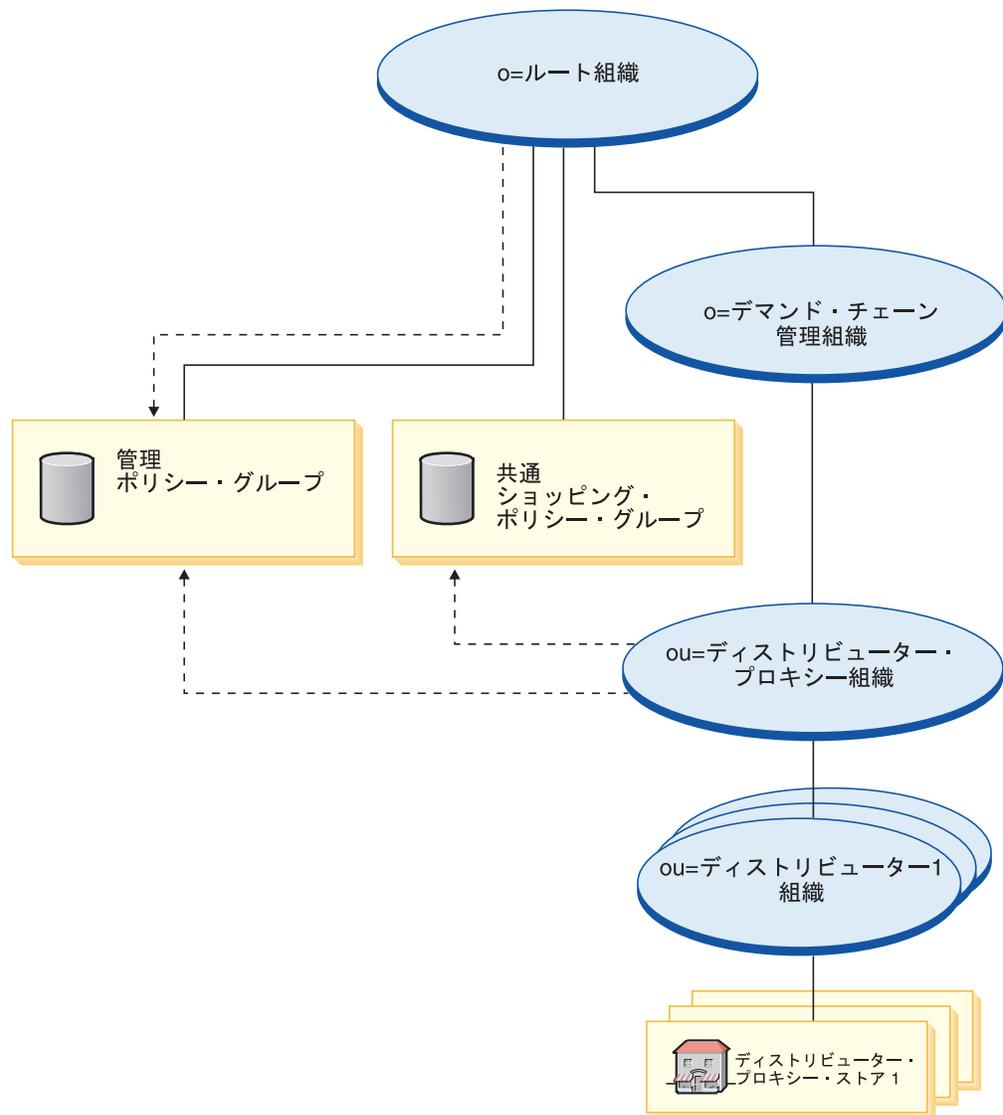


チャンネル・ハブ組織は、管理ポリシー・グループ、共通ショッピング・ポリシー・グループ、企業向けポリシー・グループに直接サブスクライブし、Marketplace ポリシー・グループを所有してそこにサブスクライブします。そのため、これらのポ

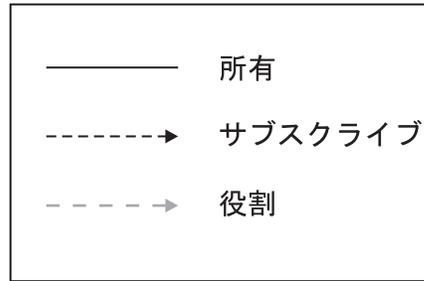
リシーは、チャンネル・ハブ (Commerce プラザ) だけでなく、チャンネル・ハブ組織に直接属するチャンネル管理者にも適用されます。

Marketplace ポリシー・グループには、以下のポリシーが入っています。

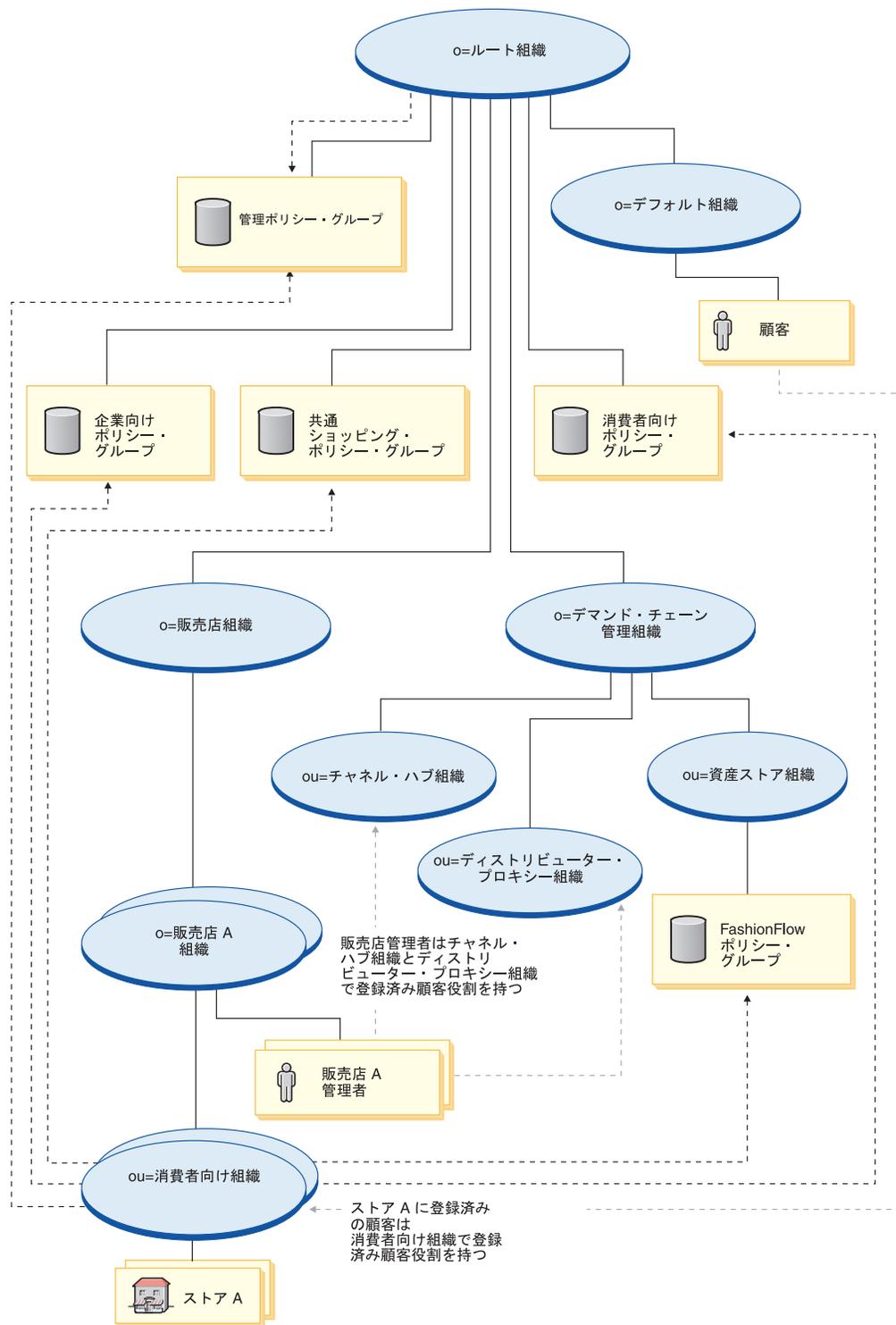
- AllUsersExecuteMarketplaceAllUserViews
- RegisteredCustomersForOrgExecuteMarketplaceRegisteredCustomerViews
- ContractAdministratorsForChannelOrgExecuteCreateCommandsOnMemberResource
- ContractAdministratorsForChannelOrgExecuteContractDeployCommandsOnContractResource
- ContractAdministratorsForChannelOrgDisplayContractDatabaseanResourceGroup



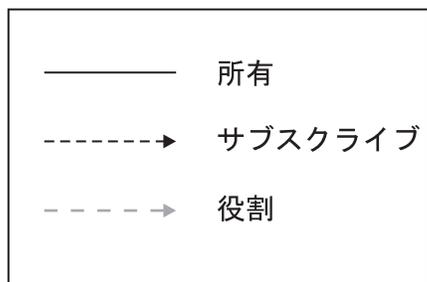
凡例



ディストリビューター・プロキシ組織は、管理ポリシー・グループと共通ショッピング・ポリシー・グループにサブスクライブします。そのため、これらのポリシーは、ディストリビューター・プロキシ組織に直接属するディストリビューター組織に適用されます。



凡例



販売店組織は、どのポリシー・グループにも直接サブスクライブしません。そのため、ルート組織から管理ポリシー・グループを継承します。これらのポリシーは、販売店組織、それが所有する販売店 A 組織、および販売店 A 管理者に適用されます。

消費者向け組織は、管理ポリシー・グループ、共通ショッピング・ポリシー・グループ、消費者向けポリシー・グループ、企業向けポリシー・グループ、および FashionFlow ポリシー・グループに直接サブスクライブします。これらのポリシーは、消費者向け組織が所有するすべてのストアに適用されます。

動的に作成される役割

顧客は、登録先のホストされるストアを所有する組織 (たとえば ou = 消費者向け組織) 内で、登録済み顧客 の役割が与えられます。

新規販売店を登録すると、以下の役割が割り当てられます。

- 新規販売店組織には、セラー、セラー管理者、登録済み顧客の役割が付与されます。
- 新規販売店組織について作成された管理者には、新規販売店組織の登録済み顧客、セラー、セラー管理者、および販売店ハブ組織単位およびディストリビューター・プロキシ組織の登録済み顧客の役割が付与されます。

この情報は、MemberRegistrationAttributes.xml ファイルから取られています。詳しくは、4 ページの『役割と MemberRegistrationAttributes XML ファイル』、または WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

第 15 章 デマンド・チェーン・サンプル・ストア (Commerce プラザ) 概要

バリュー・チェーンには、デマンド・チェーンとサプライ・チェーンという 2 つのビジネス・モデルがあります。Commerce プラザ・サンプルはデマンド・チェーンの一部です。

デマンド・チェーン

デマンド・チェーン・ビジネス・モデルのサンプルには、Commerce プラザ・サイト、カタログ資産ストア、販売店資産ストア、およびディストリビューター・プロキシ・ストアが含まれます。Commerce プラザを使用すると、そのショッピング・カートはディストリビューター・サイトに転送することにより、販売店はディストリビューターから商品を直接購入できます。購入のプロセスにおいて、販売店はこのサイトを使用して、興味のある商品の価格および商品状況の見積もりをディストリビューターから要求することができます。フィーチャーには以下のものがあります。

- メーカーまたはディストリビューター・カタログをナビゲートする。
- リモート・ディストリビューターからリアルタイムの価格および商品状況を入手する。
- 見積もりとショッピング・カートの転送を行うために、ディストリビューターのサブセットを選択する。
- お気に入りリストを作成し、そのリストにアイテムを追加する。
- オーダーを発行する (アイテムをショッピング・カートに入れ、価格および商品状況を要求し、オーダーをディストリビューターに割り当て、カートはディストリビューター・サイトに転送し、ディストリビューター・サイトでチェックアウトする)。
- カートを保管する (アイテムをショッピング・カートに入れ、価格および商品状況を要求し、それを保管する)。
- ディストリビューター・サイトに直接リンクして、オーダー処理を完成させる。
- 保管したカートからオーダーを発行する (保管したカートを開き、価格および商品状況を要求し、オーダーをディストリビューターに割り当て、カートはディストリビューター・サイトに転送し、ディストリビューター・サイトでチェックアウトする)。
- 完全に転送されたオーダーのオーダー状況を確認する

さらに Commerce プラザは、販売店用のセルフ・プロビジョニング・ツールを提供します。

- 新規販売店組織を登録する
- アカウント情報を編集する
- 「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」でストアを作成する
- ホストされるストアの管理
- 組織の管理

Commerce プラザでは、稼働中のデマンド・チェーン・オンライン・ストアに必要なすべてのページとフィーチャーを提供します。Commerce プラザは、ストア・アーカイブとして (複合として: DemandChain.sar) WebSphere Commerce に付属しています。WebSphere Commerce Server にストア・アーカイブを発行することによって、実動ストアを作成できるようになります。

WebSphere Commerce Business Edition では、サンプル・ストア・アーカイブ・ファイルは、カタログまたはストアフロントを作成するストア資産の集合だけでなく、ストアまたはサイトの環境を作成するために必要な組織構造、事前定義ユーザー役割、およびアクセス制御ポリシーをパッケージして配布するためにも使用されます。実動ストアを作成するために、複合ストア・アーカイブの 1 つを発行する必要があります。さらに、実動ストアを発行するために一連のコンポーネント・ストア・アーカイブを発行することもできます。ストアは管理コンソールから発行されます。「サイト」を選択し、「ストア・アーカイブ」メニューから「発行」を選択することにより、サイト管理者のみがストア・アーカイブを発行できます。発行可能なストア・アーカイブがリストされた「ストア・アーカイブ」ページが表示されます。デフォルトでは、複合ストア・アーカイブを示すページが表示されます。ストア・アーカイブの発行について詳しくは、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの発行についての説明を参照してください。

WebSphere Commerce でのストアの作成は、サンプル・ストア・アーカイブの選択とその変更に基づくため、Commerce プラザは作成するストアの基礎となるように設計されています。これは一般的なショッピング・フローに基づいています。サンプル・ストア・ページはカスタマイズできます。すべての Commerce プラザのサンプル・ストア・ページは、JavaServer Pages です。HTML、Java、および JavaScript がこうしたページに含まれます。JSP ファイルは、キャッシュ可能です。

第 16 章 Commerce プラザに基づいてストアを作成する

第 1 部: Commerce プラザに基づいたストアの発行および構成

Commerce プラザ・サンプル・ストアを使用してストアを作成するには、それを発行する必要があります。その後オプションで、それを構成することができます。サンプルの発行および構成の方法については、31 ページの『第 1 部: FashionFlow に基づいたストアの発行、および構成』の『管理コンソールを使用したストアの発行』、および『WebSphere Commerce アクセラレーターを使用したストアの構成』を参照してください。その際、必要に応じて FashionFlow を Commerce プラザと読み替えてください。

第 2 部: ディストリビューター・サービス契約のインポート

販売店サービス契約をインポートすると、ディストリビューター・サービス契約がローカル・クライアントから WebSphere Commerce Server に XML 形式でアップロードされ、サービス契約が WebSphere Commerce でデプロイされます。これらが正常にインポートされない場合、ストアは正しく機能しません。

ディストリビューター・サービス契約をインポートするには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce がご使用のマシン、または WebSphere Commerce マシンと同じネットワーク上にあるクライアント・マシンにインストールされている場合、ブラウザで以下の Web アドレスにアクセスします。

`https://hostname:8000/accelerator`

hostname は、WebSphere Commerce Server の完全修飾 HTTP ホスト名です。

2. 以下のようにして、WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。
 - a. 「ログオン」ページで、WebSphere Commerce アクセラレーターのログオン・ユーザー名とパスワードを入力します。
 - b. 「ストア情報の選択」ページの「名前」ドロップダウン・リストから、「Commerce プラザ」を選択します。
 - c. 「言語」ドロップダウン・リストから、ストアを管理するための言語を選択します。
 - d. 配送義務を持つ役割が割り当てられている場合、「実行センター」ドロップダウン・リストから、ストアに関連付けられている実行センターの名前を選択します。
 - e. 「OK」をクリックします。WebSphere Commerce アクセラレーター・ホーム・ページが表示されます。ユーザー役割に応じて、1 つ以上のメニューが表示されます。
3. 「チャンネル (Channel)」メニューで、「ディストリビューター (Distributors)」をクリックします。「ディストリビューター」ページが表示されます。
4. 「新規」をクリックします。「インポート」ページが表示されます。

5. 「ブラウズ」をクリックして、ディレクトリー `wc_installdir/samplestores/DistributorContracts` にナビゲートします。
6. 「インポート」をクリックして、以下のディストリビューター・サービス契約をインポートします。以下の 3 つの XML ファイルのインポートが完了するまで、上記のステップを繰り返してください。
 - Distributor1.xml
 - Distributor2.xml
 - Distributor3.xml
7. Distributor1_en_US.xml (または選択した言語) のインポートも行う必要があります。言語固有の xml をインポートする際、サービス契約は新たに作成されません。3 つのディストリビューターごとに XML ファイルのインポートが完了するまで、これらのステップを繰り返してください。

注: XML ファイルが正常にアップロードされると、ディストリビューター・サービス契約で定義された契約条件を順守するディストリビューター関係が作成されます。さらに、セットアップ・プロセスが完了すると確認メッセージが表示され、新規に作成されたディストリビューターを示したディストリビューターのリストが更新されます。新規に作成されたディストリビューターの状況は「アクティブ」になっているはずですが、ディストリビューターのリストが更新されるときにディストリビューター・サービス契約の状況が「展開の失敗」になる場合、ディストリビューター・サービス契約を再デプロイすることができます。
8. 「ログアウト」をクリックして、WebSphere Commerce アクセラレーターをログオフします。

第 3 部: サンプル・ストアのスケジュールされたジョブの作成

サンプル・ストアを発行した後、ストアのスケジュールされたジョブを WebSphere Commerce アクセラレーターで作成する必要があります。サンプル・ストアのスケジュールされたジョブの作成方法について詳しくは、31 ページの『第 1 部: FashionFlow に基づいたストアの発行、および構成』を参照してください。

第 4 部: サイトに合わせた E メール構成

ストアからの E メール通知を送信したり (たとえば、登録が承認されているかどうかをユーザーに E メールで通知する)、ストアから (たとえばフィードバック・ページを介して) E メールを受信するには、以下を行う必要があります。

1. 以下のようにして、管理コンソールをオープンします。
 - a. ブラウザーで以下の URL にアクセスします。
`https://hostname:8002/adminconsole`
hostname は、WebSphere Commerce Server の完全修飾 TCP/IP 名です。
 - b. 管理コンソールにログオンします。
 - c. 「管理コンソールのサイト/ストアの選択」ページから、サイト・ラジオ・ボタンを選択して、「OK」をクリックします。サイト管理コンソール・ホーム・ページが表示されます。

2. 「構成」メニューから、「トランスポート」を選択します。「トランスポート構成」ページが表示されます。
3. 「E メール」のそばのチェック・ボックスを選択します。「構成」をクリックします。「トランスポート構成パラメーター」ダイアログがオープンします。
4. 「ホスト」フィールドに、E メール・サーバーの完全修飾名を入力します。
5. 「プロトコル」フィールドに、プロトコルの名前を入力します。デフォルトはSMTP です。「OK」をクリックします。
6. 「構成」メニューから、「メッセージ・タイプ」を選択します。「メッセージ・タイプ構成」ページが表示されます。
7. 「新規」をクリックします。「メッセージ・トランスポートの割り当て」ページが表示されます。
8. 「メッセージ・タイプ」ドロップダウン・リストから、「承認された販売店登録の通知 (Notification of approved reseller registration)」を選択します。
9. 「メッセージ重大度」フィールドに、0 から 0 を入力します。
10. 「トランスポート」ドロップダウンから、「E メール」を選択します。
11. 「デバイス形式」ドロップダウンから、「標準デバイス形式」を選択します。
12. 「次へ」をクリックします。「メッセージ・トランスポートの割り当て」ページが表示されます。
13. 「宛先」、「CC」、「BCC」、「差出人」、および「件名」フィールドに、適切なテキストを入力します。「終了」をクリックします。
14. メッセージ・タイプ、「拒否された販売店登録の通知 (Notification of rejected reseller registration)」 および 「顧客が送信したメッセージ (Message submitted by customer)」 について、ステップ 7 ~ 13 を繰り返します。
15. 「ログアウト」をクリックして、WebSphere Commerce アクセラレーターをログオフします。

第 5 部: ストアの WebSphere Commerce Payments のセットアップ

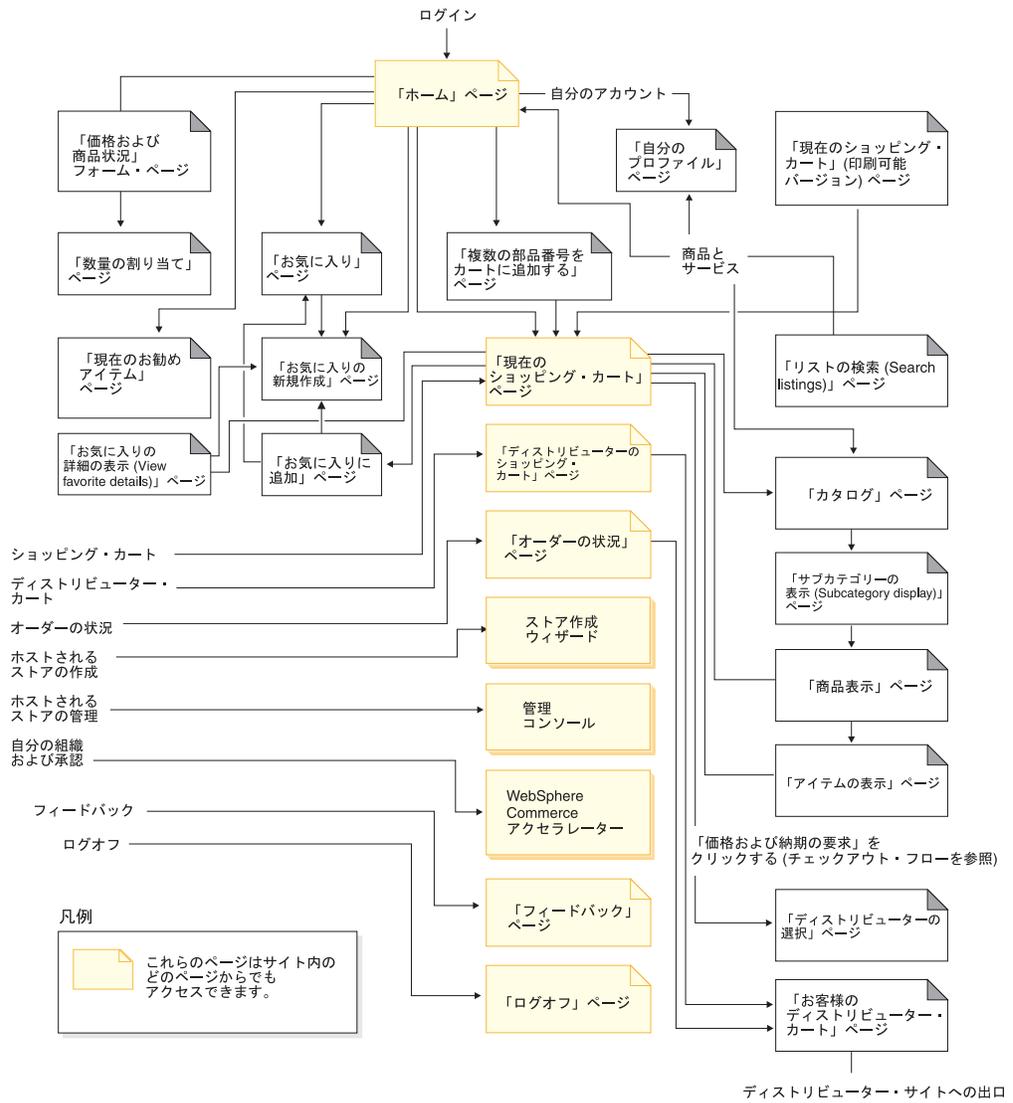
注: WebSphere Commerce Payments は、Commerce プラザでは使用されませんが、ホストされるストアでは使用されます。

WebSphere Commerce Payments のセットアップについては、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプ、または 31 ページの『第 1 部: FashionFlow に基づいたストアの発行、および構成』を参照してください。

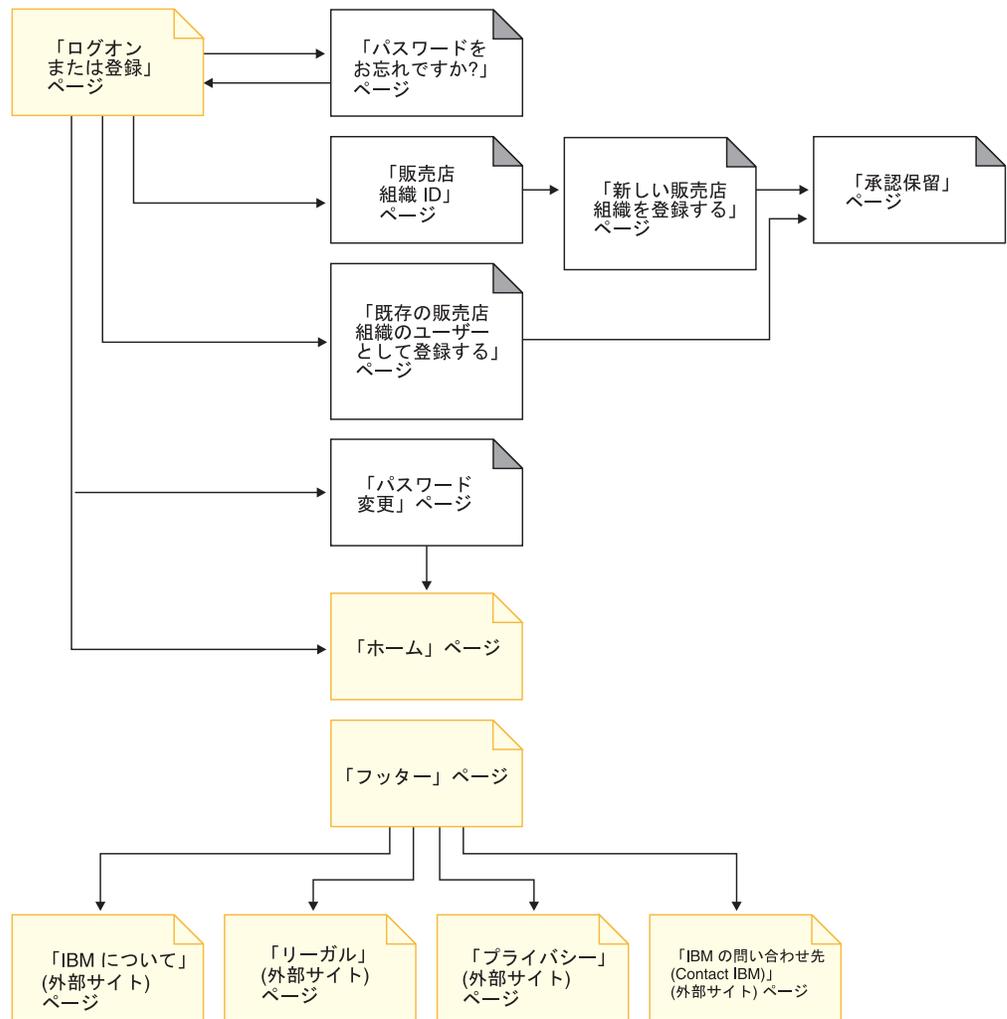
Commerce プラザ・ストア・フロー

以下の図は、Commerce プラザ・ストアおよびカタログ・フロー、ログオン・フロー、およびチェックアウト・フローを示しています。

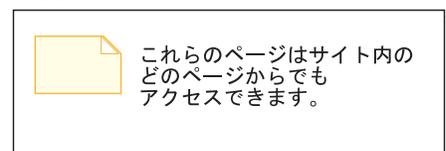
Commerce プラザ・ストアおよびカタログ・フロー



Commerce プラザ・ログオン・フロー

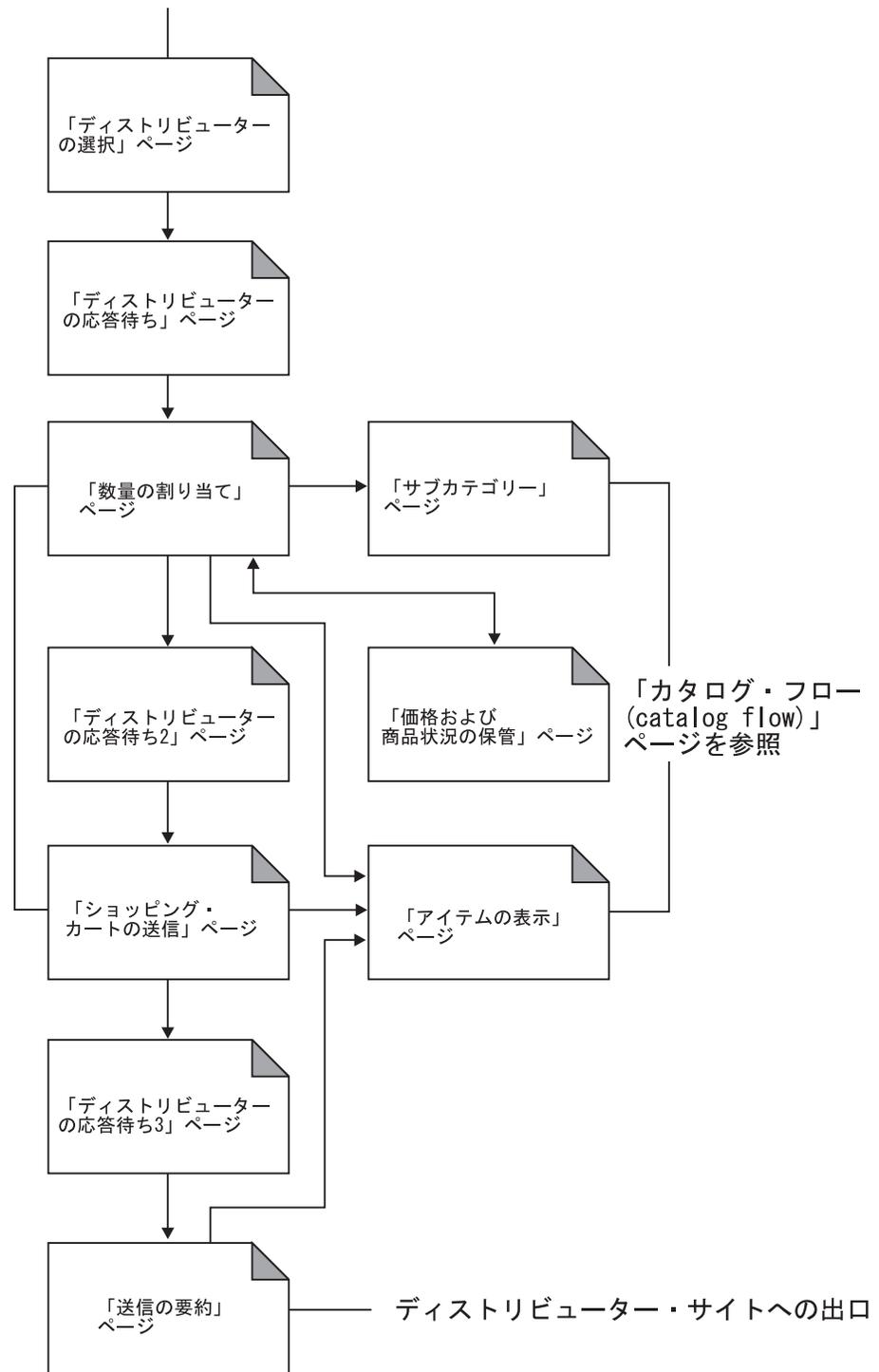


凡例



Commerce プラザ・チェックアウト・フロー

「ショッピング・カート」ページからの入り口



第 17 章 Commerce プラザ・チュートリアル

注: FashionFlow チュートリアルは、以下の場合を除き、ホストされるストア（「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」を使用して作成されたストア）に適用されます。

- ガイド付き販売
- E メール・オプションの作成および受信
- 商品探査および商品比較の使用

これらのチュートリアルについては、91 ページの『第 7 章 FashionFlow チュートリアル』を参照してください。

Commerce プラザの自己登録

デモンストレーション

- 組織の自己登録
- 販売店の自己登録

前提条件

Commerce プラザを作成する必要があります。詳しくは、191 ページの『第 16 章 Commerce プラザに基づいてストアを作成する』を参照してください。

Commerce プラザの組織および組織管理者の自己登録

1. 組織管理者は、Commerce プラザのホーム・ページ <http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommercePlaza/index.jsp> に移動します。
2. 「**A. 新規販売店組織を登録する**」をクリックします。「販売店組織 ID」ページが表示されます。
3. 「**継続**」をクリックします。「新しい販売店組織を登録する」ページが表示されます。
4. フォームの必須フィールドに記入します。これには、ディストリビューターのユーザー名およびパスワードが含まれます。

注: ユーザー名およびパスワードをメモします。ディストリビューターのユーザー名とパスワードは登録をしているユーザーと同じにすることができます。たとえば、testuser として、testuser1 のパスワードで登録している場合、testuser、およびディストリビューターのパスワードに testuser1 を使用することができます。

5. 「**送信**」をクリックします。「承認保留」ページが表示されます。

組織の承認

1. 組織管理コンソールをオープンします。
2. サイト管理者としてログオンします。

3. 「承認」 -> 「承認要求」を選択します。
4. サイト管理者によって発行された要求のそばにあるチェック・ボックスをクリックします。要求が複数ある場合は、必要に応じて、「検索」をクリックして、「承認要求の検索」ページを使用できます。
5. 「承認」をクリックします。
6. 必要に応じて注釈を入力して、「OK」をクリックします。
7. 組織管理コンソールからログオフします。

承認通知の受信および Commerce プラザへのログオン

1. 組織管理者は、自己登録時に指定された E メール・アカウントにログオンします。
2. 組織管理者は、サイト管理者から承認通知を受け取ります。
3. CommercePlaza ホーム・ページ
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommercePlaza/index.jsp> に移動します。
4. サイト管理者としてログオンします (自己登録時に作成されたユーザー ID)。

既存の組織の一部としての販売店ユーザーの自己登録

1. 販売店ユーザーは CommercePlaza ホーム・ページ
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommercePlaza/index.jsp> に移動します。
2. 「B. 既存の販売店組織のユーザーとして登録する」をクリックします。
3. 「継続」をクリックします。「既存の販売店組織のユーザーとして登録する」ページが表示されます。
4. フォームの必須フィールドに記入します。これには、ディストリビューターのユーザー名およびパスワードが含まれます。既存の組織の名前を覚えておく必要があります。ユーザー名とパスワードは記録しておいてください。
5. 「送信」をクリックします。「承認保留」ページが表示されます。

販売店ユーザーの承認

1. CommercePlaza ホーム・ページ
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommercePlaza/index.jsp> に移動します。
2. 組織管理者としてログオンします。
3. 「自分の組織および承認」をクリックします。
4. 「承認」 -> 「承認要求」を選択します。
5. 販売店ユーザーによって発行された要求のそばにあるチェック・ボックスをクリックします。要求が複数ある場合は、必要に応じて、「検索」をクリックして、「承認要求の検索」ページを使用できます。
6. 「承認」をクリックします。
7. 必要に応じて注釈を入力して、「OK」をクリックします。
8. 「OK」をクリックします。

承認通知の受信および Commerce プラザへのログオン

1. 販売店ユーザーは、自己登録時に指定された E メール・アカウントにログインします。

2. 販売店ユーザーは、組織管理者から承認通知を受け取ります。
3. CommercePlaza ホーム・ページ
`http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommercePlaza/index.jsp` に移動します。
4. 販売店ユーザーとしてログオンします。

Commerce プラザでのショッピング

デモンストレーション

このチュートリアルは販売店ユーザーに以下の内容を例示します。

- Commerce プラザの基本ショッピング・フロー。
- 見積もりの要求。
- ディストリビューターへのショッピング・カートの転送。
- クイック・リンクの使用。
- お気に入りリストの作成。
- ショッピング・カートへの複数の部品番号の追加。

前提条件

登録済み組織と販売店ユーザーが必要です。

テストのために接続できる、アクティブになっているディストリビューター・サイトがない場合、ディストリビューター・シミュレーターを使用して見積もりを要求し、ショッピング・カートを送信する必要があります。見積もりを要求する際、アクティブになっているディストリビューター・サイトに移動し、ディストリビューターからリアルタイムの見積もりを入手します。そのプロセスをシミュレートするものが何か必要になります。それがないと、その要求は行き場を失ってしまうからです。

Commerce プラザでのショッピング - 見積もりの要求とショッピング・カートの転送 (基本フロー)

1. CommercePlaza ホーム・ページ
`http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommercePlaza/index.jsp` に移動します。
2. 販売店ユーザーとしてログオンします。
3. 「商品とサービス (Products and services)」をクリックします。
4. カタログを参照して、アイテムを「カートに追加」を選択します。
5. 必要に応じて、アイテム数量を変更して、「更新」をクリックします。
6. 「価格および納期の要求」をクリックします。「ディストリビューターの選択」ページが表示されます。
7. 見積もりを希望するディストリビューターを選択して、「継続」をクリックします。「数量の割り当て」ページが表示されます。
8. 購入する数量を（「割り当てられた数量」テキスト・ボックスに）割り当てます。この情報をショッピング・カートに保管したい場合は、「価格および商品状況の保管」を選択します。「価格および商品状況の保管」ページが表示され

ます。そのページで、保管したカートの説明を入力することができます。「保管」をクリックします。「数量の割り当て」ページに戻ります。

9. 「カートの送信の準備をする」をクリックします。「ショッピング・カートの送信」ページが表示されます。
10. 前のステップに戻って数量を再び割り振りたい場合は、「数量の再割り当て」をクリックします。時間がいくらか経過して、見積もりが変更していないかどうかを確認したい場合は、「価格および納期の最新表示」をクリックします。すると「ディストリビューターの選択」ページに戻ります。このページから最新の見積もりを入手することができます。
11. 納得したら、ショッピング・カートの説明を記入して、「すべてのショッピング・カートにディストリビューターに送信する」をクリックします。
12. 新規のブラウザ・ウィンドウで、オーダーの処理を完了できるように、選択されたディストリビューターにショッピング・カートが送信されます。
13. 既存のブラウザ・ウィンドウに「送信の要約」ページが表示されます。そのページには、ディストリビューターに送信したショッピング・カートの詳細が含まれています。

クイック・リンク・オプション

定期的購入する商品があり、その部品番号を知っている場合、クイック見積もりを入手するか、またはそれをカートに直接追加することもできます。以下のようにします。

- 価格および商品状況を要求するには、ホーム・ページから「価格および納期」フィールドに数量と IBM 部品番号を入力します。「GO」をクリックします。「数量の割り当て」ページが表示されます。ここからカートの送信の準備を行うことができます。
- カートに直接追加するには、ホーム・ページから IBM 部品番号を入力し、「GO」をクリックします。新規アイテムとともに「現在のショッピング・カート」が表示されます。数量を変更し、「更新」をクリックすることによって、さらに追加することができます。ここから価格および商品状況を要求できます。

お気に入りリストの作成

定期的購入する商品がある場合、それをお気に入りリストに入れることもできます。以下のようにします。

1. ホーム・ページから、「新しいお気に入りリストを作成する」をクリックします。「お気に入りの新規作成」ページが表示されます。
2. 名前を入力し、お気に入りの部品番号と数量を追加します。「保管」をクリックします。「お気に入り」ページが表示されます。このリストにさらに商品を追加するか、「リストをカートに追加」を選択してリストをショッピング・カートに追加します。「リストをカートに追加」を選択する場合、「現在のショッピング・カート」ページが表示され、お気に入りリストに選択された商品と数量が表示されます。ショッピングを継続するか、チェックアウト・フローを継続することができます。既存のお気に入りリストに戻るには、ホーム・ページに移動して、「お気に入りリストを見る」をクリックします。

ショッピング・カートへの複数の部品番号の追加

定期的に購入する商品があり、その部品番号を知っている場合、それをカートに直接追加することもできます。以下のようにします。

1. ホーム・ページから、「複数の部品番号をカートに追加する」をクリックします。「複数の部品番号をカートに追加する」ページが表示されます。
2. 名前を入力し、お気に入りの部品番号と数量を追加します。「ショッピング・カートに追加」をクリックします。「現在のショッピング・カート」ページが表示されます。ショッピングを継続するか、チェックアウト・フローを継続することができます。

ホストされるストアの作成

デモンストレーション

- ・ホストされるストアの作成。

前提条件

ストアを作成するユーザーには、サイト管理者の役割が必要です。

ホストされるストアの作成

注: この注は、「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」を使用して作成されるバリュー・チェーンのホストされるストアだけに適用されます。セラーがホストされるストアを作成する場合は、通常のストア発行とは異なり、ストアのデフォルトの言語以外の追加のストア言語データ資産が、ホストされるストアに繰り入れられることはありません。したがって、セラーがサポートされる言語をストアに追加する場合は、その言語のストア資産は使用できません。サポートされる言語をホストされるストアに追加する場合は、翻訳された資産 (ストア・データやプロパティ・ファイル) がストアで使用可能になっていることを確認してください。使用可能になっていない場合は、ストア・ページが正しく機能しません。

1. CommercePlaza ホーム・ページ
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommercePlaza/index.jsp> に移動します。
2. 組織管理者としてログオンします。
3. 「ホストされるストアの作成」をクリックします。
4. 言語を選択して、「OK」をクリックします。「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」が表示されます。
5. 「一般」ページのすべてのフィールドに記入します。「ストア固有の ID」および「ストアの表示名」については、ユーザーのストアの名前を使用します。「次へ」をクリックします。「ストア・タイプ」ページが表示されます。
6. 「消費者向け販売店プロファイル (Consumer Direct Reseller Profile)」を選択し、「次へ」を選択します。「カタログ」ページが表示されます。
空のカタログを作成するには、「空のカタログ」を選択し、「次へ」をクリックします。

共用カタログを作成するには、「Commerce プラザ・カタログ」を選択し、「次へ」をクリックします。「配送」ページが表示されます。

7. 配送センターの名前を入力して、「追加」をクリックします。「次へ」をクリックします。「支払い」ページが表示されます。
8. 請求オプションを選択して、「次へ」をクリックします。「要約」ページが表示されます。
9. 「ストア作成要約」を確認して、「完了」をクリックします。
10. スタア作成が完了したら、「ストアのブックマーク」をクリックします。
11. 「ストアの立ち上げ」をクリックします。ストアを立ち上げる時、ストアを作成した組織管理者としてログインします。ここから立ち上げてユーザーを変更する場合、Commerce プラザのユーザーも変更します。

注: スタアはデフォルトでクローズ状態にあるので、すべての機能が有効なわけではありません (たとえばユーザーの登録など)。全機能を有効にするには、まずストアをオープンする必要があります。詳しくは、『新規のホストされるストアのオープン』というチュートリアルを参照してください。

ホストされるストアの変更

デモンストレーション

- スタア情報の変更
- スタア・ロゴの変更
- スタア・ページの変更
- スタア・フローの変更

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、販売店はサイト上にホストされるストア作成しておく必要があります。ユーザーには組織管理者の役割が必要です。

ホストされるストアの情報の変更

ホストされるストアの情報を変更するには、既存のセラーは以下を行います。

1. CommercePlaza ホーム・ページ
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommercePlaza/index.jsp> に移動します。
2. 「ログオン」をクリックし、組織管理者としてログオンします。
3. 「ホストされるストアの管理」をクリックします。
4. スタア、言語、および配送センターを選択します。「OK」をクリックします。
5. 「ストア」->「プロファイルの変更」をクリックします。
6. スタア名、説明、および連絡先情報を変更します。
7. 新規通貨およびサポートする新規言語を追加します。
8. ホストされるストアのフロントページおよび問い合わせ先の変更を確認します。

注: 新規通貨を追加する際には、カタログで新規通貨の価格を定義するか、換算率を定義する必要があります。新規言語を追加する際には、ストアの情報（つまり、ストア・プロフィール情報、カタログの説明、配送モードの説明など）は新規言語で定義する必要があります。

ホストされるストアのロゴの変更

ホストされるストアのロゴを変更するには、既存のセラーは以下を行います。

1. CommercePlaza ホーム・ページ
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommercePlaza/index.jsp> に移動します。
2. 「ログオン」をクリックし、組織管理者としてログオンします。
3. 「ホストされるストアの管理」をクリックします。
4. ストア、言語、および配送センターを選択します。「OK」をクリックします。
5. 「ストア」->「ロゴのアップロード」をクリックします。
6. 「ブラウズ」をクリックします。イメージ・ファイルをマシンから選択します。「OK」をクリックします。
7. 「アップロードおよび適用」をクリックします。
8. 「ストアの表示」をクリックして、ストアフロント内の変更を表示します。

ホストされるストア・ページの変更

1. CommercePlaza ホーム・ページ
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommercePlaza/index.jsp> に移動します。
2. 「ログオン」をクリックし、組織管理者としてログオンします。
3. 「ホストされるストアの管理」をクリックします。
4. ストア、言語、および配送センターを選択します。「OK」をクリックします。
5. 「ストア」->「ページの変更」をクリックします。
6. 「ホーム」セクションを選択します。
7. テキストを追加します。「OK」をクリックします。
8. 「場所の表示」をクリックして、ストアフロント内の変更を表示します。これによって、実際にホストされるストア・ページではなく、FashionFlow ページがテキストのプレビューのためにロードされます。実際にホストされるページを表示させたい場合は、それをブックマークから立ち上げてください。

ストア・スタイルの変更

1. CommercePlaza ホーム・ページ
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommercePlaza/index.jsp> に移動します。
2. 「ログオン」をクリックし、組織管理者としてログオンします。
3. 「ホストされるストアの管理」をクリックします。
4. ストア、言語、および配送センターを選択します。「OK」をクリックします。
5. 「ストア」->「スタイルの変更」をクリックします。
6. スタイル、カラー、またはバナーを変更します。独自のバナーを使用する場合は、そのイメージをアップロードする必要があります。変更を加え、保持したいものすべてに対して、各段階で「適用」をクリックする必要があります。

7. 「ストアの表示」をクリックして、ストアフロント内の変更を表示します。

ホストされるストアのフローの変更

ホストされるストアのフローを変更するには、既存のセラーは以下を行います。

1. CommercePlaza ホーム・ページ
`http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommercePlaza/index.jsp` に移動します。
2. 「ログオン」をクリックし、組織管理者としてログオンします。
3. 「ホストされるストアの管理」をクリックします。
4. ストア、言語、および配送センターを選択します。「OK」をクリックします。
5. 「ストア」->「フローの変更」をクリックします。ストア・フローの変更について詳しくは、34 ページの『WebSphere Commerce アクセラレーターを使用したストアの構成』を参照してください。
6. 「オーダーの状況」パネルに移動して、「オーダー状況の追跡」のチェックマークを外します。「OK」をクリックします。
7. ストアフロントを立ち上げて、「アカウント」リンクに移動し、「オーダーの状況」が除去されていることを確認します。

新規のホストされるストアのオープン

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce プラザの以下のフィーチャーについて説明します。

- ビジネス用ストアのオープン

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、販売店はホストされるストアを作成しておく必要があります。

ストアのオープン

ビジネス用のストアをオープンするには、組織管理者は以下を行います。

1. CommercePlaza ホーム・ページ
`http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommercePlaza/index.jsp` に移動します。
2. 「ログオン」をクリックし、組織管理者としてログオンします。
3. 「ホストされるストアの管理」をクリックします。
4. ストア、言語、および配送センターを選択します。「OK」をクリックします。
5. 「ストア」->「オープン/クローズ」をクリックします。
6. 「ストアのオープン」をクリックします。

ホストされるストアから Commerce プラザへのショッピング・カートの転送

デモンストレーション

このチュートリアルでは、ホストされるストアから Commerce プラザにショッピング・カートを転送する方法を示します。

前提条件

このステップでは、オーダーをホストされるストア、およびシミュレートされるディストリビューターで発行する必要があります。テストのために接続できる、アクティブになっているディストリビューター・サイトがない場合、ディストリビューター・シミュレーターを使用して見積もりを要求し、ショッピング・カートを送信する必要があります。見積もりを要求する際、アクティブになっているディストリビューター・サイトに移動し、ディストリビューターからリアルタイムの見積もりを入手します。そのプロセスをシミュレートするものが何か必要になります。それがないと、その要求は行き場を失ってしまうからです。ショッピング・カートを転送することは可能です。ただし、ディストリビューターまたはシミュレートされたディストリビューターがなければ何も起こりません。

ホストされるストアが共用配送センターを使用する必要がある場合、ファイル `wc_installdir/xml/trading/xml/TemplateHostingContractRPS.xml` を編集する必要があります。 `SERVICE_PROVIDER_SHARED_FULFILLMENT_CENTER_NAME` を `PCD Home` (サービス・プロバイダーの共用配送センターの名前) に置き換え、それをコピーした後、そのセクションをファイルのさらに下で指定されている `ShippingArrangements` 領域に貼り付けます。

ホストされるストアから Commerce プラザへのショッピング・カートの転送

1. CommercePlaza ホーム・ページ `http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommercePlaza/index.jsp` に移動します。
2. 「ログオン」をクリックし、組織管理者としてログオンします。
3. 「ホストされるストアの管理」をクリックします。
4. ストア、言語、および配送センターを選択します。「OK」をクリックします。
5. 「操作」 -> 「支払いの承認」を選択します。「承認」ページが表示されます。
6. 承認するオーダーのチェック・ボックスを選択して、「承認」をクリックします。承認するものが多数あり、一度にすべて承認したい場合は、「すべて承認」をクリックします。
7. 「操作」 -> 「オーダーの処理」を選択します。ここにオーダーがない場合には、しばらく待機してから再度試行します。スケジュールされたジョブの実行を待つ必要があります。
8. リリースするオーダーのチェック・ボックスを選択します。
9. 「リリース先」フィールドに「CommercePlaza 配送センター (CommercePlaza fulfillment center)」を設定します。

10. 「リリース」をクリックします。
11. ショッピング・カート・オプションを選択して、「OK」をクリックします。
12. ダイアログで「OK」をクリックします。
13. 「ショッピング・カート」をクリックします。
14. 「保留」をクリックします。
15. 前のステップで作成されたカートを選択します。
16. 「このカートを最新にする」をクリックします。現行のカートが保管されていない場合、「ショッピング・カートをアクティブにする」ページが表示されます。現在のカートを保管しないことに決めたので、「現在のカートと置き換える」をクリックします。「現在のショッピング・カート」ページが表示されます。
17. 「価格および納期の要求」をクリックします。
18. 見積もりを希望するディストリビューターを選択して、「継続」をクリックします。
19. 購入する数量を割り当てて、「カートの送信の準備をする」をクリックします。
20. 「すべてのショッピング・カートをディストリビューターに送信する」をクリックします。

下位カテゴリー・ページのトラブルシューティング

FashionFlow、ToolTech、Commerce プラザ、または Supplier Marketplace で商品を作成する場合には、その商品の簡略説明を入力する必要があります。下位カテゴリー・ページに商品がリストされると、JSP ファイルはデータベースからその簡略説明を取得します。簡略説明が入力されていない場合、下位カテゴリー・ページにはリストされている商品の説明は表示されません。

第 6 部 サプライ・チェーン・サンプル (Commerce Supplier Hub)

Business WebSphere Commerce は、サプライ・チェーン・ビジネス・モデルのサンプルを提供しています。この部分には、以下の情報が含まれています。

- サプライ・チェーン・サンプルの情報
- Commerce Supplier Hub の概要およびセットアップの情報
- Commerce Supplier Hub チュートリアル

第 18 章 サプライ・チェーン・サンプル・ストア・アーカイブ

サプライ・チェーン・ビジネス・モデル・サンプルには、Commerce Supplier Hub サイト、共用マスター・カタログ、およびホストされるサプライヤー・ストアの作成に必要な資産が含まれています。これは、ToolTech を拡張して複数のサプライヤーおよび複数のバイヤーをサポートします。

サプライ・チェーン・ストア・アーカイブおよびアクセス制御

ここでは、サンプルのセットアップの 3 つの段階 (インスタンスの作成、SAR の発行、動的エンティティ) で作成される組織および役割について説明します。

組織構造およびインスタンスの作成

顧客またはバイヤーがサイトにアクセスし、カタログをブラウズし、オーダーを発行できるようにする場合、あるいは従業員がサイトを管理できるようにする場合 (カタログの更新、新規販売促進の作成、オーダーの管理を含む)、あるいは販売店または他のビジネス・パートナーがサイト上の取引を完了できるようにする場合は、ビジネス・シナリオ内のすべての実行者に、WebSphere Commerce 組織構造での立場を割り当てる必要があります。

WebSphere Commerce 組織構造は、ビジネス・シナリオ内の実行者 (つまりエンティティ) にフレームワークを提供します。このフレームワークは、階層構造に編成されていて、組織、組織単位、およびユーザー用のエントリが含まれている典型的な組織階層に似ています。フレームワーク内の組織および組織単位は、ビジネスの各部の所有者としての役割を果たします。顧客、管理者、ストア、カタログ、およびディストリビューターを含むビジネスのすべての部分は、組織または組織単位に所有されている必要があります。

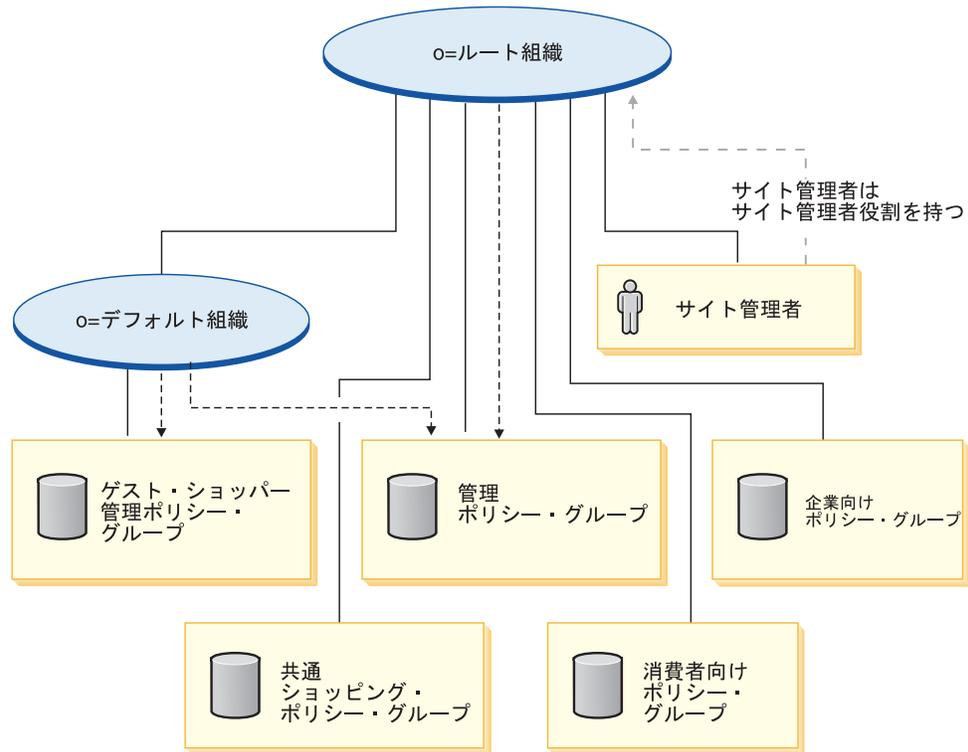
アクセス制御モデルは、アクセス制御ポリシーをさまざまなエンティティ (ストア、顧客、管理者など) ではなく組織に適用するため、組織構造とアクセス制御モデルは密接に関連しています。あるエンティティ (またはリソース) に適用されるポリシーは、そのエンティティまたはリソースを所有する組織に適用されます。

次の図は、アクセス制御が適用された WebSphere Commerce の基本組織構造を示しています。

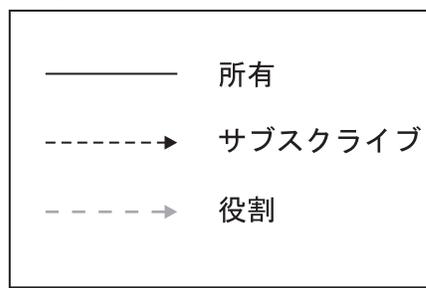
- **ルート組織:** ルート組織は最上位の組織で、この組織自体の親でもあります。WebSphere Commerce 組織構造内のすべての組織は、ルート組織の子孫です。この例では、サイト管理者は、ルート組織によって所有されています。
- **デフォルト組織:** デフォルト組織は、ルートの下にあります。すべてのゲスト顧客と消費者向けビジネスのすべての顧客は、デフォルト組織に属します。
- **子組織エンティティ:** 親組織エンティティの下に 1 つ以上のレベルの組織エンティティが存在できます。子組織エンティティは、ビジネスをサポートするのに必要な数だけ追加できます。

WebSphere Commerce アクセス制御構造は非常に柔軟で、サポートされるビジネス・モデルのすべてのエンティティをサポートできます。インスタンスの作成中に作成されるのは、ルート組織とデフォルト組織だけです。基本アクセス制御構造は、ビジネス・モデルとは関係なく、インスタンスの作成中にインストールされます。

基本アクセス制御



凡例



ルート組織は、以下のデフォルト・ポリシー・グループを所有します。

- 管理
- 共通ショッピング
- 消費者向け
- 企業向け

デフォルト組織は、以下のデフォルト・ポリシー・グループを所有します。

- ゲスト・ショッパー管理

ただし、ルート組織は、管理ポリシー・グループだけにサブスクライブします。このポリシー・グループのポリシーは、このルートおよびルートの子孫（ポリシー・グループにサブスクライブする子孫は除く）が所有するすべてのリソースに適用されます。デフォルト組織はポリシー・グループにサブスクライブしているので、ルート組織のポリシーは継承されません。デフォルト組織については、管理ポリシー・グループおよびゲスト・ショッパー管理ポリシー・グループのポリシーは、デフォルト組織が所有するすべてのリソースにも適用されます。

デフォルト・ポリシー・グループの詳細は、「*IBM WebSphere Commerce セキュリティ・ガイド*」の付録を参照してください。

サプライ・チェーン・ストア・アーカイブ

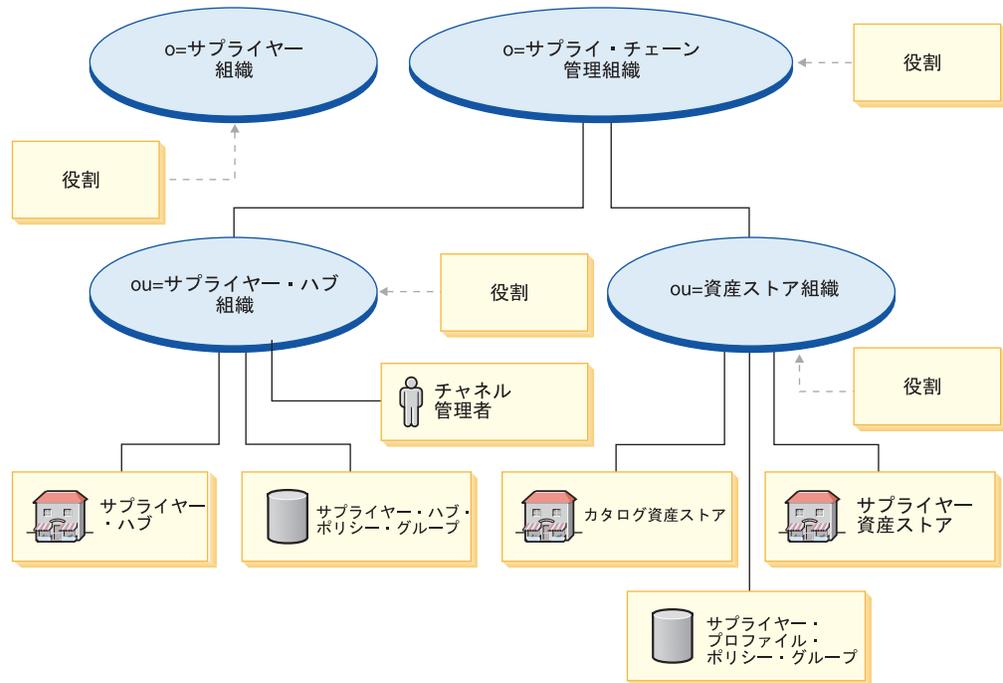
以下の SAR ファイルはサプライ・チェーン・ビジネス・モデルと関連付けられています。

表 13. サプライ・チェーン

ストア・アーカイブの名前	説明
SupplyChain.sar	サプライヤー・マーケットプレイス・チャンネル環境を作成するための、組織構造、事前定義ユーザー役割、および必要なアクセス制御ポリシーとポリシー・グループ・サブスクリプションが入っています。
SupplyChainOrganizationStructure.sar	サプライ・チェーン環境を作成するための組織構造と事前定義ユーザー役割が入っています。
SupplierHub.sar	ハブ・サイトを作成するためのすべての必要な資産が入っています。
CatalogAssetStore.sar	サンプル・ストア・アーカイブには、共用カタログを作成するためのすべての必要な資産が入っています。
SupplierAssetStore.sar	サプライヤー・ストアフロントを作成するためのすべての必要な資産が入っています。

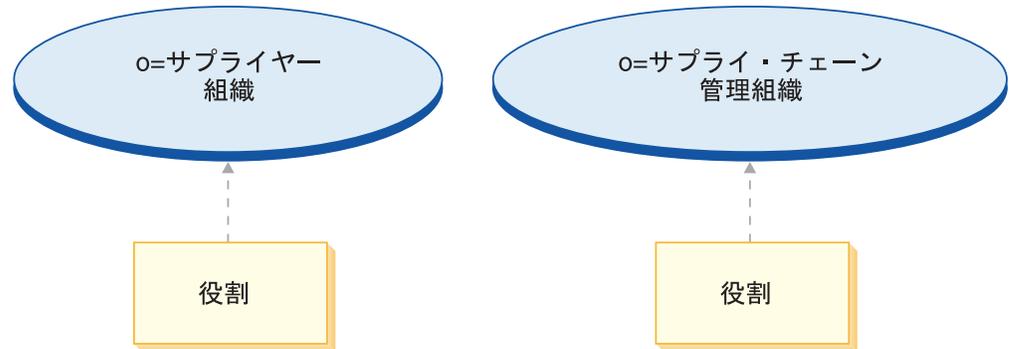
組織での役割は、組織内でユーザーが果たすことのできる役割を示しています。役割について詳しくは、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

SupplyChain.sar の内容



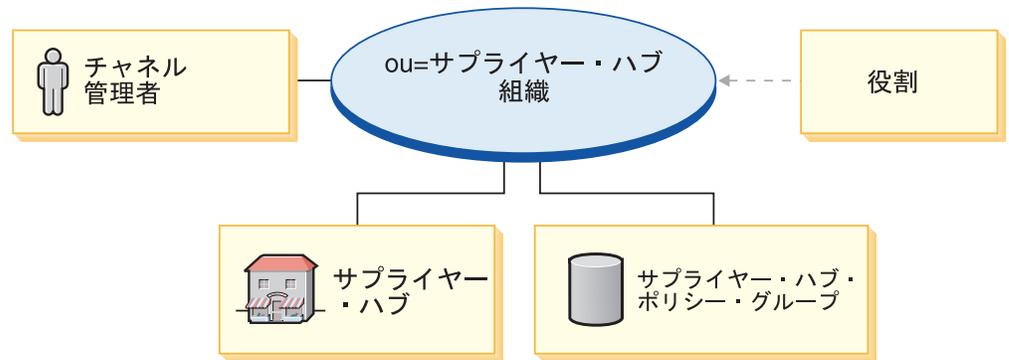
- サプライチェーン・マネージメント組織および役割: セラー、マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、セラー管理者、チャンネル・マネージャー、登録済み顧客
- サプライヤー組織および役割: アカウント担当者、バイヤー（購買サイド）、バイヤー（販売サイド）、カテゴリー・マネージャー、顧客サービス担当者、顧客サービス・スーパーバイザー、物流管理マネージャー、マーケティング・マネージャー、荷造り業者、プロダクト・マネージャー、受取人、返品管理者、セールス・マネージャー、セラー、セラー管理者、ストア管理者、登録済み顧客、バイヤー管理者、バイヤー承認者、調達バイヤー、調達バイヤー管理者、チャンネル・マネージャー
- サプライヤー・ハブ組織および役割: セラー、マーケティング・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、セラー管理者、チャンネル・マネージャー、登録済み顧客
- 資産ストア組織および役割: マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、チャンネル・マネージャー
- サプライヤー・ハブ・ストア
- Supplier Hub Catalog
- サプライヤー資産ストア
- ポリシー・グループ: サプライヤー・ハブ・ポリシー・グループ、サプライヤー資産ポリシー・グループ
- チャンネル管理者

SupplyChainOrganizationStructure.sar の内容



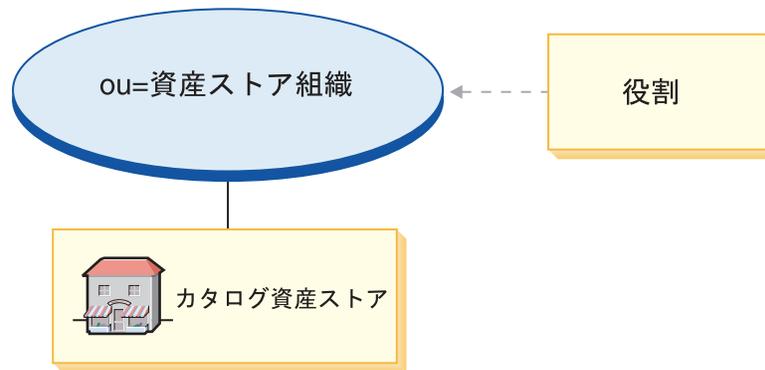
- サプライ・チェーン組織および役割: セラー、マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、セラー管理者、チャンネル・マネージャー、登録済み顧客
- サプライヤー組織および役割: アカウント担当者、バイヤー (購買サイド)、バイヤー (販売サイド)、カテゴリー・マネージャー、顧客サービス担当者、顧客サービス・スーパーバイザー、物流管理マネージャー、マーケティング・マネージャー、荷造り業者、プロダクト・マネージャー、受取人、返品管理者、セールス・マネージャー、セラー、セラー管理者、ストア管理者、登録済み顧客、バイヤー管理者、バイヤー承認者、調達バイヤー、調達バイヤー管理者、チャンネル・マネージャー

SupplierHub.sar の内容



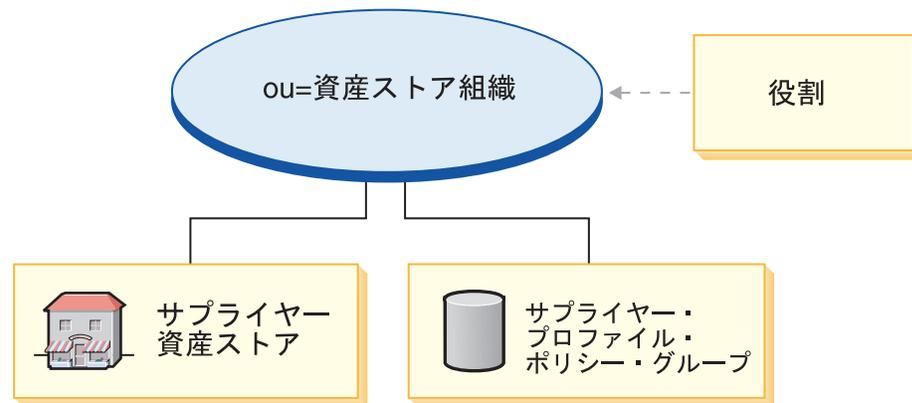
- サプライヤー・ハブ組織および役割: アカウント担当者、バイヤー (購買サイド)、バイヤー (販売サイド)、カテゴリー・マネージャー、顧客サービス担当者、顧客サービス・スーパーバイザー、物流管理マネージャー、マーケティング・マネージャー、荷造り業者、プロダクト・マネージャー、受取人、返品管理者、セールス・マネージャー、セラー、セラー管理者、ストア管理者、登録済み顧客、バイヤー管理者、バイヤー承認者、調達バイヤー、調達バイヤー管理者、チャンネル・マネージャー
- Commerce サプライヤー・ハブ (ストア)
- サプライヤー・ハブ・ポリシー・グループ
- チャンネル管理者

CatalogAssetStore.sar の内容



- カatalog資産ストア組織および役割: マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、チャンネル・マネージャー
- Supplier Hub Catalog

SupplierAssetStore.sar の内容

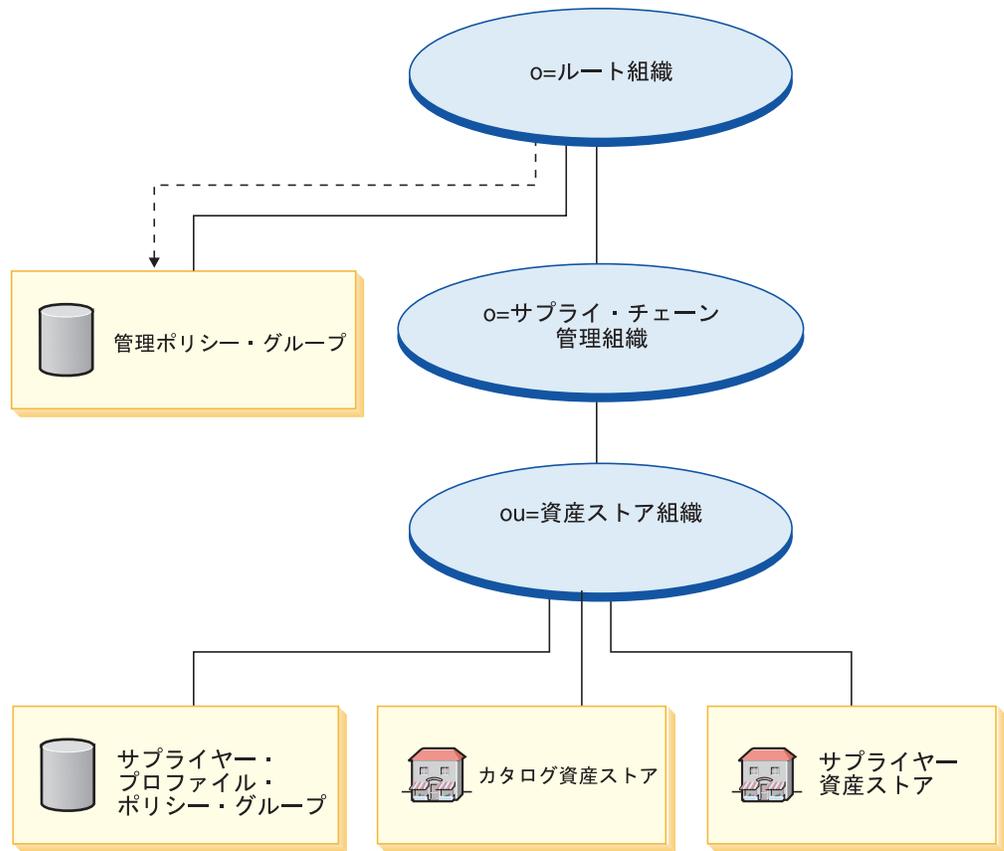


- サプライヤー資産ストア組織および役割: マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、チャンネル・マネージャー
- サプライヤー資産ストア
- サプライヤー資産ポリシー・グループ

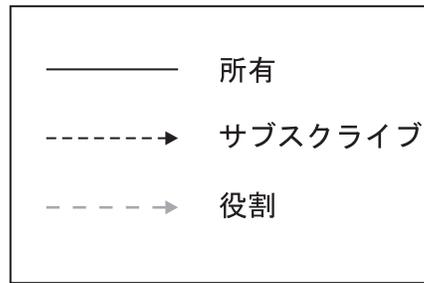
SAR のデプロイメント

このセクションでは、SupplyChain.sar をインスタンスにデプロイする方法について説明します。このデプロイメントの一環としてセットアップされる、ポリシー・サ

ブスクリプションとアクセス制御役割についても説明します。

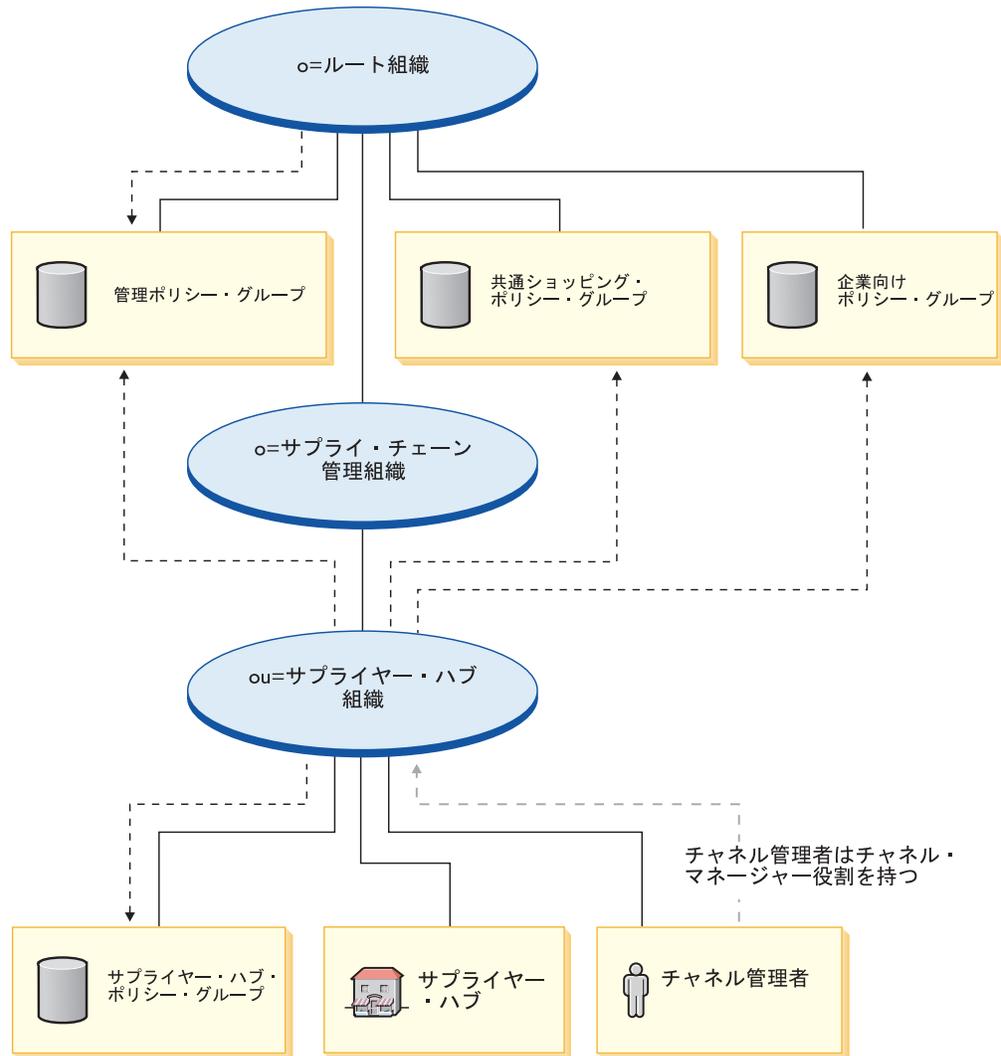


凡例

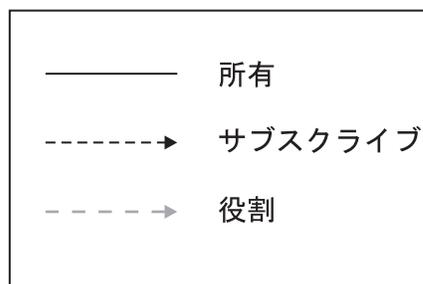


資産ストア組織は、どのポリシー・グループにも直接サブスクリプションしません。そのため、ルート組織から管理ポリシー・グループを継承します。これらのポリシーは、資産ストア組織と資産ストア組織が所有する資産ストアに適用されます。資産ストア組織は、サプライヤー・プロフィール・ポリシー・グループを所有しますが、このグループにサブスクリプションしません。

注: サプライヤーの個々の企業向け組織は、サプライヤー・ストアの作成時に、サプライヤー・プロフィール・ポリシー・グループにサブスクライブします。



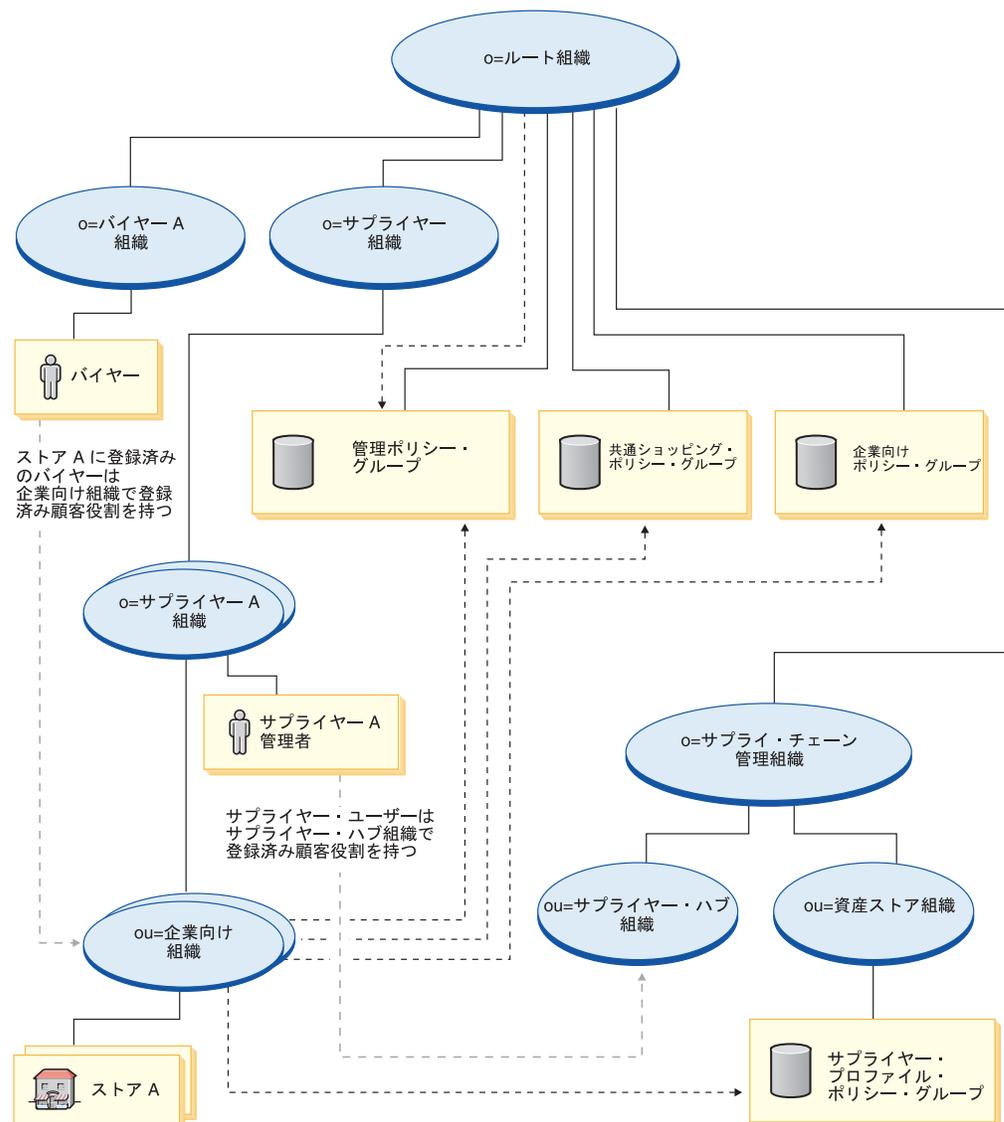
凡例



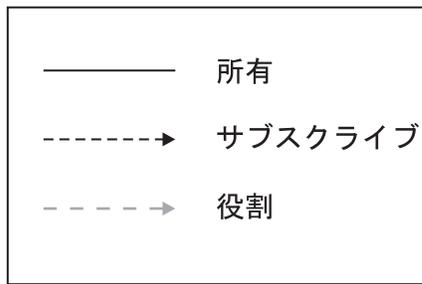
サプライヤー・ハブ組織は、管理ポリシー・グループ、共通ショッピング・ポリシー・グループ、企業向けポリシー・グループに直接サブスクライブし、サプライヤー・ハブ・ポリシー・グループを所有してそこにサブスクライブします。そのため、これらのポリシーは、サプライヤー・ハブだけでなく、サプライヤー・ハブ組織に直接属するチャンネル管理者にも適用されます。

サプライヤー・ハブ・ポリシー・グループには、以下のポリシーが入っています。

- AllUsersForSupplierHubExecuteSupplierHubAllUsersViews
- RegisteredCustomersForOrgForSupplierHubExecuteSupplierHubRegisteredCustomerViews
- ContractAdministratorsForChannelOrgExecuteCreateCommandsOnMemberResource
- ContractAdministratorsForChannelOrgExecuteContractDeployCommandsOnContractResource
- ContractAdministratorsForChannelOrgDisplayContractDatabeanResourceGroup



凡例



サプライヤー組織は、どのポリシー・グループにも直接サブスクライブしません。そのため、ルート組織から管理ポリシー・グループを継承します。これらのポリシーは、サプライヤー組織、それが所有するサプライヤー A 組織、およびサプライヤー A の管理者に適用されます。

企業向け組織は、管理、共通ショッピング、企業向け、およびサプライヤー・プロファイルの各ポリシー・グループに直接サブスクライブします。これらのポリシーは、企業向け組織が所有するすべてのストアに適用されます。

サプライヤー・プロファイル・ポリシー・グループには、以下のポリシーが入っています。

- AllUsersForSupplierExecuteSupplierAllUsersViews
- RegisteredCustomersForOrgForSupplierExecuteSupplierRegisteredCustomerViews

バイヤーとは、企業向けストアでオーダーを発行する顧客のことです。すべてのバイヤーは、バイヤー組織によって所有されている必要があります。ルート組織から継承される管理ポリシーで十分であるため、一般にバイヤー組織はどのポリシー・グループにもサブスクライブしません。

動的に作成される役割

顧客には、サプライヤー組織およびサプライヤー・ハブ組織の登録済み顧客役割が与えられ、親組織のバイヤー (購買サイド) 役割が与えられます。

新規バイヤーを登録すると、以下の役割が割り当てられます。

- 新規バイヤー組織の役割: バイヤー (購買サイド)、バイヤー承認者、バイヤー管理者、調達バイヤー管理者、調達バイヤー
- バイヤー組織のために作成された管理者には、新規バイヤー組織のバイヤー管理者、サプライヤー組織の登録済み顧客、バイヤーの登録先のストアが所有する組織のサプライヤー・ハブ組織の役割が与えられます。

新規サプライヤーを登録すると、以下の役割が割り当てられます。

- 新規サプライヤー組織の役割: セラー、カテゴリー・マネージャー、物流管理マネージャー、マーケティング・マネージャー、セールス・マネージャー、セラー管理者、登録済み顧客、バイヤー (購買サイド)、バイヤー承認者、バイヤー管理者

- 新規サプライヤー組織のために作成された管理者には、新規サプライヤー組織のセラー役割とセラー管理者役割、サプライヤー組織とサプライヤー・ハブ組織の登録済み顧客役割が与えられます。

この情報は、MemberRegistrationAttributes.xml ファイルから取られています。詳しくは、4 ページの『役割と MemberRegistrationAttributes XML ファイル』または WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

第 19 章 サプライ・チェーン・サンプル・ストア (サプライヤー・ハブ) の概要

Commerce Supplier Hub は、WebSphere Commerce で提供されているサプライ・チェーン・サイトの新規のサンプル・ストアです。メイン・サイトには Commerce Supplier Hub (集約カタログまたはマスター・カタログ) およびサプライヤーによりホストされるストアの発行に必要な資産が含まれています。ハブとは、サプライヤーとバイヤーが集合する場所のことです。このサンプルを使用して、集約カタログを使用してセラーをホスティングできるホスティング・サイトのセットアップを開始したり、またはバイヤーとセラーが 1 つの環境で集合する一種のマーケットプレイスを作成します。

サンプル・ストア・フィーチャーには以下のものがあります。

- 既存の ToolTech フィーチャー

セルフ・プロビジョニング・フィーチャーには以下のものがあります。

- バイヤーとセラーは、組織とユーザーをサプライヤー・ハブに自己登録する
- ストアのホスティングを要求する
- 「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」でストアを作成し、ルック・アンド・フィールを変更する
- ストアを管理する
- 組織の管理

集約カタログ・フィーチャーには以下のものがあります。

- すべてのサプライヤー・カタログ・データはサプライヤー・ハブに集約されます。
- バイヤーはナビゲートして、異なるサプライヤーから集約カタログ内のオファーまたは契約価格を入手することができます。

Commerce Supplier Hub では、稼働中のオンライン・ストアに必要なすべてのページとフィーチャーを提供します。Commerce Supplier Hub は、ストア・アーカイブとして WebSphere Commerce に付属しています。ある場合、ストア・アーカイブを WebSphere Commerce Server に発行することによって、実動ストアを作成できるようになります。WebSphere Commerce Business Edition では、サンプル・ストア・アーカイブ・ファイルは、カタログまたはストアフロントを作成するストア資産の集合だけでなく、ストアまたはサイトの環境を作成するために必要な組織構造、事前定義ユーザー役割、およびアクセス制御ポリシーをパッケージして配布するためにも使用されます。実動ストアを作成するために、複合ストア・アーカイブの 1 つを発行する必要があります。さらに、実動ストアを発行するために一連のコンポーネント・ストア・アーカイブを発行することもできます。ストアは管理コンソールから発行されます。「サイト」を選択し、「ストア・アーカイブ」メニューから「発行」を選択することにより、サイト管理者のみがストア・アーカイブを発行できます。発行可能なストア・アーカイブがリストされた「ストア・アーカイブ」ページが表示されます。デフォルトでは、複合ストア・アーカイブを示すページが表

示されます。ストア・アーカイブの発行については、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの発行についての説明を参照してください。

WebSphere Commerce でのストアの作成は、サンプル・ストア・アーカイブの選択とその変更に基づくため、Commerce Supplier Hub は作成するストアの基礎となるように設計されています。これは一般的なショッピング・フローに基づいています。サンプル・ストア・ページはカスタマイズできます。すべての Commerce Supplier Hub サンプル・ストア・ページは、JavaServer Pages です。HTML、Java、および JavaScript がこうしたページに含まれます。JSP ファイルは、キャッシュ可能です。

第 20 章 Commerce Supplier Hub サンプルを使用したストアの作成

第 1 部: Commerce Supplier Hub に基づいたストアの発行および構成

Commerce Supplier Hub サンプル・ストア (SupplyChain.sar) を使用してストアを作成するには、それを発行する必要があります。その後オプションで、それを構成することができます。サンプルの発行および構成の方法については、31 ページの『第 1 部: FashionFlow に基づいたストアの発行、および構成』の『管理コンソールを使用したストアの発行』および『WebSphere Commerce アクセラレーターを使用したストアの構成』を参照してください。その際、必要に応じて FashionFlow を Commerce Supplier Hub と読み替えてください。

サプライヤー・ハブ、サプライヤー・ハブ・カタログ資産ストア (集約カタログの管理用)、およびサプライヤー資産ストア (ホストされるすべてのサプライヤー・ストアのためのデフォルトの資産ストア) が提供されます。サンプル・ストアを発行した後、ストアを全機能で稼働させるには、追加のステップを実行することが必要になる場合があります。次に、このステップを説明します。

第 2 部: サンプル・ストアのスケジュールされたジョブの作成

サンプル・ストアを発行した後、ストアのスケジュールされたジョブを WebSphere Commerce アクセラレーターで作成する必要があります。サンプル・ストアの E メール通知を構成する方法については、31 ページの『第 1 部: FashionFlow に基づいたストアの発行、および構成』を参照してください。

第 3 部: サンプル・ストアの E メール通知の構成

以下の手順によって、決済の与信時、オーダーの許可時、およびオーダーのキャンセル時に、顧客に E メール通知をすることができます。顧客に E メールを出すには、メール・サーバーがセットアップされている必要があることに注意してください。サンプル・ストアの E メール通知を構成する方法については、31 ページの『第 1 部: FashionFlow に基づいたストアの発行、および構成』を参照してください。

第 4 部: RFQ の使用可能化と使用不能化

RFQ 取引メカニズムを使用する場合は、その前にサイト管理者がそれを使用可能にする必要があります。そのためには、WebSphere Commerce インストール・プロセスの一部として作成された WC ディレクトリーにある SQL スクリプトを使用します。RFQ を使用可能にするには、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『RFQ 取引メカニズムの使用可能化と使用不能化』を参照してください。

RFQ 通知メッセージは、RFQ ネゴシエーション中に発生する主要なイベントについて顧客に通知するために使用されます。RFQ 通知メッセージを使用可能にするには、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプの『RFQ 通知メッセージングの使用可能化』を参照してください。

RFQ のチュートリアルについては、161 ページの『RFQ の使用』を参照してください。

第 5 部: オークションの使用可能化

オークションの使用可能化については、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。オークションのチュートリアルについては、238 ページの『オークションの使用』を参照してください。

第 6 部: ストアの WebSphere Commerce Payments のセットアップ

WebSphere Commerce Payments のセットアップについては、WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

検証のための前提条件: サプライヤー組織が登録済み、サプライヤーのホストされるストアが作成済み、およびバイヤー・ユーザーがオーダー・フローを完了できるような仕方でオファーが作成済みであること。

WebSphere Commerce Payments がセットアップ済みで、決済をテストしたい場合は、以下を実行してください。

1. ストアで登録およびショッピングをします。
2. アイテムをショッピング・カートに追加します。
3. チェックアウトします。
4. オーダーを完了するには、クレジット・カード情報を入力します。このテストを目的として、以下を入力します。
 - a. 「クレジット・カード・タイプ」ドロップダウン・リストから、**Visa** を選択します (これがご使用の WebSphere Commerce Payments アカウントにあると想定しています)。
 - b. 「カード番号」フィールドで、「4111111111111111」 と入力します。
 - c. 「有効期限月」ドロップダウン・リストから、10 を選択します。
 - d. 「有効期限年」ドロップダウン・リストから、2003 を選択します。
 - e. 「オーダー」をクリックします。「オーダーの確認」ページが表示され、オーダーの詳細が示されます。

注:

1. 発行時に WebSphere Commerce Payments がインストールされていなかった場合、または実行されていなかった場合、WebSphere Commerce Payments で構成されるブランド・タイプは、クレジット・カードの契約 3456 に指定されているブランド・タイプに一致していなければなりません。
2. Commerce Supplier Hub ストアでコラボレーション・フィーチャーを使用したい場合は、まず、カスタマー・ケア (Customer Care) フィーチャーのために Lotus Sametime を、またはコラボレイティブ・ワークスペース・フィーチャーのため

に Lotus QuickPlace をインストールする必要があります。 Lotus Sametime と Lotus QuickPlace のインストールについては、「*IBM WebSphere Commerce 追加ソフトウェア・ガイド*」を参照してください。

3. 顧客が 2 バイト言語を使用し、テキスト・フィールドに長い情報を入力する場合は、フィールドに許可されている長さを超過した入力の原因のエラーが発生する可能性があります。これを訂正するには、顧客が入力する UTF8 スtring の長さを制限するコードを追加できます。

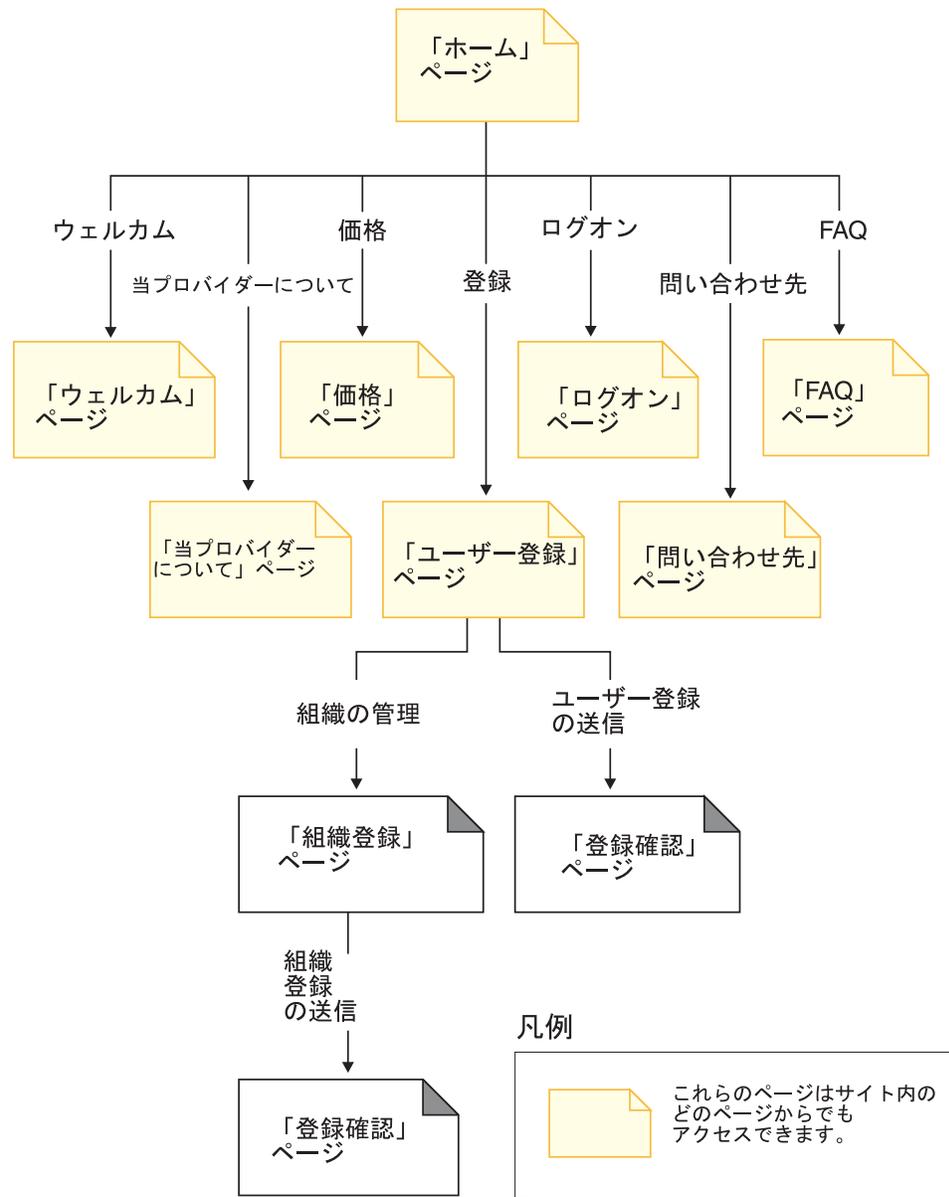
第 7 部: セラーがダウンロードするサンプル・ファイル catalog.csv の提供

セラーが Commerce Supplier Hub からダウンロードするために、catalog.csv サンプル・ファイルを発行することをお勧めします。このサンプルは、セラーがカタログ構造を作成するための開始点として機能します。サンプルは、サンプル・ディレクトリー `/WC_installdir/samples/catalogimport/catalog.csv` にあります。

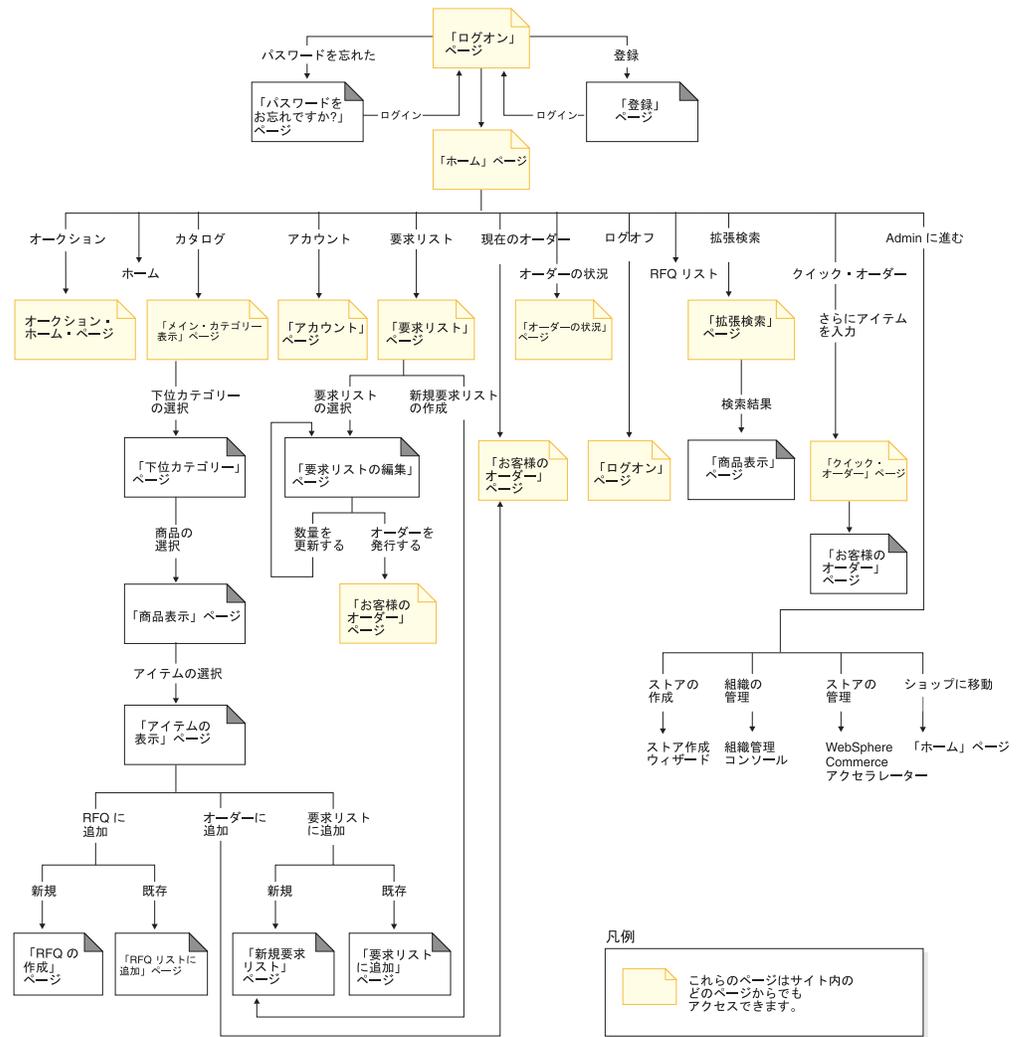
Commerce Supplier Hub ストア・フロー

以下の図は、Commerce Supplier Hub ストア・フローと、Commerce Supplier Marketplace ストア・フローを示しています。

Commerce Supplier Hub ストア・フロー



Commerce Supplier Marketplace ストア・フロー



第 21 章 Commerce Supplier Hub チュートリアル

サイト管理者へのメッセージ (コメント、フィードバック、提案) の送信

デモンストレーション

Business このチュートリアルでは、Commerce Supplier Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- サイト管理者へのメッセージの送信

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、サイト・セクションの E メール通知の構成が完了していることを確認してください。

メッセージの送信

サイト管理者にメッセージを送信するには、マーチャントは以下を行います。

1. Commerce Supplier Hub サイト
`http://hostname/webapp/wcs/stores/servlet/SupplierMarketplace/index.jsp` に移動します。
2. 「問い合わせ先」をクリックします。
3. ドロップダウン・リストから理由を選択し、メッセージを入力します。
4. 「送信」をクリックします。

Commerce Supplier Hub の自己登録

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Supplier Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- 新規バイヤーの登録
- 新規セラーの登録

バイヤー組織およびバイヤーの自己登録

1. Supplier Hub サイト
`http://hostname/webapp/wcs/stores/servlet/SupplierMarketplace/index.jsp` に移動します。
2. 「登録」->「組織の登録」をクリックして、新規バイヤー組織を登録します。
3. 必要な情報を入力して、バイヤーを組織の役割として選択します。バイヤー組織の名前と、バイヤー管理者の名前およびパスワードを確認します。「送信」をクリックします。
4. サイト管理者または Supplier Hub 管理者は、バイヤー組織を承認できます。

- a. Supplier Hosting Hub から、「**ログオン**」をクリックします。
 - b. サイト管理者または Supplier Hub 管理者としてログオンします。
 - c. 「**Admin に進む**」->「**組織の管理**」をクリックします。
 - d. 「**承認**」->「**承認要求**」をクリックします。
 - e. 「**新規セラー登録 (new seller registration)**」を選択して、「**承認**」をクリックします。
 - f. 「**OK**」をクリックします。
5. 「**登録**」をクリックして、新規バイヤーを登録します。
 6. バイヤー組織の名前を入力して、「**バイヤー**」を組織の役割として選択します。
 7. 必要な情報を入力します。バイヤーの名前およびパスワードを確認します。
 8. 「**送信**」をクリックします。
 9. 「**ログオン**」をクリックしてバイヤー管理者としてログオンし、バイヤーの登録を承認します。
 10. 「**Admin に進む**」->「**組織の管理**」をクリックします。
 11. 「**承認**」->「**承認要求**」をクリックします。
 12. 「**承認要求**」を選択して「**承認**」をクリックします。
 13. 「**OK**」をクリックします。
 14. 「**ログオフ**」をクリックします。
 15. バイヤーとしてログオンします。

セラー組織とセラーの自己登録

Commerce Supplier Hub で自己登録を行うには、予定セラーは以下を行います。

1. Commerce Supplier Hub サイト
`http://hostname/webapp/wcs/stores/servlet/SupplierMarketplace/index.jsp` に移動します。
2. 「**登録**」->「**組織の登録**」をクリックします。
3. 必要な情報を入力して、「**セラー**」を組織の役割として選択します。セラー組織の名前と、セラー管理者の名前およびパスワードを確認します。「**送信**」をクリックします。
4. Supplier Hosting Hub から、「**ログオン**」をクリックします。
5. サイト管理者としてログオンします。
6. 「**Admin に進む**」->「**組織の管理**」をクリックします。
7. 「**承認**」->「**承認要求**」をクリックします。
8. 「**新規セラー登録 (new seller registration)**」を選択して、「**承認**」をクリックします。
9. 「**OK**」をクリックします。
10. 「**ログオフ**」をクリックします。

セラーを自己登録するには、以下のようにします。

1. 「**登録**」をクリックして、新規セラーを登録します。
2. セラー組織の名前を入力して、「**セラー**」を組織の役割として選択します。

3. 必要な情報を入力します。セラー組織の名前と、セラーの名前およびパスワードを確認します。「送信」をクリックします。
4. Supplier Hosting Hub から、「ログオン」をクリックします。
5. セラー管理者としてログオンして、新規セラーの登録を承認し、セラーにセラーの役割を割り当てます。
6. 「Admin に進む」->「組織の管理」をクリックします。
7. 「承認」->「承認要求」をクリックします。
8. 「承認要求」を選択して「承認」をクリックします。
9. 「OK」をクリックします。
10. 「アクセス管理」->「ユーザー」を選択します。
11. セラーを選択して「役割」をクリックします。
12. セラーにセラーの役割を割り当てます。
13. 「OK」をクリックします。
14. 「ログオフ」をクリックします。
15. セラーとしてログオンします。

ホストされるストアの作成

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Supplier Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- 「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」を使用したホストされるストアの作成

前提条件

ストアの作成者には、サイト管理者または組織管理者の役割が必要です。

ホストされるストアの作成

注: この注は、「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」を使用して作成されるバリュー・チェーンのホストされるストアだけに適用されます。セラーがホストされるストアを作成する場合は、通常のストア発行とは異なり、ストアのデフォルトの言語以外の追加のストア言語データ資産が、ホストされるストアに繰り入れられることはありません。したがって、セラーがサポートされる言語をストアに追加する場合は、その言語のストア資産は使用できません。サポートされる言語をホストされるストアに追加する場合は、翻訳された資産 (ストア・データやプロパティ・ファイル) がストアで使用可能になっていることを確認してください。使用可能になっていない場合は、ストア・ページが正しく機能しません。

1. Commerce Supplier Hub サイト
<http://hostname/webapp/wcs/stores/servlet/SupplierMarketplace/index.jsp> に移動します。
2. セラー管理者としてログオンします。

3. 「Admin に進む」->「ストアの作成」をクリックします。
4. 「OK」をクリックします。
5. 必要な情報を入力して、セラー組織をストア組織として選択します。「次へ」をクリックします。
6. サプライヤー資産ストアをストア・タイプとして選択します。「次へ」をクリックします。「次へ」をクリックします。
7. 配送センターの名前を入力して、「追加」をクリックします。「次へ」をクリックします。
8. 「クレジット・カード (オフラインで処理される)」を選択し、ブランドおよびストア通貨を選択することによって、購入可能なブランドをすべて追加し、「追加」をクリックします。
9. 「ストア作成要約」を確認して、「完了」をクリックします。
10. 「ストアのブックマーク」をクリックして、ホストされるサプライヤー・ストアをブックマークします。
11. 「クローズ」をクリックします。
12. 「ログオフ」をクリックします。

新規カテゴリー、商品、アイテム、またはオファーのアップロード

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Supplier Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- セラーは新規カテゴリー、商品、アイテム、またはオファーをアップロードする

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、サプライヤーはホストされるストアを作成しておく必要があります。

新規カテゴリー、商品、アイテム、またはオファーのアップロード

1. Supplier Hub サイト
`http://hostname/webapp/wcs/stores/servlet/SupplierMarketplace/index.jsp` に移動します。
2. セラーとしてログオンします。
3. 「Admin に進む」->「ストアの管理」をクリックします。
4. 「商品」->「カタログのインポート」をクリックします。
5. 「カタログのアップロード」を選択します。
6. 「ブラウズ」をクリックします。
7. サンプル・カタログを見つけて開きます。
8. 「ファイルのアップロード」をクリックします。
9. 「OK」をクリックして、ダイアログを終了します。
10. アップロードされたカタログを選択して、「カタログの発行」をクリックします。

11. 状況が「発行中」から「発行済み」に変更されるまで、定期的に最新表示を押しします。
12. 「イメージのアップロード」をクリックして、「ブラウズ」をクリックし、アップロードしたいイメージを見つけます。
13. 「アップロード」をクリックします。
14. 「クローズ」をクリックします。
15. セラーとしてログオフします。
16. バイヤーとしてログオンします。
17. 「カタログのブラウズ」をクリックします。新規カテゴリー、商品、アイテム、オファーの存在を確認します。

新規カテゴリー、商品、アイテム、またはオファーの作成

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Supplier Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- セラーは新規カテゴリー、商品、アイテム、またはオファーを作成する

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、サプライヤーはホストされるストアを作成しておく必要があります。

新規カテゴリー、商品、アイテム、またはオファーの作成

1. Supplier Hub サイト
`http://hostname/webapp/wcs/stores/servlet/SupplierMarketplace/index.jsp` に移動します。
2. セラーとしてログオンします。
3. 「Admin に進む」->「ストアの管理」をクリックします。
4. 「商品」->「カテゴリー」をクリックします。
5. 「新規」をクリックします。
6. 「一般」ページで必要な情報を入力します（説明は必要ではありませんが、入力してください）。「顧客に表示」にチェックマークを付けます。「次へ」をクリックします。「親カテゴリー」ページが表示されます。
7. 最上位以外のカテゴリー（「木工」など）をクリックして、「次へ」をクリックします。「イメージ」ページが表示されます。
8. イメージを入力する必要はありません。「終了」をクリックします。
9. 「木工」を拡張表示して、新規に作成されたカテゴリーを見つけてクリックします。「商品の一覧」を選択します。
10. 「アクション」->「新規商品」をクリックします。
11. 「一般」ページが表示されます。必要な情報を入力します。コードおよび名前を確認します。「顧客に表示」と「購入用」にチェックマークが付いていることを確認します。「次へ」をクリックします。「説明」ページが表示されません。

12. 簡略説明および必要な場合は詳細説明も入力して、「次へ」をクリックします。
13. 新規に作成されたカテゴリーを見つけてクリックします。サプライヤー・ハブによって所有されているカテゴリーの下にも商品を作成できます。
14. 「次へ」をクリックして、「商品の作成」ページに戻ります。このイメージは、後で設定できます。
15. 「終了」をクリックします。SKU を作成する前に価格を設定して属性を作成することを勧めるダイアログが表示されます。これを行うには、商品を選択して「価格設定」または「属性」をクリックします。ただし、複数のSKU を生成する属性の定義については、このチュートリアルでは説明しません。
16. 新規に作成した商品を選択します。「アクション」->「SKU の生成」をクリックします。「OK」をクリックして、ダイアログを終了します (必要なら何度かクリックします)。
17. 新規に作成された商品のオファーを作成します (『サプライヤー・ハブによって所有される商品のオファーの作成』というチュートリアルを参照してください)。セラーとしてログオフし、集約カタログをブラウズするバイヤーとしてログオンすると、新規カテゴリー、商品、アイテム、またはオファーを確認できます。

サプライヤー・ハブによって所有される商品のオファーの作成

1. サプライヤー・ハブに移動して、バイヤーとしてログオンします。
2. 「カタログのブラウズ」をクリックします。
3. 「木工」->「木工のこぎり (Woodworking saws)」->「丸のこ (Circular saw)」をクリックします。
4. SKU **T0000106** のアイテムをクリックします。このアイテムを提供するサプライヤー・ストアおよび契約のリストを確認します。何もない場合もあります。
5. バイヤーとしてログオフします。
6. セラーとしてログオンします。
7. 「Admin に進む」->「ストアの管理」をクリックします。
8. 「商品」->「カテゴリー」をクリックします。
9. 「サプライヤー・ハブ共用カタログ (Supplier hub shared catalog)」->「木工」->「木工のこぎり」をクリックして、「商品のリスト」をクリックします。
10. コードが T0000102 の商品を右マウス・ボタン・クリックして、「価格の設定」をクリックします。商品はセラー組織ではなく、サプライヤー・ハブによって所有されているため、セラーは商品を変更できません。
11. 価格を入力して「OK」をクリックします。必要に応じて、この商品の価格範囲を追加することもできます。
12. セラーとしてログオフします。
13. バイヤーとしてログオンします。
14. 「カタログのブラウズ」をクリックします。
15. 「木工」->「木工のこぎり (Woodworking saws)」->「丸のこ (Circular saw)」をクリックします。

- SKU **T0000106** のアイテムをクリックします。ストアの新規オファー、契約、および価格情報の存在を確認します。

新規のホストされるストアの再開

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Supplier Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- ホストされるストアの中断状態からの再開

前提条件

ホストされるストアは中断状態になっている必要があります。

新規のホストされるストアの再開

新規のホストされるストアを再開するには、サイト管理者は以下を行います。

- Commerce Supplier Hub サイトに移動します。
- 「ログオン」をクリックして、サイト管理者を使用します。
- 「ストアの管理」をクリックします。
- SupplierMarketplace を選択して「OK」をクリックします。
- 「サプライヤー (Suppliers)」->「ホストされるストア」をクリックします。
- ホストされるストアを選択して、「再開」をクリックします。

ビジネス用ストアのオープン

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Supplier Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- ビジネス用ストアのオープン

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、サプライヤーはホストされるストアを作成しておく必要があります。ホストされるストアは中断状態 になってはなりません。

- Supplier Hub サイト
`http://hostname/webapp/wcs/stores/servlet/SupplierMarketplace/index.jsp` に移動します。
- セラー管理者としてログオンします。
- 「Admin に進む」->「ストアの管理」をクリックします。
- 「ストア」->「オープン/クローズ」をクリックします。
- 「ストアのオープン」をクリックします。
- 「ストアの立ち上げ」をクリックして、サプライヤー・ストアを起動します。

簡単な購入の完了

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Supplier Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- バイヤーは簡単な購入を完了する

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、登録済みのバイヤーと、カタログを持つストアが必要です。

バイヤーは購入を完了する

1. Commerce Supplier Hub サイト
`http://hostname/webapp/wcs/stores/servlet/SupplierMarketplace/index.jsp` に移動します。
2. バイヤーとしてログオンします。
3. 「**カタログのブラウズ**」をクリックします。
4. オfferがあるアイテムのアイテム表示ページをブラウズします。たとえば、以下のようにします。
5. オfferを選択して「**オーダーに追加**」をクリックします。バイヤーもそのアイテムを要求リストまたは RFQ に追加できることに注意してください。
6. 「**カタログ**」をクリックして、異なるサプライヤー・ストアからのオfferがある別のアイテムをブラウズします。オfferを選択して「**オーダーに追加**」をクリックします。
7. 「**サプライヤーを選択**」をクリックします。オーダーは、サプライヤー・ストアごとに分けられ、個々にチェックアウトする必要があることに注意してください。オーダーの 1 つについて、「**このオーダーをチェックアウトする**」をクリックします。
8. 「**クレジット・カード - VISA**」を支払メソッド選択して、「**次へ**」をクリックします。
9. 「**次へ**」をクリックします。
10. オーダー要約を確認してから、カード番号 「4111111111111111」を入力します。
11. 「**オーダー**」をクリックします。バイヤーは、このデモでは表示されない「**スケジュール・オーダー**」をクリックすることで、このオーダーに基づいて繰り返しオーダーをスケジュールできます。
12. オーダーの確認を見直します。

RFQ の使用

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Supplier Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- 複数パーティーの RFQ の作成
- 複数パーティーの RFQ への応答

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、サプライヤーはホストされるストアを作成しておく必要があります。

バイヤーは複数パーティーの RFQ を作成する

1. Supplier Hub サイト
`http://hostname/webapp/wcs/stores/servlet/SupplierMarketplace/index.jsp` に移動します。
2. バイヤーとしてログオンします。
3. 「**カタログのブラウズ**」をクリックします。
4. サプライヤー・ハブによって所有されるアイテムのアイテム表示ページをブラウズします。
5. 「**新規**」(見積依頼の下にある) が選択されていることを確認します。「**RFQ に追加**」をクリックします。
6. 必要な情報を入力します。クローズ・ルール「**決められた終了時刻、または、指定した回数の応答を受信したとき。**」を選択します。(「**指定した回数の応答を受信したとき。**」を選択しないことをお勧めします。)**「最少数の応答でクローズする」**に **2** を入力します。
7. 要求価格および量を入力して、「**作成**」をクリックします。
8. 「**RFQ の宛先リストにストアを追加**」をクリックします。
9. 2 つのサプライヤー・ストアにチェックマークを付けて、「**宛先リストに追加**」をクリックします。
10. 「**RFQ の送信**」をクリックします。

セラーは複数パーティーの RFQ に応答する

1. Supplier Hub サイト
`http://hostname/webapp/wcs/stores/servlet/SupplierMarketplace/index.jsp` に移動します。
2. ターゲットではないサプライヤー・ストアのセラーとしてログオンします。
3. 「**Admin に進む**」->「**ストアの管理**」をクリックします。「**セールス**」->「**RFQ**」をクリックします。RFQ が存在しないことを確認します。
4. 「**ログオフ**」をクリックします。
5. ターゲットであるサプライヤー・ストアのセラー組織としてログオンします。「**Admin に進む**」->「**ストアの管理**」をクリックします。「**セールス**」->「**RFQ**」をクリックします。RFQ が存在することを確認します。
6. RFQ を選択して「**応答**」をクリックします。
7. 必要な情報を入力します。「**次へ**」をクリックします。
8. 「**次へ**」をクリックします。「**次へ**」をクリックします。
9. RFQ アイテムを選択して「**応答**」をクリックします。
10. 要求価格および量を入力して、「**OK**」をクリックします。

11. 「終了」をクリックし、「OK」をクリックしてダイアログを終了します。
12. RFQ を選択して「応答」をクリックします。
13. 新規に作成された応答を選択して、「要約」をクリックし、それを確認します。
14. 「送信」をクリックします。
15. 「OK」をクリックして確認します。
16. セラーとしてログオフします。
17. バイヤーとしてログオンします。
18. 『バイヤーは複数パーティーの RFQ を作成する』でバイヤーとして送信した RFQ に戻ります。
19. 「RFQ 応答のリスト」をクリックします。新規応答が存在することを確認します。「応答」をクリックして、それを確認します。
20. バイヤーとしてログオフします。
21. このチュートリアルターゲットであるサプライヤー・ストアのセラーとしてログオンします。ステップ 6 から 15 を繰り返します。
22. RFQ 応答を表示すると、2 番目の応答と、その応答状況が「評価中」になっていることを確認できます。2 番目の応答を確認します。
23. 一方の応答に対して「すべての商品を受諾」を、もう一方の応答に対して「すべての商品を拒否」をクリックします。
24. 「完了」をクリックします。
25. 必要フィールドに入力して、「オーダーの作成」をクリックします。

オークションの使用

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Supplier Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- オークションの作成
- 入札のルール作成
- オークション・スタイルの作成
- オークションの自動入札の作成
- オークションの入札の作成

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、サプライヤーはホストされるストアを作成しておく必要があります。

サプライヤーはオークションを作成する

1. Supplier Hub サイト
`http://hostname/webapp/wcs/stores/servlet/SupplierMarketplace/index.jsp` に移動します。
2. サプライヤー・ストアのセラーとしてログオンします。

3. 「Admin に進む」->「ストアの管理」をクリックします。
4. 「商品」->「オークション」をクリックします。
5. 「新規...」をクリックします。
6. オークションのタイプを選択して、「次へ」をクリックします。
7. 「検索」をクリックして、SKU を検索します。
8. SKU、名前、および簡略説明フィールドに情報を入力して、「検索」をクリックします。
9. SKU を 1 つ選択して「OK」をクリックします。
10. 「オークションの商品」 ページで、オークションの数量を入力して「次へ」をクリックします。数量は、ストア内の SKU の利用可能在庫より小さくなければなりません。
11. オークションの終了日を選択し、「OR」が選択されていることを確認して「終了」をクリックします。
12. セラーとしてログオフします。

サプライヤーは入札ルールを作成する

1. Supplier Hub サイト
<http://hostname/webapp/wcs/stores/servlet/SupplierMarketplace/index.jsp> に移動します。
2. サプライヤー・ストアのセラーとしてログオンします。
3. 「Admin に進む」->「ストアの管理」をクリックします。
4. 「商品」->「オークション」をクリックします。
5. 「新規...」をクリックします。
6. 入札ルールの名前と説明を入力して、入札ルール・タイプを選択します。「次へ」をクリックします。
7. 作成する入札ルールを入力します。「終了」をクリックします。
8. セラーとしてログオフします。

サプライヤーはオークション・スタイルを作成する

1. Supplier Hub サイト
<http://hostname/webapp/wcs/stores/servlet/SupplierMarketplace/index.jsp> に移動します。
2. サプライヤー・ストアのセラーとしてログオンします。
3. 「Admin に進む」->「ストアの管理」をクリックします。
4. 「商品」->「オークション」をクリックします。
5. 「新規...」をクリックします。
6. 名前を入力して、オークション・タイプを選択します。「次へ」をクリックします。
7. オークション・スタイルの期間情報を入力します。「次へ」をクリックします。
8. オークション・スタイルの価格設定情報を入力します。「次へ」をクリックします。

9. オークション・ルールおよびオークション・アイテムの表示に使用するファイル名を入力します。「次へ」をクリックします。
10. このオークション・スタイルに使用する入札ルールを選択します。「終了」をクリックします。
11. セラーとしてログオフします。

バイヤーはオークションの自動入札を作成する

1. Supplier Hub サイト
`http://hostname/webapp/wcs/stores/servlet/SupplierMarketplace/index.jsp`に移動します。
2. バイヤーとしてログオンします。
3. 「オークション」をクリックします。
4. 「現在のオークション」をクリックします。
5. 「新規自動入札」をクリックします。
6. このオークションを表示したことがない場合は、「オークション・ルール」ページが表示されます。オークション・ルールを確認して、「新規自動入札」をクリックします。
7. フィールドに情報を入力します。「送信」をクリックします。「アイテムごとの入札値」は、「自動入札の上限」より小さくなければなりません。また、要求数量は、在庫より小さくなければなりません。
8. バイヤーとしてログオフします。

下位カテゴリー・ページのトラブルシューティング

FashionFlow、ToolTech、Commerce プラザ、または Supplier Marketplace で商品を作成する場合には、その商品の簡略説明を入力する必要があります。下位カテゴリー・ページに商品がリストされると、JSP ファイルはデータベースからその簡略説明を取得します。簡略説明が入力されていない場合、下位カテゴリー・ページにはリストされている商品の説明は表示されません。

第 7 部 ホスティング・サンプル (Commerce Hosting Hub)

Business WebSphere Commerce は、ホスティング・ビジネス・モデルのサンプルを提供しています。この部分には、以下の情報が含まれています。

- ホスティング・サンプルの情報
- Commerce Hosting Hub の概要およびセットアップの情報
- Commerce Hosting Hub チュートリアル

第 22 章 ホスティング・ストア・アーカイブ

ホスティング・サンプルには、Commerce Hosting Hub サイト、ストア・ディレクトリー、サンプル・カタログ、およびストアの作成に必要な資産が含まれています。

ホスティング・ストア・アーカイブおよびアクセス制御

Commerce Hosting Hub は、WebSphere Commerce で提供されているホスティング・サイトの新規のサンプルです。このサンプルを使用して、区画に分割されたカタログ（つまり、独立したカタログ）を使用してセラーをホストできるホスティング・サイト、または提供されるカタログ資産を共有するセラーをホストできるホスティング・サイトのセットアップを開始します。

ここでは、サンプルのセットアップの 3 つの段階（インスタンスの作成、SAR の発行、動的エンティティ）で作成される組織および役割について説明します。

組織構造およびインスタンスの作成

顧客またはバイヤーがサイトにアクセスし、カタログをブラウズし、オーダーを発行できるようにする場合、あるいは従業員がサイトを管理できるようにする場合（カタログの更新、新規販売促進の作成、オーダーの管理を含む）、あるいは販売店または他のビジネス・パートナーがサイト上の取引を完了できるようにする場合は、ビジネス・シナリオ内のすべての実行者に、WebSphere Commerce 組織構造での立場を割り当てる必要があります。

WebSphere Commerce 組織構造は、ビジネス・シナリオ内の実行者（つまりエンティティ）にフレームワークを提供します。このフレームワークは、階層構造に編成されていて、組織、組織単位、およびユーザー用のエントリーが含まれている典型的な組織階層に似ています。フレームワーク内の組織および組織単位は、ビジネスの各部の所有者としての役割を果たします。顧客、管理者、ストア、カタログ、およびディストリビューターを含むビジネスのすべての部分は、組織または組織単位に所有されている必要があります。

アクセス制御モデルは、アクセス制御ポリシーをさまざまなエンティティ（ストア、顧客、管理者など）ではなく組織に適用するため、組織構造とアクセス制御モデルは密接に関連しています。あるエンティティ（またはリソース）に適用されるポリシーは、そのエンティティまたはリソースを所有する組織に適用されます。

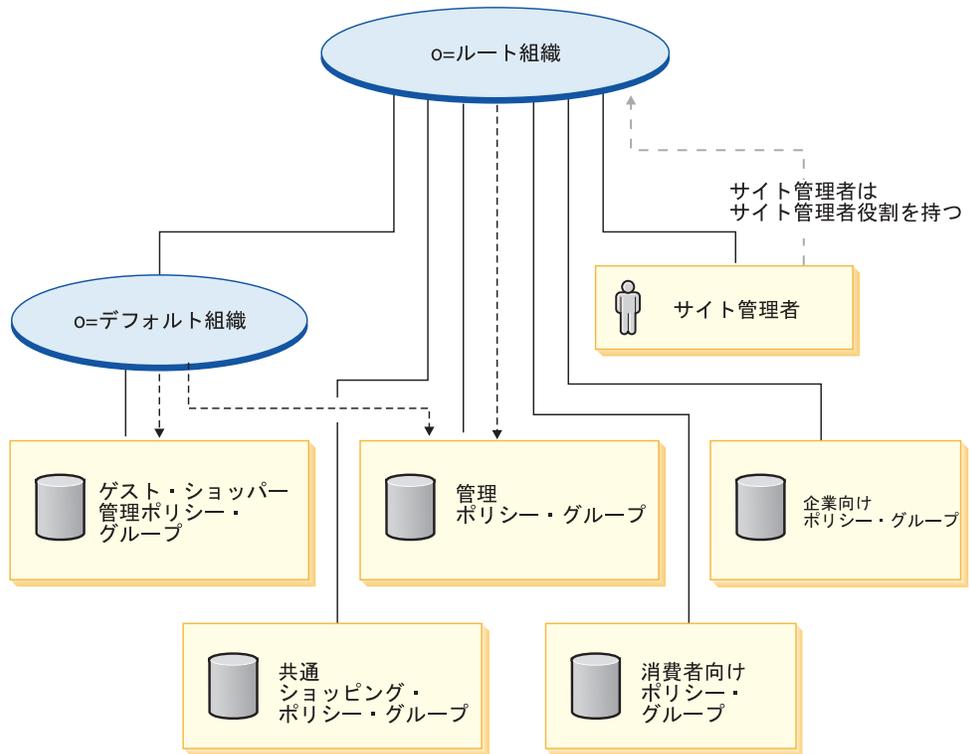
次の図は、アクセス制御が適用された WebSphere Commerce の基本組織構造を示しています。

- **ルート組織:** ルート組織は最上位の組織で、この組織自体の親でもありません。WebSphere Commerce 組織構造内のすべての組織は、ルート組織の子孫です。この例では、サイト管理者は、ルート組織によって所有されています。
- **デフォルト組織:** デフォルト組織は、ルートの下にあります。すべてのゲスト顧客と消費者向けビジネスのすべての顧客は、デフォルト組織に属します。

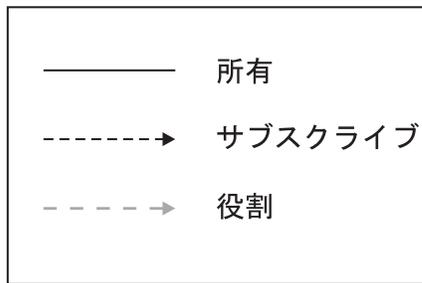
- **子組織エンティティ**：親組織エンティティの下に 1 つ以上のレベルの組織エンティティが存在できます。子組織エンティティは、ビジネスをサポートするのに必要な数だけ追加できます。

WebSphere Commerce アクセス制御構造は非常に柔軟で、サポートされるビジネス・モデルのすべてのエンティティをサポートできます。インスタンスの作成中に作成されるのは、ルート組織とデフォルト組織だけです。基本アクセス制御構造は、ビジネス・モデルとは関係なく、インスタンスの作成中にインストールされます。

基本アクセス制御



凡例



ルート組織は、以下のデフォルト・ポリシー・グループを所有します。

- 管理
- 共通ショッピング
- 消費者向け
- 企業向け

デフォルト組織は、以下のデフォルト・ポリシー・グループを所有します。

- ゲスト・ショッパー管理

ただし、ルート組織は、管理ポリシー・グループだけにサブスクライブします。このポリシー・グループのポリシーは、このルートおよびルートの子孫（ポリシー・グループにサブスクライブする子孫は除く）が所有するすべてのリソースに適用されます。デフォルト組織はポリシー・グループにサブスクライブしているので、ルート組織のポリシーは継承されません。デフォルト組織については、管理ポリシー・グループおよびゲスト・ショッパー管理ポリシー・グループのポリシーは、デフォルト組織が所有するすべてのリソースにも適用されます。

デフォルト・ポリシー・グループの詳細は、「*IBM WebSphere Commerce セキュリティ・ガイド*」の付録を参照してください。

ホスティング・ストア・アーカイブ

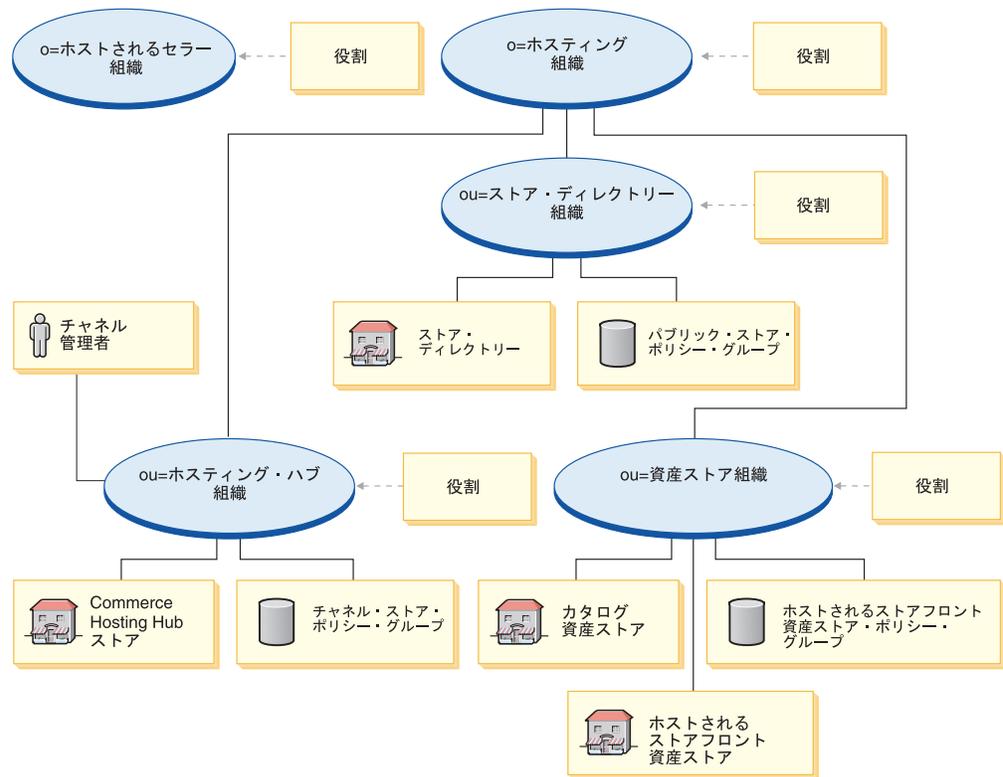
以下の SAR ファイルはホスティング・ビジネス・モデルと関連付けられています。

表 14. ホスティング

ストア・アーカイブの名前	説明
Hosting.sar	販売店ホスティング環境を作成するための、組織構造、事前定義ユーザー役割、および必要なアクセス制御ポリシーとポリシー・グループ・サブスクリプションが入っています。さらに、ホスティング・ソリューションを作成するために必要な資産が入っており、これにはサービス・プロバイダー・サイト、ストア・ディレクトリー、共用カタログ、およびホストされるセラール・ストアが含まれます。
HostingOrganizationStructure.sar	ホストされる環境を作成するための組織構造と事前定義ユーザー役割が入っています。
StoreDirectory.sar	サイトで使用可能なすべてのストアのナビゲート・ディレクトリーを作成するためのすべての必要な資産が入っています。
HostingHub.sar	ハブ・サイトを作成するためのすべての必要な資産が入っています。
CatalogAssetStore.sar	共用カタログを作成するためのすべての必要な資産が入っています。
HostedStorefrontAssetStore.sar	ストアフロントを作成するためのすべての必要な資産が入っています。

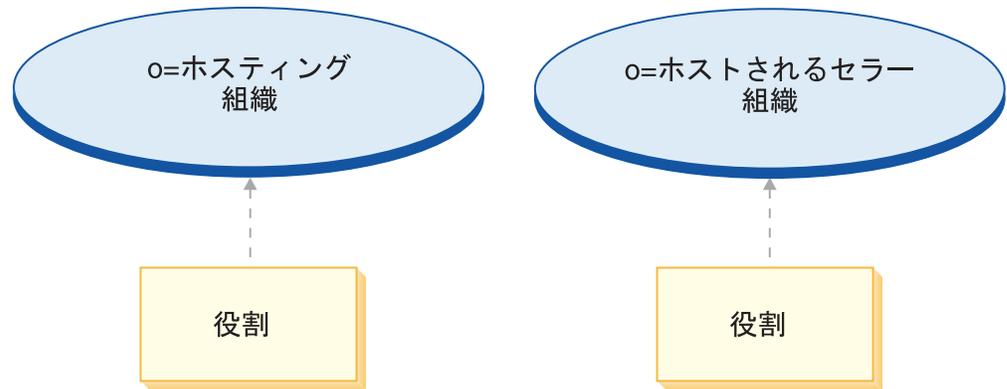
組織での役割は、組織内でユーザーが果たすことのできる役割を示しています。役割について詳しくは、*WebSphere Commerce オンライン・ヘルプ*を参照してください。

Hosting.sar の内容



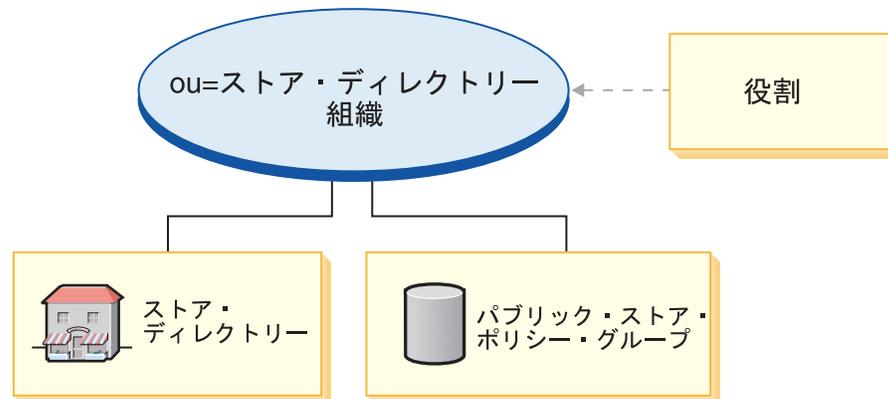
- ホストされるセラー組織および役割: アカウント担当者、バイヤー (販売サイド)、カテゴリー・マネージャー、顧客サービス担当者、顧客サービス・スーパーバイザー、マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、荷造り業者、プロダクト・マネージャー、受取人、返品管理者、セールス・マネージャー、セラー管理者、セラー、ストア管理者、チャンネル・マネージャー、登録顧客
- ホスティング組織および役割: セラー、マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、セラー管理者、チャンネル・マネージャー、登録顧客
- ホスティング・ハブおよび役割: セラー、マーケティング・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、セラー管理者、チャンネル・マネージャー、登録顧客
- ストア・ディレクトリー組織および役割: なし
- ストア・ディレクトリー (ストア)
- 資産ストア組織および役割: マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、チャンネル・マネージャー
- Commerce Hosting Hub カタログ
- Commerce Hosting Hub (ストア)
- 消費者向けホスティング・プロファイル
- ポリシー・グループ: チャンネル・ポリシー・グループ、FashionFlow ポリシー・グループ
- チャンネル管理者

HostingOrganizationStructure.sar の内容



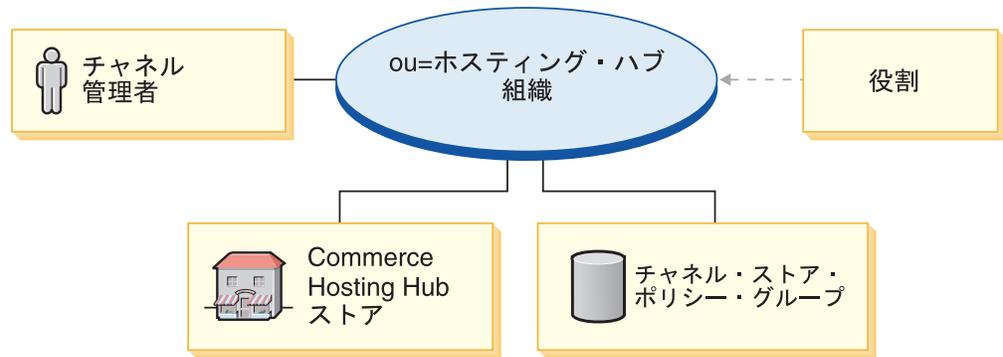
- ホストされるセラー組織および役割: アカウント担当者、バイヤー (販売サイド)、カテゴリー・マネージャー、顧客サービス担当者、顧客サービス・スーパーバイザー、マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、荷造り業者、プロダクト・マネージャー、受取人、返品管理者、セールス・マネージャー、セラー管理者、セラー、ストア管理者、チャンネル・マネージャー、登録顧客
- ホスティング組織および役割: セラー、マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、セラー管理者、チャンネル・マネージャー、登録顧客

StoreDirectory.sar の内容



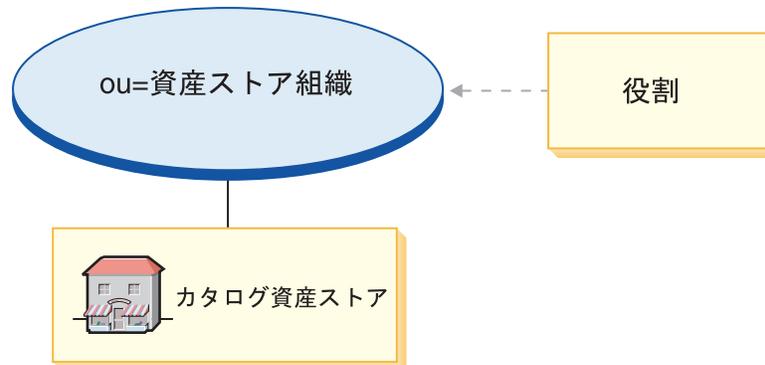
- ストア・ディレクトリー組織および役割: なし
- ストア・ディレクトリー (ストア)

HostingHub.sar の内容



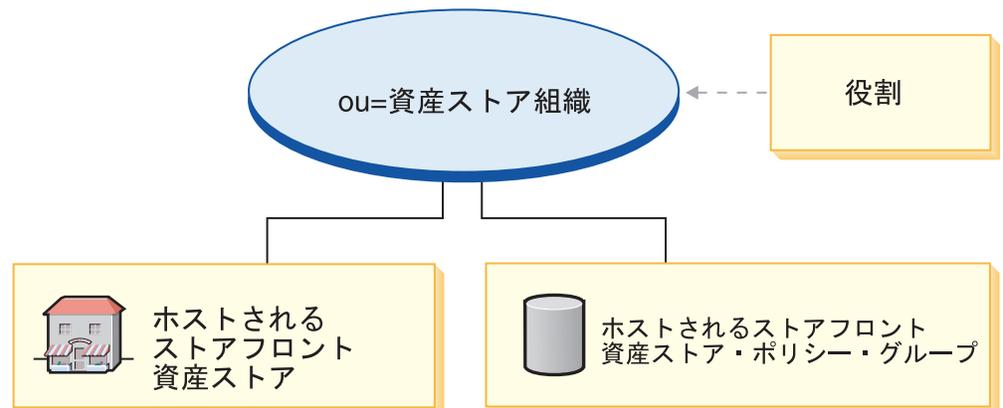
- ホスティング・ハブおよび役割: セラー、マーケティング・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、セラー管理者、チャンネル・マネージャー、登録顧客
- Commerce Hosting Hub (ストア)
- ポリシー・グループ: チャンネル・ポリシー・グループ
- チャンネル管理者

CatalogAssetStore.sar の内容



- 資産ストア組織および役割: マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、チャンネル・マネージャー
- Commerce Hosting Hub カタログ

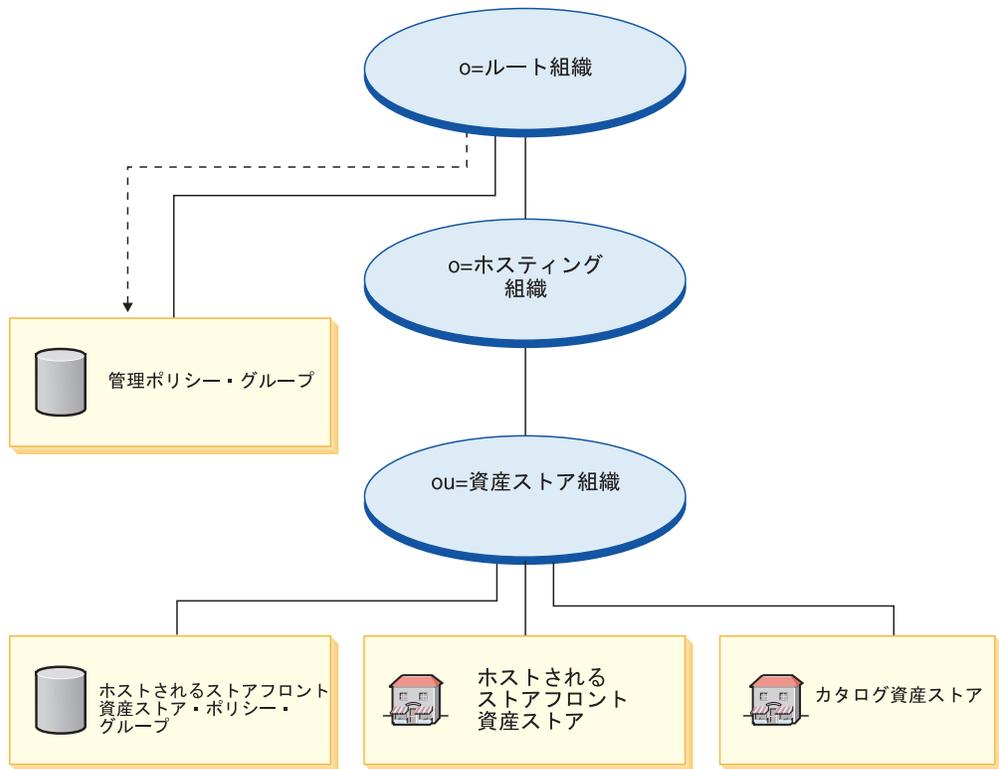
HostedStorefrontAssetStore.sar の内容



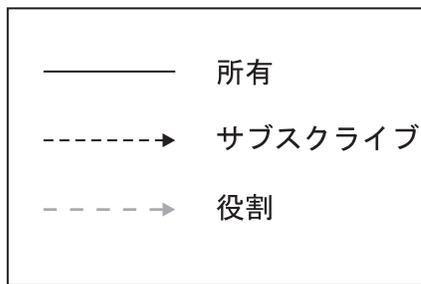
- 資産ストア組織および役割: マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリ・マネージャー、チャンネル・マネージャー
- 消費者向けホスティング・プロフィール・ストア
- ポリシー・グループ: FashionFlow ポリシー・グループ

SAR のデプロイメント

このセクションでは、Hosting.sar をインスタンスにデプロイする方法について説明します。このデプロイメントの一環としてセットアップされる、ポリシー・サブスクリプションとアクセス制御役割についても説明します。

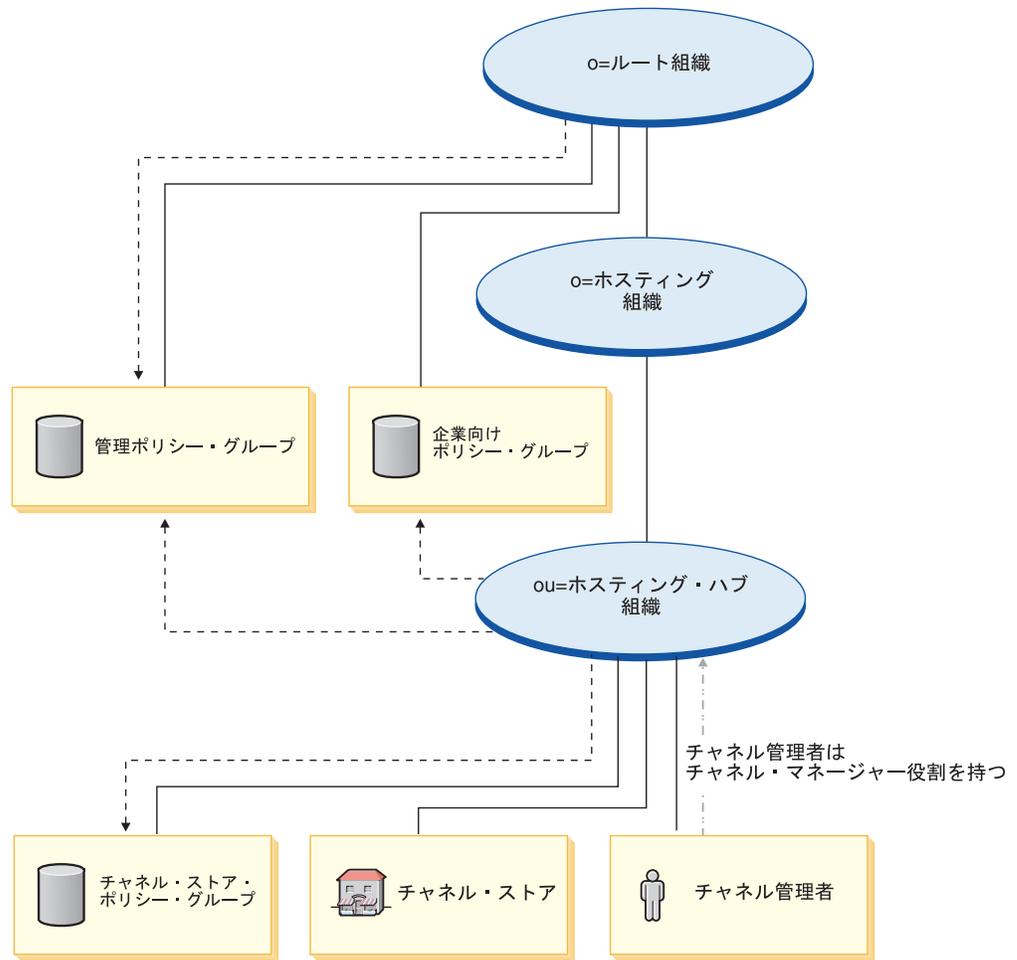


凡例

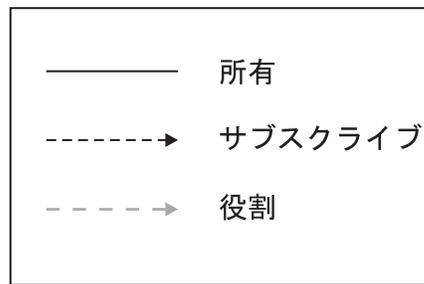


資産ストア組織は、どのポリシー・グループにも直接サブスクリプションしません。そのため、ルート組織から管理ポリシー・グループを継承します。これらのポリシーは、資産ストア組織と資産ストア組織が所有する資産ストアに適用されます。資産ストア組織は、ホストされるストアフロント資産ストア・ポリシー・グループを所有しますが、このグループにサブスクリプションしません。

注: 個々のホストされるセラー組織は、ホストされるストアが作成されるときに、ホストされるストアフロント資産ストア・ポリシー・グループにサブスクリプションします。



凡例

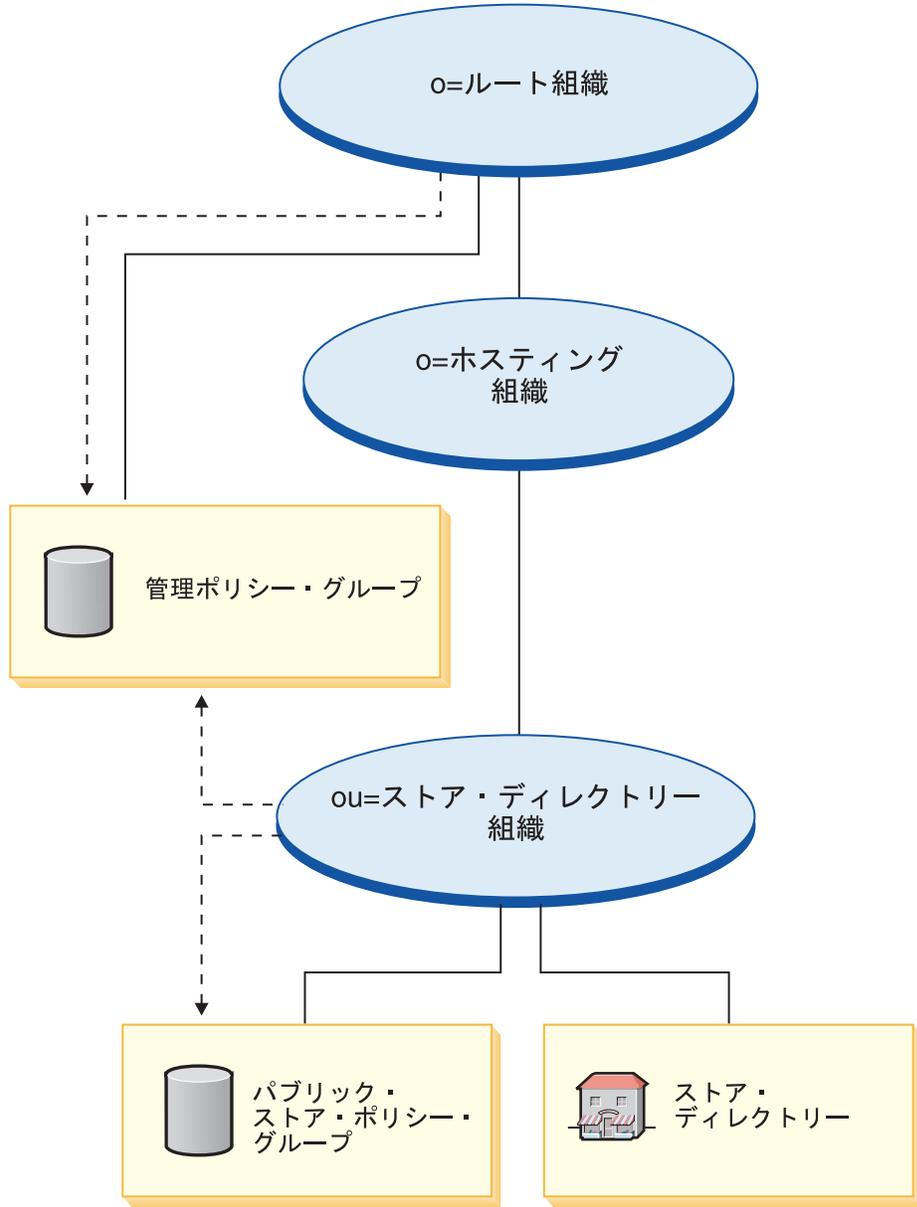


ホスティング・ハブは、管理ポリシー・グループ、企業向けポリシー・グループに直接サブスクリプションし、チャンネル・ストア・ポリシー・グループを所有してそこにサブスクリプションします。そのため、これらのポリシーは、チャンネル・ストア (ホスティング・ハブ) だけでなく、ホスティング・ハブ組織に直接属するチャンネル管理者にも適用されます。

ホスティング・ハブ・ポリシー・グループには、以下のポリシーが入っています。

- AllUsersExecuteChannelStoreAllUsersViews
- ContractAdministratorsForChannelOrgExecuteCreateCommandsOnMemberResource

- ContractAdministratorsForChannelOrgExecuteContract
DeployCommandsOnContractResource
- ContractAdministratorsForChannelOrgDisplayContract
DatabaseanResourceGroup



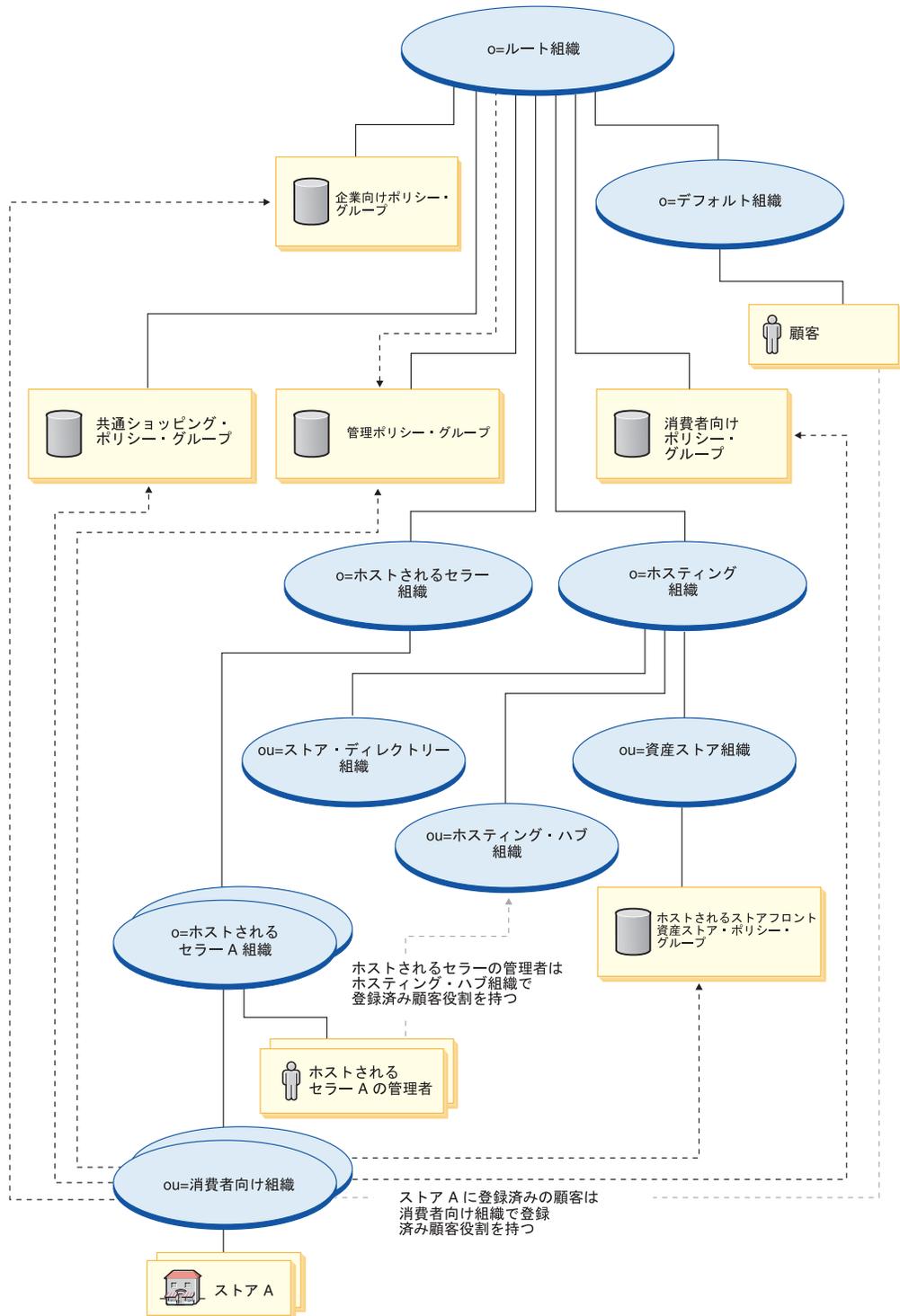
凡例



ストア・ディレクトリー組織は、管理ポリシー・グループに直接サブスクリプションし、ストア・ディレクトリー・ポリシー・グループを所有してそこにサブスクリプションします。そのため、これらのポリシーは、ストア・ディレクトリー組織に直接属するストア・ディレクトリーに適用されます。

ストア・ディレクトリー・ポリシー・グループには、以下のポリシーが入っています。

- AllUsersExecutePublicStoreAllUsersViews

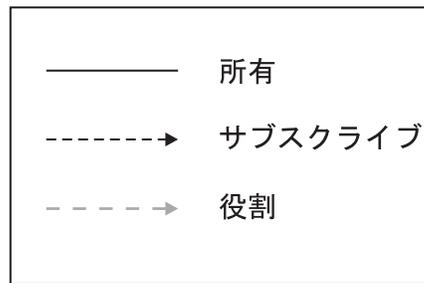


ホストされるセラー組織は、どのポリシー・グループにも直接サブスクライブしません。そのため、ルート組織から管理ポリシー・グループを継承します。これらのポリシーは、ホストされるセラー A の管理者だけでなく、ホストされるセラー組織と、ホストされるセラー組織が所有するホストされるセラー A 組織に適用されます。

消費者向け組織は、ホストされるストアフロント資産ストア・ポリシー・グループだけでなく、管理、共通ショッピング、企業向けおよび消費者向けの各ポリシー・

グループに直接サブスクライブします。これらのポリシーは、消費者向け組織が所有するすべてのストアに適用されます。

凡例



動的に作成される役割

顧客は、登録先のホストされるストアを所有する組織 (たとえば ou = 消費者向け組織) 内で、登録済み顧客の役割が与えられます。

新規販売店を登録すると、以下の役割が割り当てられます。

- 新規販売店組織の役割: セラー、マーケティング・マネージャー、オペレーション・マネージャー、カテゴリー・マネージャー、セラー管理者、および登録済み顧客。
- 新規販売店組織のために作成された管理者には、新規販売店組織の登録済み顧客、セラー、およびセラー管理者の役割、およびホスティング・ハブ組織単位の登録済み顧客役割が与えられます。

この情報は、MemberRegistrationAttributes.xml ファイルから取られています。詳しくは、4 ページの『役割と MemberRegistrationAttributes XML ファイル』、または WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

第 23 章 ホスティング・サンプル・ストア (Hosting Hub) の概要

Commerce Hosting Hub は、WebSphere Commerce で提供されているホスティング・サイトの新規のサンプルです。このサンプルを使用して、区画に分割されたカタログ (つまり、独立したカタログ) を使用してセラーをホストできるホスティング・サイト、または提供されるカタログ資産を共有するセラーをホストできるホスティング・サイトのセットアップを開始します。

このサンプルは、以下のフィーチャーを説明します。

セルフ・プロビジョニング・フィーチャーには以下のものがあります。

- セラーはホスティング・ハブからの自己登録を行います。
- いったん承認されると、セラーは「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」を使用して、ホストされるストアを作成できるようになります。
- セラーにはストアのルック・アンド・フィールの変更、マーケティング、商品管理などのストア管理機能があります。
- セラーには組織およびユーザーの管理機能があります。

ストア・ディレクトリー・サイトからのストア・ロケーター・フィーチャーには以下のものがあります。

- セラーが作成したホストされるストアは自動的にストア・ディレクトリーに追加されます。
- 顧客はストア・カテゴリーを基にストアを配置できます。
- 顧客は商品を基にストアを配置できます。
- セラーはホスティング・ハブからの自己登録を行います。

カタログ管理フィーチャーには以下のものがあります。

- 共用カタログ (マスター・カタログを共有するセラーをホスティングするため)
 - メーカーまたはディストリビューターは、セラーが共有できるようにマスター・カタログをプリロードします。
 - セラーはマスター・カタログからカテゴリーおよび商品を選択し、オプションで、独自のホストされるストアにストア固有のセールス用商品を作成します。
- 区画に分割されたカタログ (独立したストアをホスティングするため)
 - 共用カタログ・データはホストされるストアについてプリロードされません。
 - セラーはストア固有のセールス用商品を、ホストされるストアにロードします。

Commerce Hosting Hub では、機能中のバリュー・チェーン・ホスティング・オンライン・サイトに必要なすべてのページとフィーチャーを提供します。これは、ストア・アーカイブとして WebSphere Commerce に付属しています。サンプル・ストアを表示するのに必要なことは、WebSphere Commerce 管理コンソールで提供される発行ツールを使用して、アーカイブを WebSphere Commerce Server に発行すること

だけです。これは一般的なホスティング・フローに基づいています。サンプル・ストア・ページはカスタマイズできます。すべての Commerce Hosting Hub サンプル・ストア・ページは、JavaServer Pages および XML を使用して、必要なデータをロードします。

第 24 章 Hosting Hub に基づいてストアを作成する

第 1 部: ホスティング・サンプルの発行

ビジネス・モデルを発行するには、以下のステップに従います。

1. WebSphere Commerce 管理コンソールをオープンします。
2. サイト管理者としてログオンします。
3. サイトの管理を選択します。
4. 「ストア」->「発行」をクリックします。
5. Hosting.sar を選択して、「発行」をクリックします。
6. 「次へ」をクリックします。
7. 「次へ」をクリックします。
8. 「終了」をクリックします。

第 2 部: WebSphere Commerce Payments のセットアップ

WebSphere Commerce Payments を構成して、開始する必要があります。 WebSphere Commerce Payments のセットアップについては、各タスクの下の WebSphere Commerce オンライン・ヘルプを参照してください。

第 3 部: ホストされるストアに対する在庫トラッキングの使用可能化

ホストされるストアが作成されると、納期回答 (ATP) フィーチャーが使用可能になります。ただし、在庫トラッキングはデフォルトで使用不可となっています。

「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」を使用して作成される、ホストされるすべてのストアで在庫トラッキングを使用可能にするには、以下のようになります。

1. エディターで TemplateHostingContract.xml ファイルをオープンします。ファイルは、ディレクトリー /WC_installdir/xml/trading/xml にあります。
2. ストリング「inventoryopflags」を検索します。
3. 「inventoryopflags=14」を「inventoryopflags=0」に変更します。
4. ファイルを保管します。

XML ファイルを使用して WebSphere Commerce アクセラレーターからインポートされる、ホストされるストアで在庫トラッキングを使用可能にするには、以下のようになります。

1. ホストされるストアを定義する XML ファイルをエディターでオープンします。
2. ストリング「inventoryopflags」を検索します。
3. 「inventoryopflags=14」を「inventoryopflags=0」に変更します。
4. ファイルを保管します。

注: inventoryopflags は、XML の FulfillmentCenter エレメントのためだけのものです。XML に FulfillmentCenter エレメントがない場合、このステップは必要ありません。

すでに作成されている、ホストされるストアで在庫トラッキングを使用可能にするには、以下のようにします。

1. 「Update ffmcenter set inventoryopflags='0' where name = '<fulfillment center name of the store>」という SQL を実行します。
2. ストアのすべての配送センターについてステップ 1 を繰り返します。

第 4 部: セラー登録の承認の使用不能化

サイト管理者が新規セラー登録をセットアップする際に、2 つのオプションがあります。承認フローはデフォルトでは使用可能になっています。使用不可にするには、以下のステップを実行します。

1. WebSphere 組織管理コンソールをオープンします。
2. サイト管理者としてログオンします。
3. 「アクセス管理」->「組織」を選択します。
4. 「ホストされるセラー組織」を選択して、「承認」をクリックします。
5. 使用可能な承認ウィンドウから「**継承された販売店登録の承認を使用不可にする (Disable Inherited Reseller Registration Approvals)**」をクリックし、「追加」をクリックします。
6. 「OK」をクリックします。

第 5 部: サイトのスケジュールされたジョブの作成

オーダー遷移フロー (または ATP 配送管理) を管理し、ホストされるストアについていくつかの E メール・レポートをトリガーするために、スケジュールされたジョブをサイト・レベルでいくつか作成する必要があります。スケジュールされたジョブは、管理コンソールから作成する必要があります。

以下のリストは、このサイトについて作成することを推奨されている、スケジュールされたジョブを示しています。

- ExecuteSpecifiedCommandForHostedStores
 - BalancePayment
 - PayCleanup
 - ProcessBackorders
 - RAreallocate
 - ReleaseExpiredAllocations
 - ReleaseToFulfillment
- ReportsNotify

ここでジョブの要旨を示します。

ExecuteSpecifiedCommandForHostedStores

このジョブは、"commandName" と呼ばれるパラメーターを受け入れます。

このジョブの目的は、サイト内のすべてのホストされるストアに対して指定されるコマンドを実行することにあります。"commandName" として渡される実際のコマンドは、ただ "storeId" パラメーターを要求することによって実行できます。

BalancePayment

このコマンドは DoDepositCmd タスク・コマンドを呼び出し、オーダーが発送されたら支払いを資金化します。このコマンドは、WebSphere Commerce の自動決済機能をインプリメントします。

PayCleanup

このコマンドは、ストアに構成されているよりも長い期間、それぞれの金融機関によって拒否された決済与信要求がある WebSphere Commerce のオーダーをキャンセルします。

ProcessBackorders

このコマンドは、在庫がないときに作成されたバックオーダーに在庫を割り振ります。

RAReallocate (予定在庫に対する割り振りの再配分)

このコマンドは、既存のバックオーダーに対して予定在庫レコード (EIR) を再配分します。これは、EIR 情報が追加または変更されたり、以前にバックオーダーされたアイテムを削除または割り振るときにバックオーダーされたオーダー・アイテムが入手できることをさらに正確に予測するために必要です。

ReleaseExpiredAllocations

このコマンドは、割り振られた在庫を、有効期限が切れた、前に割り振られたオーダー・ライン・アイテムからの受け取りテーブルに戻します。

ReleaseToFulfillment

このコマンドは、オーダーに基づいて割り振られたアイテムを配送業務にリリースします。

ReportsNotify

このジョブは、ホストされるストアについていくつかの E メール・メッセージをトリガーします。トリガーされる E メール・メッセージは、オーダー要約レポート、ストア・コマース・レポート、ストア使用レポート、サイト・コマース・レポートです。

注: E メールは、対応するトランスポートとメッセージのタイプが正確に構成されている場合のみ受信できます。構成のステップについては、第 6 部のセットアップの手順を参照してください。

スケジュールされたジョブを作成するには、オンライン・ヘルプにある『ジョブのスケジューリング (Scheduling a job)』を参照してください。以下の表は、各ジョブの推奨パラメーターをリストしています。

表 15. 推奨されるジョブ・スケジューリング・パラメーター

スケジュールされたジョブ名	ジョブ・パラメーター	推奨開始時刻	推奨間隔 (秒単位)	推奨優先順位
---------------	------------	--------	------------	--------

表 15. 推奨されるジョブ・スケジューリング・パラメーター (続き)

ExecuteSpecified CommandForHosted Stores	commandName =BalancePayment	00:00	86,400	1
ExecuteSpecified CommandForHosted Stores	commandName =PayCleanup	00:00	86,400	1
ExecuteSpecified CommandForHostedStores	commandName =ProcessBackorders	00:00	86,400	8
ExecuteSpecified CommandForHosted Stores	commandName =RAReallocate	00:00	86,400	1
ExecuteSpecified CommandForHosted Stores	commandName =ReleaseExpired Allocations	00:00	3,600	8
ExecuteSpecified CommandForHosted Stores	commandName =ReleaseTo Fulfillment	00:00	3,600	10
ReportsNotify		00:00	86,400	1

第 6 部: サイトの E メール通知の構成

以下の手順によって、決済の与信時、オーダーの許可時、およびオーダーのキャンセル時などに、顧客に E メール通知をすることができます。

注: 顧客に E メールを出すには、メール・サーバーをセットアップしておく必要があります。メール・サーバーをセットアップしていない場合、E メール通知を送信することはできませんが、サンプル・ストアの残りのフィーチャーは動作します。

以下の表は、サイトについて構成する必要がある E メール通知を示しています。

表 16. サイトについて構成される E メール通知

サポートされる E メール通知	メッセージ・タイプ
パスワードのリセット	パスワードのリセットの通知メッセージ
与信済みオーダー	与信済みオーダーのメッセージ
送信オーダー	受け取り済みオーダーのメッセージ
キャンセル済みオーダー	キャンセル済みオーダーの通知メッセージ
配送通知	オーダー・リリース明示用顧客への通知メッセージ
買い物候補リスト	ブロードキャスト・メッセージ
承認済みセラー登録	承認済み販売店登録の通知
拒否されたセラー登録	拒否された販売店登録の通知

以下の表は、Commerce Hosting Hub について構成する必要がある E メール通知を示しています。

表 17. Commerce Hosting Hub について構成される E メール通知

サポートされる E メール通知	メッセージ・タイプ
サイト・コマース・レポート	サイト・コマース・レポートのメッセージ
フィードバック/コメント	顧客によって送信されるメッセージ

E メール通知を使用可能にするには、以下のようにします。

1. トランスポートを構成します。
 - a. サイト管理者 ID を使用して管理コンソールをオープンします。
 - b. 「管理コンソールのサイト/ストアの選択」ページで、「サイト」または「ストア」を選択します。「ストア」を選択した場合、「ストアおよび言語の選択」ページが表示されます。
 - 「名前」リストからストアを選択します。
 - 「言語」ドロップダウン・リストから言語を選択します。
 - 「OK」をクリックします。ストア管理コンソール・ホーム・ページが表示されます。
 - c. 「構成」メニューから、「トランスポート」をクリックします。「トランスポート構成」ページが表示されます。
 - E メール・トランスポートがリストされない場合、以下のようにします。
 - 1) 「追加」をクリックします。「トランスポートの追加」ダイアログがオープンします。
 - 2) ストアに追加したりトランスポートの横のチェック・ボックスを選択します。左上のチェック・ボックスを選択して、すべてのトランスポートを選択することができます。選択できるトランスポートがない場合は、サイト管理者によって選択可能にされているすべてのトランスポートを既に追加済みです。
 - 3) 「追加」をクリックしてトランスポートを追加するか、または「キャンセル」をクリックして「トランスポート構成」ページに戻ります。
 - E メール・トランスポートがリストされる場合、以下のようにします。
 - 1) 「E メール」トランスポートがアクティブ の状況になっていることを確認します。Eメールの状況が非アクティブであれば、これを選択して、「状況の変更」をクリックします。
 - 2) 「E メール」を選択し、次いで「構成」をクリックします。「トランスポート構成パラメーター」ページが表示されます。
 - 3) 「ホスト」フィールドで、たとえば `myserver.ibm.com` というように、ご使用のメール・サーバーの完全修飾名を入力します。
 - 4) 「プロトコル」フィールドで、小文字で `smtp` と入力するか、または選択したプロトコルを入力します。「OK」をクリックします。
2. メッセージ・タイプを構成または作成します。
 - a. サイト管理者 ID を使用して管理コンソールをオープンします。
 - b. 「管理コンソールのサイト/ストアの選択」ページで、「サイト」または「ストア」を選択します。「ストア」を選択した場合、「ストアおよび言語の選択」ページが表示されます。
 - 「名前」リストからストアを選択します。

- 「言語」ドロップダウン・リストから言語を選択します。
 - 「OK」をクリックします。ストア管理コンソール・ホーム・ページが表示されます。
- c. 「構成」メニューから、「メッセージ・タイプ」をクリックします。「メッセージ・タイプ構成」ページが表示されます。
- d. 送信する通知を、以下のように作成します。
- 1) 「新規」をクリックします。「メッセージ・トランスポートの割り当て」ページが表示されます。
 - 2) メッセージ・タイプを、「メッセージ・タイプ」ドロップダウン・リストから選択します。サイト/ストアで使用するメッセージ・タイプについては、上記の表を参照してください。
 - 3) 「メッセージ重大度」フィールドに、0 から 0 を入力します。
 - 4) 「トランスポート」ドロップダウン・リストから、「E メール」を選択します。ここに「E メール」がない場合は、以下を実行します。
 - a) 「デバイス形式」ドロップダウン・リストから、「標準デバイス形式」を選択します。
 - b) 「次へ」をクリックします。「メッセージ・トランスポートの割り当てパラメーター (Message Transport Assignment Parameters)」ページが表示されます。
 - c) フィールドを以下のように完成させます。

ホスト メール・サーバーの完全修飾名。たとえば example.ibm.com など。

プロトコル・タイプ (Protocol Type)

smtp (必ず小文字を使用) または使用するプロトコルを入力します。

宛先 有効な E メール・アドレスを入力します。このアドレスは、メッセージがショッパーを対象としている場合、実行時に顧客の E メール・アドレスによって置き換えられます。

差出人 メッセージの送信側として使用する E メールを入力します (たとえば orders@example.ibm.com など)。このアドレスは、メール・サーバー上の正当なユーザーに対する E メール・アドレスにする必要があります。

件名 メッセージの件名として表示するテキストを入力します。たとえば、「オーダーは受付を完了しました」など。

- d) 「終了」をクリックします。「メッセージ・タイプ構成」ページが表示されます。

注: 表にリストされているそれぞれの通知ごとに、メッセージ・タイプの作成を繰り返します。それらを作成した後、ホストされるストアごとのトランスポートを構成します。

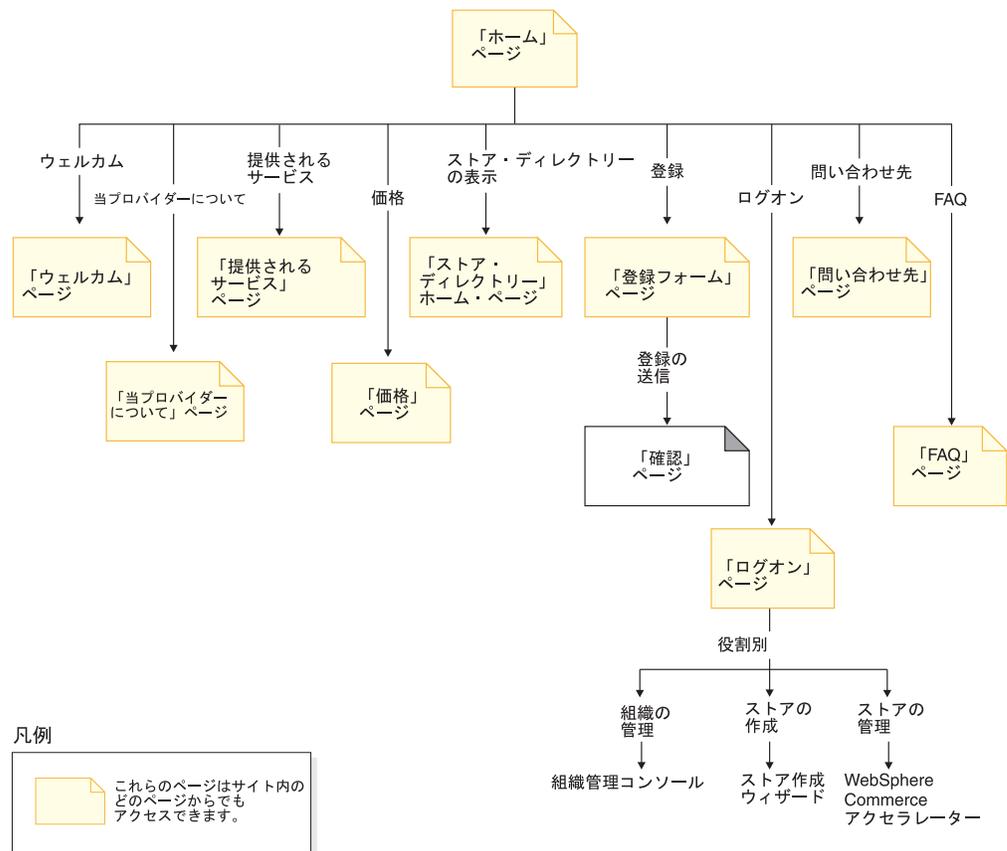
第 7 部: セラーがダウンロードするサンプル・ファイル catalog.csv の提供

セラーが Commerce Hosting Hub からダウンロードするために、 catalog.csv サンプル・ファイルを発行することをお勧めします。このサンプルは、セラーがカタログ構造を作成するための開始点として機能します。サンプルは、サンプル・ディレクトリー /WC_installdir/samples/catalogimport/catalog.csv にあります。

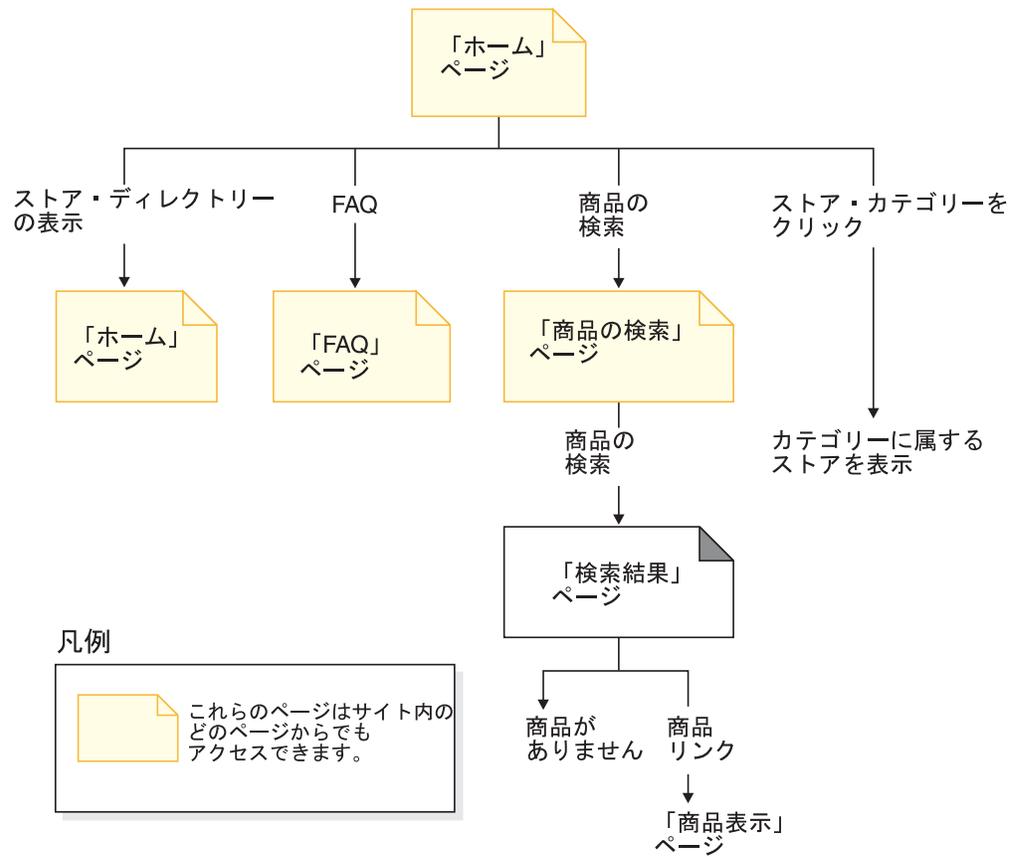
Commerce Hosting Hub のストア・フロー

以下の図は、Hosting Hub とストア・ディレクトリーの基本ストア・フローを示しています。

Hosting Hub のストア・フロー



ストア・ディレクトリーのストア・フロー



第 25 章 Commerce Hosting Hub のユース・ケース

ホスティング・サンプルにはユース・ケースが付属していますが、これによって顧客は新規セラーの登録プロセスから、承認、ホストされるストアの作成、およびホストされるビジネス用のストアのオープンまで行えます。

新規セラーの登録

このユース・ケースは、新規セラーが Commerce Hosting Hub に登録する際のイベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

顧客が Commerce Hosting Hub にいる

基本フロー

1. 顧客は新規セラーとして登録することを決定します。顧客は登録リンクをクリックします。「登録フォーム」ページが表示されます。
2. 顧客は必要な情報を入力し、「登録の送信」をクリックします。
3. システムにより新規セラーの組織とユーザーが作成されます。
4. システムにより、MemberRegistrationAttributes.xml ファイルで説明されているとおり、組織とユーザーに対して役割が割り当てられます。詳しくは、255 ページの『動的に作成される役割』を参照してください。
5. ユーザーがアクティブになる前に承認が必要かどうか、システムにより判別されます。
6. システムにより「確認」ページが表示されます。
7. 顧客は登録確認 E メールを待ちます。

事後条件

承認を必要としない場合、ユーザー ID がシステムによって即時にアクティブにされます。これは、作成されたログオン ID を顧客が即時に使用できることを意味します。あるいは、システムによりサイト管理者に対して承認要求が送信され、作成されたログオン ID が使用不可になります。

ホストされるストアの作成

このユース・ケースは、セラーが Commerce Hosting Hub にホストされるストアを作成する際のイベントの機能フローについて説明しています。

前提条件

セラーが登録済みであり、Commerce Hosting Hub にログオンしている。

基本フロー

1. セラーは「ストアの作成」リンクをクリックします。

2. システムにより「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」言語選択ページが表示されます。
3. セラーはストアのデフォルト言語を選択し、「OK」をクリックします。
4. システムにより「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」の「一般」ページが表示されます。ストア・カテゴリーが定義されている場合、ページにストア・カテゴリーの選択フィールドが表示されます。
5. セラーはストアに関する情報を入力し、デフォルトの通貨を選択します。セラーは「次へ」をクリックします。
6. システムにより MPS というストア・タイプを持つすべてのストアが判別され、テンプレート・ストアが表示されます。
7. セラーはテンプレート・ストアを選択肢、「次へ」をクリックします。
8. システムにより CPS というストア・タイプを持つすべてのストアが判別され、カタログ資産ストアが表示されます。
9. セラーは「カタログ」ページでオプションを選択し、「次へ」をクリックします。
10. システムにより「配送の作成 (fulfillment creation)」ページが表示されます。
11. セラーはストアの配送センターを追加し、「次へ」をクリックします。
12. システムにより WebSphere Commerce Payments の可用性が決定され、サイトで使用可能な支払いオプションが表示されます。
13. セラーはストアで提供する支払いオプションを選択し、「次へ」をクリックします。
14. システムにより「要約」ページが表示されます。
15. セラーは情報を確認し、「終了」をクリックします。

事後条件

システムによりホストされるストアが中断状態で作成されます。サイト管理者は、セラーにビジネス用のストアをオープンする権限を付与する前に、それを再開 (クローズ状態に変更) する必要があります。

第 26 章 Commerce Hosting Hub チュートリアル

注: FashionFlow チュートリアルは、以下の場合を除き、ホストされるストア（「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」を使用して作成されたストア）に適用されます。

- ガイド付き販売
- E メール・オプションの作成および受信
- 商品探査および商品比較の使用

これらのチュートリアルについては、91 ページの『第 7 章 FashionFlow チュートリアル』を参照してください。

サイト管理者へのメッセージ (コメント、フィードバック、提案) の送信

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Hosting Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- サイト管理者へのメッセージの送信

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、サイト・セクションの E メール通知の構成が完了していることを確認してください。

メッセージの送信

サイト管理者にメッセージを送信するには、セラーは以下を行います。

1. Commerce Hosting Hub サイト
`http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommerceHostingHub/index.jsp` に移動します。
2. 「問い合わせ先」をクリックします。
3. ドロップダウン・リストから理由を選択し、メッセージを入力します。
4. 「送信」をクリックします。

Commerce Hosting Hub の自己登録

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Hosting Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- 新規セラーの登録

自己登録

Commerce Hosting Hub で自己登録を行うには、予定セラーは以下を行います。

1. Commerce Hosting Hub サイト
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommerceHostingHub/index.jsp> に移動します。
2. 「登録」をクリックします。
3. 必要な情報を入力し、「登録の送信」をクリックします。
4. 承認が使用可能な場合、サイト管理者はユーザーを承認する必要があります。使用不可の場合は、次のセクションにスキップします。
5. Commerce Hosting Hub から、「ログオン」をクリックします。
6. サイト管理者としてログオンします。
7. 「承認」メニューの下の「承認要求」をクリックします。
8. 「新規セラー登録 (new seller registration)」を選択して、「承認」をクリックします。
9. コメントを入力して、「OK」をクリックします。

空カタログを持つホストされるストアの作成

注: この注は、「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」を使用して作成されるバリュー・チェーンのホストされるストアだけに適用されます。セラーがホストされるストアを作成する場合は、通常のストア発行とは異なり、ストアのデフォルトの言語以外の追加のストア言語データ資産が、ホストされるストアに繰り入れられることはありません。したがって、セラーがサポートされる言語をストアに追加する場合は、その言語のストア資産は使用できません。サポートされる言語をホストされるストアに追加する場合は、翻訳された資産 (ストア・データやプロパティ・ファイル) がストアで使用可能になっていることを確認してください。使用可能になっていない場合は、ストア・ページが正しく機能しません。

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Hosting Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- ホストされるストアの作成

空カタログを持つホストされるストアの作成

空カタログを持つホストされるストアを作成するには、新規セラーは以下を行います。

1. Commerce Hosting Hub サイト
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommerceHostingHub/index.jsp> に移動します。
2. 「ログオン」をクリックします。
3. ログオン ID およびパスワードを入力して、「ログオン」をクリックします。
4. 「ストアの作成」をクリックします。「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」は同じブラウザー上にロードします。
5. 言語を選択して、「OK」をクリックします。

6. 「一般」ページで、ストアに関するすべての情報を入力します。アップロードされるカタログ・データはカナダの価格で表示されるため、CAD を選択します。「次へ」をクリックします。
7. 「ストア・タイプ」ページで、JSP とビジネス・プロセスを共有するプロフィール・ストアを選択します。「次へ」をクリックします。
8. 「カタログ」ページで、ストアのカタログのタイプを入力します。この例では空カタログを選択します。「次へ」をクリックします。
9. 「配送」ページで、配送センターの名前を入力します。「次へ」をクリックします。
10. 「支払い」ページで、ストアの支払メソッドを選択します。このページでは現在、支払メソッドを表示するために WebSphere Commerce Payments を構成する必要があります。「次へ」をクリックします。
11. 「要約」ページで、すべての情報を確認します。「終了」をクリックします。

共用カタログを持つホストされるストアの作成

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Hosting Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- ホストされるストアの作成

共用カタログを持つホストされるストアの作成

ホストされるストアを作成するには、新規セラーは以下を行います。

1. Commerce Hosting Hub サイト
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommerceHostingHub/index.jsp> に移動します。
2. 「ログオン」をクリックします。
3. ログオン ID およびパスワードを入力して、「ログオン」をクリックします。
4. 「ストアの作成」をクリックします。「ストア作成ウィザード (Store Creation Wizard)」は同じブラウザ上にロードします。
5. 言語を選択して、「OK」をクリックします。
6. 「一般」ページで、ストアに関するすべての情報を入力します。共用カタログ・データは USD の価格で定義されるため、USD を選択します。「次へ」をクリックします。
7. 「ストア・タイプ」ページで、JSP ファイルとビジネス・プロセスを共有するプロファイル・ストアを選択します。「次へ」をクリックします。
8. 「カタログ」ページで、ストアのカタログのタイプを入力します。この例では既存のカタログを選択します。「次へ」をクリックします。
9. 「配送」ページで、配送センターの名前を入力します。「次へ」をクリックします。
10. 「支払い」ページで、ストアの支払メソッドを選択します。このページでは現在、支払メソッドを表示するために Commerce Payments を構成する必要があります。「次へ」をクリックします。

11. 「要約」 ページで、すべての情報を確認します。「終了」をクリックします。

新規のホストされるストアの再開

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Hosting Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- ホストされるストアの中断状態からの再開

新規のホストされるストアの再開

新規のホストされるストアを再開するには、サイト管理者は以下を行います。

1. Commerce Hosting Hub サイト
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommerceHostingHub/index.jsp> に移動します。
2. 「ログオン」をクリックして、サイト管理者を使用します。
3. 「ストアの管理」をクリックします。
4. Commerce Hosting Hub を選択して、「OK」をクリックします。
5. 「ホスティング」 -> 「ホストされるストア」をクリックします。
6. ホストされるストアを選択して、「再開」をクリックします。

ホストされるストアの情報の変更

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Hosting Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- スタア情報 (名前、説明、または住所) の変更
- スタアがサポートする通貨および言語の変更

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、セラーはサイト上にホストされるストアを作成しておく必要があります。

ホストされるストアの情報の変更

ホストされるストアの情報を変更するには、既存のセラーは以下を行います。

1. Commerce Hosting Hub サイト
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommerceHostingHub/index.jsp> に移動します。
2. 「ログオン」をクリックします。
3. 「ストアの管理」をクリックします。
4. 「ストア」 -> 「プロフィールの変更」をクリックします。
5. スタア名、説明、および連絡先情報を変更します。
6. 新規通貨およびサポートする新規言語を追加します。

7. ホストされるストアのフロントページおよび問い合わせ先の変更を確認します。

注: 新規通貨を追加する際には、カタログで新規通貨の価格を定義するか、換算率を定義する必要があります。新規言語を追加する際には、ストアの情報（つまり、ストア・プロフィール情報、カタログの説明、配送モードの説明など）は新規言語で定義する必要があります。

ホストされるストアのルック・アンド・フィールの変更

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Hosting Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- ストア・ロゴのアップロードおよび変更
- メッセージの変更によるストア・ページの変更
- ストア・スタイル、カラー、およびバナーの変更

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、セラーはサイト上にホストされるストアを作成しておく必要があります。

ホストされるストアのルック・アンド・フィールの変更

ホストされる他のルック・アンド・フィールを変更するには、既存のセラーは以下を行います。

1. Commerce Hosting Hub サイト
`http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommerceHostingHub/index.jsp` に移動します。
2. 「ログオン」をクリックします。
3. 「ストアの管理」をクリックします。
4. ストア・ロゴを変更します。
 - a. 「ストア」->「ロゴのアップロード」をクリックします。
 - b. 「ブラウズ」をクリックします。イメージ・ファイルをマシンから選択します。「OK」をクリックします。
 - c. 「アップロードおよび適用」をクリックします。
5. ストア・ページを変更します。
 - a. 「ストア」->「ページの変更」をクリックします。
 - b. 「ホーム」セクションを選択します。
 - c. HTML テキストをいくつか追加します。
 - d. 「OK」をクリックします。
6. ストア・スタイルを変更します。
 - a. 「ストア」->「スタイルの変更」をクリックします。
 - b. スタイル、カラー、またはバナーを変更します。
 - c. 「ストアの表示」をクリックして、ストアフロント内の変更を表示します。

ホストされるストアのフローの変更

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Hosting Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- ストアの基本フローの変更

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、セラーはサイト上にホストされるストアを作成しておく必要があります。

ホストされるストアのフローの変更

ホストされるストアのフローを変更するには、既存のセラーは以下を行います。

1. Commerce Hosting Hub サイト
`http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommerceHostingHub/index.jsp` に移動します。
2. 「ログオン」をクリックします。
3. 「ストアの管理」をクリックします。
4. 「ストア」->「フローの変更」をクリックします。
5. 「オーダーの状況」パネルに移動して、「オーダー状況の追跡」のチェックマークを外します。「OK」をクリックします。
6. ストアフロントを立ち上げて、「アカウント」リンクに移動し、「オーダーの状況」が除去されていることを確認します。

カタログ・データのインポートおよびロード

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Hosting Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- カatalog・データのインポートおよびロード
- カatalog・イメージのアップロード

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、セラーは空のカタログを持つ、ホストされるストアを作成しておく必要があります。

カタログ・データのインポートおよびロード

カタログ・データをインポートおよびロードするには、既存のセラーは以下を行います。

1. Commerce Hosting Hub サイト
`http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommerceHostingHub/index.jsp` に移動します。

2. 「ログオン」をクリックします。
3. 「ストアの管理」をクリックします。
4. 「取引管理」メニューの下の「カタログのインポート」をクリックします。
5. 「カタログのアップロード」をクリックします。
6. エンコードを選択し、アップロードするファイル・システムからファイルを選択します。サンプルは /WCS_installdir/samples/catalogimport/catalog.csv にあります。
7. 「ファイルのアップロード」をクリックします。
8. カタログ・インポート・リストから、アップロードされたファイルを選択して、「カタログの発行」をクリックします。
9. カタログのインポートでデータのアップロードが終了するまで約 5 分待ちます。
10. カタログが発行された後、「イメージのアップロード」をクリックします。
11. 「ブラウズ」をクリックして、選択したイメージをアップロードします。サンプル・イメージは /WCS_installdir/samples/catalogimport/images.zip にあります。
12. 宛先フォルダーを選択して、「アップロード」をクリックします。
13. ストアフロントを確認します。

ストアの商品のフィルター掛け

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Hosting Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- カテゴリーまたは商品のフィルター掛け
- マスター・カタログからのホストされるストアの価格調整

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、セラーは共用マスター・カタログを使用する、ホストされるストアを作成しておく必要があります。

ストアの商品のフィルター掛け

ストアの商品をフィルターに掛けるには、既存のセラーは以下を行います。

1. Commerce Hosting Hub サイト
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommerceHostingHub/index.jsp> に移動します。
2. 「ログオン」をクリックします。
3. 「ストアの管理」をクリックします。
4. 「取引管理」メニューの下の「カタログ・フィルター」をクリックします。
5. 「モニター」カテゴリーをクリックし、「除外」をクリックします。
6. 「保管」をクリックします。
7. 「最新表示」をクリックします。

8. ストアフロントをオープンし、「モニター」カテゴリーに何も表示されないことを確認します。
9. IBM Thinkpads をナビゲートし、「アイテム表示」ページに行くまで、常に最初に選択可能なカテゴリーまたは商品を選択します。カタログ・フィルター・ツールを使用して価格を値上げするので、その商品の価格はメモしておいてください。
10. 「ストアの管理」ウィンドウに戻り、IBM Thinkpad、IBM Thinkpad i Series、IBM Thinkpad i Series1200 を拡張表示します。
11. 「TPi1200 700 128 64/10 24X 13.3"」商品を選択します。
12. 「価格の計算」をクリックします。
13. 「価格調整の設定」をクリックします。
14. 「50% 値上げ (50% Markup)」と入力し、「OK」をクリックします。
15. 「保管」をクリックします。
16. 「最新表示」をクリックします。
17. 「価格の計算」をクリックすると、価格はステップ 12 の 50% 増になります。
18. この商品のストアフロント価格を確認します。

クーポンの作成と使用

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Hosting Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- クーポン販売促進の作成
- クーポン販売促進の広告
- イメージ・ファイルのアップロード
- 登録
- クイック・チェックアウト・プロファイル
- 通常のチェックアウト
- クーポン・リストへのクーポンの追加
- クーポンの引き換え

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、セラーはサイト上にホストされるストアを作成しておく必要があります。

クーポンの作成

ストアのクーポンをセットアップするには、既存のセラーは以下のようにします。

1. Commerce Hosting Hub サイト
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommerceHostingHub/index.jsp> に移動します。
2. 「ログオン」をクリックします。

3. 「ストアの管理」をクリックします。
 - a. 「商品取引」メニューから、「クーポン販売促進」をクリックします。「クーポン販売促進」ウィンドウが表示され、現在定義されているクーポン販売促進のリストが示されます。
 - b. 「新規...」を選択して、新しいクーポン販売促進を作成します。「クーポン販売促進の一般情報」ページが表示されます。
 - c. 「名前」テキスト・ボックスに、**Coupon Promotion 03** と入力します。
 - d. 「説明」テキスト・ボックスに、オファーしようとしているクーポンの説明を入力します。 **20% off order** と入力します。
 - e. 次に、このクーポンが有効になる時を決めます。常時有効にするか、または指定期間を決めることができます。指定期間を選択した場合は、開始日、終了日、開始時刻、および終了時刻を入力する必要があります。ここでは、このオプションを使用します。したがって、開始日として **today's date** を (指示されている形式で) 入力し、終了日として **a week from today** を (指示されている形式で) 入力し、**7:00** に開始して **23:00** に終了するようにします。
 - f. 「次へ」を選択して、「詳細情報」ページに進みます。
 - g. 使用通貨である「**USD**」を選択します (ドルの場合)。
 - h. 「提供するクーポンの数」の下で、「**任意の数値**」を選択します。
 - i. 「購入条件のタイプ」の下で、「**オーダーのタイプ**」を選択します。(クーポンをオーダー全体ではなく特定の商品に適用したい場合は、商品タイプを選択します。)
 - j. 「次へ」を選択して、「オーダー購入条件」ページに進みます。
 - k. 「最低金額」に、**\$200.00** と入力します。この値は、顧客がクーポン販売促進を受けるために支払う必要がある最低金額です。最高金額を適用したい場合も、このページで指定できます。この選択を行うと、金額を入力するためのテキスト・ボックスが表示されます。ただし、今回は最大値を入力しません。
 - l. 「次へ」を選択して、「クーポン値」ページに進みます。
 - m. 次に、**クーポンを割引率で表すのか、または一定額にするのか**を決めます。今回は、オーダーの 20% 割引をオファーすることになっています。したがって、この値を選択します。(一定額を選択した場合は、金額を入力するためのテキスト・ボックスが表示されます。)
 - n. 「終了」をクリックして、クーポン販売促進を保管します。「クーポン販売促進」リストにクーポン販売促進が表示され、自動的にアクティブとして設定されます。クーポン販売促進が正常に作成されたことを示すメッセージを受け取ります。「**OK**」をクリックします。
 - o. 「クーポン販売促進」ページに戻り、クーポンが表示されます。
4. 次に、広告コピーを作成します。
 - a. 「マーケティング」メニューから、「**広告コピー**」を選択します。
 - b. 「新規...」を選択して、新しいクーポン販売促進の広告コピーを作成します。(既存の販売促進の要約の変更、削除、または受信を行いたい場合は、それぞれのオプションを選択します。)
「一般定義」ページが表示されます。

- c. 「広告コピー名」テキスト・ボックスに、 **Coupon Promotion 03 ad copy** と入力します。
 - d. 「タイプ」ドロップダウン・ボックスで、「**イメージ**」を選択します。
 - e. 「URL」ドロップダウン・リストで、「**クーポン販売促進**」を選択します。次に、「**リスト**」をクリックして、クーポン販売促進を選択します。「クーポン・リスト」ページが表示されます。クーポン販売促進の横のボックスにチェックマークを付けます。このページには、追加情報を入力するための2つのカスタム・フィールドがあります。「**次へ**」をクリックします。「**説明の定義**」ページが表示されます。
 - f. 「**ロケーション**」テキスト・ボックスで、ストア・ホーム・ディレクトリー (*WAS_installpath/InstalledApps/WC_Enterprise_App_instancename.ear/wcstores.war/store_name*) に関するフラッシュ・ファイルまたはイメージ・ファイルの相対パス名を入力します。 *images/coupon_20_percent.gif* と入力します (注: zip 内に 20 % GIF を作成し、それを */WebSphere/AppServer/installedApps/WC_Enterprise_App_instancename/wcstores.war/storedir/images/* にコピーします)。
 - g. 「**マーケティング**」テキスト・ボックスで、ストア中でクーポン・イメージと共に表示されるテキストを入力します。
 - h. 「**終了**」をクリックします。広告コピーが正常に作成されたことを示すメッセージを受け取ります。「**OK**」をクリックします。
 - i. 「**広告コピー**」ページに戻り、広告コピーが表示されます。この広告コピーを選択して変更を加えたり、削除したり、要約を受け取ったりすることも選択できます。
5. キャンペーンを作成します。
 - a. 「**マーケティング**」メニューから、「**キャンペーン**」を選択します。「**キャンペーン**」ウィンドウが表示され、現在定義されているキャンペーンのリストが示されます。
 - b. 「**新規...**」を選択して、新しいキャンペーンを作成します。「**一般定義**」ページが表示されます。
 - c. キャンペーン名として **Sample campaign** と入力します。 **20% off your order when you spend \$200** などのキャンペーンの説明を入力します。この説明は、「**キャンペーン・リスト (Campaign List)**」ウィンドウに表示され、キャンペーンを識別するのに役立ちます。 **20% off order coupon** という説明を入力します。「**次へ**」をクリックします。「**ビジネス目的の定義**」ページが表示されます。
 - d. キャンペーンのスポンサーと目的を入力します。 **Campaign Owner** と入力し、目的として **To increase consumer spending** と入力します。
 - e. 「**終了**」をクリックして、キャンペーンを保管します。キャンペーンが正常に作成されたことを示すメッセージを受け取ります。「**OK**」をクリックします。「**キャンペーン**」リストにこのキャンペーンが表示されます。このキャンペーンを使用するには、その前にイニシアチブを作成する必要があります。
 6. キャンペーン・イニシアチブを作成します。

- a. 「マーケティング」メニューから、「キャンペーン・イニシアチブ」を選択します。「キャンペーン・イニシアチブ」ウィンドウが表示され、現在定義されているキャンペーン・イニシアチブのリストが示されます。
 - b. 「新規...」を選択して、新しいキャンペーン・イニシアチブを作成します。「一般定義」ページが表示されます。
 - c. キャンペーン・イニシアチブ名として **Sample coupon promotion** と入力します。
 - d. 「イニシアチブの種別 (initiatives classification)」ドロップダウン・リストで、「クーポン (coupon)」を選択します。
 - e. 説明テキスト・ボックスに、**Campaign initiative for the sample campaign promotion** などの、イニシアチブの説明を入力します。
 - f. 「キャンペーン」ドロップダウン・リストで、キャンペーンを選択します。ここでは、「サンプル・キャンペーン (Sample campaign)」を選択します。
 - g. 「次へ」をクリックして、「表示されるダイナミック・コンテンツを定義」ページに進みます。
 - h. 「広告の表示 (show advertisement)」を選択してから、「クーポンの公示」を選択します。
 - i. 右側のボックスから、このキャンペーン・イニシアチブで使用できる正しい広告コピーである **Coupon Promotion 03 ad copy** を選択します。
 - j. 「追加」をクリックして、この広告コピーを「選択した広告コピー」ボックスに追加します。
 - k. 「次へ」をクリックして、「ターゲット顧客を定義」ページに進みます。
 - l. 「全顧客をターゲットとする」を選択します。「顧客プロファイルターゲットとする (Target customer profiles)」を選択する場合は、事前にいくつかの顧客プロファイルが定義されている必要があります。
 - m. 「次へ」をクリックして、「ターゲット顧客の曜日を定義」ページに進みます。
 - n. 指定期間は既に設定されているので、「毎日」を選択します。
 - o. 「次へ」をクリックして、「ターゲット顧客の行動様式を定義」ページに進みます。顧客の行動様式が既に定義されている場合は、このページに表示されます。
 - p. このシナリオでは、顧客の行動様式を追加しません。「終了」をクリックして、このキャンペーン・イニシアチブを保管します。キャンペーン・イニシアチブが正常に作成されたことを示すメッセージを受け取ります。「キャンペーン・イニシアチブ」リストにこのキャンペーン・イニシアチブが表示されます。このイニシアチブの変更、複製、中断、再開、または削除を行いたい場合は、該当するオプションを選択し、ウィザードに従ってこれらのステップを完了します。
7. クーポン販売促進をスケジュールします。
 - a. 「マーケティング」メニューから、「e-マーケティング・スポット」を選択します。
 - b. このリストから、「StoreHomePage」を選択し、ストアのホーム・ページにクーポンを表示させます。

- c. 「スケジュール」ボタンを選択します。「キャンペーン・イニシアチブのスケジュールリング」ページが表示されます。
- d. 「新規...」を選択して、新しいキャンペーン・イニシアチブをスケジュールします。「キャンペーン・イニシアチブのスケジュール」ページが表示されます。
- e. 「選択したキャンペーン」ドロップダウン・リストで、「サンプル・キャンペーン (Sample campaign)」を選択します。
- f. 「使用可能なキャンペーン・イニシアチブ」から、「サンプル・クーポン販売促進 (Sample coupon promotion)」を選択します。
- g. 「追加」をクリックして、このキャンペーン・イニシアチブを「選択したキャンペーン・イニシアチブ」ボックスに追加します。
- h. このキャンペーン・イニシアチブを無期限で実行することになっているので、この選択項目を選択します。「OK」をクリックして、スケジュールリング情報を保管します。キャンペーン・イニシアチブがスケジュールされたことが表示されます。スケジュールに変更を加えたい場合は、そのスケジュールを選択して変更を加えます。

販売促進イメージのアップロード

1. 「ストア」->「ファイルの管理」を選択します。
2. 宛先フォルダーを選択します。
3. 「ブラウズ」をクリックし、アップロードするイメージ・ファイルを選択します。
4. 「アップロード」をクリックします。
5. ブラウザーでストアフロント・ページを再ロードして、クーポン販売促進を表示します。

クーポンの使用

以下の演習では、ストアに行くショッパーという設定です。ストアに入る際に、ホーム・ページで広告されていた 20 % オフのクーポンがあることに気がきます。したがって、登録することになります。ショッピングを開始するには、以下のようになります。

1. ホストされるストアで、「登録」をクリックします。「登録」ページが表示されます。
2. 登録フィールドに情報を入力します。「送信」をクリックします。「アカウント」ページが表示されます。
3. 「アカウント」ページを使用して、アカウント情報を管理できます。「アカウント」ページ内に、「クイック・チェックアウト・プロファイル」セクションが表示されます。ここでクイック・チェックアウト・プロファイルをセットアップして、チェックアウト・プロセス全体を実行する速度を上げることになります。「プロファイルの作成または更新」をクリックします。
4. 「クイック・チェックアウト・プロファイル」ページで、請求先住所、配送先住所、配送方法、支払い情報を入力します。このチュートリアルでは、以下のクレジット・カード情報を入力します。
 - a. 「クレジット・カード・タイプ」ドロップダウン・リストから、「Visa」を選択します。

- b. 「カード番号」フィールドで、「4111111111111111」と入力します。
- c. 「有効期限月」ドロップダウン・リストから、10 を選択します。
- d. 「有効期限年」ドロップダウン・リストから、2004 を選択します。
5. 「送信」をクリックします。「アカウント」ページが表示されます。
6. 「ホーム」をクリックします。「ホーム」ページが表示されます。「ホーム」ページの右側にバナー広告クーポンが表示されるようになったことに注意してください。
7. バナー内で、20% OFF のイメージをクリックして、クーポンを受け取ります。「自分のクーポン」ページが表示され、クーポンがオーダー全体に有効で、有効期限日付がないことが示されます。
8. ここで、ストアから何かを購入する必要があります。商品を探してください。
9. 「ショッピング・カートに追加」をクリックします。「ショッピング・カート」が表示されます。ショッピング・カート内のアイテムを確認します。
10. 「クイック・チェックアウト」をクリックします。「クイック・チェックアウト・オーダー要約」ページが表示されます。
11. クーポンを引き換えるには、「クーポンを商品と引き換える」をクリックします。適用できるクーポンのページが表示されます。
12. 全オーダー・クーポンをオーダーに適用できるので、クーポンを選択して、「クーポンの適用」をクリックします。「チェックアウト - オーダー要約 (Checkout - Order summary)」ページが再表示されます。この時点でクーポン割引が適用されていることに注意してください。
13. 請求先および配送先の情報を確認します。
14. クレジット・カード情報を入力します。このチュートリアルでは、前述のステップ 4 で詳述されているクレジットカード情報を再使用します。
15. オーダーが正しいことを確認して、「オーダー」をクリックします。「オーダーの確認」ページが表示され、オーダーの詳細が示されます。

運用レポートの表示

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Hosting Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- 顧客によって発行されたオーダーの検索
- 運用レポートの表示

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、セラーはホストされるストアを作成しておく必要があります。レポートに関連データを組み込むために、1 つ以上のテスト・オーダーをストアで発行する必要があります。

運用レポートの表示

運用レポートを表示するには、既存のセラーは以下を行います。

1. Commerce Hosting Hub サイト
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommerceHostingHub/index.jsp> に移動します。
2. 「ログオン」をクリックします。
3. 「ストアの管理」をクリックします。
4. 「操作」メニューの下の「オーダーの検索」をクリックします。
5. 「拡張検索」をクリックします。
6. 「開始日付」を選択し、「検索」をクリックします。
7. オーダー・リストに、ショッパーからの新規オーダーが表示されます。
8. 「レポート」メニューの下の「運用レポート」をクリックします。
9. 「オーダーの状況レポート」をクリックします。
10. 「開始日付」と「終了日付」を選択します。「OK」をクリックします。
11. 新規オーダーがリストされます。

ビジネス用ストアのオープン

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Hosting Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- ビジネス用ストアのオープン

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、セラーはホストされるストアを作成しておく必要があります。

ストアのオープン

ビジネス用のストアをオープンするには、既存のセラーは以下を行います。

1. Commerce Hosting Hub サイト
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommerceHostingHub/index.jsp> に移動します。
2. 「ログオン」をクリックします。
3. 「ストアの管理」をクリックします。
4. 「ストア」->「オープン/クローズ」をクリックします。
5. 「ストアのオープン」をクリックします。

カタログを処理する管理者の作成

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Hosting Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- 管理者の作成

- 管理者への役割の割り当て
- ストア管理ツールに基づく役割の表示

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、セラーはホストされるストアを作成しておく必要があります。

管理者の作成

カタログを処理する管理者を作成するには、既存のセラーは以下を行います。

1. Commerce Hosting Hub サイト
`http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommerceHostingHub/index.jsp` に移動します。
2. 「ログオン」をクリックします。
3. 「組織の管理」をクリックします。
4. 「アクセス管理」メニューの下の「ユーザー」をクリックします。
5. 「新規」をクリックします。
6. ウィザードの最初のページで、情報を入力します。
7. 2 番目のページで、「親組織」を選択します。情報をすべて入力したら、「終了」をクリックします。
8. ユーザー・リストから「新規ユーザー」を選択し、「役割」をクリックします。
9. 「組織」を選択します。
10. 「カテゴリー・マネージャー (Category Manager)」役割を選択します。
11. 「追加」をクリックします。
12. 「OK」をクリックします。
13. Commerce Hosting Hub から、「ログアウト」をクリックします。
14. 新規のカテゴリー・マネージャーとしてログオンします。カテゴリー・マネージャーは、組織を管理することもストアを作成することもできません。
15. 「ストアの管理」をクリックします。この役割は、メニューを表示することしかできません。

ストア・ロケーターの使用

デモンストレーション

このチュートリアルでは、Commerce Hosting Hub の以下のフィーチャーについて説明します。

- ストアのカテゴリー別のストアの配置
- 商品によるストアの検索

前提条件

このチュートリアルを開始する前に、サイト上にホストされるストアを作成しておく必要があります。

ストア・ロケータの使用

ストア・ロケータを使用するには、顧客は以下を行います。

1. Commerce Hosting Hub サイト
<http://host/webapp/wcs/stores/servlet/CommerceHostingHub/index.jsp> に移動します。
2. 「ストア・ディレクトリーの表示」をクリックします。
3. 新規ブラウザがオープンし、ストア・ディレクトリー・サイトが表示されます。
4. 「すべてのストア・カテゴリー」リンクをクリックします。
5. 一番右側のフレームで、「新規のホストされるストア」リンクをクリックします。
6. オーダーを登録し、発行します。顧客の登録は、オプションです。
7. ストア・ディレクトリー・ブラウザで、「商品の検索」をクリックします。
8. 「名前」フィールドに商品名を入力し、「検索」をクリックします。
9. 「検索結果」ページから、「ストア名」リンクか「商品名」リンクのいずれかをクリックします。

第 8 部 付録

付録. 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、米国以外の国においては本書で述べる製品、サービス、またはプログラムを提供しない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032
東京都港区六本木 3-2-31
IBM World Trade Asia Corporation
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム（本プログラムを含む）との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*IBM Canada Ltd.
Office of the Lab Director
8200 Warden Avenue
Markham, Ontario L6G 1C7
Canada*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほめかしたり、保証することはできません。お客様は、IBM のアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

©Copyright International Business Machines Corporation 2003. このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。 ©Copyright IBM Corp. 2000, 2003. All rights reserved.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

この製品で使用されているクレジット・カードのイメージ、商標、商号は、そのクレジット・カードを利用して支払うことを、それら商標等の所有者によって許可された人のみが、使用することができます。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

	IBM	
AIX	Lotus	WebSphere
DB2	OS/400	
DB2 Universal Database	QuickPlace	
Domino	Sametime	

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft, Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。



Printed in Japan